



新宿区政世論調査

第 7 回

昭和54年10月

東京都 新宿区

はじめに

行政は停滞することなく常に何らかの形で行なわれている。民主主義制度のもとで行政が行われるということは、とりもなおさず住民の意思が反映されることにほかならない。そして、そこに横たわる住民の意思が的確であるか、行政の側に恣意や選択に誤まりはないか、等の点について、いつも正しい判断がなされているという確証が必要である。

住民の意思を行政に反映させる手段は、制度としてはいろいろあるが、行政体と直接の関わりを持たない、一般の一人一人の住民にとっては、その意思を表明する手段や機会は多くない。

世論調査は、そういうことが配慮され、住民の意向を把握し集大成し、トータルな住民の意思としての量をとらえることによって、問題に対する住民の考え方や傾向を知ろうとするものである。

新宿区が行う世論調査は今回で7回目である。これまでの世論調査による住民の意思が正しく選択され、着実に行政に反映されてきたか、確認をすることはぜひ必要である。

住民要望も徐々に、年々変化を見せている。今回の区の事業の要望のトップは震災対策である。かつて、福祉や公害がトップにあった。いずれも解決に容易な問題ではない。

しかし、世論調査は、住民と行政とをつなぐ大事なパイプであり、世論調査に求める必要度は益々高くなろう。

昭和54年10月

新宿区長 山本克忠

目 次

★調査の概要	3
★調査結果の要約	19
★調査結果の分析	
I 定住性	33
I - 1 居住年数	34
I - 2 定住意思	37
I - 3 住みよさ	39
(1) 住みよい理由, (2) 住みにくい理由	40
II 生活環境	45
II - 1 緑の状況変化	48
II - 2 公害の被害経験の有無	50
II - 3 公害対策	51
II - 4 近隣騒音	55
II - 5 自宅付近の道路状態の評価	56
(1) 道路状態への不満	58
II - 6 「都市計画道路」の見直し作業の周知度	59
II - 7 指定区域での建築規制について	59
III 地域社会	65
III - 1 コミュニティの範囲	67
III - 2 近所付き合いの程度	70
(1) 近所付き合いのキッカケ	72
(2) 付き合わない理由	72
III - 3 地域社会の役割について	74
III - 4 自分の地域に欲しい施設	78
IV 児童・青少年	83
IV - 1 国際児童年の周知度	87
IV - 2 青少年の環境づくりの責任	88

IV - 3	子どもに望むもの	90
IV - 4	子どもに対する地域社会の責任	94
IV - 5	「子どもの午後」について	96
IV - 6	地区青少年対策委員会の周知度	97
IV - 7	地区青少年対策委員会活動への参加意思	100
IV - 8	区の児童・青少年事業への要望	104
V	婦人	109
V - 1	女性の職業について	112
(1)	身近な女性の職業について	115
(2)	女性自身の職業について	116
V - 2	女性が職業を持つ場合の障害	118
V - 3	女性の社会活動について	122
V - 4	区の女性のための事業への要望	122
VI	区民保養所	129
VI - 1	区民保養所の利用度と周知度	130
(1)	利用した理由	132
(2)	利用しない理由	132
VII	区政への関心・要望	137
VII - 1	区政への関心度の有無	140
VII - 2	区政に関する情報源	143
VII - 3	「新宿区広報」の到達閲読状況	147
(1)	閲読状況	147
(2)	広報に対する意見・要望	149
VII - 4	区長名の周知度	151
VII - 5	新宿文化センターの周知度	153
VII - 6	新宿文化センターの催しものについての希望	155
VII - 7	区の事業への要望	158
★相関表		
調査票の見本		卷末折込み

調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的

本調査の目的は、新宿区が行政をすすめていく上で、区民それぞれの現在の生活環境をふまえた区政に対する意向や要望・意見などを把握し、今後の行政運営に反映させていくための資料とするものである。

2. 調査の内容

今回、第7回目の区政世論調査としては、次の7つのテーマを基本テーマとして取り上げ、区民の意識動向の把握に努めた。

- | | |
|------------|---------------|
| (1) 定住性 | (5) 婦人 |
| (2) 生活環境 | (6) 区民保養所 |
| (3) 地域社会 | (7) 区政への関心・要望 |
| (4) 児童・青少年 | |

3. 調査の設計

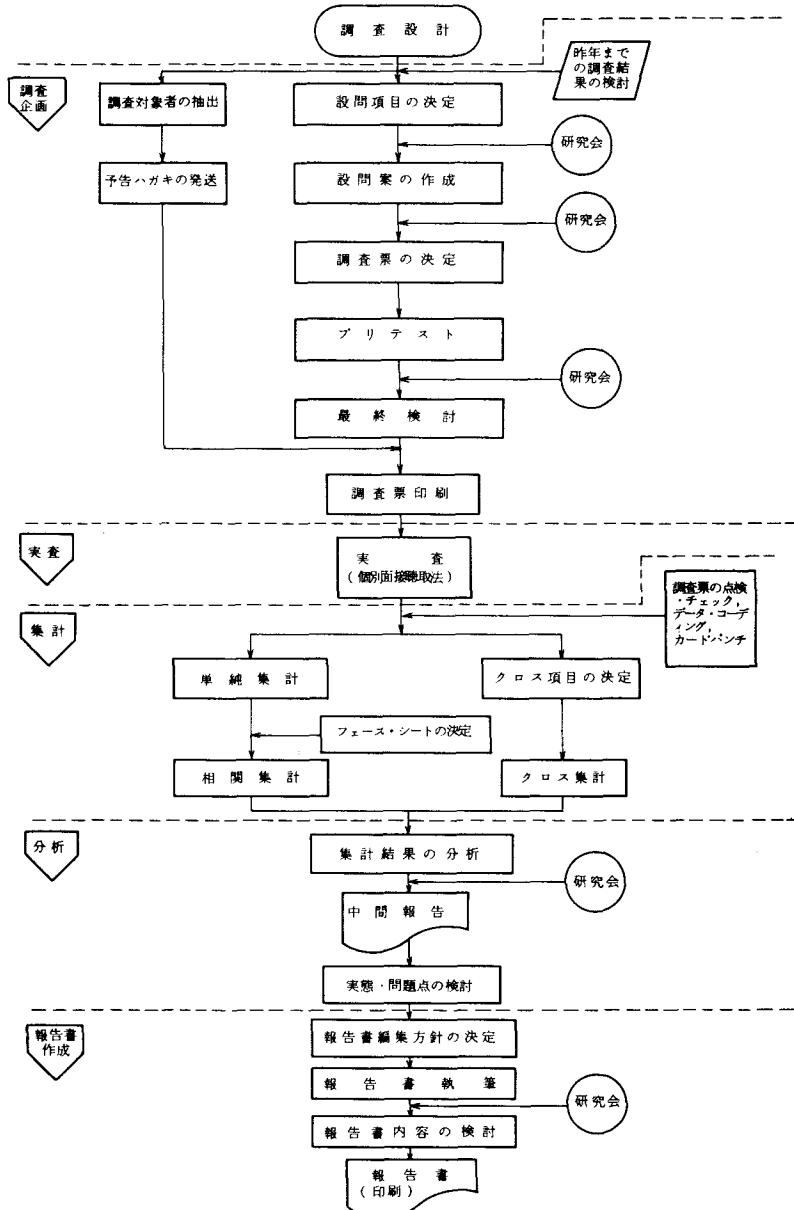
- | | |
|--------------|---|
| (1) 調査地域 | 新宿区全域 |
| (2) 調査対象 | 新宿区在住の満20歳以上の男女個人 |
| (3) 標本数 | 1,500サンプル |
| (4) 調査対象者の抽出 | |
| (i) 母集団 | 新宿区住民基本台帳(20歳以上) |
| (ii) 抽出方法 | 系統的無作為抽出法

(母集団に応じて一定のインターバルを定め、無作為系統的に1,500サンプルの標本を抽出) |
| (5) 調査期間 | 昭和54年6月15日～6月30日(実査) |
| (6) 調査機関 | 日本EDP(株)調査部 |

4. 調査の体系

本調査は、図1のとおりの調査体系により実施した。このプロセスフローは、調査企画、実査、集計、分析、報告書作成により構成され、設問案の設計にあたっては企画部広報課を窓口として関係各課、調査委託機関による協議方式を採った。

図1. 調査体系のプロセスフロー



5. 調査の方法

- (1) 実査方法 調査員による個別面接聴取法
- (2) 調査票 卷末折込みの調査票を使用
- (3) 回答票 回答項目が多い場合や複雑な場合、項目の記載された回答票を提示して回答してもらった。回答票使用の設問は、調査票に〔回答票提示〕と表記してある。
- (4) 予告ハガキ 「新宿区政世論調査のお願い」の調査訪問予告ハガキをあらかじめ郵送し、なお、ハガキには「区政への意見・要望の記入欄」を設けて、調査訪問時に回収した(図2)。
- (5) 再訪問カード 調査対象者が不在の場合は、日時を変えて3回以上訪問し、その際には「再訪問カード」を使用して、再訪問する日時などを連絡し、調査回収作業の円滑化を心掛けた。

図2. 予告ハガキ(調査のお願い)の見本

<p>「新宿区政世論調査」のお願い</p> <p>新宿区では、区民のみなさんのご意見・ご要望を区政に反映させていくために、このたび「新宿区政世論調査」を実施することになりました。</p> <p>区民全體の中からクジ引きのような方法で、1,500人の調査回答者を選んだ結果、あなた様がそのうちの1人に選ばれました。<u>6月15日(金)～6月21日(木)</u>の間に調査員が調査票を持参して、アンケートの聞き取り調査のためにおうかがいいたします。</p> <p>なおこの調査結果は、「こういう意見の人がある人中何人いる」という形でしか発表いたしませんので、ご迷惑をおかけすることはございません。ご多忙中のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、よろしくご協力くださいますようお願い申しあげます。</p> <p><u>また、区政に関するご意見・ご要望がありましたら表側の欄にご記入ください。</u></p> <p style="text-align: center;">54年6月</p> <p style="text-align: center;">新宿区役所企画部広報課</p> <p>〈調査についてのお問合せ〉</p> <p>調査についてのお問合せやご希望の訪問日時などがありましたら、このハガキの表側に記載の日本EDP㈱調査部までお電話ください。</p> <p>■必ずご本人がお答えください。 ■調査が終りましたら、このハガキを調査員にお渡しください。 ■現在、表記の住所に居住していない場合は至急ご連絡ください。 ■ご協力いただいた方には粗品を差呈いたします。</p>	<p>郵便はがき</p> <p>□□□-□□</p> <p>NIPPON 20  三毛紋章</p> <p>区政に関するご意見ご要望をご記入ください。</p> <p>.....</p> <p style="text-align: right;">〔実施〕日本EDP㈱調査部 港区芝公園4-2-8 東京タワービル TEL: 434-8831 内線34</p> <p>1 0 5</p>
--	---

6. 地域分類

調査結果の集計にあたっては、表1および図3のとおり、新宿区内を特別出張所管轄区域に従い、10地域に区分した。

図3. 地域（特別出張所管轄区域）区分図

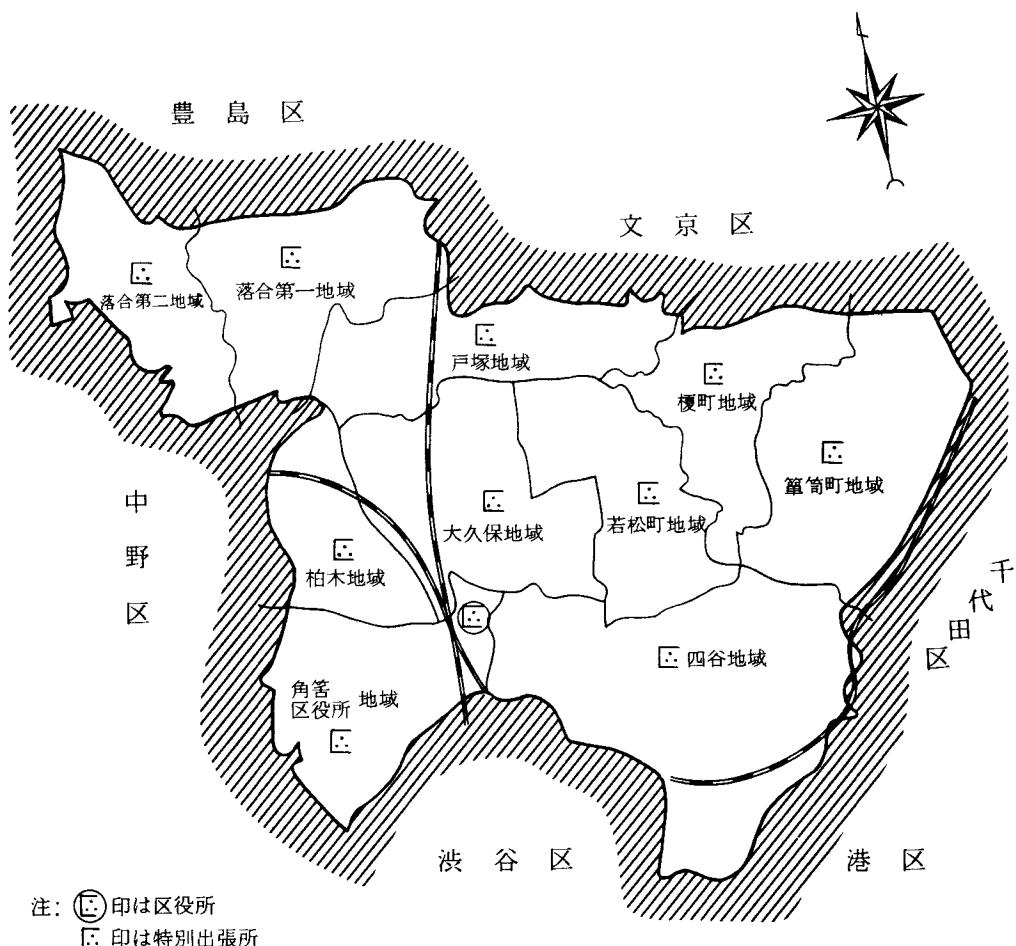


表 1. 地域区分一覧

地域	該当町丁目名	地域	該当町丁目名
四谷	四谷一丁目～同四丁目, 本塙町, 三栄町, 坂町, 若葉一丁目～同三丁目, 須賀町, 左門町, 信濃町, 南元町, 荒木町, 舟町, 愛住町, 大京町, 霞岳町, 内藤町, 片町, 新宿一丁目～同二丁目, 同三丁目〔1番～14番, 15番(一部), 16番, 17番(一部), 30番, 31番(一部), 32番〕, 同四丁目, 同五丁目〔1番～12番, 13番(一部), 14番(一部), 15番～17番, 18番(一部)〕, 歌舞伎町一丁目〔1番(一部)〕。	戸塚	戸塚町一丁目, 同三丁目, 諏訪町, 下落合一丁目〔1番(一部), 3番(一部), 7番(一部), 12番～13番, 14番(一部), 16番(一部), 17番(一部)〕, 西早稻田一丁目, 同二丁目〔1番(一部)〕, 3番～21番, 同三丁目, 高田馬場一丁目～同二丁目, 同三丁目〔1番～7番, 8番(一部), 9番～15番, 16番(一部), 18番(一部), 19番～46番〕, 同四丁目, 百人町四丁目〔1番～9番〕。
箪笥町	市谷田町一丁目～同三丁目, 市谷本村町, 市谷砂土原町一丁目～同三丁目, 市谷左内町, 市谷加賀町一丁目～同二丁目, 市谷甲良町, 市谷船河原町, 市谷長延寺町, 市谷鷹匠町, 市谷山伏町, 市谷八幡町, 神楽坂一丁目～同六丁目, 細工町, 二十騎町, 揚場町, 津久戸町, 東五軒町, 西五軒町, 赤城元町, 南柳町, 袋町, 払方町, 北町, 中町, 南町, 納戸町, 南山伏町, 北山伏町, 白銀町, 下宮比町, 矢来町, 若宮町, 岩戸町, 篠箪笥町, 横寺町, 筑土八幡町, 新小川町一丁目～同三丁目, 神楽河岸。	落合	上落合一丁目, 同二丁目〔1番, 2番, 3番(一部), 4番～14番, 16番(一部)〕, 下落合一丁目〔1番(一部), 2番, 3番(一部), 4番～6番, 7番(一部), 8番～11番, 14番(一部), 15番, 16番(一部), 17番(一部)〕, 同二丁目～同四丁目, 中落合一丁目〔1番～15番, 17番(一部), 20番, 21番〕, 同二丁目, 同三丁目〔1番～13番, 14番(一部), 15番, 18番(一部), 19番(一部)〕, 同四丁目〔1番(一部)〕, 中井二丁目〔1番～3番〕, 高田馬場三丁目〔8番(一部), 16番(一部), 17番, 18番(一部)〕。
榎町	市谷稟王寺町, 市谷柳町, 市谷仲之町, 赤城下町, 天神町, 榎町, 東榎町, 早稻田町, 早稻田南町, 馬場下町, 原町一丁目～同三丁目, 喜久井町, 築地町, 弁天町, 中里町, 山吹町, 改代町, 水道町, 早稻田鶴巻町, 西早稻田二丁目〔1番(一部)〕。	落合	上落合二丁目〔3番(一部), 15番, 16番(一部), 17番～29番〕, 同三丁目, 西落合一丁目～同四丁目, 中落合一丁目〔16番, 17番(一部), 18番, 19番〕, 同三丁目〔14番(一部), 16番, 17番, 18番(一部), 19番(一部), 20番～29番〕, 同四丁目〔1番(一部), 2番～32番〕, 中井一丁目, 同二丁目〔4番～30番〕。
若松町	住吉町, 市谷台町, 市谷富久町, 市谷河田町, 若松町, 戸山町, 余丁町, 西早稻田二丁目〔2番〕。	柏木	西新宿六丁目〔2番～5番, 7番～9番, 10番(一部)〕, 同七丁目〔1番, 2番(一部), 7番～23番〕, 同八丁目, 北新宿一丁目～同四丁目。
大久保	新宿五丁目〔13番(一部), 14番(一部), 18番(一部)〕, 同六丁目～同七丁目, 歌舞伎町一丁目〔1番(一部)〕, 同二丁目, 大久保一丁目～同三丁目, 西大久保四丁目, 西新宿七丁目〔2番(一部), 3番～6番〕, 百人町一丁目～同三丁目, 同四丁目(一部)。	角筈・役所	西新宿一丁目～同五丁目, 同六丁目〔1番, 6番, 10番(一部), 11番～26番〕, 歌舞伎一丁目〔1番(一部), 2番～29番, 30番(一部)〕, 新宿三丁目〔15番(一部), 17番(一部), 18番～29番, 31番(一部), 33番～38番〕。

注：昭和53年7月1日をもって、四谷、大久保、角筈・区役所地域の一部に住居表示の変更があった。
上表はこの新住所に基づいたものである。

7. 回収結果

(1) 標本数 1,500 票

(2) 有効回収数 1,139 票 有効回収率 75.9%

(3) 回収不能数 361 票 回収不能率 24.1%

(4) 地域別の回収結果

	標本数	有効回収数	有効回収率
区全体	1,500	1,139	75.9%
四谷地域	210	153	72.9
筠笥町地域	140	111	79.3
榎町地域	155	128	82.6
若松町地域	157	110	70.1
大久保地域	188	129	68.6
戸塚地域	172	130	75.6
落合第一地域	127	96	75.6
落合第二地域	135	114	84.4
柏木地域	151	112	74.2
角筈・区役所地域	65	56	86.2

(5) 地域別の回収不能の内訳

地域	内訳	短期不在	長期不在	転居	拒否	病気・入院・高齢	住所不明	その他
区全体 (495)		52.5% (260)	8.9% (44)	17.2% (85)	8.7% (43)	5.3% (26)	6.5% (32)	1.0% (5)
四谷地域 (67)		53.7 (36)	11.9 (8)	17.9 (12)	7.5 (5)	6.0 (4)	3.0 (2)	0 (-)
筠笥町地域 (55)		67.3 (37)	3.6 (2)	7.3 (4)	10.9 (6)	5.5 (3)	3.6 (2)	1.8 (1)
榎町地域 (41)		39.0 (16)	4.9 (2)	24.4 (10)	7.3 (3)	9.8 (4)	12.2 (5)	2.4 (1)
若松町地域 (60)		66.7 (40)	10.0 (6)	20.0 (12)	1.7 (1)	1.7 (1)	0 (-)	0 (-)
大久保地域 (75)		57.3 (43)	8.0 (6)	17.3 (13)	5.3 (4)	4.0 (3)	8.0 (6)	0 (-)
戸塚地域 (55)		56.4 (31)	5.5 (3)	10.9 (6)	7.3 (4)	3.6 (2)	12.7 (7)	3.6 (2)
落合第一地域 (31)		41.9 (13)	6.5 (2)	25.8 (8)	3.2 (1)	16.1 (5)	6.5 (2)	0 (-)
落合第二地域 (42)		61.9 (26)	11.9 (5)	9.5 (4)	11.9 (5)	2.4 (1)	2.4 (1)	0 (-)
柏木地域 (49)		32.7 (16)	16.3 (8)	20.4 (10)	12.2 (6)	6.1 (3)	10.2 (5)	2.0 (1)
角筈・区役所地域 (20)		10.0 (2)	10.0 (2)	30.0 (6)	40.0 (8)	0 (-)	10.0 (2)	0 (-)

注：転居、その他（死亡など）、住所不明などは予備サンプルを使用した。

8. 摘要と標本誤差

- (1) すべての集計表は、小数点第2位を四捨五入した。
- (2) 回答の比率(%)はその設問の回答者数を基数(N)として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を越える。
- (3) 相関表におけるNは比率算出の基数(Number of caseの略)であり、その設問の回答者数を表わす。
- (4) 質問の種類を示す記号は次のとおりである(巻末調査票参照のこと)。
- 1 A：回答項目の中から一つだけ選択してもらう質問(One Answerの略)
- 2 A：回答項目の中から二つ以内で選択してもらう質問(Two Limited Answerの略)
- 3 A：回答項目の中から三つ以内で選択してもらう質問(Three Limited Answerの略)
- MA：回答項目の中から該当するものすべてを選択してもらう質問(Multiple Answerの略)
- FA：選択肢を設けないで、自由回答を求める質問(Free Answerの略)
- (5) なお、無回答者に対しては、NA(No Answerの略)として集計・処理した。
- (6) 標本誤差(サンプル誤差)

標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数(n)，および②回答の比率(P)によって異なるが、代表的な誤差を下表に示すので、参考にされたい。この場合、①比率算出の基数(n)，および②回答の比率(P)とによって下表をみて該当する誤差率を回答の比率にプラス、マイナスすればよいわけである。

b = 標本誤差

N = 母集団数

(54年1月1日現在：257,397人)

n = 比率算出の基数

(全員回答の場合は、1,139人)

P = 回答の比率

回答の比率 (P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,139	± 1.8%	± 2.4%	± 2.7%	± 2.9%	± 3.0%
1,000	± 1.9%	± 2.5%	± 2.9%	± 3.1%	± 3.2%
800	± 2.1%	± 2.8%	± 3.2%	± 3.5%	± 3.5%
600	± 2.4%	± 3.3%	± 3.7%	± 4.0%	± 4.1%
400	± 3.0%	± 4.0%	± 4.6%	± 4.9%	± 5.0%
200	± 4.2%	± 5.7%	± 6.5%	± 6.9%	± 7.1%
100	± 6.0%	± 8.0%	± 9.2%	± 9.8%	± 10.0%

注：上表は $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ として算出した数値である。

9. 集計にあたって

- (1) 集計は、①単純集計、②フェース・シートとのクロス集計、③設問間のクロス集計の3種の集計を行った。
- (2) フェース・シートとして採用したのは、下記の12項目である。これを全設問に対してクロス集計した。
 - ① 地域別
 - ② 性別 (F1, カテゴリー数2)
 - ③ 性年代別 (F1 × F2, 同10)
 - ④ 職業別 (F3, 同8)
 - ⑤ 家族人数別 (F4, 同6)
 - ⑥ ライフ・ステージ (F5, 同10)
 - ⑦ 住居形態別 (F6, 同7)
 - ⑧ 居住年数別 (Q1, 同7)
 - ⑨ 定住意思別 (Q2, 同5)
 - ⑩ 住みよさ別 (Q3, 同5)
 - ⑪ 年代別 (F2, 同5)
 - ⑫ 車の有無別 (F7, 同2)
- (3) 卷末の相関表には、紙面の都合上、居住年数別までしか掲載していない。
- (4) 設問間のクロス集計は、フェース・シートに採用したもの除去して必要に応じて合計27問のクロス集計を行った。本文の分析を参照されたい。

10. サンプル特性

フェース・シートに採用した項目についての、回収票のサンプル特性は次のとおりで

ある。なお、「居住年数」については〔1章 定住性〕で触れることとする。

〔性別・年代別構成〕

性別の構成比は、母集団とした住民基本台帳（昭和54年1月1日現在）では、

$$\text{男:女} = 48.5\% : 51.5\%$$

(124,858人 : 132,539人)

であるのに対して、回収標本では

$$\text{男:女} = 46.6\% : 53.4\%$$

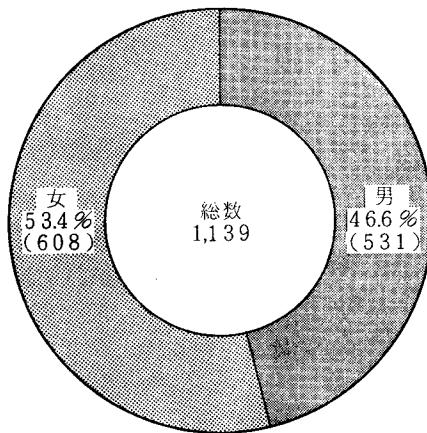
となっており、性別においては、回収標本は母集団に比べ、女性の比率が高くなっている（図4）。

また、性年代別の構成比における母集団と回収標本との対比は次のとおりである。

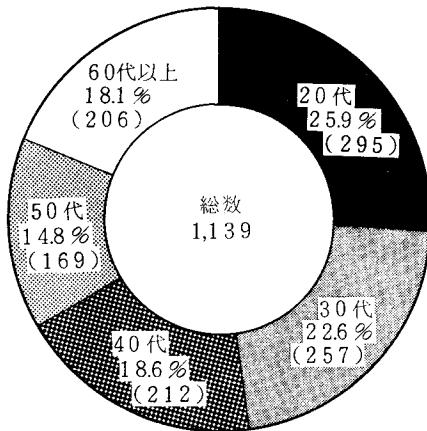
	母集団	回収標本	差
20代	29.4%	> 25.9% (-3.5)	
30代	22.6%	= 22.6% (± 0)	
40代	18.0%	< 18.6% (+0.6)	
50代	13.8%	< 14.8% (+1.0)	
60代以上	16.1%	< 18.1% (+2.0)	

図4. 性別、年代別構成比

〔性別〕



〔年代別〕

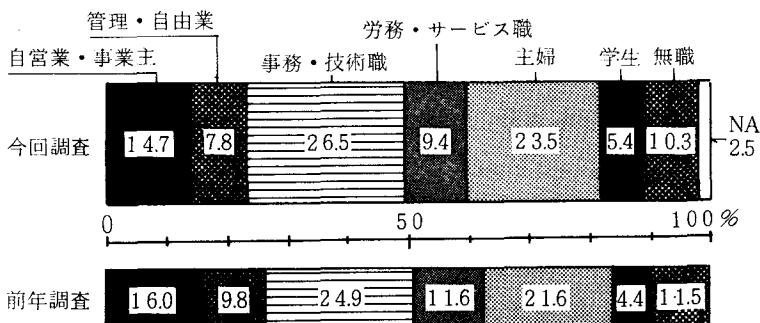


上表のとおり、母集団と比べて回収標本では20代の回収率が低く、40代、50代、60代以上と年代が高くなるほど回収率が高くなっている。20代の回収率が低いのは、単身者が多く、面接調査が比較的困難であるためで、この種の調査の共通した傾向といえよう。したがって、今回調査の結果は、やや中高年層よりの意見であることに留意する必要がある。

〔職業構成〕

職業分類は、今回の世論調査のフェースとして使用するという目的上、前回調査（53年11月調査）と同様に7分類に分けて調査した。なお、調査にあたっては、以下の分類例を示して選んでもらった。今回調査の職業構成は図5のとおりである。

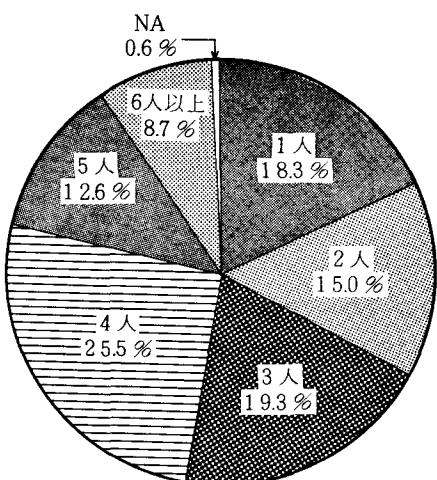
図 5. 職業構成



1. 自営業・事業主…………事業経営者・商店主（または商店のきりもりの中心になっている人），開業医，自分で商売している人
2. 管理職・自由業…………課長以上の管理職，校長・教頭，会社・団体役員，医長以上の医師，芸術家，著述業，弁護士，裁判官，公認会計士，宗教家，俳優
3. 事務職・技術職…………事務系勤労者，雇用技術者，教員，看護婦，記者，巡査部長，タイピスト，車掌，プログラマー，雇用医師，保母
4. 労務職・サービス職…工員，雇用職人，運転手，自由労務者，工夫，配達人，修理夫，巡査，家政婦，料理人，商店員，セールスマントレス，ホステス
5. 主婦
6. 学生
7. 無職

図 6. 家族人数

[今回の調査対象者の家族人数]



[新宿区全体の家族人数]

— 54年1月1日現在満20歳以上の世帯構成 —

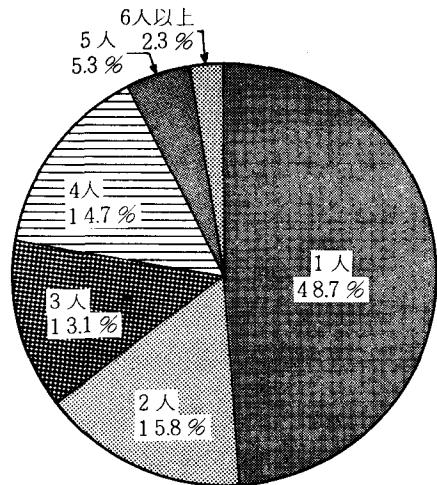


表 2. 年代別の家族人数

	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	N A
区全体	18.3%	15.0%	19.3%	25.5%	12.6%	8.7%	0.6%
年代別	20代	38.0	14.6	15.3	15.9	10.8	4.7
	30代	9.7	11.7	19.8	33.1	14.0	10.5
	40代	10.4	5.7	21.2	33.5	16.0	12.3
	50代	10.7	16.6	27.2	32.5	8.3	4.7
	60代以上	15.0	28.2	16.0	16.0	13.1	11.7

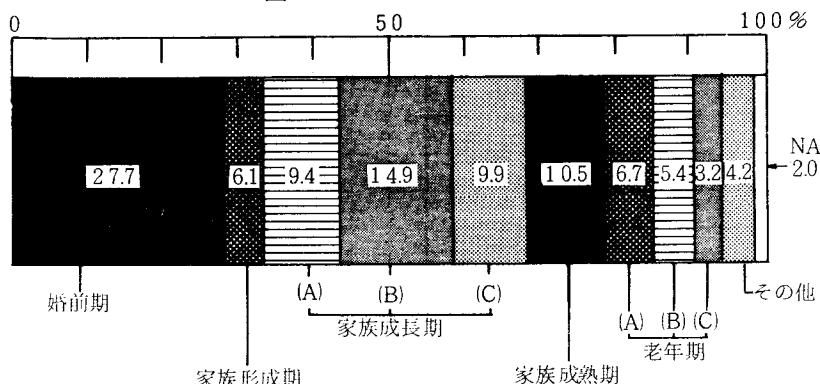
[家族人数]

家族人数は、「1人（単身者）」が18.3%，「2人」が15.0%，「3人」が19.3%，「4人」が25.5%，「5人」が12.6%，「6人以上」が8.7%であった（図6）。

「1人（単身者）」は、面接聴取の機会を得ることが非常に難しく、今回の調査でも回収状況のあまり良くなかった層である。また、実際の新宿区の家族人数構成は図6のとおりである。

次に、年代別でその特徴をみると、「1人」は20代（38.0%）に目立って多い。「2人」は60代以上（28.2%）が多く、「3人」は50代（27.2%）が多い。「4人」は30代（33.1%），40代（33.5%），50代（32.5%）の各年代層に多く、「5人」は40代（16.0%）、「6人以上」も40代（12.3%）に比較的多くなっている（表2）。このように比較的家族人数の多いのは、30代や40代などの中年層となっており、「2人」が60代以上に多いのは、子どもが独立したりして老夫婦だけで生活する家庭が増えていることが考えられる。また、「1人」が、当然多いと考えられる20代を除くと、次に60代以上（15.0%）となっているのには注意する必要がある。

図7. ライフ・ステージ



[ライフ・ステージ]

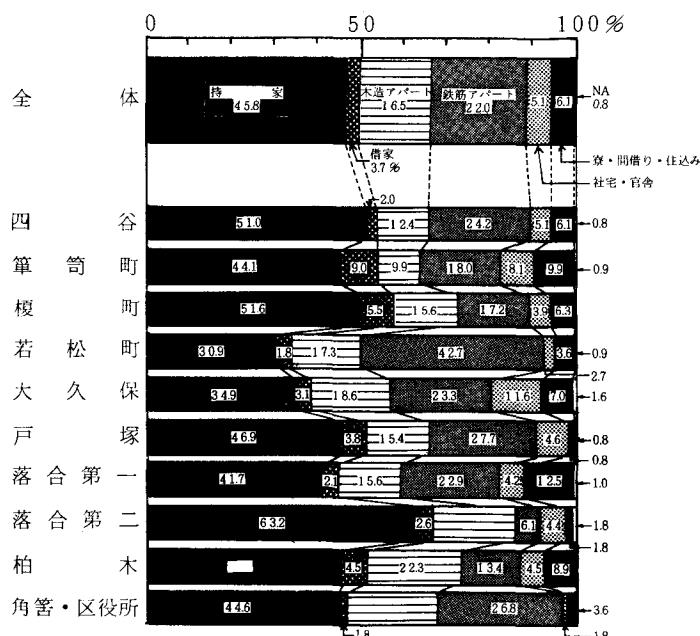
調査対象者のライフ・ステージを知るため、以下のようにわかりやすい表現を使って質問した。結果については図7のとおりである。

1. 婚前期…………… 結婚前の独身者
2. 家族形成期…………… 子どもがいない若夫婦の夫あるいは妻
3. 家族成長期(A)…………… 結婚し、乳・幼児がいる親
4. 家族成長期(B)…………… 小・中学生がいる親
5. 家族成長期(C)…………… 高校・大学生がいる親
6. 家族成熟期…………… 学校教育を終えた独身の子どもがいる親
7. 老年期(A)…………… 子どもが結婚して一緒に住んでいる親
8. 老年期(B)…………… 子どもが独立して2人だけになった親
9. 老年期(C)…………… 子どもが独立して1人だけになった親
10. その他

[住居形態別]

住居形態は、「一戸建持家」が特に多く、45.8%を占めている。続いて「鉄筋アパート・マンションが22.0%、「民間木造アパート」が16.5%，以下、「寮・間

図8. 地域別の住居形態



借り・住込み」（6.1%）、「社宅・官舎」（5.1%）、「一戸建借家」（3.7%）の順である。

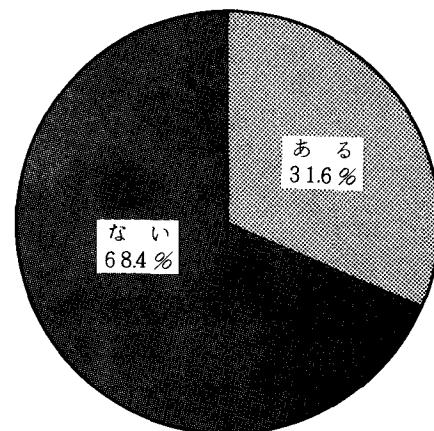
地域別でみると、「一戸建持家」は、四谷地域（51.0%）、樋町地域（51.6%）落合第二地域（63.2%）に多い。「一戸建借家」については、地域別での目立った特徴はみられない。「民間木造アパート」は、柏木地区（22.3%）が多く、角筈・区役所地域（21.4%）にも割合多い。「鉄筋アパート・マンション」は、若松町地域（42.7%）、戸塚地域（27.7%）に多く、角筈・区役所地域（26.8%）にも比較的多い。「社宅・官舎」は、大久保地域（11.6%）が多く、「寮・間借り・住込み」は、落合第一地域（12.5%）に多い（図8）。

〔車の有無別〕

自動車（四輪車）を所有しているかどうかについては、「ある」が31.6%、「ない」が68.4%である（図8）。

職業別では、「ある」と答えた人は、自営業・事業主（55.7%）に多く、主婦（36.2%）にも比較的多い。

図9. 車の有無別



調査結果の要約

調査結果の要約

【定住性】

(1) 居住年数

★ 前回までの調査結果との比較は次の表のとおりである。また今回は「54年以降」という回答項目が新しく加わった。

居住年 調査年月	戦前から	終戦～昭和30年	昭和31年～40年	昭和41年～45年	昭和46年～50年	昭和51年～53年	昭和54年以降
54年6月	8.5%	23.4%	14.2%	11.2%	17.2%	21.5%	4.0%
53年7月	7.0%	26.3%	13.2%	10.2%	22.5%	20.5%	-
52年7月	9.1%	24.4%	13.2%	12.0%	28.0%	13.3%	-
51年9月	9.1%	24.2%	13.1%	12.4%	35.3%	6.0%	-
50年9月	8.2%	25.5%	15.0%	15.3%	35.8%	-	-
49年9月	8.8%	27.5%	16.3%	16.8%	30.1%	-	-
48年9月	↓11.6%	25.7%	↓17.1%	↓20.3%	24.8%	-	-

★ 「戦前から」は8.5%，「昭和51年～53年」(21.5%)，「54年以降」(4.0%)を合わせた居住年数が《5年未満》の短期居住者が25.5%と4人に1人となっている。

(2) 定住意思

★ 「永住するつもり」(45.3%)と「当分はここに住むつもり」(29.9%)を合わせた《定住意思ある者》が75.2%を占めた。これに対して、「できたら区外に転出したい」(6.8%)と「近いうちに区外へ転出するつもり」(4.6%)を合わせた《転出意思ある者》は11.4%となっている。

(3) 住みよさ

★ 前回までの調査結果との比較は次の表のとおりである。

評価 調査 年月	住みよい 『住みよい派』	住みにくい 『住みにくい派』	どちらともいえな い・わからない
54年6月	75.7%	15.1%	9.7%
53年7月	79.6%	15.1%	5.3%
52年7月	69.1%	10.4%	20.5%
51年9月	67.5%	10.2%	22.1%
50年9月	63.1%	13.1%	23.8%
49年9月	60.8%	14.6%	24.7%
48年9月	64.2%	12.7%	23.1%

注：52年7月調査までは「どちらともいえない」、「わからない」が別項目であったが53年7月調査以降「わからない」とした。

★ 今回調査では、「住みよい」（30.2%）、「まあ住みよい」（45.0%）を合わせた『住みよい派』は75.2%であった。また「あまり住みよくない」（12.5%）、「住みにくい」（2.6%）を合わせた『住みにくい派』は15.1%である。

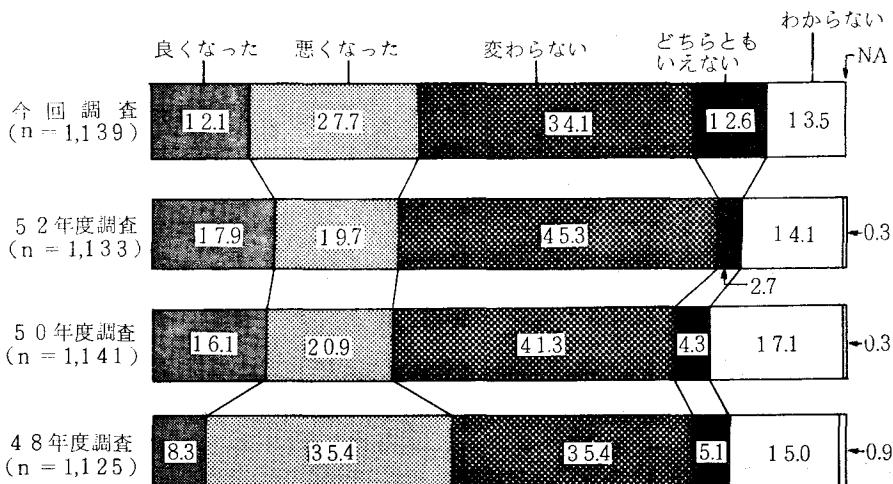
★ 住みよい理由としては、「交通の便がよい」が323件ともっとも多く、以下、「生活しやすい」が136件、「静かである」が72件、「住み慣れている」が61件、「環境がよい」が40件、「買物に便利」が28件である。

★ 住みにくい理由としては、「騒音がひどい」が42件、「物価が高い」が31件、「建てこんでいる・人口が多い」が20件、「環境が悪い」が20件などである。

【生活環境】

(1) 緑の状況変化

★ 「良くなった」が12.1%、「変わらない」が34.1%、「悪くなつた」が27.7%、「どちらともいえない」が12.6%、また「わからない」が13.5%あった。悪くなつたといえよう。



(2) 公害の被害経験の有無

★ 「騒音」がもっとも多く 36.1% である。以下「大気汚染」が 22.1%，「振動」が 19.1%，「悪臭」が 13.5% で、「いずれも受けたことはない」は 39.9% であった。

公害被害 調査年度	大気汚染	騒音	振動	悪臭	その他	いずれもうけていない
今回	22.1%	36.1%	19.1%	13.5%	2.0%	39.9%
52年度	23.7%	34.1%	15.5%	11.2%	1.3%	44.9%
50年度	30.1%	32.0%	14.7%	13.1%	1.2%	43.4%
48年度	35.4%	37.0%	18.2%	13.2%	1.0%	35.0%

(3) 公害対策

★ 「自動車の排気ガス・騒音・振動」が 40.5% と特に多く、他には「日常生活における騒音・振動・悪臭」が 24.2%，「建設工事にともなう騒音・振動」が 22.8% と上位 3 位までを占めた。以下「被害者に対する医療費の補償など救済制度の充実」が 13.3%，「工場・作業場から出るばい煙・騒音・振動・悪臭」が 9.8%，「公害防止資金貸付制度の充実」が 5.4%，「各種測定結果の公表やポスターによる PR」が 5.0% である。

(4) 近隣騒音

★ 「自動車・オートバイ」が 22.9% と目立って多く、次いで「チリ紙交換や物売りのスピーカー」が 16.7% である。他に、「犬や猫のなき声」，「話し声・歌声・泣き声」，「テレビ・ステレオ」などは 10% 以下であった。

(5) 自宅付近の道路状態の評価

- ★ 「たいへんよい」が 5.2%，「よい」が 3.9.2%で両者を合わせた《満足派》は 4.4.4%である。これに対して「あまりよくない」が 28.8%，「非常によくない」が 4.3%で《不満派》は 33.1%であった。また「どちらともいえない」が 21.4%である。
- ★ どんな点が不満かは「狭い道に車がはいり込んで困る」が 39.8%，「道が狭く災害時に不安である」が 38.7%と他に比べ多かった。以下「車による公害がひどい」が 18.0%，「道路が狭く、車が走りづらい」が 17.0%，「道路に歩道がなく歩きにくい」が 10.9%などである。

(6) 「都市計画道路」の見直し作業の周知度

- ★ 「知っている」が 25.8%，「知らない」が 74.2%と周知度は低い。

(7) 指定区域での建築規制について

- ★ 「将来の道路予定地としてやむをえない制限である」が 29.7%ともっとも多い。続いて「制限によって受ける損失に対して、補償すべきである」が 21.6%，「制限を緩和すべきである」が 10.4%で、「制限を撤廃すべきである」が 3.2%あった。また、「都市計画道路」についての周知度が低く「わからない」が 33.3%もあった。

【地域社会】

(1) コミュニティの範囲

- ★ 「町会・自治会の地域」が 27.2%とっとも多く、続いて「隣り近所」が 20.5%である。以下「日常の買物をする地域」が 16.3%，「新宿区全体」が 10.7%などである。

(2) 近所付き合いの程度

- ★ 「挨拶をかわす程度」が 36.8%，「立ち話をする程度」が 29.7%と多かった。他には「お互いの家に行き来している」が 12.3%，「困った時は助け合う程親しい」が 6.6%であった。これに対して「ほとんど付き合っていない」が 10.4%，「付き合っていない」が 3.8%である。
- ★ 付き合いのきっかけとしては、「近所なので自然に」が 222 件と圧倒的に多く、続いて「昔から住んでいるので」が 85 件、「子供を通じて」が 61 件、「同じ建物に住んでいるので」が 28 件などである。
- ★ 付き合わない理由としては、「仕事・学校で時間がない」が 34 件、「面倒だ」

が13件、「機会がない」が11件、「引っ越しして来たばかりなので」が10件などである。

(3) 地域社会の役割について

★ 「隣り近所の人たちが気を付けるべきだ」が33.4%と多かった。以下、「だれか親戚の人などが気を付けるべきだ」が20.5%,「役所など行政機関が面倒を見るべきだ」が15.9%の順であった。これに対して、「気の毒だとは思うが何もできない」が14.4%,「個人的な事情があってのことだから仕方がない」が9.8%などという声も聞かれた。

(4) 自分の地域に欲しい施設

★ 第1位へは「公園・児童遊園」の29.3%である。続いて「運動場」が25.5%,「図書館」が16.6%,「体育館」が14.3%,「健康相談所」が12.1%などの順である。

【児童・青少年】

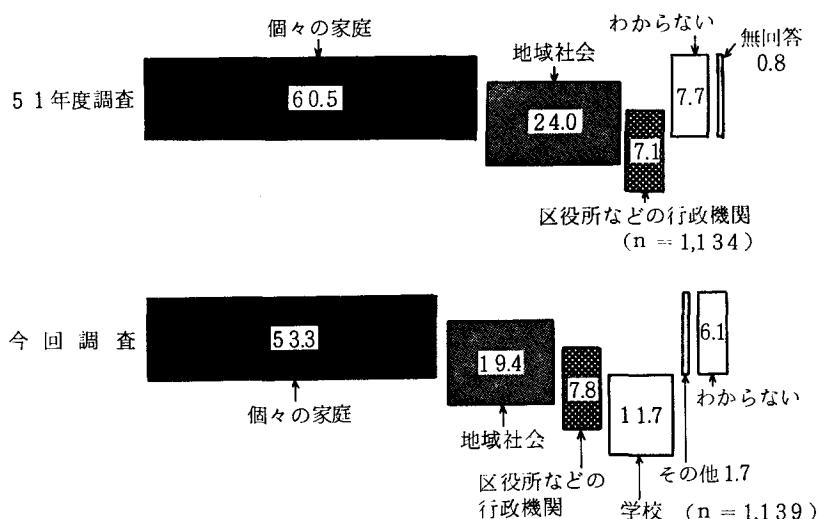
(1) 國際児童年の周知度

★ 「知っている」という回答が83.9%に達した。

(2) 青少年の環境づくりの責任

★ 「個々の家庭」が53.3%と過半数を占め、子どもの教育は第一に親の責任、という考え方の多いことを示している。

★ 以下「地域社会」19.4%,「学校」11.7%,「区役所などの行政機関」7.8%という結果である。



(3) 子どもに望むもの

- ★ 「責任感」が 29.9%と最も多く、以下、「社会道徳」(27.4%)、「自主性」(23.5%)、「礼儀作法」(21.5%)、「忍耐力」(20.7%)の順である。
- ★ 「豊かな情操」(8.7%)や「自己表現力」(3.7%)、「親切心」(14.0%)といった情緒的・心情的な項目は下位にあり、最近の子ども達に精神的強靭さを求める傾向が強いといえよう。

(4) 子どもに対する地域社会の責任

- ★ 「当然のことだ」という意見が 43.1%を占める。
- ★ 一方、「個人主義化しているので実際にはむずかしい」という人が 38.0%おり、実行の難しさが考えられよう。

(5) 「子どもの午後」について

- ★ 「ぜひ設けるべきだ」(21.9%)と「できれば設けるべきだ」(27.1%)とを合わせて、49.0%と半数近くが『設けるべきだ』と支持意向を示している。
- ★ 「それぞれの考えがあるので、実際にはむずかしい」という人が 25.5%おり、ここでも実現には種々の調整が必要であることが読みとれよう。

(6) 地区青少年対策委員会の周知度

- ★ 周知度は 30.8%であり、あまり高い数字を示していない。

(7) 地区青少年対策委員会活動への参加意思

- ★ 「委員として積極的に参加したい」は 0.7%と積極参加は極めて少ない。
- ★ 「呼びかけがあれば参加したい」は 23.6%であった。

(8) 区の児童・青少年事業への要望

- ★ 「スポーツをする機会をもっと与える」という意見が 26.2%で最も多く、頭でっかちの子供や体力のない子供の多い現代社会への一つの批判ともうけとれよう。
- ★ 以下、「非行化・自殺の防止」(13.4%)、「公園・児童遊園などの遊び場を充実する」(13.0%)、「学校教育の充実」(10.4%)の順である。

【婦人問題】

(1) 女性の職業について

- ★ 「ぜひ持つべきだ」(14.7%)と「条件が許す限り持つべきだ」(57.3%)を合わせて『持つべきだ』とする人が 72.0%いた。
- ★ 男性に対して『身近な女性』、女性に対して『自分自身』とそれぞれ条件をつけ

て聞き直すと、一般論としては《持つべきだ》としながら、条件をつけると《持たない方がよい》と回答した人が、男性は 6.0 %、女性は 9.2 %いる。

(2) 女性が職業を持つ場合の障害

★ 「家庭の潤いがなくなる」が 30.4 %と最も多く、以下、「出産・育児」(28.5 %)、「家族の理解・協力がない」(24.1 %)と家庭内の問題が上位にあがっている。

★ 以下、「職種が限定されている」(22.1 %)、「職業意識が低い」(17.6 %)、「職場での差別待遇がある」(13.8 %)の順である。

(3) 女性の社会活動について

★ 「ぜひやるべきだ」は 15.0 %、「条件が許す限りやるべきだ」は 57.8 %であり、職業に対する意見とほぼ同率の結果を示した。

(4) 女性のための事業への要望

★ 上位 5 項目は順に、「保育事業・家庭福祉員の拡充」(13.1 %)、「講座・講習会の充実」(12.6 %)、「相談窓口の拡充」(10.4 %)、「技術・技能訓練」(9.9 %)、「母子家庭などに対する生活援助・各種資金・手当の充実」(9.7 %)である。

★ 「特にない」が 32.1 %と高率であったが、男性全般、女性高年層に多く、婦人問題に対する関心の低さを示しているといえよう。

【区民保養所】

(1) 区民保養所の利用度と周知度

★ 周知度は 65.6 %、うち利用したことのある人は 8.0 %である。

★ 利用の理由は、「料金が安い」が 37.4 %と最も多く、「設備がよい」の 20.9 %が続いている。

★ 利用したことのない理由としては、「申し込みがめんどう」(23.6 %)と「希望の日がとれない」(14.6 %)の 2 項目に集中しており、申し込み方法に何らかの改善策が必要であるといえよう。

【区政への関心・要望】

(1) 区政への関心の有無

★ 『関心がある』が 50.0%，『関心がない』が 36.0% である。『関心がある』のうち、「非常に関心がある」が減少し、「少しあは関心がある」が増えている。

★ 過去 5 か年の調査結果との比較は次の表のとおりである。

	非常に関心がある	少しあは関心がある	あまり関心がない	ほとんど関心がない
今 回 調 査	9.3%	40.7%	36.0%	11.2%
53年 7月調査	12.5%	37.9%	36.4%	11.1%
52年 7月調査	16.4%	36.0%	33.5%	10.3%
51年 9月調査	17.9%	40.9%	30.7%	8.1%
50年 9月調査	11.7%	33.3%	38.1%	12.7%
49年 9月調査	11.7%	34.7%	36.3%	12.4%

(2) 区政に関する情報源

★ 「新宿区広報」が 72.6% と圧倒的に多い。以下「区議会だより」が 19.5%，「新聞・テレビ・ラジオ」が 15.2%，「町会・自治会の会合や回覧板」が 15.0% などである。

	新宿区 広 報	区議会 だより	新聞やラジ オ・テレビ	町会・自治会な どの会合や回覧 板	わたしの便利帳 区政要覧や パンフレット
今 回 調 査	72.6%	19.5%	15.2%	15.0%	9.4%
53年 7月の調査	83.2%	18.2%	15.4%	14.1%	11.0%
51年 9月の調査	77.8%	19.6%	20.8%	25.2%	16.3%
50年 9月の調査	74.6%	21.6%	26.5%	18.2%	16.0%

(3) 「新宿区広報の到達状況」

★ 「届いている」が 87.8%，「届いていない」は 4.2% である。他に「6紙をと
っていない」が 3.4% あった。

- ★ 広報紙の閲読状況については、「よく読む」が28.2%、「ざっと読む」が48.1%と《読む》が76.3%である。これに対して「あまり読まない」が20.3%、「全く読まない」が2.8%と《読まない》は23.1%である。
- ★ 広報紙に対する意見・要望としては、「よくできている」が22件、「今ままでもよい」が7件など比較的好評。他には「ページ数の増」や「紙面の拡大」などを望む事も聞かれた。

	届いている
今回調査	87.8%
53年7月の調査	90.9%
52年7月の調査	87.6%
51年9月の調査	89.2%
50年9月の調査	88.1%
49年9月の調査	86.9%
48年9月の調査	85.3%

	閲読率
今回調査	76.3%
53年7月の調査	80.5%
52年7月の調査	81.8%
51年9月の調査	83.8%
50年9月の調査	83.3%
49年9月の調査	80.0%
48年9月の調査	79.2%

(4) 区長名の周知度

- ★ 「知っている」（正答）が55.0%，「知っている」（誤答）が5.5%，「知らない」が39.5%である。

(5) 新宿文化センターの周知度

- ★ 「知っている」が50.6%，「知らない」が49.4%と周知度は低い。

(6) 希望する催し物の種類

- ★ 新宿文化センターでどのような催しを行ってほしいかは、第1位「映画会」（24.3%），第2位「各種講座・講習会」（21.8%），第3位「美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会」（21.2%），第4位「ポピュラー音楽会」（20.3%），第5位「クラシック音楽会」（17.4%），第6位「浪曲・落語・漫才などの大衆芸能」（16.3%），第7位「新劇・歌舞伎などの演劇」（16.1%）など

★ なお、前回調査との比較は次の表のとおりである。（5位まで）

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
今 回 調 査	映 画 会 2 4 . 3 %	各 種 講 座 ・ 講 習 会 2 1 . 8 %	美 術 ・ 書 の 展 示 会 2 1 . 2 %	ポ ピ ュ ラ ー 音 楽 会 2 0 . 3 %	クラ シック 音 楽 会 1 7 . 4 %
53年 7月調査	各 種 講 座 ・ 講 習 会 3 5 . 6 %	美 術 ・ 書 の 展 示 会 2 9 . 5 %	映 画 会 2 6 . 0 %	浪 曲 ・ 落 語 ・ 漫 才 な ど 大 衆 芸 能 1 8 . 0 %	クラ シック 音 楽 会 1 7 . 4 %
52年 7月調査	浪 曲 ・ 落 語 ・ 漫 才 な ど 大 衆 芸 能 2 9 . 9 %	新 劇 ・ 歌 舞 伎 な ど 演 剧 2 7 . 4 %	ポ ピ ュ ラ ー 音 楽 会 2 6 . 4 %	映 画 会 2 5 . 9 %	クラ シック 音 楽 会 2 4 . 3 %

の順である。

(7) 区の事業への要望

★ 第1位～第3位までの合計比率での上位5位は第1位「震災対策」の26.5%（要望度第1位），第2位「環境衛生」の23.4%（要望度5.0.5 第2位），第3位「緑化対策」の22.7%（要望度4.7.4 第3位），第4位「公園・児童遊園の整備・拡充」の20.3%（要望度4.2.5 第5位），第5位「老人福祉」の19.8%（要望度4.2.6 第4位）の順である。

★ 前回までの「社会福祉対策」は今回調査では「老人福祉」，「低所得層や母子世帯福祉」，「心身障害者福祉」の3項目に分けて聞き，それぞれ，19.8%，8.3%，7.3%で合計35.4%と「社会福祉対策」への要望はかなり高い。

	今 回	53 年	52 年	51 年	50 年	49 年
防 災 対 策	—	3 2 . 6 %	2 0 . 7 %	3 2 . 3 %	1 9 . 8 %	2 5 . 1 %
環 境 衛 生	2 3 . 4 %	3 2 . 0 %	2 5 . 8 %	2 3 . 9 %	2 7 . 2 %	1 6 . 3 %
社会福祉対策	—	3 0 . 0 %	2 8 . 0 %	3 0 . 4 %	3 5 . 5 %	3 7 . 6 %
緑 化 対 策	2 2 . 7 %	2 4 . 4 %	2 5 . 2 %	2 5 . 0 %	2 0 . 6 %	2 3 . 5 %
道 路 の 整 備	1 3 . 3 %	2 2 . 8 %	1 9 . 9 %	1 8 . 2 %	2 0 . 4 %	1 7 . 1 %
公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 拡 充	2 0 . 3 %	2 2 . 6 %	2 0 . 7 %	2 3 . 5 %	2 0 . 8 %	2 2 . 2 %
公 害 対 策	1 2 . 3 %	1 7 . 6 %	1 6 . 6 %	2 5 . 7 %	2 7 . 5 %	2 7 . 1 %
交 通 安 全 対 策	1 1 . 9 %	1 7 . 6 %	2 0 . 9 %	2 1 . 8 %	2 3 . 8 %	2 3 . 0 %
区 民 の た め の 施 設 の 整 備	1 0 . 9 %	1 5 . 2 %	1 6 . 6 %	1 2 . 1 %	1 1 . 1 %	1 3 . 2 %
学 校 教 育 施 設 の 整 備	1 0 . 1 %	1 4 . 4 %	1 4 . 1 %	1 1 . 7 %	1 5 . 5 %	1 2 . 6 %

注：「防災対策」は今回調査では「震災対策」と「水害対策」の2項目，「社会福祉対策」は「老人福祉」，「低所得層や母子世帯福祉」，「心身障害者（児）福祉」の3項目に分けて質問した。

調査結果の分析

I . 定住性

-
1. 居住年数
 2. 定住意思
 3. 住みよさ
-

【ライフ・ステージ】

- * 婚前期 結婚前の独身者
 - * 家族形成期 子どもがいない若夫婦
の夫あるいは妻
 - * 家族成長期(A) 結婚し乳・幼児
がいる親
 - * 家族成長期(B) 小・中学生がいる親
 - * 家族成長期(C) 高校・大学生がいる親
 - * 家族成熟期 学校教育を終えた
独身の子どもがいる親
 - * 老年期(A) 子どもが結婚して
一緒に住んでいる親
 - * 老年期(B) 子どもが独立して
2人だけになった親
 - * 老年期(C) 子どもが独立して
1人だけになった親
-

調査結果の分析

I. 定住性

《設問とまとめ》

1. 居住年数

Q 1. あなたが今の所に住むようになったのは、いつ頃からですか。 (1A)		
		N = 1,139
1. 戦前から	8.5%	5. 昭和46年～50年 17.2%
2. 終戦～昭和30年	23.4%	6. 昭和51年～53年 21.5%
3. 昭和31年～40年	14.2%	7. 54年以降 4.0%
4. 昭和41年～45年	11.2%	

2. 定住意思

Q 2. これからも引き続いて、新宿区にお住まいになりますか。 (1A)		
		N = 1,139
1. 永住するつもり		45.3%
2. 当分はここに住むつもり (5～10年位)		29.9%
3. できたら区外に転出したい (5年以内に)		6.8%
4. 近いうちに区外に転出するつもり (1年以内に)		4.6%
5. わからない		13.3%

3. 住みよさ

Q 3. 現在の新宿区は「住みよい街」だと思いますか。 (1A)		
		N = 1,139
1. 住みよい	30.2%	4. 住みにくい 2.6%
2. まあ住みよい	45.0%	5. わからない 9.7%
3. あまり住みよくない	12.5%	

<p>↓</p> <p>S Q 1. [Q 3で1, 2と答えた人に]</p> <p>住みよい理由は何ですか。(F A)</p> <p>N = 780</p>	<p>↓ ↓</p> <p>S Q 2. [Q 3で3, 4と答えた人に]</p> <p>住みにくい理由は何ですか。</p> <p>(F A) N = 190</p>
--	--

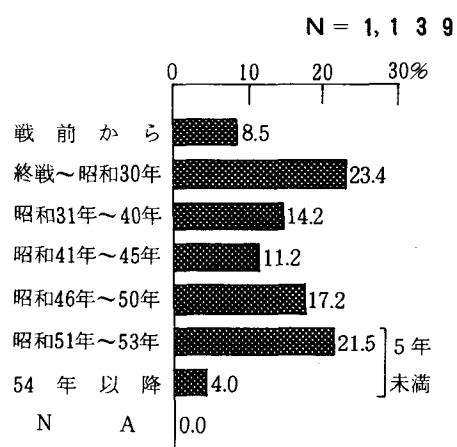
この章では、区民の居住年数や定住意志、住みよさなどを尋ね、区民の新宿区に抱いている定住性を探った。「戦前から」が1割足らずである。また「昭和51年～53年」、「54年以降」を合わせた居住年数が《5年未満》の短期居住者が4人に1人の割合となっている。他区と比較しても短期居住者の多い区の部類に入るといえよう。定住意思については、「永住するつもり」(45.3%)と「当分はここに住むつもり」(5～10年位)(29.9%)を合わせた《定住意思ある者》が7割強を占めた。これに対して「できたら区外に転出したい」(5年以内に)(6.8%)と「近いうちに区外に転出するつもり」(1年以内に)(4.6%)を合わせた《転出意思ある者》は、わずか1割となっている。住みよさについては、「住みよい」(30.2%)と「まあ住みよい」(45.0%)を合わせた《住みよい派》は7割強を占めた。これに対して「あまり住みよくない」(12.5%)と「住みにくい」(2.6%)を合わせた《住みにくい派》は1割強である。《住みよい派》の人たちに理由を聞いたところでは、「交通の便がよい」がもっとも多く、「生活しやすい」、「環境がよい」、「静かである」、「住みなれている」、「買物に便利」などと答えた。《住みにくい派》の人たちは「騒音がひどい」、「物価が高い」、「建てこんでいて、人口が多い」、「環境が悪い」などが多かった。

《分析》

図1-1 居住年数

I-1 居住年数

調査対象者の居住年数は、「戦前から」が8.5%、「終戦～昭和30年」が23.4%、「昭和31年～40年」が14.2%、「昭和41年～45年」が11.2%、「昭和46年～50年」が17.2%、「昭和51年～53年」が21.5%、「54年以降」が4.0%であった(図1-1)。



「戦前から」住んでいる人は1割以下と非常に少ない。これに対して「54年以降」(4.0%)と「昭和51年～53年」(21.5%)を合わせた居住年数が《5年未満》の短期居住者が25.5%と4人に1人の割合となっている。

「戦前から」と《5年未満》の短期居住者について各属性別で特徴をみると以下のとおりである(表1-1)。

◎ 戦前から(区全体 8.5%)

男女の高年層、自営業・事業主、無職、定住意思の強い人に多い。

◎ 5年未満(区全体 25.5%)

男女の若年層、勤め人、学生、転出意思を持つ人に多い。

次に、48年調査時からと今回までの比較をみると表1-2のとおりである。「昭和51年以降」が51年9月調査で6.0%，52年7月調査で13.3%，53年7月調査で20.5%，54年6月調査で21.5%と増加を続けている。他の項目では、「昭和46年～50年」が減少傾向にある。その他では一定していない。なお、今回調査から「54年以降」という項目を新たに設けており、4.0%という結果であった。

表1-1 「戦前から」、「5年未満」の多い属性

	「戦前から」	「5年未満」
全体	8.5%	25.5%
地域別	戸塚地域 (13.8%) 落合第二地域 (13.2%)	簗崎町地域 (33.3%) 落合第一地域 (40.6%)
性年代別	男60代以上 (21.0%) 女60代以上 (20.8%) 男40代 (13.2%)	男20代 (49.6%) 女20代 (50.0%) 女30代 (31.3%)
定住意思別	永住するつもり (16.1%)	当分は住むつもり (35.8%) 区外に転出したい (34.7%) 近いうちに区外に転出するつもり (65.4%)
職業別	自営業・事業主 (14.4%) 無職 (15.4%)	事務・技術職 (31.1%) 労務・サービス職 (34.5%) 学生 (55.7%)
住居形態別	一戸建持家 (15.9%)	民間木造アパート (44.1%) 鉄筋アパート・マンション (39.9%) 社宅・官舎 (58.6%) 寮・間借り・住込み (58.0%)

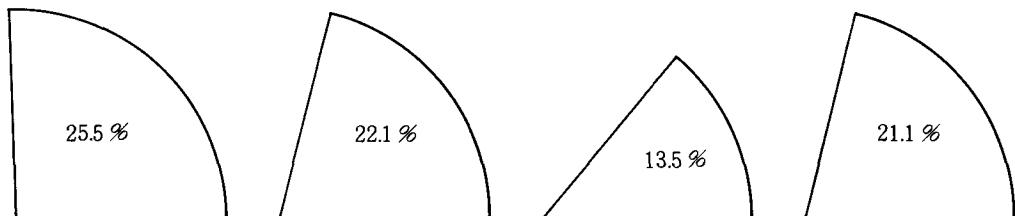
表1-2 居住年数－前回までとの比較

調査年月 ＼居住年月	戦前から	終戦～昭和30年	昭和31年～40年	昭和41年～45年	昭和46年～50年	昭和51年以降	昭和54年以降
54年6月	8.5%	23.4%	14.2%	11.2%	17.2%	↑21.5%	4.0%
53年7月	7.0%	26.3%	13.2%	10.2%	22.5%	20.5%	—
52年7月	9.1%	24.4%	13.2%	12.0%	28.0%	13.3%	—
51年9月	9.1%	24.2%	13.1%	12.4%	35.3%	6.0%	—
50年9月	8.2%	25.5%	15.0%	15.3%	35.8%	—	—
49年9月	8.8%	↓27.5%	16.3%	16.8%	30.1%	—	—
48年9月	↓11.6%	25.7%	↓17.1%	↓20.3%	24.8%	—	—

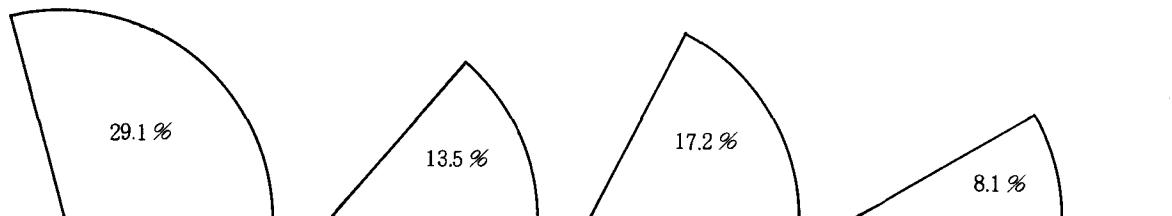
参考までに、最近同じ様な調査をした7つの区の《5年未満》の短期居住者への割合は図1-2のとおりである。新宿区の短期居住者の割合は、他区に比べても、多いと言えよう。

図1-2 《5年未満》短期居住者の割合－他区との比較

[新宿] (S54年6月調査) [杉並] (S54年6月調査) [大田] (S54年7月調査) [港] (S54年6月調査)



[中野] (S53年9月調査) [台東] (S53年11月調査) [板橋] (S53年12月調査) [千代田] (S53年11月調査)



I - 2 定住意思

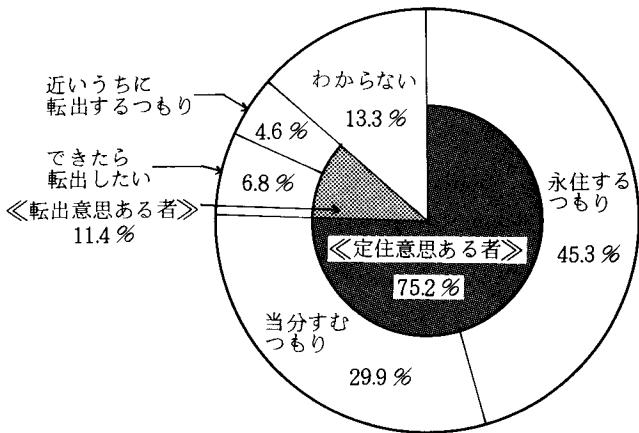
定住意思について聞いたところ、「永住するつもり」が 45.3%，「当分はここに住むつもり」（5～10 年位）が 29.9% と両者を合わせた《定住意思ある者》が 75.2% と 4 分の 3 を占めている。これに対して、「できたら区外に転出したい」（5 年以内に）が 6.8%，「近いうちに区外に転出するつもり」（1 年以内に）が 4.6% で、この両者を合わせた《転出意思ある者》は、わずか 11.4% となっている（図 1-3）。

次に各属性ごとに《定住意思ある者》と《転出意思ある者》の特徴をみると表 1-3

表 1-3 《定住意思ある者》，《転出意思ある者》の多い属性

	《定住意思ある者》	《転出意思ある者》
全体	75.2%	11.4%
地域別	四谷地域（83.6%），筈町地域（84.6%），角筈・区役所地域（87.5%）	榎町地域（16.4%），若松町地域（17.3%），大久保地域（17.1%），柏木地域（17.0%）
性年 代別	男40代（84.9%），男50代（83.8%）， 男60代以上（86.3%），女30代（79.8%） 女40代（83.0%），女50代（82.2%）， 女60代以上（88.8%）	男20代（21.6%），女20代（21.9%）
住居形態別	一戸建持家（86.4%）	一戸建借家（19.1%），民間木造アパート（19.1%），社宅・官舎（15.5%）， 寮・間借り・住込み（27.5%）
住みよ さ	住みよい（84.0%），まあ住みよい（79.7%）	あまり住みよくない（21.9%），住みにくい（23.4%），わからない（29.7%）

図 1-3 定住意思
N = 1,139



のとおりである。

◎ 定住意思ある者（区全体 7.5.2 %）

四谷，簗笥町，角筈・区役所の各地域，男女の中・高年層，持家，《住みよい》と考えている人に多い。

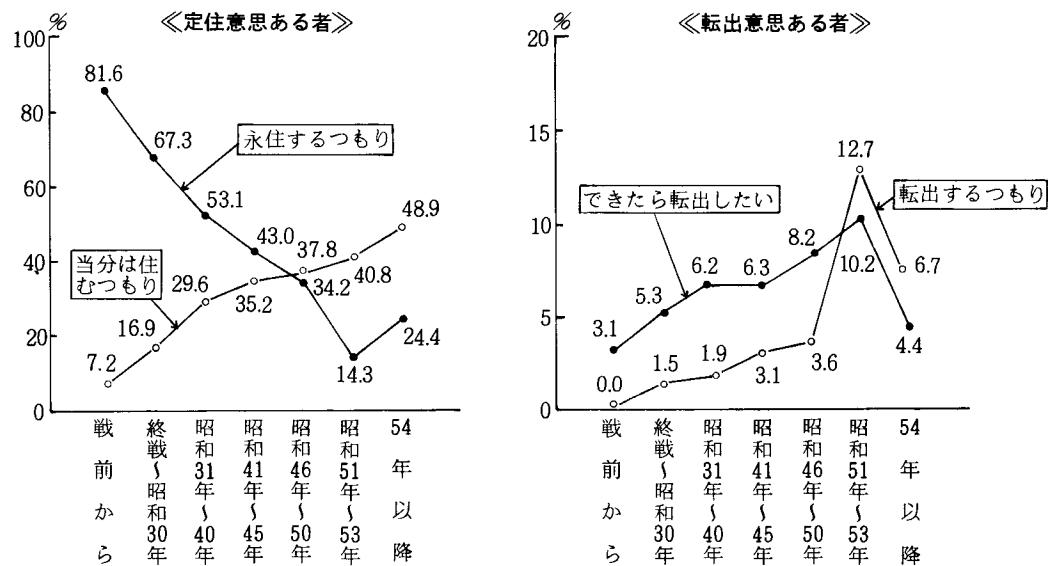
◎ 転出意思ある者（区全体 1.1.4 %）

榎町・若松町・大久保・柏木の各地域，男女の若年層，社宅やアパートの人，《住みにくい》と考えている人に多い。

定住意思と居住年数の関係をみると図1-4のとおりである。《定住意思ある者》の「永住するつもり」は居住年数の長い人は多く、「当分は住むつもり」は、逆に居住年数の短い人は多くなっている。また《転出意思ある者》の「できたら転出したい」，「転出するつもり」は、ほぼ居住年数の長い人は多くなっている（但し、「54年以降」で「できたら転出したい」，「転出するつもり」共に減少しているのは、住み始めたばかりで《転出意思》をはっきりと持つに至っていない人が多いためと考えられる）。

図1-4 定住意思と居住年数

N = 1,139



I - 3 住みよさ

住みよさについて聞いたところ、「住みよい」が30.2%、「まあ住みよい」が45.0%で、両者を合わせた「住みよい派」は、75.2%と4分の3を占めた。これに対して「あまり住みよくない」が12.5%、「住みにくい」が2.6%と「住みにくい派」が15.1%である（図1-5）。

各属性別での特徴は次のとおりである（図1-6, 1-7, 表1-4参照）。

◎ 住みよい派（区全体75.2%）

四谷，筍町，若松町，落合第二の各地域，男女の中高年層，持家，また，比較的長く住んでいる人に多い。

◎ 住みにくい派（区全体15.1%）

榎町，大久保，柏木，落合第一の各地域，女性の若年層，男性の中年層，借家，社宅，民間アパート，短期居住者などに多い。

図1-5 住みよさ
N = 1,139

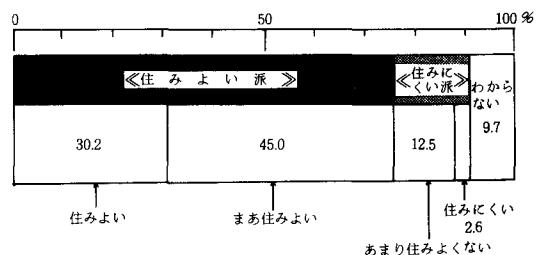
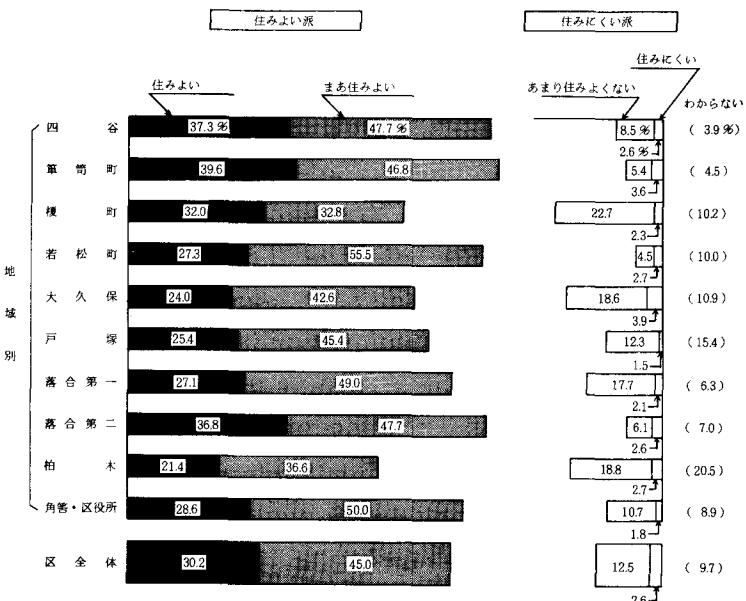


図1-6 地域別の住みよさ

N = 1,139



また、住みよさについて、過去6か年と比較すると図1-8のとおりである。同様の設問の前回53年調査と比べると、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせた《住みよい派》は、4.4%の減(79.6%→75.2%)となっており、「あまり住みよくない」と「住みよくない」を合わせた《住みにくい派》は、同率(15%)で変わっていない。

(1) 住みよい理由、住みにくい理由

次に《住みよい派》の人にその理由を聞いたところ、「交通の便がよい」(323件)、「生活しやすい」(136件)、「静かである」(72件)、「住み慣れている」(61件)、「環境が良い」(40件)、「買物に便利」(28件)などである(表1-5)。また《住みにくい派》の人の理由は、「騒音がひどい」(42件)、「物価が高い」(31件)、「建てこんでいる、人口が多い」(20件)、「環境が悪い」(16件)などである(表1-6)。

表1-4 性年代別・住居形態別の《住みよい派》、《住みにくい派》

	《住みよい派》	《住みにくい派》
全体	75.2%	15.1%
性年代別	男60代以上(84.0%) 女60代以上(84.0%) 男50代(79.4%) 女50代(79.6%)	女20代(22.5%) 男30代(19.5%) 男40代(19.8%)
住居形態別	一戸建持家(79.3%) 鉄筋アパート・マンション(79.3%)	一戸建借家(28.6%) 社宅・官舎(24.1%) 寮・間借り・住み込み(24.6%) 民間木造アパート(19.6%)

図1-7 居住年数別の《住みよい派》、《住みにくい派》

N = 1,139

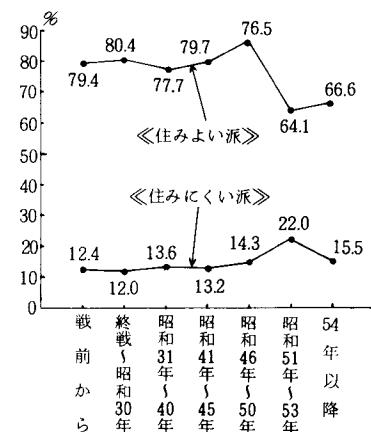


図1-8 住みよさ—過去6か年の比較

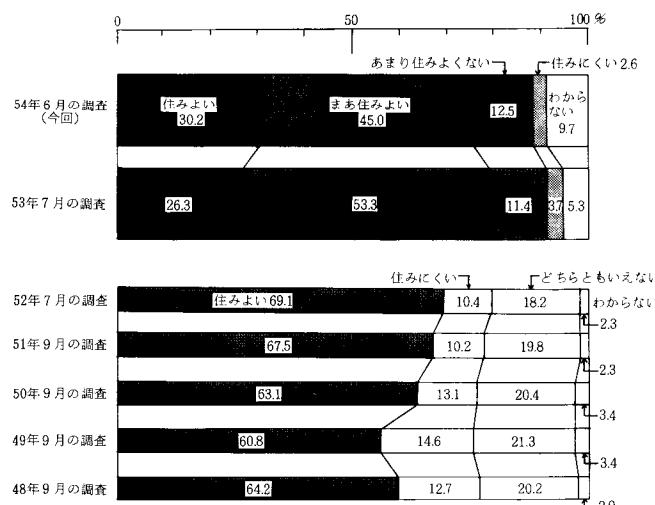


表1-5 住みよい理由

住みよい 理由(総件数 780)		地 域	四 箇 谷	楓 町	若 松 町	大 久 保 町	戸 塚	落 合 第一	落 合 第二	柏 木	角 筈 ・ 区 役 所	合 計
(19.2%)	環境がよい	10	4		2	3	3	7	6	5		40
	静かである	9	5	12	10	8	6	9	12	1		72
	教育環境がよい	2			1		1	3				7
	公園が多い			2					2		1	5
	交通量が少ない	2					1					3
	住宅街なので			1					4			5
	緑が多い				2		2	4	1	2		11
	施設が整っている			1				3	1	1	1	7
小 計		23	9	16	15	11	13	26	26	9	2	150
(67.0%)	交通の便がよい	45	34	23	45	31	32	22	33	42	16	323
	通勤・通学に便利				10	4	4	2	2	1		23
	生活しやすい	30	1	12	25	22	27	6	1	12		136
	買物に便利	4	3	3	6	2	1	3	3	3		28
	仕事上都合がよい	2	1	1		1	1	1		1	3	11
	病院が近い			1					1			2
小 計		81	39	40	86	60	65	34	40	59	19	523
(13.7%)	近所付き合いがよい	6	1	2	1	1		1	2	1		15
	住み慣れている	13	10	3	10	8	5	2	5	3	2	61
	福祉が行届いている	1						1	1			3
	都會だから	2										2
	場所がよい	1	1									2
	貧富の差がない	1										1
	物価が安い			1						2		3
	水質が良い								1			1
	特に不便を感じない	9		1				2	1	1	3	17
小 計		33	12	7	11	11	5	6	10	5	7	107

表1-6 住みにくい理由

住みにくい地域 理由(総件数190)		四 谷	簾 町	若 松 町	大 久 保 町	戸 塚	落 合 第一	落 合 第二	柏 木	角 筈 ・ 区 役 所	合 計	
環 境 (64.2%)	環 境 が 悪 い	2	2	3		2		1	4	1	15	
	騒 音 が ひ ど い	8	2	7	2	6	5	2	3	6	1	42
	空 気 が 汚 れ て い る				1		1	2	1	2		7
	交 通 混 雜 ・ 危 険	4			2	1	3					10
	緑 が 少 な い				4	1	1	1		3		10
	公 園 ・ 遊 び 場 少 な い						1		1	2		4
	日 当 り が 悪 い	1										1
	建 て こ ん で い る, 人 口 多 い	2		9	2	1	5			1		20
	商 店 ・ ビ ル 多 く 住 宅 地 で な い						1	1		1		3
	道 路 が 狹 い	2							3			5
利 便 性 (8.9%)	悪 臭			5								5
	小 計	19	4	31	6	15	13	6	7	19	2	122
	不 便 だ				2	2				1		5
	交 通 の 便 が 悪 い	2	2			2			1			7
	生 活 し に く い				1							1
土 地 柄 ・ そ の 他 (26.8%)	住 宅 事 情 悪 い					2	1	1				4
	小 計	2	2	3	6	1	1	1		1		17
	物 価 が 高 い	5	4	2	6	6	1	3	3	1		31
	風 紀 が 悪 い					7				1	1	9
	あ わ た だ し い									1	1	
	土 地 が 狹 い								1			1
	家 費 が 高 い	1				1		1	1			4
小 計	税 金 が 高 い	2		2						1		5
	小 計	8	4	4	6	14	1	4	5	3	2	51

II. 生 活 環 境

-
1. 縁の状況変化
 2. 公害の被害経験の有無
 3. 公害対策
 4. 近隣騒音
 5. 自宅付近の道路状態の評価
 6. 「都市計画道路」の見直し作業の周知度
 7. 指定区域での建築規制について
-

【ライフ・ステージ】

- * 婚前期 結婚前の独身者
- * 家族形成期 子どもがいない若夫婦
の夫あるいは妻
- * 家族成長期(A) 結婚し乳・幼児
がいる親
- * 家族成長期(B) 小・中学生がいる親
- * 家族成長期(C) 高校・大学生がいる親
- * 家族成熟期 学校教育を終えた
独身の子どもがいる親
- * 老年期(A) 子どもが結婚して
一緒に住んでいる親
- * 老年期(B) 子どもが独立して
2人だけになった親
- * 老年期(C) 子どもが独立して
1人だけになった親

II. 生活環境

《設問とまとめ》

1. 緑の状況変化

Q 4. あなたの住んでいる付近の緑の状況は、数年前にくらべて良くなつたでしょうか。
悪くなつたでしょうか。(1 A)

N = 1,139

- | | | | |
|----------|---------|--------------|---------|
| 1. 良くなつた | 1 2.1 % | 4. どちらともいえない | 1 2.6 % |
| 2. 変わらない | 3 4.1 % | 5. わからない | 1 3.5 % |
| 3. 悪くなつた | 2 7.7 % | | |

2. 公害の被害経験の有無

Q 5. あなたは公害の被害を受けたことがありますか。次の中から受けたものをいくつでも選んでください。〔回答票 1 提示〕(MA)

N = 1,139

- | | | | |
|---------|---------|-----------------|---------|
| 1. 大気汚染 | 2 2.1 % | 4. 悪臭 | 1 3.5 % |
| 2. 騒音 | 3 6.1 % | 5. その他 | 2.0 % |
| 3. 振動 | 1 9.1 % | 6. いずれも受けたことはない | 3 9.9 % |

3. 公害対策

Q 6. 公害対策として、区にどんなことをしてほしいと思いますか。次の中からとくに規制や指導などをしてほしいと思うものを2つ以内で選んでください。

〔回答票 2 提示〕(2 A)

N = 1,139

- | | |
|---------------------------|---------|
| 1. 工場・作業場から出るばい煙・騒音・振動・悪臭 | 9.8 % |
| 2. 建設工事にともなう騒音・振動 | 2 2.8 % |
| 3. 自動車の排気ガス・騒音・振動 | 4 0.5 % |
| 4. 日常生活における騒音・振動・悪臭 | 2 4.2 % |
| 5. 被害者に対する医療費の補償など救済制度の充実 | 1 3.3 % |
| 6. 公害防止資金貸付制度の充実 | 5.4 % |

7. 各種測定結果の公表やポスターによる P R	5. 0 %
8. その他	2. 5 %
9. 特にない	22.7 %

4. 近隣騒音

Q 7. 隣り近所からの騒音で迷惑を受けたことがありますか。次の中から主なものを2つ以内で選んでください。 [回答票3提示](2A) **N = 1,139**

01. テレビ・ステレオ	8.3 %
02. ピアノ・ギター	5.2 %
03. 話し声・歌声・泣き声	8.7 %
04. クーラーなど冷暖房機器の音	6.6 %
05. 階段や二階などの物音・足音	5.7 %
06. 自動車・オートバイ	22.9 %
07. チリ紙交換や物売りのスピーカー	16.7 %
08. 商店や飲食店からの音	4.0 %
09. 犬や猫のなき声	9.2 %
10. その他	4.0 %
11. 特にない	41.0 %

5. 自宅付近の道路状態の評価

Q 8. お宅の付近の道路の状態はいかがですか。 (1A) **N = 1,139**

1. たいへんよい	5.2 %	4. あまりよくない	28.8 %
2. よい	39.2 %	5. 非常によくない	4.3 %
3. どちらともいえない	21.4 %	6. N A	1.1 %

SQ [Q 8で4, 5と答えた人に] どんな点が不満ですか。次の中から主なものを2つ以内で選んでください。 [回答票4提示](2A) **N = 337**

01. 道が狭く災害時に不安である	38.7 %
02. 幹線道路が混雑する	6.6 %

03. 道路が狭く、車が走りづらい	1 7.0 %
04. バスが渋滞に巻き込まれて遅れる	3.4 %
05. 車による公害（騒音・振動・排ガス）がひどい	1 8.0 %
06. 狹い道に車がはいり込んで困る	3 9.8 %
07. 道路に歩道がなく歩きにくい	1 0.9 %
08. 道路に緑が少ない	5.6 %
09. 子供の通学路が危険である	7.7 %
10. その他	7.4 %
11. N A	1.3 %

6. 「都市計画道路」の見直し作業の周知度

Q 9. 現在、都と区が「都市計画道路」の見直し作業に入っていますが、知っていますか。

(1 A)

N = 1.139

1. 知っている	2 5.8 %	2. 知らない	7 4.2 %
----------	---------	---------	---------

7. 指定区域での建築規制について

Q 10. 法律で、「都市計画道路」に指定された区域では、3階建て以上の建物が建てられないために、住民に不満がでていますが、これについてどう思いますか。 (1 A)

N = 1.139

1. 将来の道路予定地としてやむをえない制限である	2 9.7 %
2. 制限によって受ける損失に対して、補償すべきである	2 1.6 %
3. 制限を緩和すべきである	1 0.4 %
4. 制限を撤廃すべきである	3.2 %
5. その他	1.8 %
6. わからない	3 3.3 %

この章では、緑、公害、騒音など、区民の生活環境に対する評価をたずねた。

その結果、緑の状況は悪化の傾向があり、公害は6割の人が被害を受けていることがわかった。緑の状況が悪くなったという意見が特に多いのは、四谷地域、大久保地域、柏木

地域であるが、公害についても同様の傾向がみられ、大久保、四谷両地域に被害が大きくなっている。なお、公害の内容としては、騒音、大気汚染、振動の順に被害経験が多く、過去の調査結果と比較すると大気汚染のみ減少傾向がみられるが、他の公害は増加の傾向を示している。

そこで区民の公害対策への要望をみると、自動車に対するものが最も多い。近隣騒音についても同様に自動車によるものが最も多く、排気ガス、騒音など車公害に対する施策が強く望まれる。

一方、自宅付近の道路状況については、満足派は半数弱であり、その不満は道の狭さによるものが圧倒的に多い。ただし、落合地区には、幹線道路の渋滞による不満が多くなっている。

ところで、都や区は現在「都市計画道路」の見直し作業を行っており、その指定区域内の建築制限を定めている。しかし、区民はこの見直し作業自体を4人に1人しか知らない。また、建築規制については、やむをえないと承認する意見は3割にすぎず、補償や緩和、あるいは撤廃を望む声の方が4割弱と多い。ただし、この問題に関しては3人に1人が「わからない」と答えており、周知度が高まることによって区民の意向が大きく変化することも予想される。なお、建築規制による損害に対する補償を求める声は、四谷および大久保両地域に多かった。

《分析》

II-1 緑の状況変化

住んでいる地域の緑の状況は、数年前に比べて良くなったかどうかを聞いたところ、「良くなった」が12.1%、「変わらない」が34.1%、「悪くなった」が27.7%、「どちらともいえない」が12.6%、「わからない」が13.5%であった。「変わらない」と答えた人の比率が全体の3分の1を占めているが、「良くなった」と答えた人に比べて、「悪くなった」の比率の大きさが目立ち、あきらかに悪くなっていると考えられる（図2-1）。

図2-1 緑の状況変化

N = 1,139

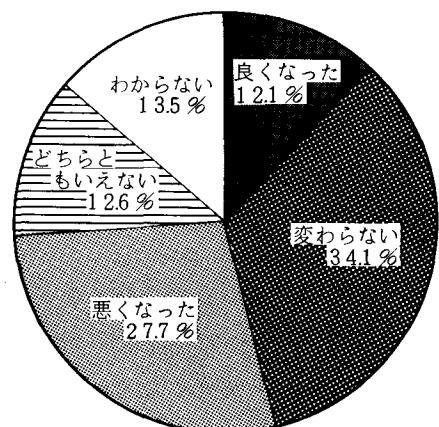


図 2-2 緑の状況変化

—過去3回の調査結果との比較

N = 1,139

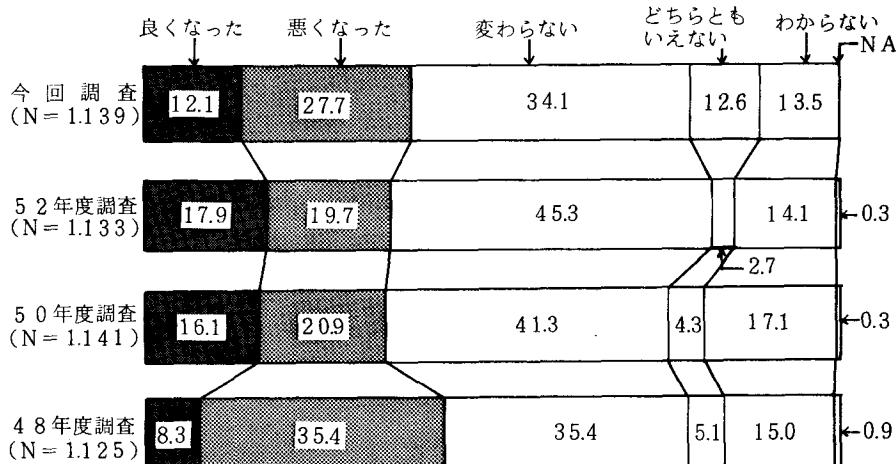


図 2-3 地域別の緑の状況変化

N = 1,139

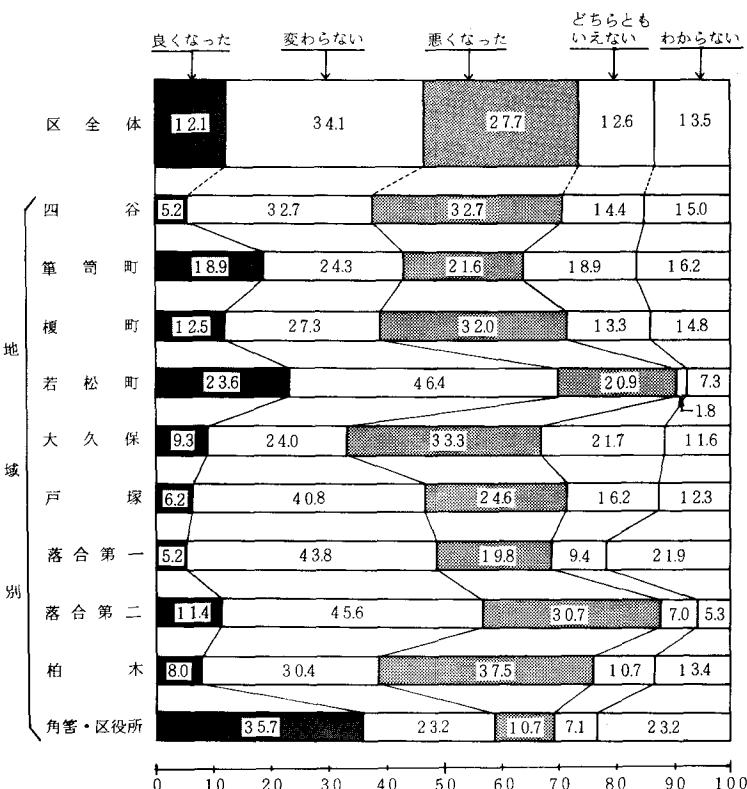
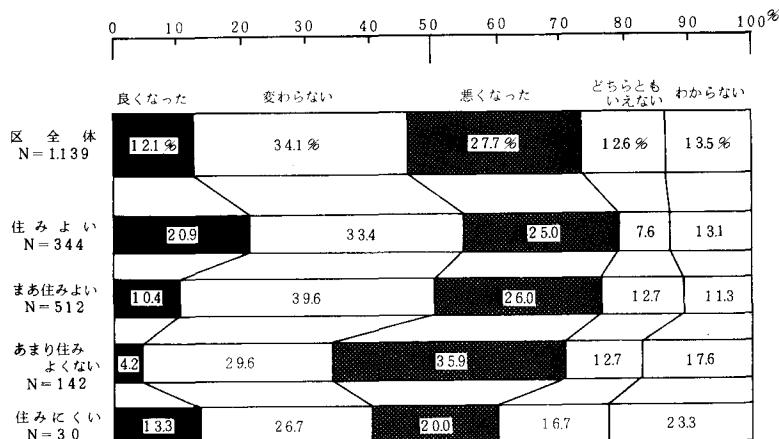


図 2-4 住みよさ別の緑の状況変化

N = 1,139



この結果を経年で追ったのが図2-2である。徐々に評価が好転しつつあった傾向が、今回でむしろ悪化している。これはどこから來るのであろうか。今回の評価を地域別にみたのが図2-3である。区北西部には大きな変化はみられないが、四谷、大久保、柏木の3地域で悪化現象が顕著である。

さらに、住みよさ別にみると、図2-4のとおり、ほぼ住みよいと思っている人ほど緑の評価も良いといえる。これは緑が快適な生活のための大きな要因であることを示すとともに、植物が生育できないような環境では人間もまた住みにくいのだということを表わしていよう。

II-2 公害の被害経験の有無

もっとも被害経験の多かったのは「騒音」で36.1%である。ついで「大気汚染」が22.1%，以下、「振動」が19.1%、「悪臭」が13.5%，「その他」が2.0%，また「いずれも受けたことがない」は39.9%である（図2-5）。

地域別に被害経験の有無をみると図2-6のとおりである。

大久保地域は、「大気汚染」、「騒音」，

図2-5 公害の被害経験の有無

N = 1,139

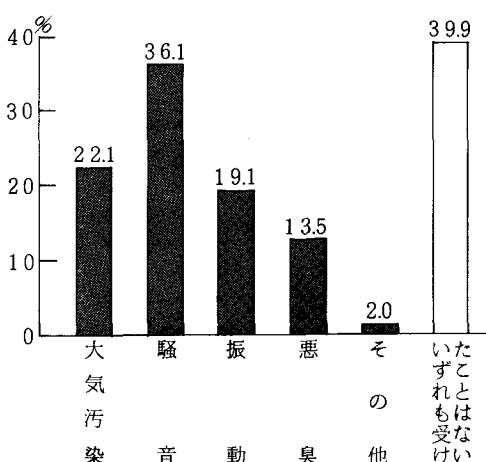


表 2-1 公害の被害経験の有無

—過去3回の調査結果との比較

	大気汚染	騒 音	振 動	悪 臭	その他の	いすれもうけてない
今 回	22.1%	36.1%	19.1%	13.5%	2.0%	39.9%
52年度	23.7%	34.1%	15.5%	11.2%	1.3%	44.9%
50年度	30.1%	32.0%	14.7%	13.1%	1.2%	43.4%
48年度	35.4%	37.0%	18.2%	13.2%	1.0%	35.0%

「振動」、「悪臭」の四項目に全てに対して、また、四谷地域も「大気汚染」を除く3項目に対して区全体の平均値を上回る比率を示しており、他地域に比べて公害が多いといえよう。なお、大久保地域での「大気汚染」、四谷地域での「騒音」に対する比率が目立って高いことにも注目される。これに対して「いすれも受けたことはない」は、角筈、区役所地域、榎町地域に多くなっている。

また、過去3回の調査結果と比較すると表2-1のとおり「大気汚染」のみ減少傾向がみられ、「騒音」と「振動」は増加している。

II-3 公害対策

公害対策として区に規制や指導をしてほしいものを選んでもらったところ、もっとも多かったのは「自動車の排気ガス・騒音・振動」で40.5%である。続いて、「日常生活における騒音・振動・悪臭」が24.2%、「建設工事にともなう騒音・振動」が22.8%などが上位を占め、以下、「被害者に対する医療費の補償など救済制度の充実」が

図 2-7 公害対策

N = 1,139

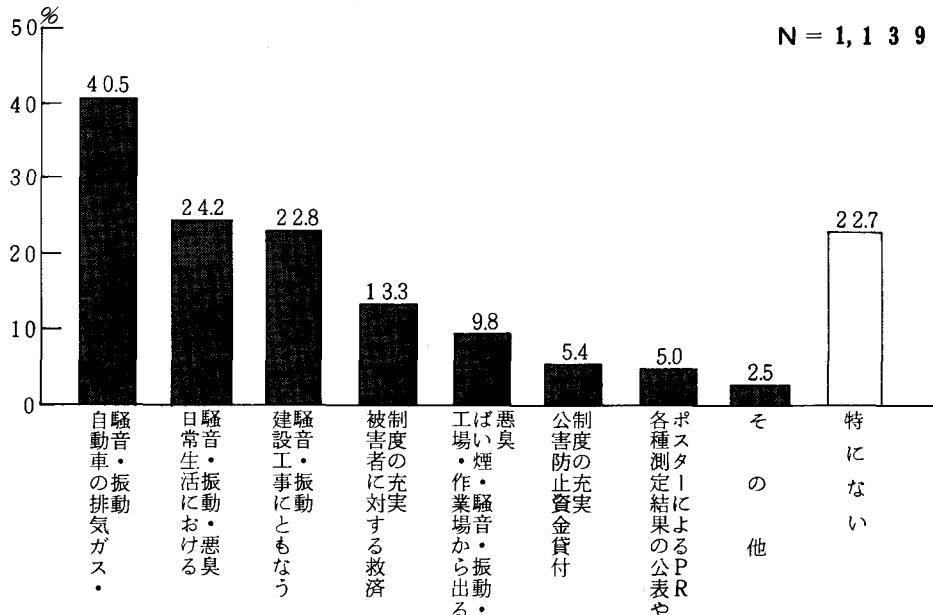
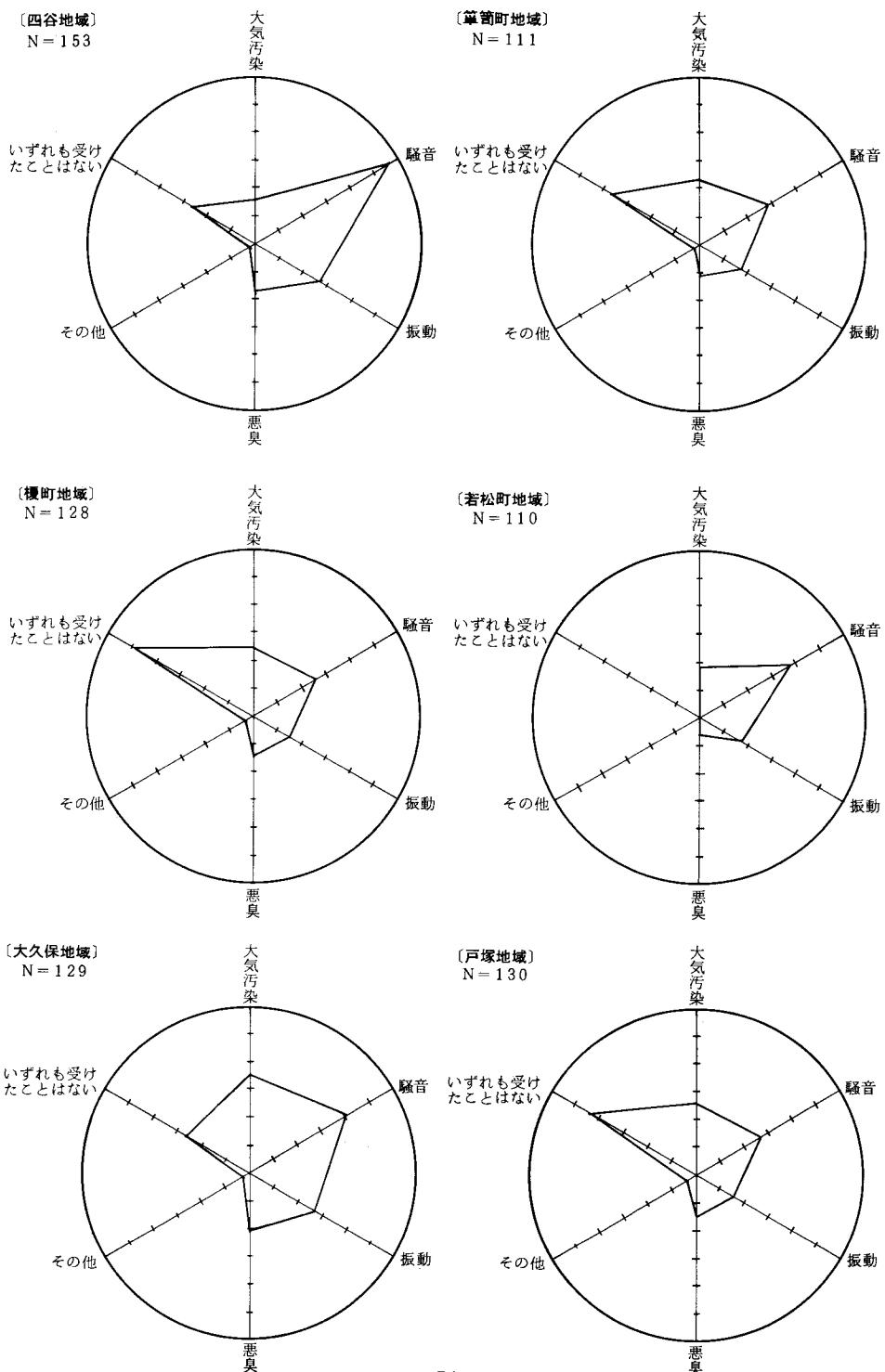
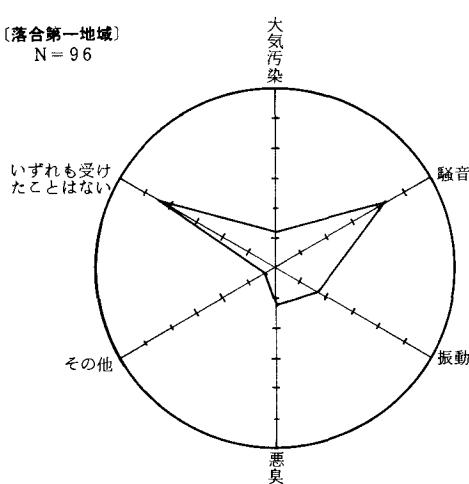


図 2-6 地域別の公害の被害経験の有無

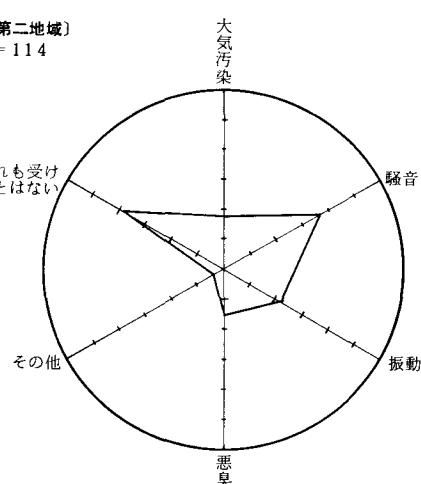
N = 1,139



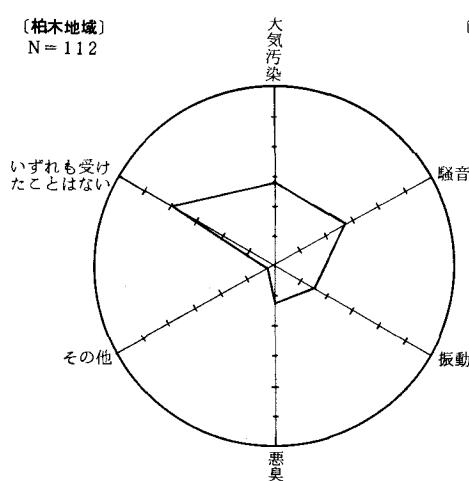
〔落合第一地域〕
N = 96



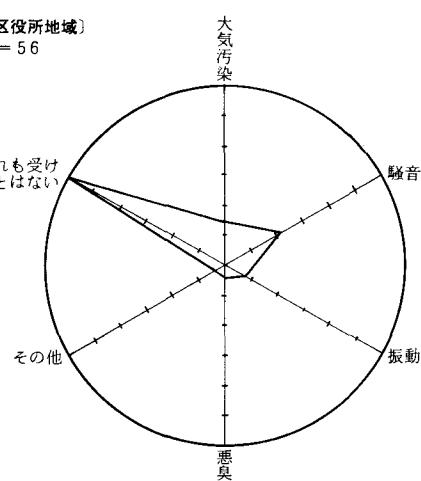
〔落合第二地域〕
N = 114



〔柏木地域〕
N = 112



〔角筈・区役所地域〕
N = 56



13.3%，「工場・作業場から出るばい煙・騒音・振動・悪臭」が9.8%，「公害防止資金貸付制度の充実」が5.4%，「各種測定結果の公表やポスターによるPR」が5.0%，「その他」が2.5%の順であった。また「特にない」は2.27%である(図2-7)。

地域別にその特徴をみると表2-2のとおりである。「特にない」の多い地域は、前回の公害の被害経験のない地域とほぼ一致している。

表2-2 地域別の公害対策

N=1,139

	自動車の排気ガス・騒音・振動	日常生活における騒音振動・悪臭	建設工事にともなう騒音・振動	被害者に対する医療費の補償など救済制度の充実	工場・作業場から出るばい煙・騒音・振動・悪臭	公害防止資金貸付制度の充実	各種測定結果の公表やポスターによるPR	特にない
区全体	40.5%	24.2%	22.8%	13.3%	9.8%	5.4%	5.0%	22.7%
多い地域	落合第二 (47.4%) 箕面町 (45.0%) 戸塚 (43.8%)	箕面町 (31.5%) 戸塚 (33.8%)	四谷 (30.7%) 若松町 (34.5%) 大久保 (30.2%)	四谷 (17.0%) 落合第二 (17.5%)	箕面町 (18.9%) 梗町 (14.8%)	若松町 (10.9%)	若松町 (9.1%) 落合第二 (9.6%)	梗町 (33.6%) 落合第一 (35.4%) 角筈・区役所 (41.1%) 柏木 (26.8%)

表2-3 公害被害と公害対策

	工場・作業場から出るばい煙・騒音・振動・悪臭	建設工事にともなう	騒音・振動	自動車の排気ガス・	騒音・振動	日常生活における騒音・振動・悪臭	度の充実	公害防止資金貸付制度の充実	PRやポスターによる各種測定結果の公表	その他の	特にない
区全体 N=1,035	12.3%	31.5%	52.4%	30.9%	14.4%	7.0%	5.3%	2.4%	6.8%		
大気汚染 N=252	11.9	26.6	☆57.1	25.4	15.1	6.7	5.6	2.0	9.5		
騒音 N=411	10.2	30.4	53.8	33.3	14.4	5.6	5.4	2.9	6.1		
振動 N=218	13.3	☆40.4	45.4	26.1	15.6	8.7	5.0	2.8	6.0		
悪臭 N=154	☆16.9	29.9	50.6	☆40.3	11.7	8.4	5.2	1.3	5.2		

注1：公害被害の「その他」「いずれも受けたことはない」を除く1,035人を基数とした。

2：基數が異なるため、区全体の数値は図2-7と一致しない。

3：☆印は比率の特に大きい項目

表 2-4 住みよさ別の公害対策

N=1,139

	臭 騒音・ 振動 から出 るばい・ 作業場 か・悪	建設工事にとも なう騒音・振動	自動車の排気ガス ・騒音・振動	ス・騒音 ・振動	日常生活における 騒音・振動・ 悪臭	被害者に対する 実地救済制度の充 実医療費の補償など の充実	公害防止資金貸 付制度の充実	によるPR 公表やポスター 各種測定結果の
住みよい	8.4	22.7	34.9	21.5	14.5	5.8	4.4	
まあ住みよい	8.8	24.0	41.4	23.0	13.1	6.1	5.7	
あまり住みよくない	13.4	19.7	47.2	29.6	15.5	4.2	3.5	
住みにくい	10.0	33.3	60.0	23.3	6.7	6.7	0.0	

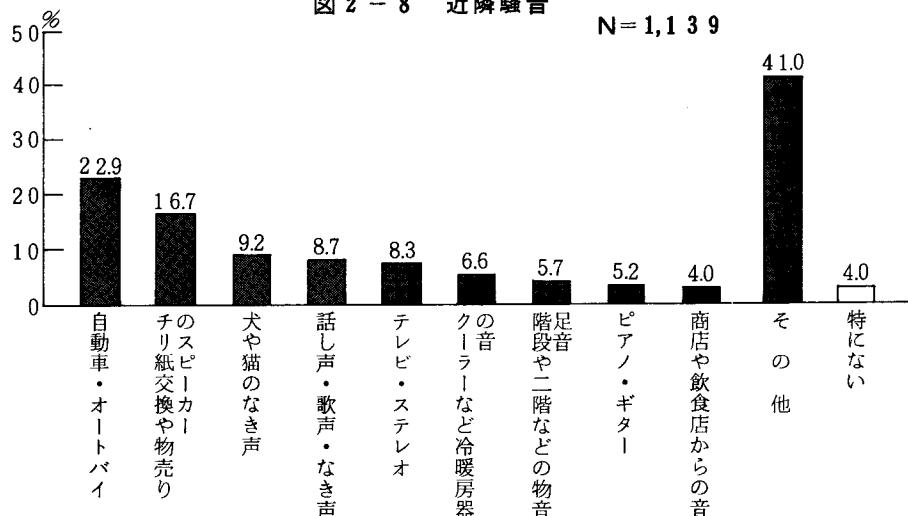
注：わからないを除く

ここで、公害被害と公害対策の関係をみたのが表 2-3 である。特に大きな比率を示す箇所には☆印をつけた。被害意識と要望の相関ではあるが、大気汚染は自動車、振動は建設工事、悪臭は工場および日常生活によるものが要因となっているものともうけとれよう。また、住みよさ別にみると、表 2-4 のとおり、住みにくいと感じている人はほど自動車の排気ガス・騒音・振動に対する対策を望んでおり、自動車公害が日常生活にいかに大きな害を与えていたかがうかがわれる。

II-4 近隣騒音

近隣騒音について聞いたところ、図 2-8 のとおり、「特がない」が 41.0 % と半数

図 2-8 近隣騒音 N=1,139



近い。騒音被害の内容としては、「自動車・オートバイ」が22.9%と最も多く、ここでも、公害の第一の原因として自動車があがっている。「チリ紙交換や物売りのスピーカー」が16.7%で続いており、他は10パーセントに満たなかった。

上位2項目について、属性別の特徴は表2-5に示したとおりである。「自動車・オートバイ」は、住みよさ別にみると、あまり住みよくない(28.9%)や住みにくい(36.7%)が多く、「車の騒音」は居住環境の評価に大きく影響しているといえよう。なお、「特にない」は、榎町地域(4.6.1%)、落合第一地域(6.4.6%)、角筈・区役所地域(6.7.9%)が多く、また、鉄筋アパート・マンション(4.5.8%)にも多い。

II-5 自宅付近の道路状態の評価

図2-9に示すとおり「たいへんよい」と「よい」を合わせた《満足派》は44.4%、「あまりよくない」と「非常によくない」を合わせた《不満派》が33.1%であった。

地域別にみると、図2-10のとおり、《満足派》は区の南部に多く、東部に少ない傾向がある。

定住意思別では図2-11のとおり、《満足派》は、永住するつもり(50.4%)など《定住意思ある者》多く、《不満派》は、転出するつもり(40.4%)など《転出意思ある者》が多い。

次に住みよさでみると図2-12のとおり、《満足派》は、住みよい(54.3%)、まあ住みよい(47.7%)など《住みよい派》が多く、《不満派》は、あまり住みよくない(46.4%)、住みにくい(40.0%)など《住みにくい派》が多い。

表2-5 各属性別の近隣騒音

(上位2位まで)
N=1,139

	自動車・オートバイ	ちり紙交換や物売りのスピーカー
全体	22.9%	16.7%
地域別	榎町地域(28.9%) 大久保地域(28.7%) 落合第二地域(30.7%)	四谷地域(34.0%) 若松町地域(23.6%) 筆笥町地域(20.7%)
住形態居別	_____	寮・間借り・住込み(26.1%)
住よさみ別	あまり住みよくない(28.9%) 住みにくい(36.7%)	住みよい(20.9%)

図2-9 自宅付近の道路状態の評価

N=1,139

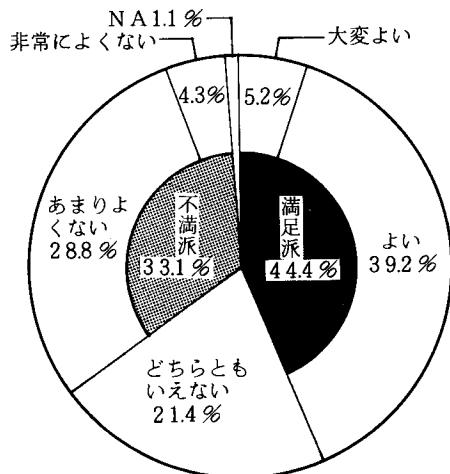


図 2-10 地域別の道路状態への《満足派》

N = 1,139

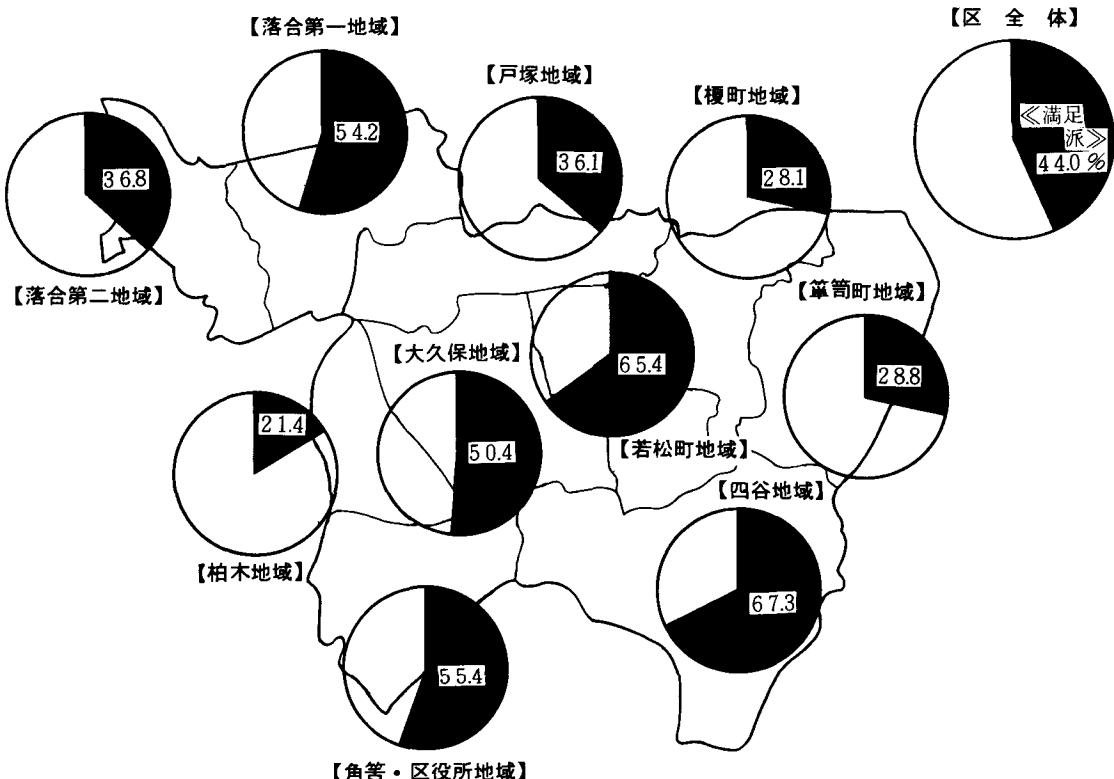


図 2-11

定住意思別の自宅付近の道路状態の評価

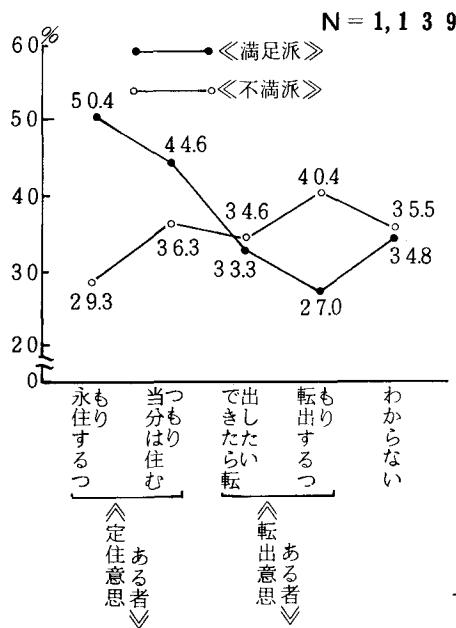
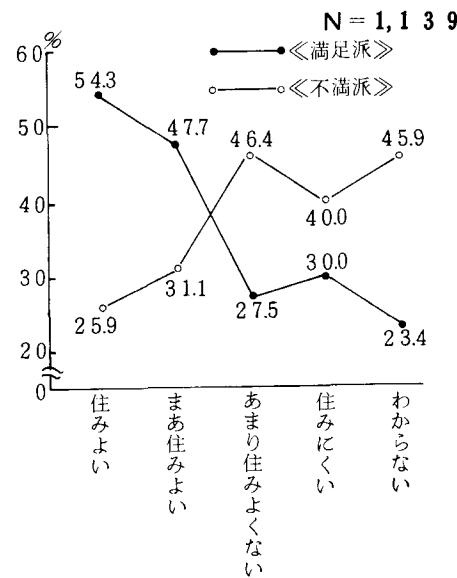


図 2-12

住みよさでみた自宅付近の道路状態への評価



(1) 道路状態への不満

どんな点が不満かの問に対しても、図2-13のとおり、道の狭さに不満が集中している。

この結果の地域別の特徴をみると表2-6のとおりである。落合地域以外の地域全てで道の狭さに不満が集中している。

一方、区全体の比率が10%以下のもので目立ったものをみると、「幹線道路が混雑す

図2-13 道路状態への不満

N = 377

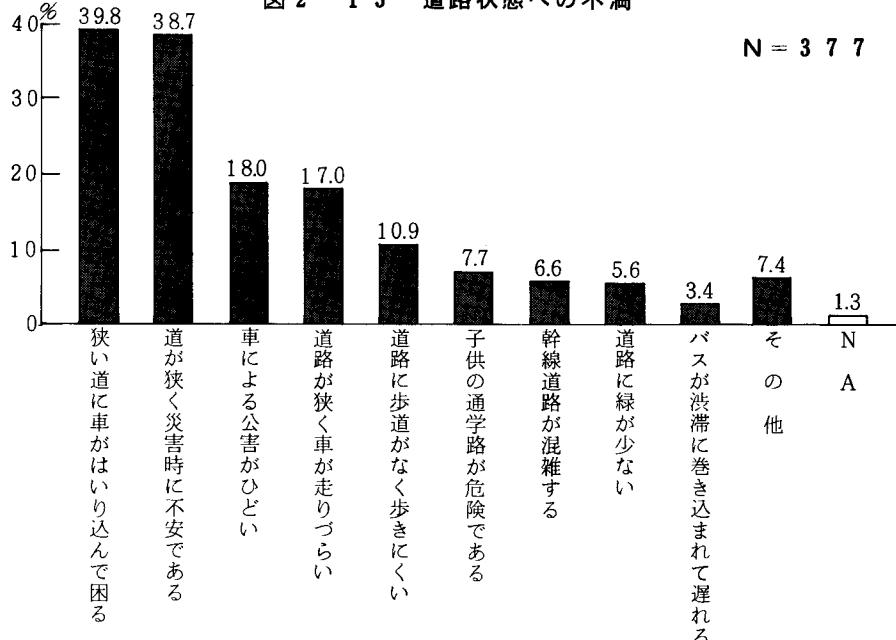


表2-6 地域別の道路状態の不満

(上位5位まで)

N = 377

	狭い道に車がはいり込んで困る	道が狭く災害時に不安である	車による公害がひどい	道路が狭く、車が走りづらい	道路に歩道がなく歩きにくい
全体	39.8%	38.7%	18.0%	17.0%	10.9%
地域別	四谷地域 (46.4%) 若松町地域 (58.8%) 大久保地域 (53.3%) 戸塚地域 (51.0%)	角筈・区役所地域 (60.0%) 榎町地域 (46.3%) 柏木地域 (48.1%)	榎町地域 (25.4%) 大久保地域 (26.7%) 落合第一地域 (24.1%)	若松町地域 (58.8%) 落合第二地域 (27.7%) 柏木地域 (23.1%)	大久保地域 (20.0%) 落合第二地域 (19.1%)

表 2-7 車の有無別の道路状態への不満

N = 377

	道時 がに 狭不 安災 害で 害あ	幹 線道 路が 混雜 する	道車い 路が走 りづら	バ巻遅 スきれ が込る 渋ま 滞れに て	車 によ る公 害	が ひど い	狭は困 い道 りに込 車ん がで	道な歩 く道に くい	道 路に 歩道 が	緑が少 ない	子供の 通学 路	が危 険で ある	そ の他	N A
ある	36.6	8.9	15.2	4.5	18.8	39.3	8.0	4.5	10.7	9.8	2.7			
ない	39.6	5.7	17.7	3.0	17.7	40.0	12.1	6.0	6.4	6.4	0.8			

る」は、落合第一地域（13.8%），第二地域（14.9%），「道路に緑が少ない」は，筈町地域（14.3%），「バスが渋滞に巻き込まれて遅れる」は，落合第二地域（10.6%）に多い。山手通り，目白通り，早稲田通りなどの通っている落合地域は，それらの幹線道路の渋滞による支障が大きいと思われる。

なお，車の有無別にみると表2-7のとおり，「幹線道路が混雜する」は車のある人，「歩道がなく歩きにくい」は車のない人にわずかに多いほかは，大きな特徴はみられない。

II-6 「都市計画道路」の見直し作業の周知度

図2-14のとおり，知っている人は4人に1人の割合であり，周知度は非常に低い。地域別でみると図2-15のとおり四谷，若松町，大久保といった区中央部に周知度が高い。

性年代別でみると図2-16のとおり，男性の特に中・高年層に周知度が高い。

II-7 指定区域での建築規制について

図2-17のとおり「将来の道路予定地としてやむをえない制限である」が29.7%，「制限によって受ける損失に対して，補償すべきである」が21.6%，「制限を緩和すべきである」が10.4%，「制限を撤廃すべきである」が3.2%である。これに対して「わからない」が33.3%と3分の1を占めている。

地域別にみたのが表2-8である。補償を求める声は四谷地域と大久保地域とに多い。

図2-14

「都市計画道路」の見直し作業の周知度

N = 1,139

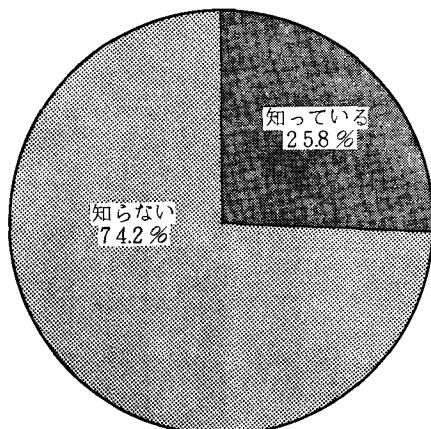


図 2-15 地域別の「都市計画道路」の見直し作業の周知度

N = 1,139

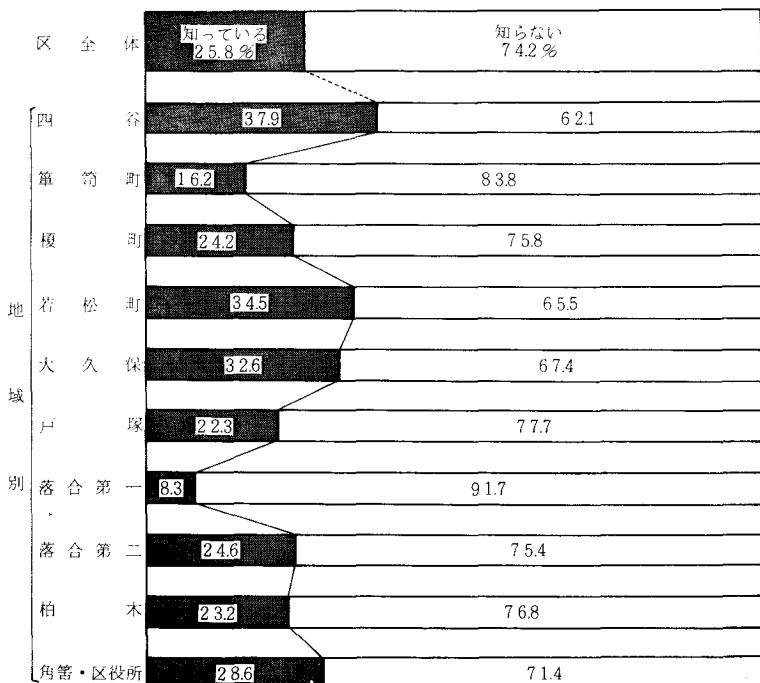
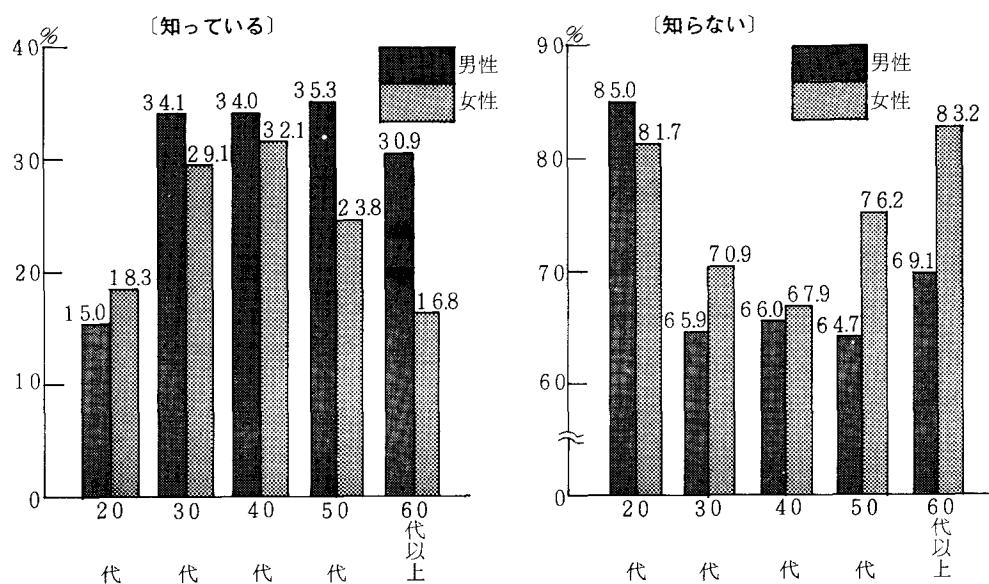


図 2-16 性年代別の「都市計画道路」の見直し作業の周知度

N = 1,139



年代別では図2-18のとおり、「やむをえない」という意見は中年層に多いのに対し、 「補償を」求める声は若年層に強い。

また定住意思別にみたのが図2-19であるが、《定住意思ある者》ほど「やむをえない」の比率が高い。

次に前問「都市計画道路」見直し作業の周知度と指定区域での建築規制についての関係をみると表2-9のとおりである。知らない人には、建築規制について「わからない」(40.6%)という回答が多いのも当然といえよう。「わからない」の比率に差があるため、他の項目の比率をそのまま比較することはできないが、知っている人に特に多い項目は「制限によって受ける損失に対して、補償すべきである」(28.9%)と「制限を緩和すべきである」(19.0%)の2項目である。「都市計画道路」の見直し作業や建築規制を知っ

図2-17 指定区域での

建築規制について

N = 1,139

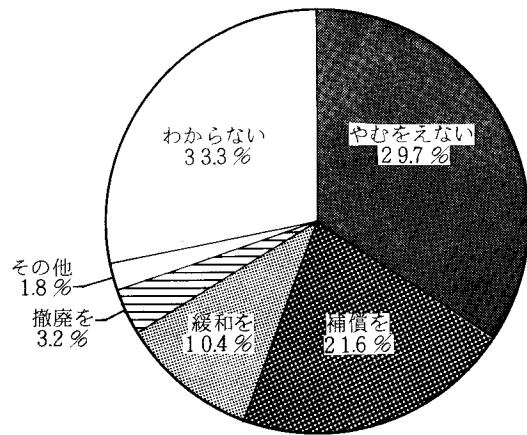


表2-8 地域別の指定区域での規制について

N = 1,139

	やむをえない	補償を	緩和を	撤廃を	その他	わからない	
区 全 体	29.7%	21.6%	10.4%	3.2%	1.8%	33.3%	
地 域 別	四 谷	23.5	33.3	9.8	2.6	2.0	28.8
	簗 筍 町	42.3	11.7	10.8	10.8	0.0	24.3
	榎 町	30.5	18.0	4.7	0.0	3.1	43.8
	若 松 町	34.5	23.6	20.0	6.4	0.9	14.5
	大 久 保	20.2	32.6	7.8	4.7	0.8	34.1
	戸 塚	27.7	21.5	6.2	3.1	0.0	41.5
	落 合 第 一	30.2	19.8	6.3	1.0	2.1	40.6
	落 合 第 二	37.7	21.1	14.9	1.8	6.1	18.4
	柏 木	28.6	17.0	14.3	0.9	1.8	37.5
	角筈・区役所	21.4	1.8	12.5	0.0	0.0	64.3

ている。あるいは何らかの形で関わりのある人は、補償や緩和といった何らかの変更を求めているともうけとれよう。

図 2-18 年代別の指定区域での建築規制について

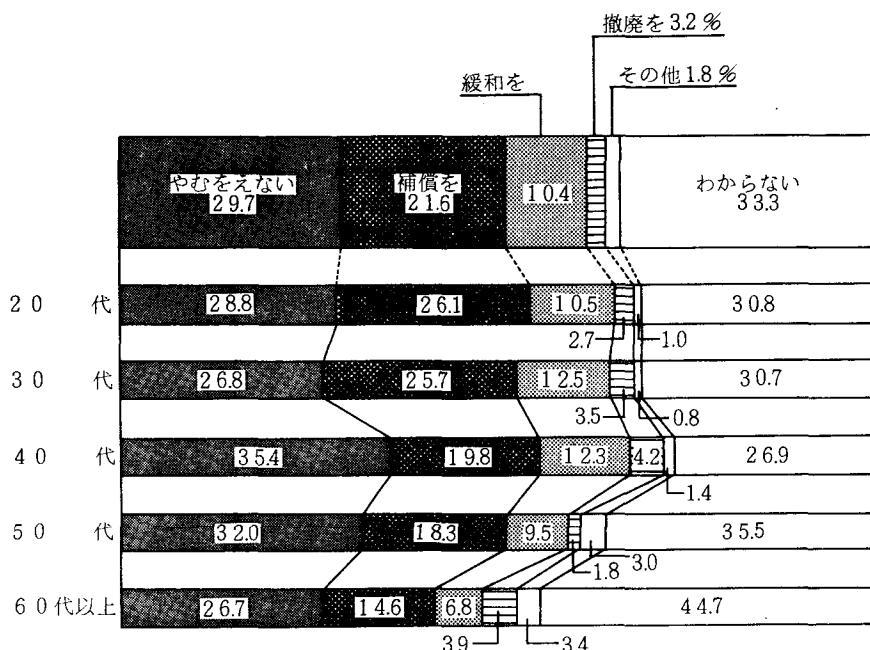


図 2-19

定住意思別の「やむをえない」

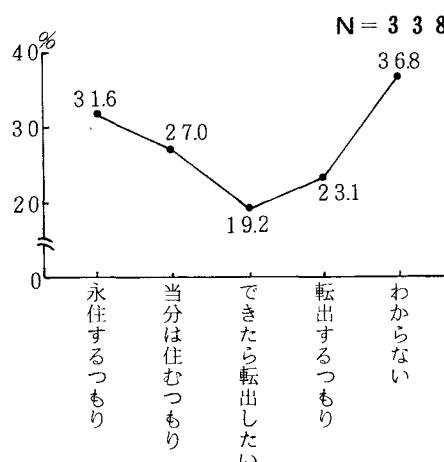


表 2-9

「都市計画道路」見直し作業の周知度と
指定区域での建築規制について

	やむを得ない 制限である	補償す べきであ り	制限を緩 和である	制限を撤 廃である
区 全 体	29.7	21.6	10.4	3.2
知っている	33.7	28.9	19.0	2.7
知ら ない	28.3	19.1	7.5	3.4

III. 地域社会

-
1. コミュニティの範囲
 2. 近所付き合いの程度
 3. 地域社会の役割について
 4. 自分の地域に欲しい施設
-

【ライフ・ステージ】

- * 婚前期 結婚前の独身者
 - * 家族形成期 子どもがいない若夫婦
の夫あるいは妻
 - * 家族成長期(A) 結婚し乳・幼児
がいる親
 - * 家族成長期(B) 小・中学生がいる親
 - * 家族成長期(C) 高校・大学生がいる親
 - * 家族成熟期 学校教育を終えた
独身の子どもがいる親
 - * 老年期(A) 子どもが結婚して
一緒に住んでいる親
 - * 老年期(B) 子どもが独立して
2人だけになった親
 - * 老年期(C) 子どもが独立して
1人だけになった親
-

III. 地域社会

《設問とまとめ》

1. コミュニティの範囲

Q1 1. 最近、コミュニティという言葉がよく使われます。これは地域社会または近隣社会という意味で用いられますが、コミュニティとはどの範囲だと思いますか（1A）。

N = 1,139

- | | | | |
|------------------|--------|----------|--------|
| 1. 隣り近所 | 2 0.5% | 8. その他 | 1.8% |
| 2. 日常の買物をする地域 | 1 6.3% | 9. わからない | 1 5.2% |
| 3. 町会・自治会の地域 | 2 7.2% | | |
| 4. 小学校を中心とした地域 | 4.2% | | |
| 5. 駅を中心とした地域 | 1.6% | | |
| 6. 特別出張所を中心とした地域 | 2.5% | | |
| 7. 新宿区全体 | 1 0.7% | | |

2. 近所付き合いの程度

Q1 2. 隣り近所の人とふだんどの程度お付き合いをしていますか。（1A）

- | | | |
|-------------------|--------|-----------|
| 1. 挨拶をかわす程度 | 3 6.8% | N = 1,139 |
| 2. 立ち話をする程度 | 2 9.7% | |
| 3. お互いの家に行き来している | 1 2.3% | |
| 4. 困ったときは助け合う程親しい | 6.6% | |
| 5. ほとんど付き合っていない | 1 0.4% | |
| 6. 付き合っていない | 3.8% | |
| 7. N/A | 0.4% | |

SQ1. [Q1 2で1～4と答えた人に]
どんなきっかけで付き合うようになりましたか。（FA）

SQ2. [Q1 2で5, 6と答えた人に]
付き合わない理由は何ですか。（FA）

3. 地域社会の役割について

Q 1 3. 最近の報道で、一人暮らしの老人が死んだまま発見されたり、両親が不在のまま小学生の子供だけで何か月も暮らしていたということがありましたか。 (1 A) N = 1,139

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 個人的な事情があつてのことだから仕方がない | 9.8% |
| 2. 気の毒だとは思うが何もできない | 14.4% |
| 3. だれか親戚の人などが気を付けるべきだ | 20.5% |
| 4. 隣り近所の人たちが気をつけるべきだ | 33.4% |
| 5. 役所などの行政機関が面倒をみるべきだ | 15.9% |
| 6. その他 | 1.1% |
| 7. わからない | 4.8% |

4. 自分の地域に欲しい施設

Q 1 4. あなたが住んでいる地域にほしいと思う施設を、次の中から2つ以内で選んで下さい。 [回答票5提示] (2 A) N = 1,139

- | | | | |
|------------|-------|------------|-------|
| 1. 保育園 | 6.4% | 8. 運動場 | 25.5% |
| 2. 児童館 | 5.3% | 9. 体育館 | 14.3% |
| 3. 集会室 | 5.1% | 10. 社会教育会館 | 4.0% |
| 4. 婦人会館 | 7.6% | 11. 図書館 | 16.6% |
| 5. 老人会館 | 8.9% | 12. その他 | 2.8% |
| 6. 公園・児童遊園 | 29.3% | 13. 特にない | 21.3% |
| 7. 健康相談所 | 12.1% | | |

この章では、最近しばしば使われる「コミュニティ」という言葉を区民はどのようにとらえているか、また実際の地域社会の中での区民の意識や区民と地域社会との関わりなどについて聞いた。

コミュニティの範囲については、「町会・自治会の地域」が約3割を占め、続いて「隣り近所」、「日常買物をする地域」が2割前後であった。また「新宿区全体」と答えた人は1割である。区民は、「コミュニティ」を日常生活でのごく身近な範囲ととらえているようだ。

近所付き合いの程度は、「挨拶をかわす程度」、「立ち話をする程度」など、ごく浅い付き合いの人が7割近くを占めた。近所付き合いのきっかけとしては「近所なので自然に」が222件と圧倒的に多く、以下「昔から住んでいるので」(85件)、「子どもを通じて」(61件)などである。近所付き合いをしない理由としては、「仕事、学校で時間がない」が34件ともっとも多く、他には「面倒だ」(13件)、「機会がない」(11件)、「引っ越してきたばかりなので」(10件)などであった。

地域社会の役割については、「隣り近所の人たちが気を付けるべきだ」が3分の1を占めた。他にも「だれか親戚の人などが気を付けるべきだ」や「役所などの行政機関が面倒を見るべきだ」など“とにかく何とかしなければ”と考えている人達が合わせて7割弱であった。

自分の地域に欲しい施設としては、「公園・児童遊園」、「運動場」が20%台と特に多く、「図書館」、「体育館」、「健康相談所」の順で続いた。運動あるいは体を動かせるスペースへの要望が高くなっているといえよう。

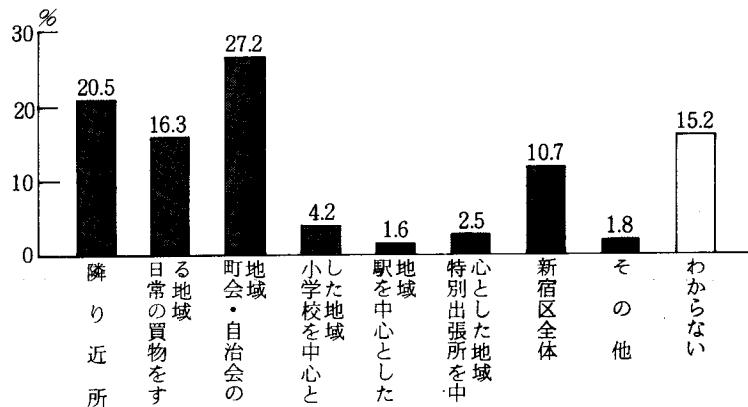
《 分 析 》

III - 1 コミュニティの範囲

コミュニティ（地域社会または近隣社会）の範囲について聞いたところ、もっとも多かったのは「町会・自治会の地域」で27.2%である。続いて「隣り近所」が20.5%，以下「日常買物をする地域」(16.3%)，「新宿区全体」(10.7%)などの順で区民はコミュニティを日常生活でのごく身近な範囲ととらえているようだ。なお「わからない」は15.2%である（図3-1）。

図3-1 コミュニティの範囲

N = 1,139



比率が10%を超えたものについて、各属性別の特徴をみると以下のとおりである。

地域別では、「町会・自治会の地域」は、簗原町地域(32.4%)、榎町地域(39.1%)、落合第二地域(35.1%)が多く、柏木地域(31.3%)にも比較的多い。「隣り近所」は、四谷地域(30.1%)、簗原町地域(27.9%)、若松町地域(30.9%)が多く、落合第一地域(25.0%)にも比較的多い。「日常買物をする地域」は、若松町地域(23.6%)、角筈・区役所地域(39.3%)が多く、簗原町地域(21.6%)にもやや多くなっている。「新宿区全体」は、柏木地域(19.6%)が多く、落合第二地域(14.9%)にも比較的多い(表3-1)。

他の属性との関係を項目別にみると表3-2のとおりである。

◎ 町会・自治会の地域(区全体27.2%)

職業別の自営業・事業主や実際に町会・自治会活動を支えていると思われる居住年数が長く、地元意識の強い人達の意見といえよう。

◎ 隣り近所(区全体20.5%)

「町会・自治会の地域」と答えた層と類似している。また、高年層に多い。

◎ 日常買物をする地域(区全体16.3%)

表3-1 地域別のコミュニティの範囲(上位4項目)

N = 1,139

		町会・自治会の地域	隣り近所	日常買物をする地域	新宿区全体
区全体		27.2%	20.5%	16.3%	10.7%
地域別	四 谷	17.6	30.1	16.3	9.2
	簗 原 町	32.4	27.9	21.6	3.6
	榎 町	39.1	19.5	7.8	10.2
	若 松 町	20.0	30.9	23.6	6.4
	大 久 保	25.6	14.0	17.8	11.6
	戸 塚	29.2	13.1	13.1	10.8
	落 合 第 一	21.9	25.0	10.4	12.5
	落 合 第 二	35.1	14.0	7.9	14.9
	柏 木	31.3	10.7	17.9	19.6
	角 筈 ・ 区 役 所	14.3	19.6	39.3	7.1

表3-2 属性別のコミュニティの範囲の特徴（上位4項目）

N = 1,139

	町会・自治会の地域	隣り近所	日常買物をする地域	新宿区全体
全体 の比率	27.2%	20.5%	16.3%	10.7%
職業別	◦自営業・事業主 (34.7%)	◦自営業・事業主 (25.1%)	◦主婦 (21.6%)	◦管理職・自由業 (20.2%) ◦事務職・技術職 (15.6%)
ライフステージ別	◦家族成長期(B) (35.3%) ◦老年期(A) (35.5%)	◦老年期(B) (32.8%) ◦老年期(C) (38.9%)	◦家族成長期(A) (26.2%)	◦婚前期 (14.9%) ◦家族形成期 (15.9%)
居数 住別 年	◦戦前から (33.0%)		◦54年以降 (22.2%)	◦昭和51～53年 (14.3%)
年代別		◦60代以上 (25.7%)	◦20代 (20.3%)	◦20代 (14.9%)

主婦や若年層に多い。

◎ 新宿区全体（区全体 10.7%）

勤め人や若年層に多い。

このように、居住年数が長い人や高年層は、「町会・自治会の地域」とか「隣り近所」など、自分の地域での日常生活に具体的に深く関わりを持つものをあげている。これに対して、若年層は、「区全体」などと、高年層に比べ、かなり漠然としたイメージを抱いているといえよう。

III-2 近所付き合いの程度

となり近所の人との近所付き合いについては、「挨拶をかわす程度」が36.8%, 「立ち話をする程度」が29.7%と浅い付き合いの人が7割近くを占めた。他に「お互いの家に行き来している」が12.3%, 「困った時は助け合う程親しい」が6.6%である。これに対して、「ほとんど付き合っていない」が10.4%, 「付き合っていない」が3.8%である(図3-2)。

各項目ごとに属性との関係をみると表3-3のとおりである。

◎ 挨拶をかわす程度(区全体36.8%)

男性の中・高年層や女性の若年層、労務・サービス職、事務・技術職など勤人や学生、また居住年数の短い人に多い。仕事や学校などで時間的余裕の少ない人達に多いといえよう。

◎ 立ち話をする程度(区全体29.7%)

男女の中年層、自営業・事業主、比較的長く住んでいる人などに多い。仕事上のことなどで近所との関わりがなくてはならない層や、長く住んでいるため、自然に付き合うようになったものと考えられる。

◎ お互いの家に行き来している(区全体12.3%)

男性の高年層や女性の中・高年層、無職や主婦層、居住年数の長い人に多い。家庭にいる時間の長い人に多いといえよう。

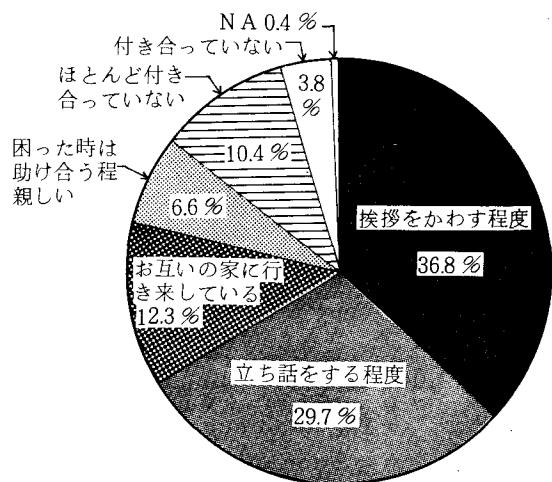
◎ 困った時は助け合う程度(区全体6.6%)

男女の高年層、自営業・事業主、戦前から住んでいる人に多い。やはり、その地域に長く住んでいたり、仕事上などで地域と深く関わっている人ほど、つき合いの程度が深いといえよう。

◎ ほとんど付き合っていない+付き合っていない(区全体14.2%)

男性の若年層、学生、5年未満の短期居住者に多い。女性の若年層では、「挨拶をかわす程度」が多かったが、男性の若年層では、近所付き合いに対し、より消極的であるといえよう。

図3-2 近所付き合いの程度
N=1,139



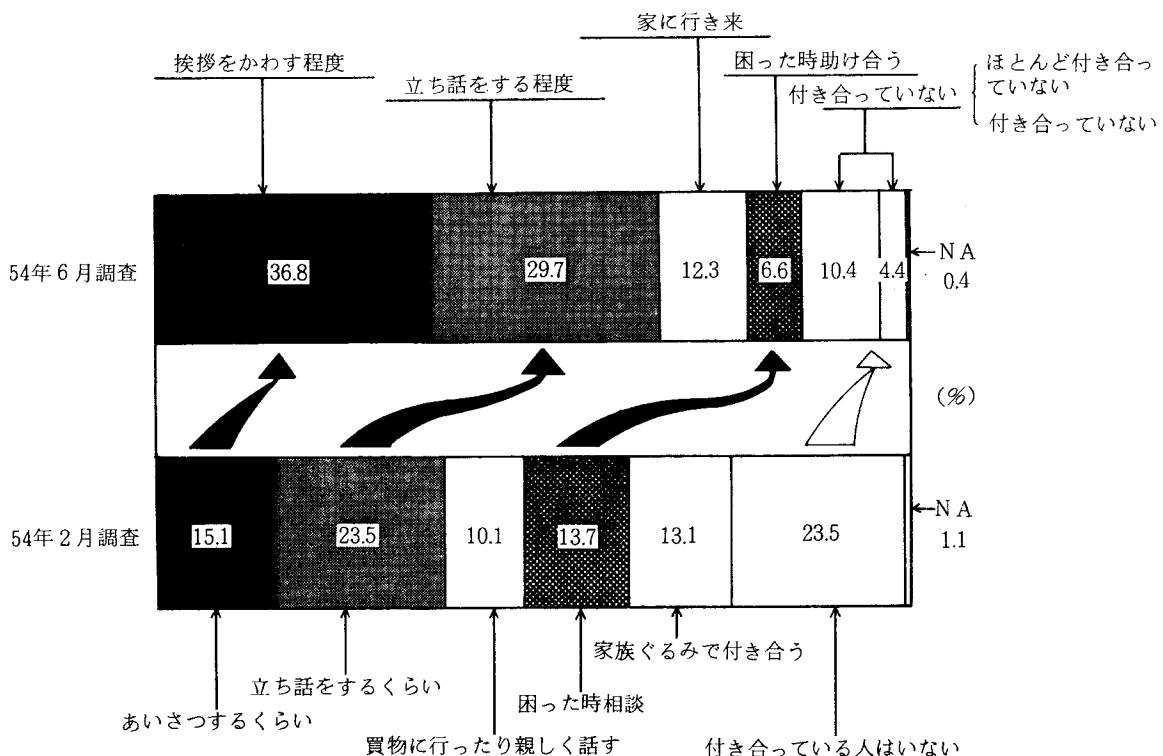
次に、近所付き合いの程度を52年2月調査時と比較すると、図3-3のとおりである（回答項目は多少異なっているので、類似しているもので参考にする）。

類似項目で「挨拶をかわす程度」が2倍以上の増加となっており、また、「立ち話をする程度」も増加している。しかし、「困った時に助け合う」は半減している。なお、今回調査では、「家に行き来する」という項目にあたるものがあるが、52年2月には「買物に行ったり親しくする」、「家族ぐるみで付き合う」となっているため一様には言えないが、以前に比べ、浅い付き合い方が増えているといえよう。

表3-3 属性別の近所付き合いの程度の特徴 N=1,139

	挨拶をかわす程度	立ち話をする程度	お互いの家に行き来している	困った時は助け合う程度	ほとんど付き合っていない+付き合っていない
全体	36.8%	29.7%	12.3%	6.6%	14.2%
地域別	若松町地域 (43.6%)	角筈・区役所地域 (37.5%)	筆筈町 (16.2%)	戸塚地域 (14.6%)	落合第一地域 (28.2%)
	落合第二地域 (48.2%)	四谷地域 (33.3%)			大久保地域 (18.7%)
	四谷地域 (41.1%)				
	角筈・区役所地域 (41.1%)				
性年齢別	男60代以上 (44.4%)	男50代 (36.8%)	男60代以上 (17.3%)	女60代以上 (16.8%)	男20代 (35.3%)
	女20代 (43.0%)	女40代 (48.1%)	女30代 (19.4%)	男60代以上 (11.1%)	
	男50代 (41.2%)	女50代 (34.7%)	女50代 (18.8%)		
			女60代以上 (19.2%)		
職業別	労務職・サービス職 (44.9%)	自営業・事業主 (35.3%)	無職 (19.7%)	自営業・事業主 (11.4%)	学生 (36.1%)
	学生 (42.6%)		主婦 (16.4%)		
	事務・技術職 (41.7%)				
家族人數別	2人 (43.9%)	4人 (41.6%)		1人 (19.2%)	1人 (31.2%)
	5人 (40.6%)	5人 (33.6%)	――	2人 (15.8%)	2人 (18.7%)
居住年数別	54年以降 (53.3%)	昭和31年～40年 (39.5%)	終戦～昭和30年 (19.5%)	戦前から (14.4%)	54年以降 (26.7%)
		昭和41年～45年 (38.3%)			昭和51年～53年 (26.7%)

図3-3 近所付き合いの程度—52年2月調査との比較



(1) 近所付き合いのきっかけ

どんなきっかけで付き合うようになったかを自由回答で答えてもらったところ、主なもの（10件以上）は図3-4のとおりである。もっとも多かったのは、「近所なので自然に」が222件と圧倒的で、次いで「昔から住んでいるので」が85件、以下「子どもを通じて」が61件、「同じ建物に住んでいるので」が28件、「仕事（商売）上」が25件、「朝多のあいさつ」が18件、「買い物で」が14件、「町会・自治会を通じて」が10件、また「特に理由はない」が24件であった。

なお、その他の10件以下の理由としては、「ゴミの収集日に顔を合わせて」が9件、「回覧板を通じて」が9件、「留守を頼んで」が4件などである。

(2) 付き合わない理由

Q12で「ほとんど付き合っていない」、「付き合っていない」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「仕事、学校で時間がない」が34件ともっと多かった。次いで、「面倒だ」が13件、「機会がない」が11件、「引っ越して来たばかりなので」が10件、「寮なので」が9件、「必要ない」が6件、「その他」が18件などである。また「特

に理由はない」は12件である(図3-5)。

その他の内訳は、「人の移動が激しい」、「知らない人だから」(各3件)、「共通の話題がない」、「隣が、マンションや寮である」、「深く関わりたくない」、「周囲と離れている」(各2件)、「お互いに無関心」、「付き合っても何にもならない」、「学校が違う」、「病弱」(各1件)などである。

図3-4 近所付き合いのきっかけ

N = 539

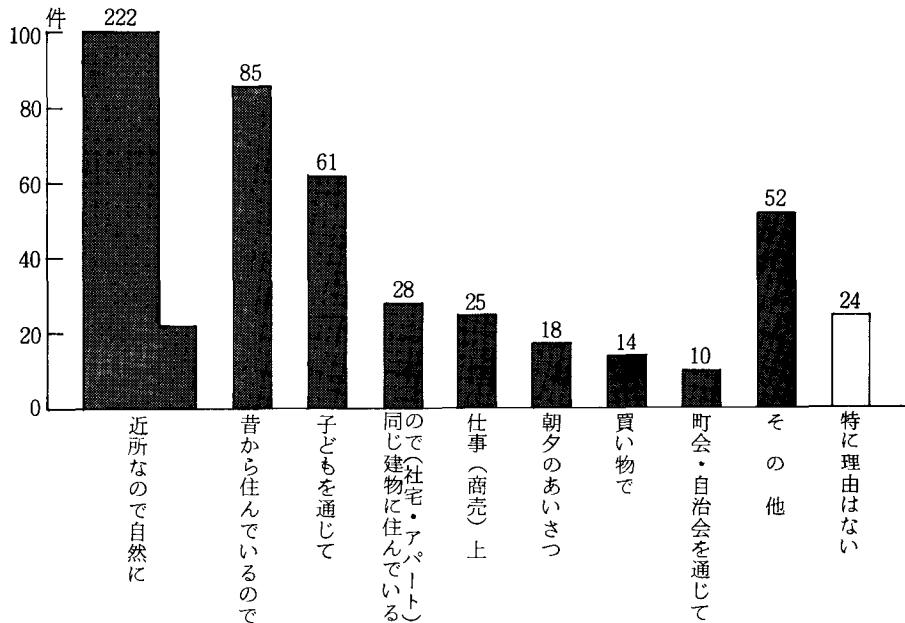
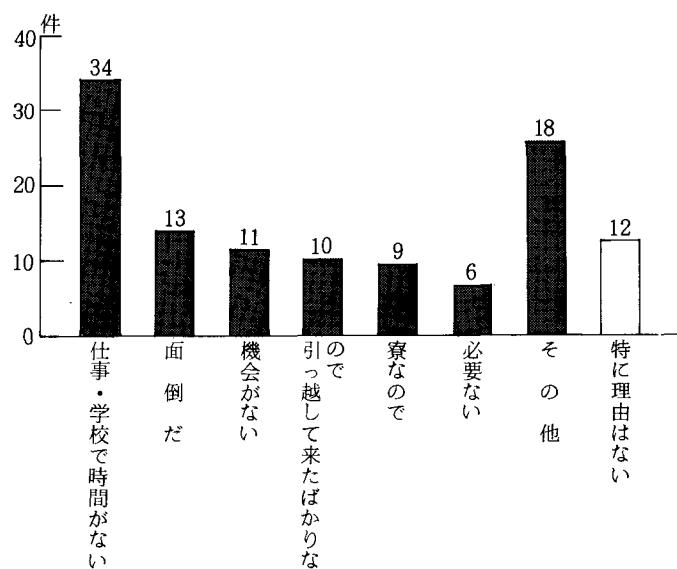


図3-5 付き合わない理由

N = 113



III-3 地域社会の役割について

最近の報道で、一人暮らしの老人が死んだまま発見されたり、両親が不在のまま小学生の子どもだけで何か月も暮らしていたなどということについて意見を聞いてみると、「個人的な事情があってのことだから仕がない」が9.8%、「気の毒だとは思うが何もできない」が14.4%、「だれか親戚の人などが気を付けるべきだ」が20.5%、「隣り近所の人たちが気を付けるべきだ」が33.4%、「役所などの行政機関が面倒をみるべきだ」が15.9%であった(図3-6)。以上のように「隣り近所の人たちが気を付けるべきだ」という意見がもっとも多くの全体の3分の1を占めた。《隣り近所の人たち》は地域社会の中心をなす人たちであり、その人達の地域社会での役割というものについて、かなり高く評価されていることに注目されよう。

次に「隣り近所の人たちが気を付けるべきだ」、「だれか親戚の人などが気を付けるべきだ」や「役所などの行政機関が面倒をみるべきだ」など“とにかく何とかしなければ”と考えている人たちの特徴をみると表3-4の(1)のとおりである。

- ◎ 隣り近所の人たちが気を付けるべきだ(区全体33.4%)

中高年層で子どもと別居している人や主婦、自営業・事業主などに多い。

- ◎ だれか親戚の人などが気を付けるべきだ(区全体20.5%)

子どもがいる中年層に多い。

- ◎ 役所などの行政機関が面倒をみるべきだ(区全体15.9%)

男性中・高年層や女性若年層、管理職・自由業の人などに多い。

これに対して、「個人的な事情があってのことだから仕がない」、「気の毒だと思うが何もできない」について属性での特徴をみると表3-4の(2)のとおりである。

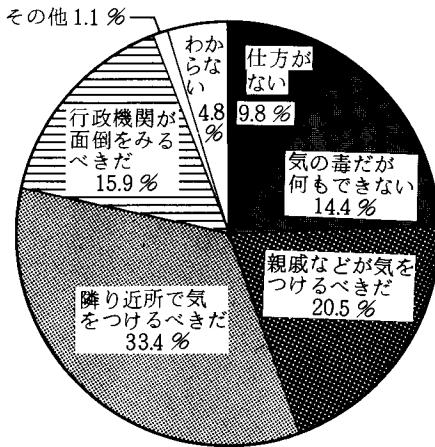
- ◎ 個人的な事情があってのことだから仕がない(区全体9.8%)

男性若年層、管理職・自由業、労務職・サービス職などの勤人に多い。

- ◎ 気の毒だと思うが何もできない(区全体14.4%)

女性の若年層、労務職・サービス職、学生などに多い。

図3-6 地域社会の役割について
N = 1,139



以上のように、「仕方がない」、「何もできない」と答えた層は、男女の若年層、勤め人に多い。近所付き合いのところでも、「付き合ってない」は若年層に多く、《他人に干渉もしないし、されたくもない》という意識が強いと言えよう。

表3-4 属性別の地域社会の役割り(1)

N = 1,139

	隣り近所で気をつけるべきだ	親戚などが気をつけるべきだ	行政機関が面倒をみるべきだ
全体	33.4%	20.5%	15.9%
性年 代別	男40代 (39.6%)	女50代 (24.8%)	男50代 (22.1%)
	女40代 (41.5%)		男60代以上 (25.9%)
	女60代以上 (37.6%)		女20代 (19.0%)
職業 別	主婦 (39.9%)	<hr/>	
	自営業・事業主 (37.7%)	<hr/>	
ライス フテ ・ ジ 別	家族成熟期 (43.3%)	老年期(A) (26.3%)	家族形成期 (20.3%)
	老年期(B) (45.9%)	家族成長期(B) (24.7%)	
	老年期(C) (41.7%)		

表3-4 属性別の地域社会の役割り(2)

N = 1,139

	個人的な事情で仕方がない	気の毒だが何もできない
全 体	9.8%	14.4%
性 代 年 別	男20代 (14.4%)	女20代 (19.0%)
職 業 別	管理職・自由業 (15.7%)	労務職・サービス職 (17.8%)
	労務職・サービス業 (14.0%)	学生 (18.0%)
ラ イ ス フ テ ・ ジ 別	婚前期 (13.3%)	老年期(B) (19.7%)
	家族成長期(C) (15.9%)	

ここで、さらに地域社会の役割に対する考え方の特徴をはっきりさせるために、コミュニティの範囲と、近所づき合いの程度との関係をみてみよう。

コミュニティの範囲との関係をみると、図3-7のとおり、コミュニティの範囲を、自宅周辺の比較的狭い地域とみた人（隣近所、町会・自治会中心）は、「親戚」や「隣近所」の人が気を付けるべきだとの意見が多い。一方、出張所や区全体、小学校など行政区画をコミュニティの範囲とした人は、行政依存派が多くなっている。「仕方がない」、「何もできない」という無関心派は「駅中心」が特に多かった。

また、近所づき合いの程度との関係をみると表3-5のとおり、近所づき合いが深くなるほど「親戚」や「隣近所」の人が気を付けるべきであるとの意見が多い。一方、ほとんど付き合わない人は、行政機関に任せるべきとの行政依存と、「仕方ない」、「何もできない」という無関心派が多くなっている。

図3-7 コミュニティの範囲と地域社会の役割について

N = 1,139

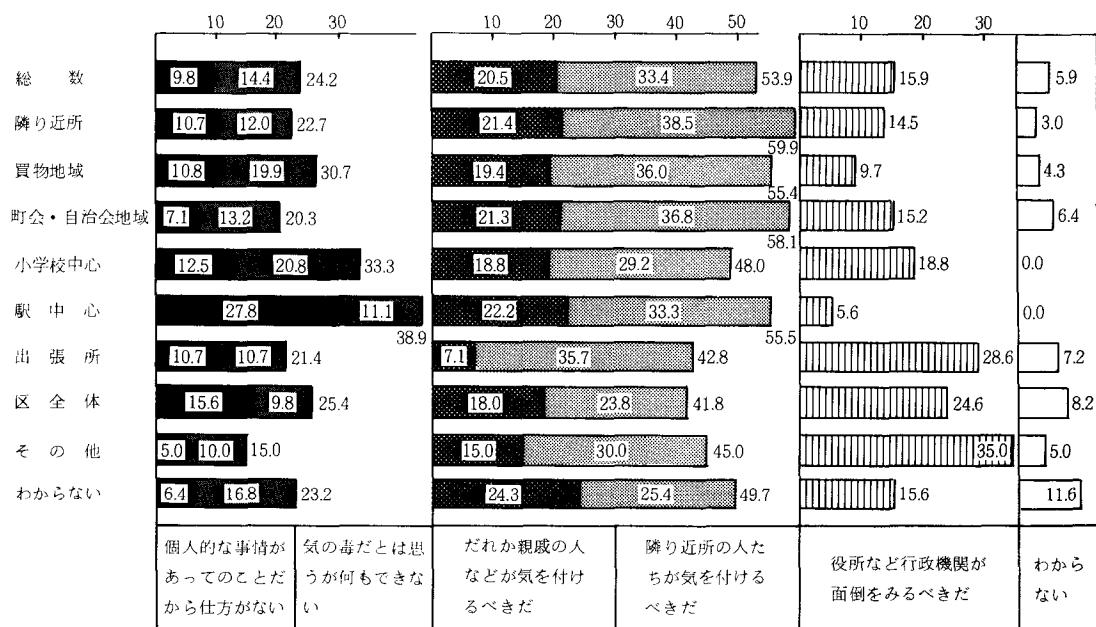


表3-5 近所付き合いの程度と地域社会の役割について

N = 1,139

	仕方ない	何 も 親戚が気 できな い	親戚が気 をつける	隣 近 所	役所など行政機関	そ の 他	わ か ら い
総 数	9.8	14.4	20.5	33.4	15.9	1.1	4.8
	25.2		53.9				5.9
挨拶をかわす程度	9.1	13.6	20.0	32.2	18.9	1.4	4.8
	22.7		52.2				6.2
立ち話をする程度	10.7	15.4	21.3	34.9	13.0	1.2	3.6
	26.1		56.2				4.8
お互いの家に行き 来している	9.3	13.6	22.9	37.9	12.1	0.7	3.6
	22.9		60.8				4.3
困った時は 助け合う	2.7	9.3	13.3	57.3	13.3	1.3	2.7
	12.0		70.6				4.0
ほとんど付き 合っていない	16.8	18.5	19.3	17.6	20.2	0.0	7.6
	35.3		36.9				7.6
付き合っていない	7.0	16.3	30.2	18.6	14.0	2.3	11.6
	23.3		48.8				13.9
無 解 答	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	40.0
	0.0		40.0				40.0

III-4 自分の地域に欲しい施設

自分が住んでいる地域に欲しい施設の主なものは、「公園・児童遊園」が29.3%と最も多かった。続いて「運動場」が25.5%、「図書館」が16.6%、「体育館」が14.3%、「健康相談所」が12.1%などの順であった。また、「特にない」が21.3%と多かった（図3-8）。

次に10%以上の要望があった上記の5項目と「特にない」について各属性別での特徴をみると表3-6のとおりである。

◎公園・児童遊園（要望度29.3% 第1位）

女性で子どもがいるであろうと考えられる年代層での要望が高い。

◎運動場（要望度25.5% 第2位）

男性の若年層、中年層での要望が高い。

◎図書館（要望度16.6% 第3位）

男女の若年層での要望が高い。

◎体育館（要望度14.3% 第4位）

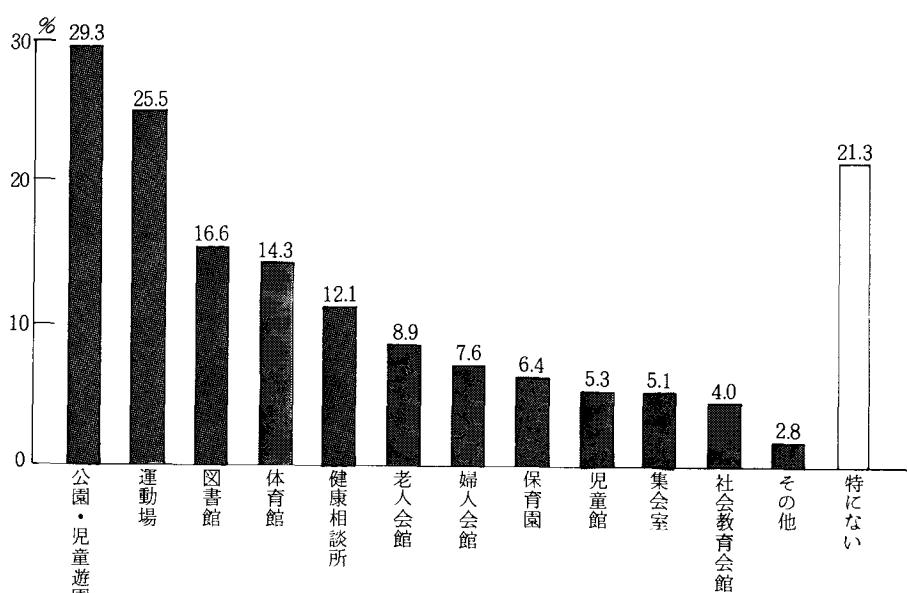
男女の若年層での要望が高い。

◎健康相談所（要望度12.1% 第5位）

男女の中・高年層での要望が高い。

◎特にない（区全体21.3%）

男女の中・高年層に目立って多い。



次に「コミュニティの範囲」と「自分の地域に欲しい施設」との関係をみると表3-7のとおりである。

コミュニティの範囲を「日常の買物をする地域」と、ごく狭い範囲ととらえている人は、その範囲内に「児童館」、「公園・児童遊園」、「老人会館」など自分の家族（子ども、老人）のための施設を望んでおり、コミュニティの範囲を「小学校中心」、「駅中心」、「出張所中心」、「区全体」などと、もっと広い範囲でとらえている人は、「運動場」、「体育館」、「社会教育会館」、「図書館」など、一般の人たちが広く活用できる施設を望んでいるといえよう。

表3-6 属性別の自分の地域に欲しい施設（上位5位）

N = 1,139

	公園・児童遊園	運動場	図書館	体育館	健康相談所	特になし
全体	29.3%	25.5%	16.6%	14.3%	12.1%	21.3%
地域別	大久保地域 (46.5%)	榎町地域 (32.0%)	簗笥町地域 (29.7%)	落合第一地域 (25.0%)	若松町地域 (17.3%)	四谷地域 (24.8%)
	戸塚地域 (36.2%)	落合第一地域 (42.7%)	若松町地域 (20.9%)	榎町地域 (18.8%)	落合第二地域 (20.2%)	簗笥町地域 (24.3%)
性年代別	女30代 (37.3%)	男20代 (45.8%)	男20代 (26.1%)	男20代 (25.5%)	男50代 (26.5%)	男60代以上 (32.1%)
	女40代 (34.9%)	男30代 (31.7%)	女20代 (26.8%)	男30代 (19.5%)	女50代 (18.8%)	女50代 (36.6%)
	女20代 (33.8%)	男40代 (31.1%)		女20代 (21.8%)		女60代以上 (36.8%)
ライフ・ステージ別	家族成長期(A) (37.4%)	婚前期 (33.2%)	婚前期 (25.9%)	婚前期 (23.1%)	家族成熟期 (21.7%)	家族成熟期 (37.5%)
	家族成長期(B) (35.3%)	家族形成期 (33.3%)		家族成長期(B) (19.4%)	老年期 (19.4%)	老年期(A) (29.9%)
	家族成長期(C) (34.5%)	家族成長期 (36.5%)		家族形成期 (17.4%)	家族成長期(C) (16.8%)	老年期(B) (37.7%)
	家族形成期 (33.3%)					老年期(C) (38.9%)

表3-7 コミュニティの範囲と自分の地域に欲しい施設

(%)

	保育園	児童館	集会室	婦人館	老人館	公園・児童遊園	健 康 相談所	運動場	体育館	社会教育会館	図書館	その他	特 に な い
区 全 体	6.4	5.3	5.1	7.6	8.9	29.3	12.1	25.5	14.3	4.0	16.6	2.8	21.3
隣り近所	7.3	3.8	3.4	9.4	11.1	23.9	12.8	19.7	10.7	1.3	17.5	2.1	☆28.6
日常の買物をする地域	8.1	☆11.3	7.0	8.1	☆13.4	☆32.3	10.2	24.2	12.4	5.9	13.4	2.2	17.7
町会・自治会の地域	4.8	4.5	7.1	8.4	7.4	31.9	12.6	☆31.9	15.2	3.5	19.0	2.9	14.5
小学校中心の地域	6.3	8.3	8.3	10.4	6.3	☆37.5	10.4	☆33.3	10.4	2.1	14.6	0.0	14.6
駅中心の地域	5.6	5.6	5.6	☆33.3	11.1	22.2	22.2	5.6	☆33.3	0.0	11.1	0.0	16.7
出張所中心の地域	☆17.9	7.1	7.1	7.1	3.6	17.9	☆17.9	17.9	☆39.3	☆10.7	☆14.3	0.0	7.1
新宿区全体	8.2	4.9	1.6	5.7	1.6	30.3	11.5	☆32.8	20.5	☆ 7.4	☆25.4	5.7	12.3
そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	35.0	0.0	30.0	15.0	5.0	20.0	10.0	30.0
わからぬい	4.0	1.7	3.5	2.3	10.4	27.7	12.7	18.5	10.4	3.5	9.2	2.9	37.6

注： ☆印の付いたものは特に多いもの

IV. 児 童・青 少 年

-
1. 国際児童年の周知度
 2. 青少年の環境づくりの責任
 3. 子どもに望むもの
 4. 子どもに対する地域社会の責任
 5. 「子どもの午後」について
 6. 地区青少年対策委員会の周知度
 7. 地区青少年対策委員会活動への参加意思
 8. 区の児童・青少年事業への要望
-

【ライフ・ステージ】

- * 婚前期 結婚前の独身者
 - * 家族形成期 子どもがいない若夫婦の夫あるいは妻
 - * 家族成長期(A) 結婚し乳・幼児がいる親
 - * 家族成長期(B) 小・中学生がいる親
 - * 家族成長期(C) 高校・大学生がいる親
 - * 家族成熟期 学校教育を終えた独身の子どもがいる親
 - * 老年期(A) 子どもが結婚して一緒に住んでいる親
 - * 老年期(B) 子どもが独立して2人だけになった親
 - * 老年期(C) 子どもが独立して1人だけになった親
-

IV. 児童・青少年

1. 國際児童年の周知度

Q 15 今年は國際児童年ですが、ご存知ですか。（1A）

N = 1,139

- | | | | |
|----------|-------|---------|-------|
| 1. 知っている | 83.9% | 2. 知らない | 16.1% |
|----------|-------|---------|-------|

2. 青少年の環境づくりの責任

Q 16 では、青少年がすこやかに育ち、それをとりまく環境をよくするには、どこが最も力を入れてやらなければならないと思いますか。（1A）

N = 1,139

- | | | | |
|---------------|-------|----------|-------|
| 1. 個々の家庭 | 53.3% | 4. 学校 | 11.7% |
| 2. 地域社会 | 19.4% | 5. その他 | 1.7% |
| 3. 区役所などの行政機関 | 7.8% | 6. わからない | 6.1% |

3. 子どもに望むもの

Q 17 あなたは子どもにどんなことを身につけてほしいと思いますか。次の中から主なことを2つ以内で選んでください。〔回答票6提示〕（2A）

N = 1,139

- | | | | |
|---------|-------|-----------|-------|
| 1. 自主性 | 23.5% | 8. 責任感 | 29.9% |
| 2. 忍耐力 | 20.7% | 9. 豊かな情操 | 8.7% |
| 3. 自立心 | 17.0% | 10. 自己表現力 | 3.7% |
| 4. 親切心 | 14.0% | 11. 協調性 | 6.6% |
| 5. 社会道徳 | 27.4% | 12. その他 | 1.7% |
| 6. 礼儀作法 | 21.5% | 13. 特にない | 3.8% |
| 7. 判断力 | 9.8% | | |

4. 子どもに対する地域社会の責任

Q 18 子どもに対しては、地域の人全体が親のように注意を払うべきだという意見がありますが、どう思いますか。 (1 A)

N = 1,139

- | | |
|-----------------------------|---------|
| 1. 当然のことだ | 4 3.1 % |
| 2. 個人主義化しているので実際には
むずかしい | 3 8.0 % |
| 3. 自分の子どものことで精一杯だ | 2.4 % |
| 4. 子どもの親に任せておけばよい | 7.6 % |
| 5. むしろ学校や役所の仕事だ | 1.3 % |
| 6. その他 | 1.0 % |
| 7. わからない | 6.6 % |

5. 「子どもの午後」について

Q 19 また、子どもが宿題や塾などあらゆるものから解放され、遊びに専念できる「子どもの午後」を、日を決めて設けるべきだという意見がありますが、どう思いますか。 (1 A)

N = 1,139

- | | |
|-------------------------------|---------|
| 1. ぜひ設けるべきだ | 2 1.9 % |
| 2. できれば設けるべきだ | 2 7.1 % |
| 3. それぞれの考えがあるので、實際
にはむずかしい | 2 5.5 % |
| 4. そんなことをすると勉強が遅れる | 0.8 % |
| 5. 都会は危険が多いので心配だ | 1.6 % |
| 6. そんな必要はない | 8.7 % |
| 7. その他 | 2.3 % |
| 8. わからない | 1 2.1 % |

6. 地区青少年対策委員会の周知度

Q 20 新宿区には、区民による地区青少年対策委員会があり、青少年をとりまく環境をよくする活動などをしていますが、あなたは知っていますか。 (1 A)

N = 1,139

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 3 0.8 % |
| 2. 知らない | 6 9.2 % |

7. 地区青少年対策委員会活動への参加意思

Q 21 では、地区青少年対策委員会の活動に参加したいと思いますか。 (1 A)

N=1,139

- | | |
|-------------------|--------|
| 1. 委員として積極的に参加したい | 0.7 % |
| 2. 呼びかけがあれば参加したい | 23.6 % |
| 3. 参加したくない | 31.6 % |
| 4. すでに委員として参加している | 1.1 % |
| 5. わからない | 42.9 % |

8. 区の児童・青少年事業への要望

Q 22 区の児童・青少年のための事業として、とくに力を入れてほしいと思うことは何ですか。 (1 A)

N=1,139

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1. スポーツをする機会をもっと与える | 26.2 % |
| 2. 幼稚園・保育園・児童館を充実する | 7.9 % |
| 3. 健康診断・栄養指導を強化する | 6.0 % |
| 4. 公園・児童遊園などの遊び場を充実する | 13.0 % |
| 5. 学校教育の充実 | 10.4 % |
| 6. 非行化・自殺の防止 | 13.4 % |
| 7. 仲間づくりの促進 | 9.0 % |
| 8. その他 | 1.1 % |
| 9. 特にない | 13.1 % |

最近、自殺や非行の低年齢化など、深刻な問題がクローズ・アップされている。また、昭和54年は国際児童年にあたり、次の世代を担う児童・青少年の育成のあり方が見直されている。

そこでこの章では、児童育成に対する責任について、特に地域社会の果たす役割を中心に聞いた。

まず、国際児童年の周知度を調べると、8割を超えており、男50代、女20～30代、

学生などに特に高い。しかし、国際児童年の周知は、マスコミ等によるPRの影響も大きく、周知度がそのまま児童育成に対する関心の高さと結びつくとは必ずしもいえない。

環境づくりの責任は個々の家庭にあると考える人が過半数を占める。家庭の責任を重視する意見は中・高年女性、地域社会の責任は男女若年層、学校の責任は男性50代に多い。一方、子どもに対する地域社会の責任を聞くと、「当然のことだ」という意見が4割強あり、これは男性中年層に特に多い。この結果は、育成の責任は第一に家庭にあると考える人が過半数であるが、地域社会の果たす役割は潜在的に当然と認めている傾向があるとうけとれよう。

ところで、「東京都児童・青少年施策懇談会」からゆとりある教育を目指した、いわゆる「子どもの午後」——特定曜日に学校を半日にし、子どもたちが宿題や塾などあらゆることから解放される午後を設けるもの——が提示されたが、この「子どもの午後」に対しては、「ぜひ設けるべきだ」が2割、「できれば設けるべきだ」が3割で、支持派は約半数である。

なお、「実際にはむずかしい」と考える人が地域社会の責任については4割、子どもの午後については3割弱である。こうした意見は現実に子供を抱えている中年女性に多い傾向があることは注目されよう。

子どもに望むものとしては、「責任感」が3割で最も多く、以下、「社会道徳」、「自主性」、「礼儀作法」、「忍耐力」の順である。「豊かな情操」や「自己表現力」、「親切心」など情緒的、心情的項目はむしろ下位になり、最近の子ども達に精神的な強靭さを求める傾向が強いといえよう。

ところで、区では青少年対策の一環として、地域住民の自主的な団体である「地区青少年対策委員会」（区内11か所）の活動を援助している。この委員会に対する周知度は3割であるが、参加意思をもつ人は4人に1人とあまり高い数字とはいえない。また、積極的な参加意思を示す人は極めて少ない。参加意思是、男性は40～60代、女性は30～40代に比較的強くあり、これらの層に重点的に働きかけて、さらにキャンペーン、PR等新しい企画を工夫することが必要であろう。

最後に区の施策に対する要望を聞いた。「スポーツをする機会をもっと与える」という意見が最も多く、4人に1人である。以下、「非行化・自殺の防止」、「公園・児童遊園などの遊び場を充実する」、「学校教育の充実」の順であった。

青少年・児童問題は日常、様々に論じられ関心も高いが、現実に健全育成を考え、積極的に環境づくりを進めていく気運は、まだあまり盛り上がっているとは言い難いのが現状である。

IV-1 國際児童年の周知度

周知度は、図4-1のとおり、8割を超えており(83.9%),かなりよく知られている。

周知度の高い属性は次のとおりである。

性年代別にみると、図4-2のとおり、男性は50代(94.1%)に多く、女性は20~30代(各93.7%, 96.3%)が多い。

職業別にみると、学生(95.1%)に特に周知度が高く、事務職・技術職(90.1%)が続いている(図4-3)。

さらにライフステージ別にみると、図4-4にみられるとおり、実際に児童がいると考えられる家族成長期(A), (B)よりもむしろ、婚前期(90.5%)と家族成長期(C)(93.8%)に周知度が高い。これは、国際児童年にに対する周知度がそのまま各家庭の児童教育へ

図4-1 國際児童年の周知度

N=1,139

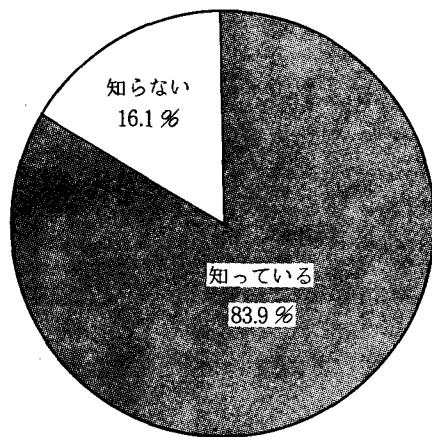


図4-2 性別の国際児童年の周知度

N=1,139

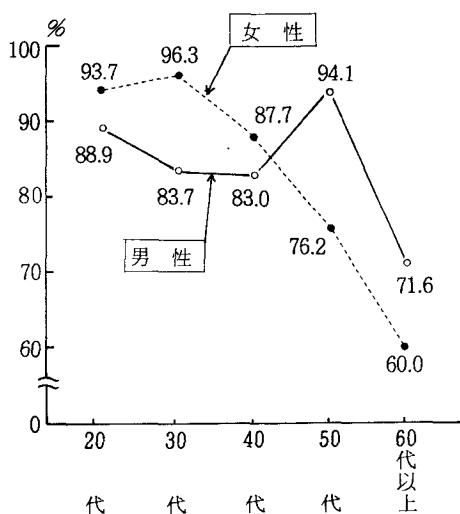
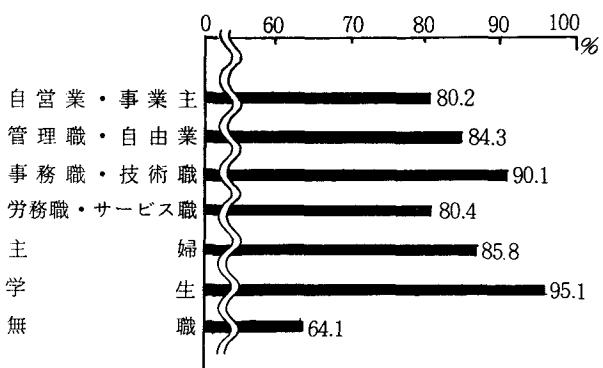


図4-3 職業別の国際児童年の周知度

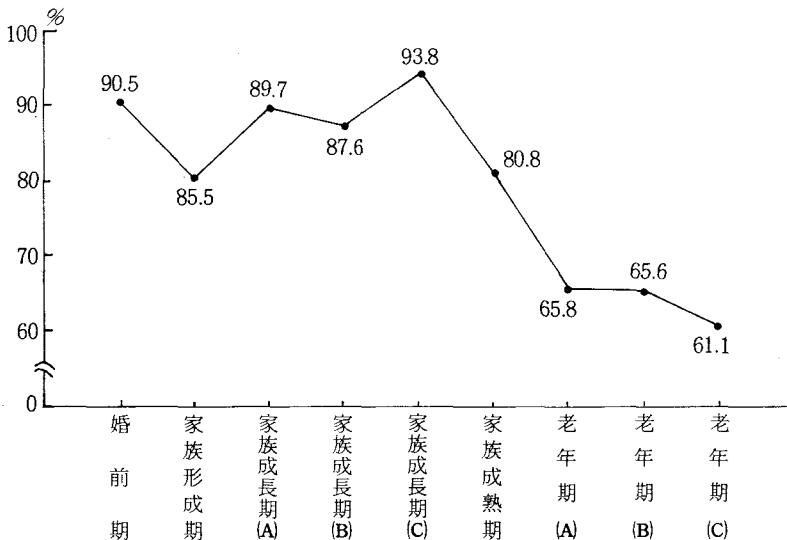
N=1,139



注：その他を除く

図 4-4 ライフステージ別の国際児童年の周知度

N = 1,139



注：その他、NAを除く

の熱心さと結びつくとはいえないことを示
していよう。

IV-2 青少年の環境づくりの責任

「個々の家庭」が 53.3 % と過半数を占める。次いで「地域社会」の 19.4 % であり、「学校」は 11.7 % とそれ程高い比率を示してはいない（図 4-5）。近年、地域社会の青少年の健全育成に対する責任が見直されているが、まだ個人の意識では家庭の役割に比重がかかっているとうけれどよう。

項目ごとに属性別の特徴をみると次のとおりである（図 4-6, 4-7, 相関表参照）。

◎個々の家庭（区全体 53.3 %）

ほぼ全ての層で過半数を占めており、一般的な意見であるといえる。特に中・高年の

図 4-5 青少年のための環境づくりの
責任

N = 1,139

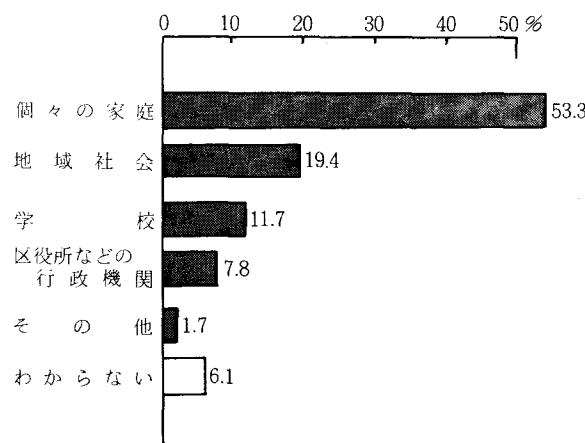
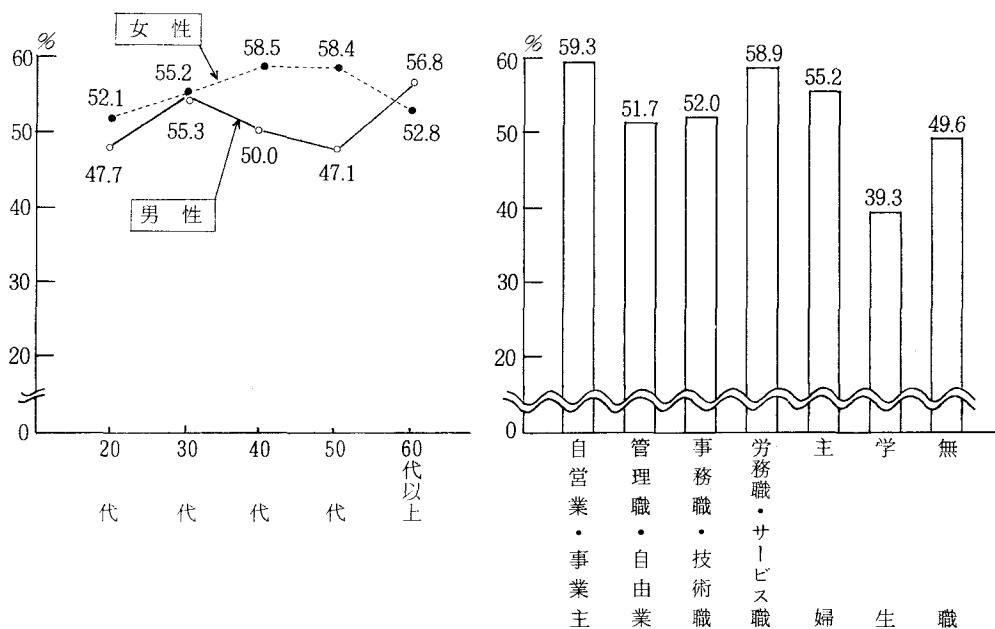


図 4-6 性年代別、職業別の【個々の家庭】に責任

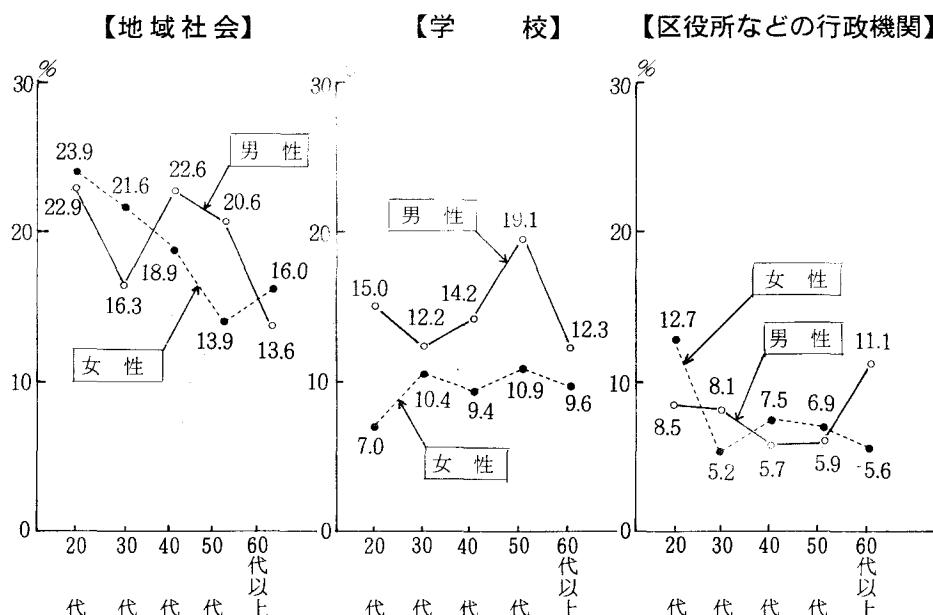
N=1,139



注：その他を除く

図 4-7 性年代別の青少年のための環境づくりの責任

N=1,139



女性に多い意見である。

◎地域社会（区全体 19.4 %）

男女とも若い世代の考え方であると同時に、実際に青少年の教育に当たっていると思われる中年層の男性に多い意見である。

◎学校（区全体 11.7 %）

学生に多いことは、自分自身の問題として考えているためと思われる。戦時中に学校教育を受けた男性 50 代に多いことは、注目されよう。

◎区役所などの行政機関（区全体 7.8 %）

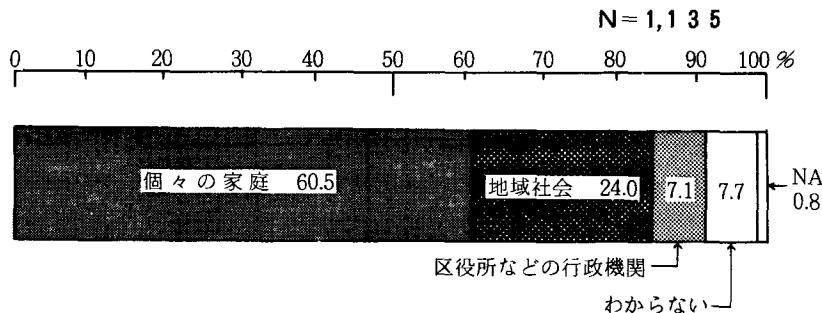
若い女性に多い。

ここで 52 年 2 月調査の結果をみたのが図 4-8 である。回答項目に「学校」がないために、各項目の比率を単純に比較することはできないが、「個々の家庭」に 6 割、「地域社会」に 2 割強となっており、ほぼ今回調査の傾向と一致している。

IV-3 子どもに望むもの

「責任感」が 29.9 % と最も多い。以下、上位 5 項目としては、「社会道徳」(27.4 %)、「自主性」(23.5 %)、「礼儀作法」(21.5 %)、「忍耐力」(20.7 %) があがっている(図 4-9)。「責任感」や「自主性」が強く求められている反面、「豊かな情操」(8.7 %) や「自己表現力」(3.7 %) といった情緒面の項目は下位にある。最近の青少年に対して、情操面よりもむしろ、生活態度に一本筋の通った生き方を望む傾向が強いといえよう。また「社会道徳」と「礼儀作法」がそれぞれ上位を占していることも、それら

図 4-8 52 年 2 月調査の
青少年のための環境づくりの責任



が最近の子どもに欠けていると考えられることを示していよう。

項目ごとに属性別の特徴をみると次のとおりである（表4-1, 4-2, 相関表参照）。

◎責任感（区全体 29.9% 第1位）

男女とも中年層に多く、労務職・サービス職にも多い。

◎社会道徳（区全体 27.4% 第2位）

ほぼ男性高年層の意見といえよう。なお、若い男性にも比較的多いことは、自分自身が社会道徳の必要性を感じる機会が多いためであろうか。

◎自主性（区全体 23.5% 第3位）

男女とも若年層中心の意見であり、学生に多くなっている。

◎礼儀作法（区全体 21.5% 第4位）

男女とも高年層中心の意見である。

◎忍耐力（区全体 20.7% 第5位）

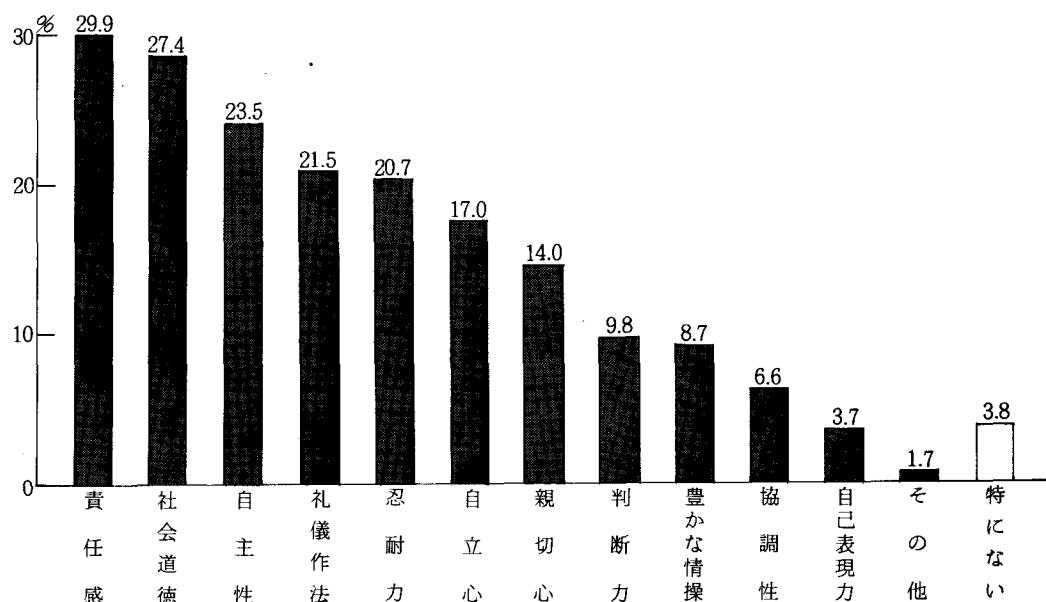
女性中年層中心の意見である。

家庭にいる主婦が忍耐力を最も重視する傾向があるのは注目に値しよう。

◎自立心（区全体 17.0% 第6位）

男女とも40代がピークとなっていることが特徴である。

図4-9 子どもに望むもの
N=1,139



◎親切心 (区全体 14.0% 第7位)

男女とも高年層中心の意見であるが、「社会道徳」や「礼儀作法」に比べて、働いている老人に多い傾向がみられる。

◎判断力 (区全体 9.8% 第8位)

20代男性と30代女性に多い。

◎豊かな情操 (区全体 8.7% 第9位)

女性若年層中心の意見であるといえよう。

◎協調性 (区全体 6.6% 第10位)

ほぼ男女中年層に多い意見であるといえよう。

表4-1 子どもに望むものの特徴——上位5項目

N=1,139

	責任感	社会道徳	自主性	礼儀作法	忍耐力
区全体	29.9%	27.4%	23.5%	21.5%	20.7%
性年代別	男30代 (35.0%)	男20代 (32.7%)	男20代 (30.7%)	男60代以上 (37.0%)	女30代 (28.4%)
	男40代 (34.9%)	男60代以上 (42.0%)	女20代 (35.2%)	女60代以上 (32.8%)	女40代 (26.4%)
	女40代 (35.8%)				
職業別	労務職・サー ビス職 (35.5%)	無職 (31.6%)	事務職・技術 職 (27.2%)	無職 (35.9%)	主婦 (25.0%)
			学 生 (37.7%)		
ライフ・ ステージ 別	家族形成期 (34.8%)	家族成熟期 (35.8%)	婚前期 (28.5%)	老年期(B) (36.1%)	家族成長期(B) (25.9%)
	家族成長期(B) (38.8%)	老年期(C) (41.7%)	家族形成期 (29.0%)	老年期(C) (47.2%)	
特 徴	男女中年層	男性高年層	男女若年層	男女高年層	女性中年層

表4-2 子どもに望むものの特徴 — 6位～11位

N = 1,139

	自立心	親切心	判断力	豊かな情操	協調性	自己表現力
区全体	17.0%	14.0%	9.8%	8.7%	6.6%	3.7%
性年代別	男40代 (23.6%) 女40代 (21.7%)	男60代以上 (19.8%) 女60代以上 (18.4%)	男20代 (13.7%) 女30代 (14.9%)	女20代 (16.2%)	男40代 (4.4%)	女20代 (7.0%)
職業別	管理職・自由業 (23.6%) 無職 (20.5%)	管理職・自由業 (21.3%)	—	—	自営業・事業主 (11.4%)	学生 (11.5%)
ライフ・ステージ別	家族成長期 (C) (28.3%)	老年期(B) (18.0%)	家族成長期 (B) (17.1%)	家族成長期 (A) (14.0%)	家族成長期 (A) (14.0%)	—
特徴	男女中年層	男女高年層	女性中年層	女性若年層	男女中年層	女性若年層

表4-3 子どもに望むものの年代別の傾向

若年層	中年層	高年層
◎自主性 ◎豊かな情操 ◎自己表現力 (◎判断力)	◎責任感 ◎忍耐力 ◎自立心 ◎協調性 ◎判断力	◎社会道徳 ◎礼儀作法 ◎親切心

◎自己表現力（区全体 3.7% 第11位）

女性若年層と学生に多い意見である。

これらの傾向を年齢のみに焦点をあててまとめたのが表4-3である。若年層はむしろ自分自身にとって必要と思われるものを挙げていると思われ、多分に個人、自己を大切にする傾向がみられる。一方、高年層は、自分達が受けてきた教育と異なる部分に不満・不安を感じていると思われ、道徳・作法にウエイトをおく傾向がみられる。

IV-4 子どもに対する地域社会の責任

青少年育成は地域全体の責任でもあるといふ考え方方に「当然のことだ」という人が43.1%，「個人主義化しているので実際にはむずかしい」が38.0%であり、この2つの意見で8割強を占めている（図4-10）。どちらも地域社会の責任を認めてはいるが、後者は実行の困難を強調しており消極的な姿勢といえよう。

上位2項目についてその多い属性をみると次のとおりである（図4-11，4-12，相関表参照）。

【当然のことだ】（区全体 43.1%）

性年代別では男40代（53.8%）と男50代（48.5%）が多く、男性中年層中心の意見であるといえよう。職業別では自営業・事業主（48.5%），ライフ・ステージ別では家族成熟期（53.3%）と老年期（C）（69.4%）に多い。定住意思別では永住するつもり（48.3%）が多く、住みよさ別では住みよいと感じている人ほど（40.0%→49.1%）多い。住んでいる土地に親密感を持ち、緊密に結びついている人ほど、地域社会の責任を重視し、またその責任を負っていく姿勢があると考えられよう。

【個人主義化しているので実際にはむずかしい】（区全体 38.0%）

性年代別では女20代（45.8%）と女40代（47.2%），職業別では主婦（42.2%）が多く、定住意思別ではできたら転出したい（42.3%），住みよさ別では住みにくいと感じている人ほど（36.9%→43.3%）多い。現実問題として日常的に近所の子どもと関わりのある女性主婦層に、「実際にはむずかしい」という意見が多いのは注目すべきであろう。

図4-10 子どもに対する地域社会の責任
N=1,139

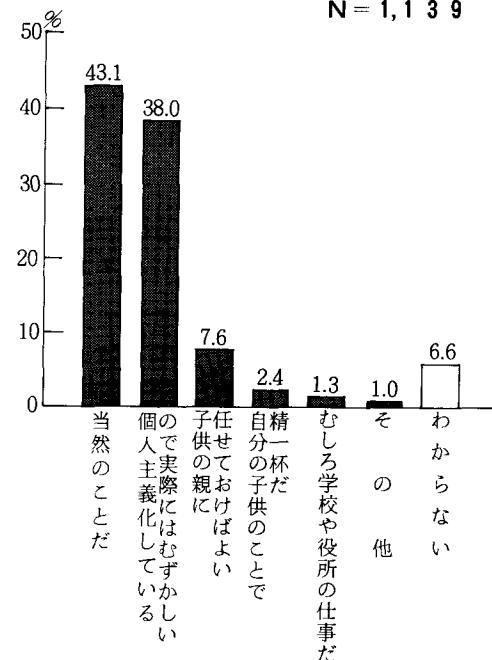


図 4-11 年代別のあるべき子どもに対する地域社会の責任 — 上位 2 項目

N=1,139

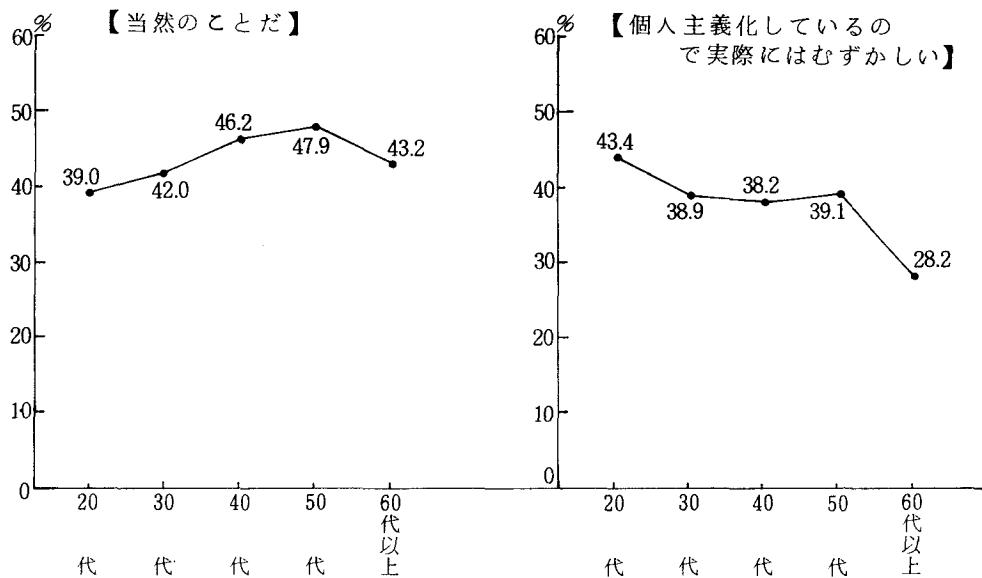
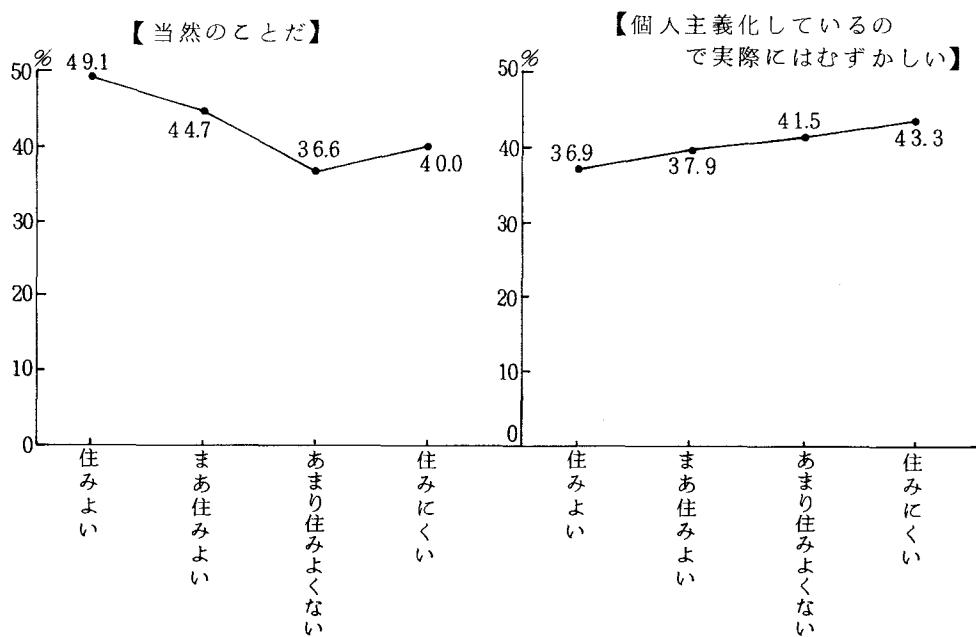


図 4-12 住みよさ別の子どもに対する地域社会の責任 — 上位 2 項目

N=1,139



注：わからないを除く

なお、[子供の親に任せておけばよい]が性年代別の男60代以上(24.7%)に特に多いことは、老人男性の多くが、子どもの教育は親の責任という考え方を抱いていることを示していよう。

IV-5 「子どもの午後」について

「ぜひ設けるべきだ」が21.9%、「できれば設けるべきだ」が27.1%で、両者を合わせて49.0%が『設けるべきだ』と答えている。一方、「それぞれの考えがあるので、実際にはむずかしい」という懐疑的な意見が25.5%と4人に1人ある(図4-13)。

『設けるべきだ』と答えた人の属性別の特徴をみてみよう。

年代別にみると、図4-14のとおり、ほぼ年代が若いほど(44.7%→52.9%)多い。新しい企画に対して、若い世代の方が素早い反応を示すためとも考えられよう。

さらにライフ・ステージ別にみると、図4-15にみられるとおり、家族形成期(57.9%)と家族成長期(A)(55.1%)および老年期(C)に多い。現在、小・中学生を抱えている親よりもむしろ、これから子どもを育てていこうという親たちに、支持意見が強いといえよう。

なお、「ぜひ設けるべきだ」は男性(24.9%)、「できれば設けるべきだ」は女性(29.3%)に多くなっている(相関表参照)。

ここで「それぞれの考えがあるので、実際にはむずかしい」という意見の多い属性を挙げておこう。性年代別では女40代(36.8%)、職業別では学生(32.8%)、ライフ・

図4-13 「子どもの午後」について
N=1,139

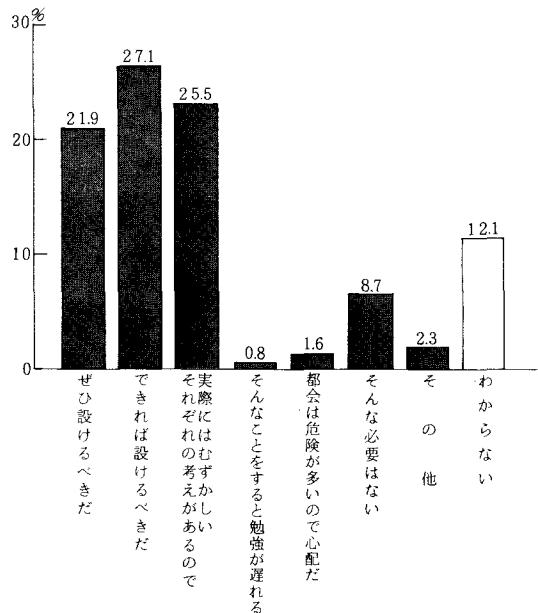


図4-14 年代別の「子どもの午後」を
『設けるべきだ』

N=1,139

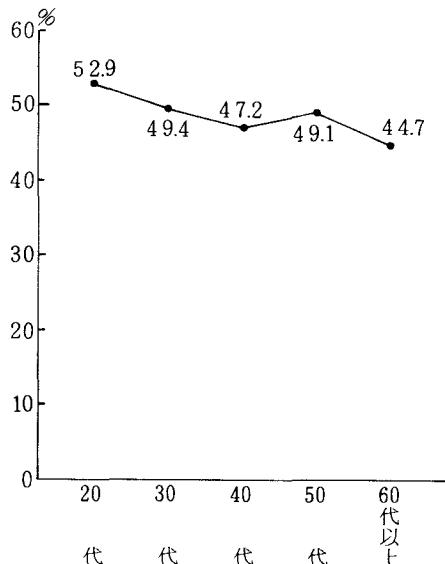
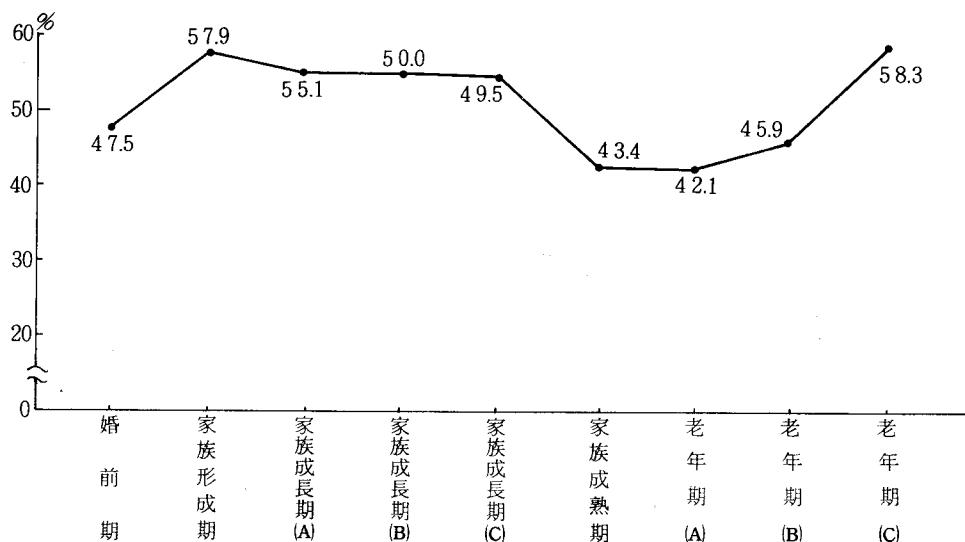


図 4-15 ライフ・ステージ別の「子どもの午後」を
《設けるべきだ》 N=1,139



ステージ別では、家族成長期(B) (30.0%) と家族成長期(C) (31.0%) に多い。現実に「子どもの午後」の対象となり得る年代の児童を抱えている親にむしろ懐疑感や躊躇がみられる。

IV-6 地区青少年対策委員会の周知度

周知度はほぼ3割 (30.8%) であり、決して高い比率とはいえない(図4-16)。PRおよびキャンペーン不足が考えられると同時に、委員会活動の内容もまた工夫が必要なのではないだろうか。

周知度の高い属性は次のとおりである。

地域別にみると、図4-17のとおり、四谷地域 (37.9%), 若松町地域 (34.5%) など区の南東部には周知度が高い傾向が見られる。また、落合第二地域 (45.6%) では、

図 4-16 地区青少年対策委員会の
周知度 N=1,139



図 4 - 17 地域別の地区青少年対策委員会の周知度

N = 1,139

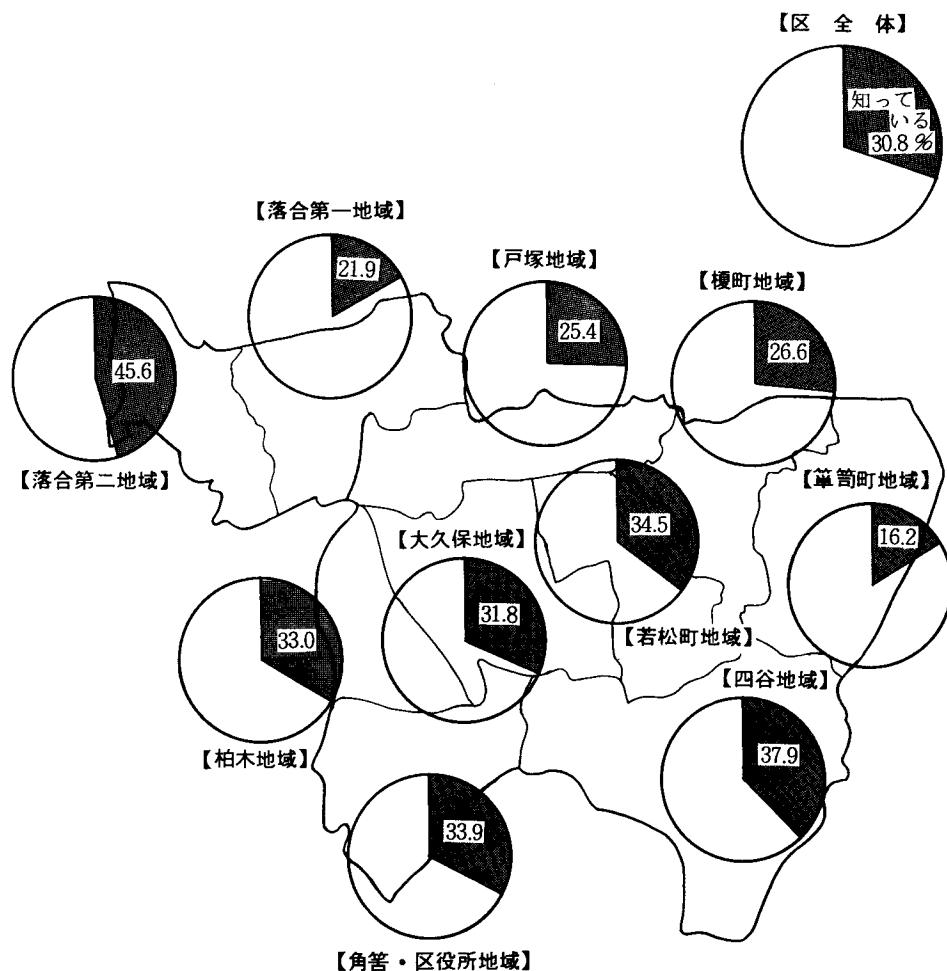


図 4-18 性年代別の地区青少年
対策委員会の周知度

N = 1,139

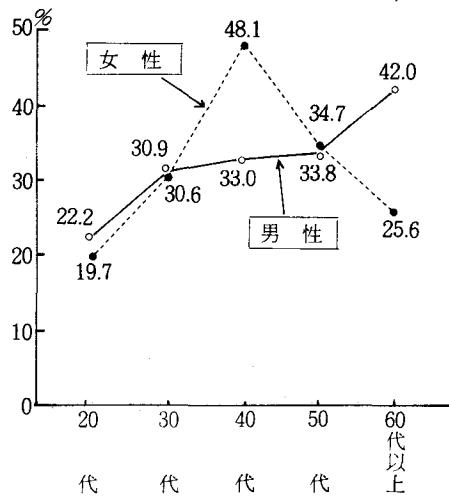
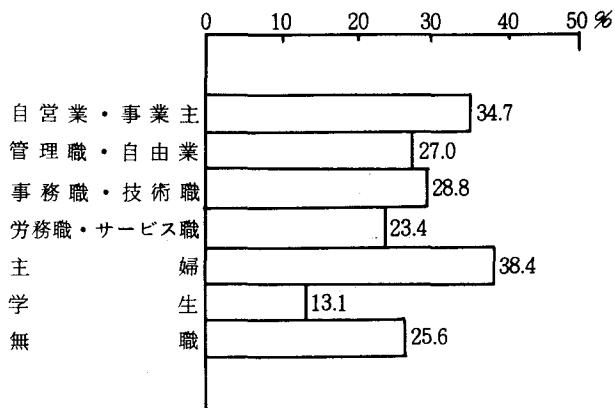


図 4-19 職業別の地区青少年対策委員会の周知度

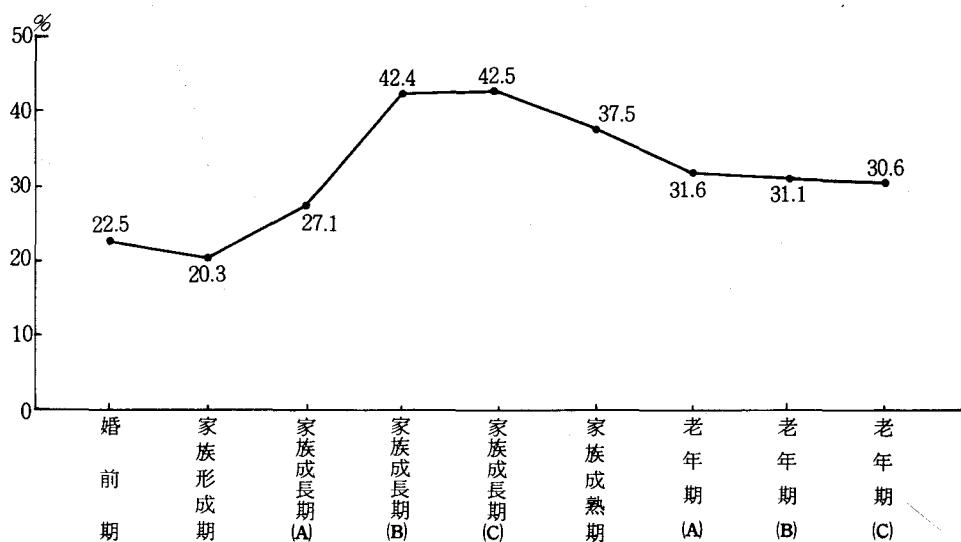
N = 1,139



注：その他を除く

図 4-20 ライフ・ステージ別の地区青少年対策委員会の周知度

N = 1,139



注：その他、NAを除く

ほぼ半数近い人が対策委員会を知っている。

性年代別にみると、男性は年代が高くなるほど（22.2%→42.0%）周知度が高くなるのに対して、女性は40代（48.1%）をピークとしている（図4-18）。職業別では自営業・事業主（34.7%）と主婦（38.4%）に多い（図4-19）。ライフ・ステージ別では、家族成長期（B）（42.4%）、家族成長期（C）（42.5%）、家族成熟期（37.5%）に比率が高くなっているが、これは委員会活動の対象となる児童・青少年の親として当然ともいえよう（図4-20）。また、住居形態別の持家（36.8%）にも多い。

IV-7 地区青少年対策委員会活動 への参加意思

「委員として積極的に参加したい」は0.7%であり、これは新宿区の成人人口を25万人（54年1月1日現在、257,397人）の中で1,800人が委員になる意思をもっていることである。そして、「すでに委員として参加している」の1.1%をみると、現在参加している人に近い数の人が、委員として参加する意思をもっているともいえよう。

「呼びかけがあれば参加したい」は23.6%であり、「委員として積極的に参加したい」と合わせて24.3%と4人に1人が《参加したい》と答えている。なお、「わからない」が42.9%と半数弱にまで達しているのは、委員会の周知度が3割であったことからみて当然というべきであろう（図4-21）。

《参加したい》を中心属性別の特徴をみてみよう（図4-22, 4-23, 4-24, 4-25）。地域別にみると、四谷地域（29.5%）と大久保地域（36.5%）に多く、区の西部には比較的少ない傾向がみられる。

性年代別では男40代（29.3%）、男60代以上（29.6%）、女30代（31.3%）、女40代（34.9%）が多い。女性は30～40代の中年層、男性は40～60代の中高年層に参加意思のある人が多い。

職業別では主婦（29.1%）、ライフ・ステージ別では家族成長期（A）（28.9%）、家族成長期（B）（31.2%）、老年期（C）（33.4%）が多い。老年期（C）において3人に1人

図4-21 地区青少年対策委員会活動
への参加意思 N=1,139

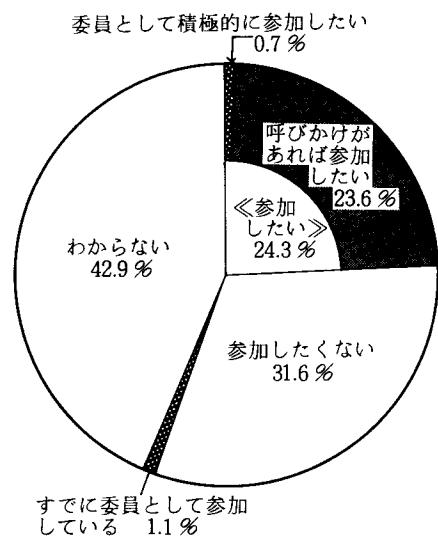


図 4-22 地域別の地区青少年対策委員会活動に

『参加したい』

N = 1,139

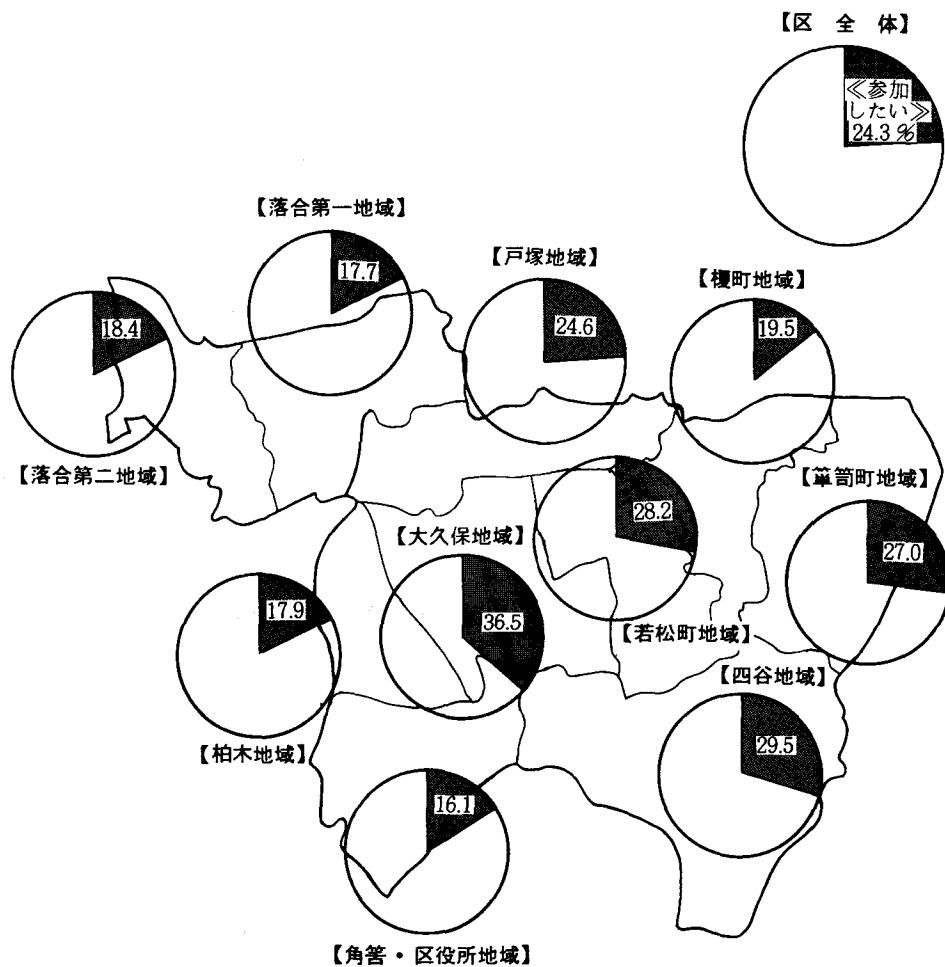


図4-23 性年代別の地区青少年対策

委員会に『参加したい』

N = 1,139

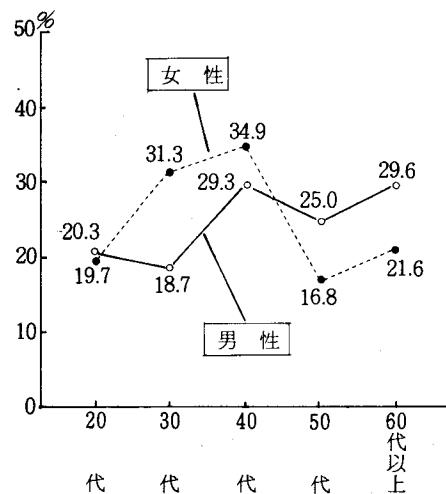
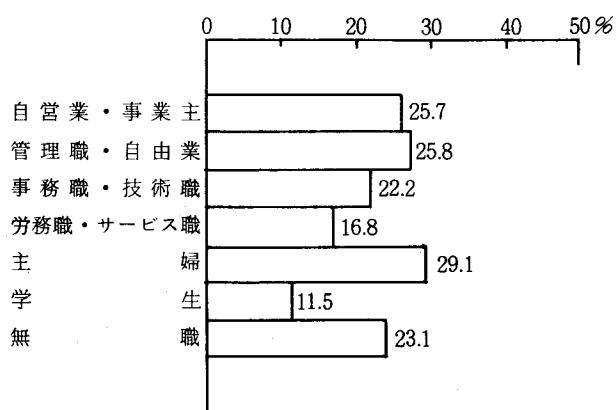


図4-24 職業別の地区青少年対策委員会活動に

『参加したい』

N = 1,139

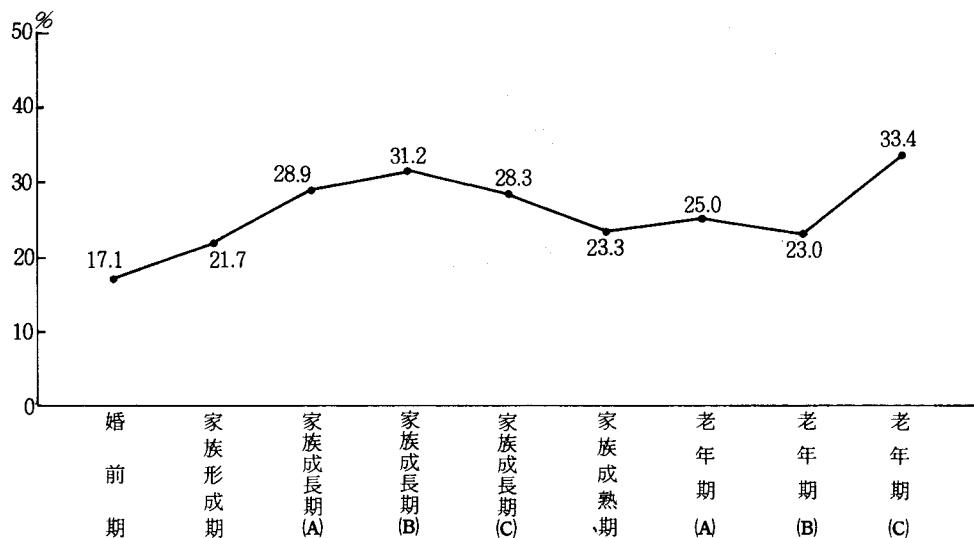


注：その他を除く

図4-25 ライフ・ステージ別の地区青少年対策委員会活動に

『参加したい』

N = 1,139



注：その他、NAを除く

図4-26 地区青少年対策委員会の周知度

—52年2月調査との比較

(単位%)

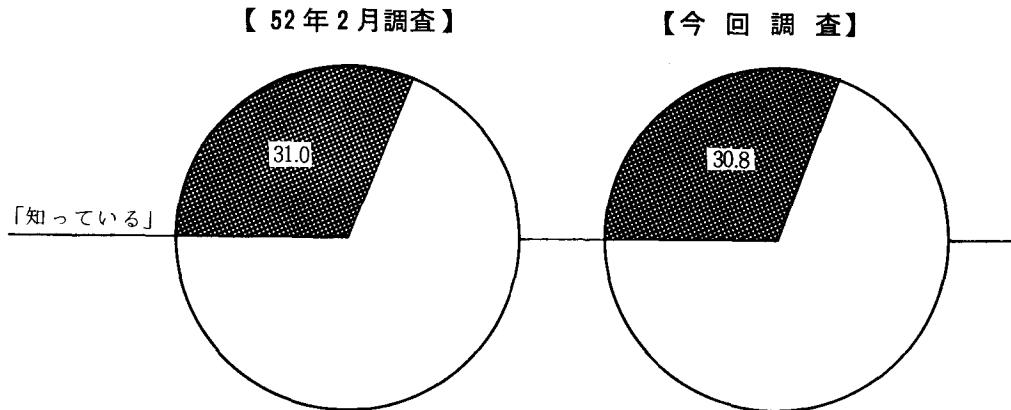


図4-27 52年2月調査の地区青少年
対策委員会活動への参加意思
 $N = 1,139$

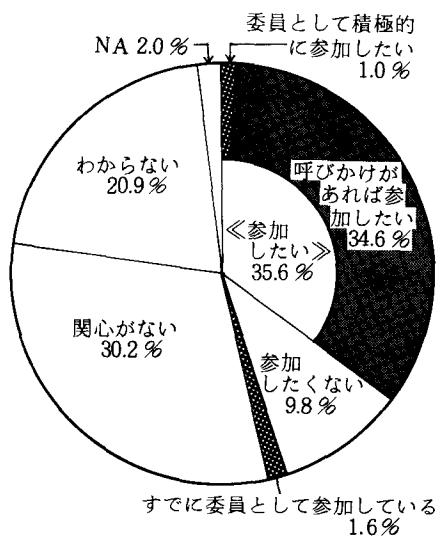


表4-4 地域別の地区青少年対策委員会
活動への参加意思の経年偏差値

(単位%)

地 域	52年調査 ×偏差値	今回調査	差
四 谷	28.4 ↑	30.8	+2.4
簗 町	14.5 ↑	27.0	+9.5
榎 町	28.2 ↓	20.3	-7.9
若 松 町	23.3 ↑	30.9	+7.6
大 久 保	27.2 ↑	36.5	+9.3
戸 塚	34.4 ↓	24.6	-9.8
落 合 第 一	15.3 ↑	18.7	+3.4
落 合 第 二	27.0 ↓	16.7	-10.3
柏 木	26.0 ↓	17.9	-8.1
角 箕・区役所	24.6 ↓	17.9	-6.7

は《参加したい》と答えてていることは、1人暮らしの老人の生きがいづくりや、老人と若い世代との精神的なつながりを考える上でも注目すべきであろう。

これら属性別の特徴と、前問の周知度の特徴を比較してみよう。

性年代別にみると、女性は周知度ほど顕著ではないが、ほぼ40代をピークとして参加意思をもっており、子どもを育てる当事者としての関心の強さがうかがえよう。一方、男性は30代において参加意思がダウンしており、働き盛りの男性の地区活動への参加の難しさを感じさせる(図4-17, 4-22参照)。これは職業別にも表われており、自営業・事業主の人たちは周知度が高く関心もあると思われるのに、参加意思が低い(図4-18, 4-23参照)。

ここで、52年2月調査の結果と比較してみよう(図4-26, 4-27)。周知度は52年2月31.0%→今回30.8%とほぼ同じ結果を示している。参加意思については、回答項目に「わからない」があるため、単純に比較することができないが、「呼びかけがあれば参加したい」の比率が52年2月34.6%→今回23.6%と大きく後退している。この差異はどこからくるのであろうか。23.6%:34.6%を偏差比として、地域別の偏差値を算出したのが表4-4である。(なお、52年調査では「委員として参加している」も《参加したい》に含めているため、ここでは今回調査の結果もそれに従った)全体の比率の減少と比べて、特に減少が激しい地域は、落合第二地域、戸塚地域の順であることがわかる。しかし、男性は中高年層、女性は中年層に参加意思が強いという傾向は一致している。

IV-8 区の児童・青少年事業への要望

「スポーツをする機会をもっと与える」という意見が4人に1人(26.2%)であり、最も多い。これは学力偏重の受験体制に対する一つの批判ともうけとれよう。次いで「非行化・自殺の防止」(13.4%),「公園・児童遊園などの遊び場を充実する」の順である(図4-28)。

上位4項目について属性別の特徴をみると、次のとおりである(図4-29, 4-30, 4-31, 相関表参照)。

◎スポーツをする機会をもっと与える (区全体 26.2% 第1位)

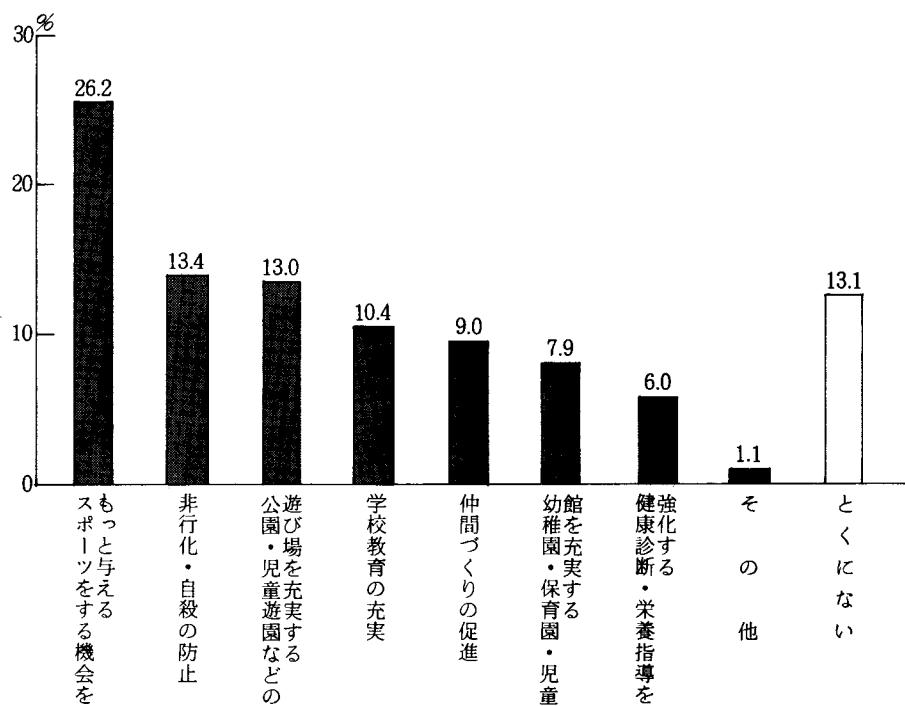
年代の若い人ほど多く、職業別では労務職・サービス職(31.8%)と学生(32.8%)に多い。若い年代、特に学生などに多いのは、自分自身に最も関心のあることでもあり、また、自分に不足していた事を顧みての回答であろう。

◎非行化・自殺の防止 (区全体 13.4% 第2位)

40代に多い。

図4-28 区の児童・青少年事業への要望

N = 1,139



- ◎公園・児童遊園などの遊び場を充実する
(区全体 13.0% 第3位)

地域別にみると戸塚地域(18.5%)に多い。また、乳・幼児のいる家庭に多くなっている。

- ◎学校教育の充実(区全体 10.4% 第4位)
50代が多く、環境づくりの責任を「学校」と答えた層と同傾向を示している。

なお、「幼稚園・保育園・児童館を充実する」は、四谷地域(15.0%)と大久保地域(16.3%)に多い要望である。

若年層はスポーツを第一とし、乳・幼児をもつ家庭では公園・児童遊園、高年層では学校教育への施策を求めている。

図4-29 性年代別の区の児童・青少年事業への要望 —上位3項目

N = 1,139

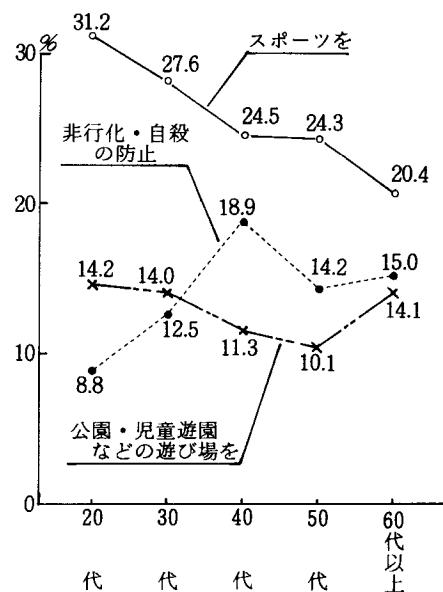


図4-30 地域別の区の児童・青少年事業への要望

——第3位、第6位の2項目

N=1,139

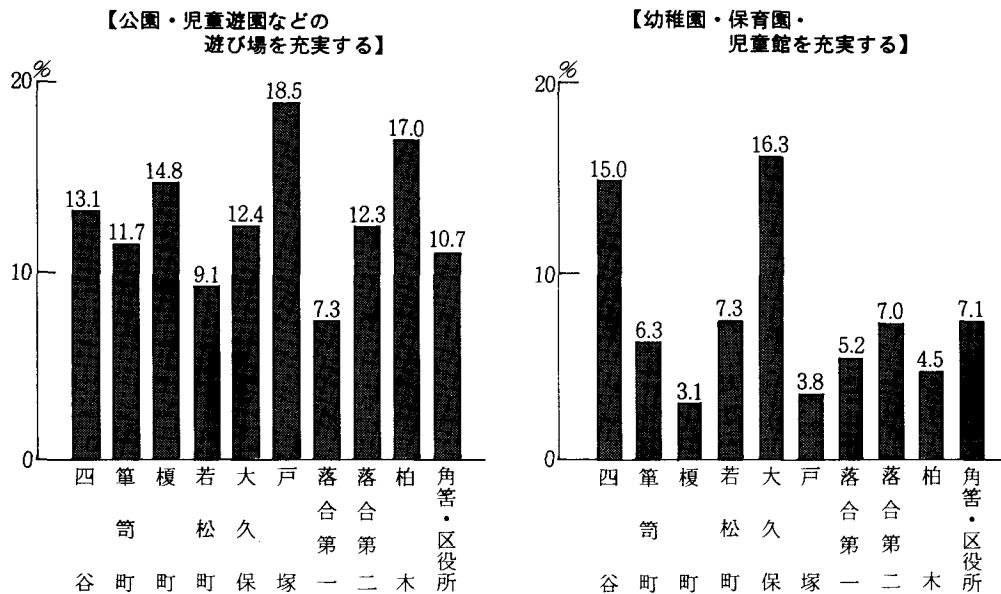
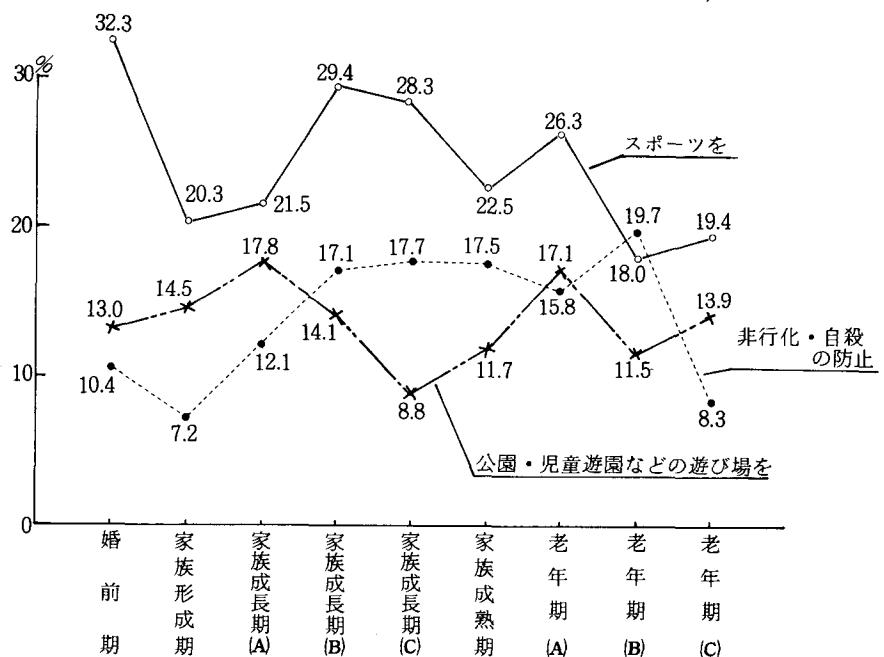


図4-31 ライフ・ステージ別の区の児童・青少年事業への要望

——上位3項目

N=1,139



V. 婦人

-
1. 女性の職業について
 2. 女性が職業を持つ場合の障害
 3. 女性の社会活動について
 4. 区の女性のための事業への要望
-

【ライフ・ステージ】

- * 婚前期 結婚前の独身者
 - * 家族形成期 子どもがいない若夫婦
の夫あるいは妻
 - * 家族成長期(A) 結婚し乳・幼児
がいる親
 - * 家族成長期(B) 小・中学生がいる親
 - * 家族成長期(C) 高校・大学生がいる親
 - * 家族成熟期 学校教育を終えた
独身の子どもがいる親
 - * 老年期(A) 子どもが結婚して
一緒に住んでいる親
 - * 老年期(B) 子どもが独立して
2人だけになった親
 - * 老年期(C) 子どもが独立して
1人だけになった親
-

V. 婦人問題

《設問とまとめ》

1. 女性の職業について

Q 23. 女性が職業を持つことについて、あなたはどう思いますか。 (1A)

N = 1,139

- | | | | |
|-----------------|-------|-------------|------|
| 1. ぜひ持つべきだ | 14.7% | 4. 持つべきではない | 2.5% |
| 2. 条件が許す限り持つべきだ | 57.3% | 5. わからない | 9.7% |
| 3. あまり持たない方がよい | 15.8% | | |

(Q 23で1, 2と答えた人に)

SQ 1. [男性の場合] では、あなたの身近な女性に職業を持ってほしいと思いますか。(1A)

N = 352

- | | |
|------------------|-------|
| 1. ぜひ持ってほしい | 12.8% |
| 2. 条件が許す限り持ってほしい | 60.2% |
| 3. 今は無理だが持ってほしい | 8.2% |
| 4. あまり持ってほしくない | 8.2% |
| 5. 持ってほしくない | 0.9% |
| 6. 現在持っている | 8.2% |
| 7. わからない | 1.4% |

SQ 2. [女性の場合] では、あなたは職業を持ちたいと思いますか。(1A)

N = 467

- | | |
|----------------|-------|
| 1. ぜひ持ちたい | 9.9% |
| 2. 条件が許す限り持ちたい | 28.9% |
| 3. 今は無理だが持ちたい | 16.3% |
| 4. あまり持ちたくない | 7.1% |
| 5. 持ちたくない | 5.1% |
| 6. 現在持っている | 32.3% |
| 7. わからない | 0.4% |

2. 女性が職業を持つ場合の障害

Q 24. 女性が職業を持つ場合、どのような障害があると思いますか。次の中から主なことを2つ以内で選んでください。〔回答票7提示〕(2A) N=1,139

- | | |
|-----------------------|-------|
| 01. 職種が限定されている | 22.1% |
| 02. 職場での差別待遇がある | 13.8% |
| 03. 職業意識が低い | 17.6% |
| 04. 技能・技術が不足している | 9.7% |
| 05. 法律・制度上の差別がある | 5.4% |
| 06. 家庭の潤いがなくなる | 30.4% |
| 07. 家族の理解・協力がない | 24.1% |
| 08. 出産・育児（保育所が不足している） | 28.5% |
| 09. 病人・老人の世話がある | 8.3% |
| 10. その他 | 1.1% |
| 11. わからない | 8.4% |

3. 女性の社会活動について

Q 25. 女性が地域活動やボランティア活動、学習活動などをすることについてはどう思いますか。(1A) N=1,139

- | | | | |
|-----------------|-------|-------------|-------|
| 1. ぜひやるべきだ | 15.0% | 4. やるべきではない | 1.5% |
| 2. 条件が許す限りやるべきだ | 57.8% | 5. わからない | 17.7% |
| 3. あまりやらない方がよい | 8.0% | | |

4. 区の女性のための事業への要望

Q 26. 区が行っている女性のための事業として、とくに力を入れてほしいことは何ですか。(1A) N=1,139

1. 技術・技能訓練	9.9%
2. 相談窓口の拡充	10.4%
3. 保育事業・家庭福祉員の拡充（就労援助）	13.1%
4. 医療・検査の充実（母性保護）	7.0%
5. 社会活動のための場の拡充	4.6%
6. 講座・講習会の充実	12.6%
7. 母子家庭などに対する生活援助・各種資金・手当の充実	9.7%
8. その他	0.7%
9. 特にない	32.1%

『男は社会で女は家庭で』という伝統的な役割分担の歴史は崩れつつある。女性が社会に進出するケースは年々増え、この傾向はこれからも一層増大するであろう。

また、労働省の『婦人労働白書』によれば、53年は2千万人以上の女性が就業しており、被雇用者総数の3分の1を超えており、それに伴い、新たな労働条件の問題がクローズアップされており、最近は労働基準法の女子保護条項をめぐる論議も盛んである。一方、働きながら妊娠・出産した女性のうち、それを理由に退職した女性が4割という数字も出ている。また、女性社長・女性重役などトップレベルの女性の進出は大きく取り上げられているが、それは全体の女性労働者数からみるとまだ微々たるものである。

こうした状況の中で、女性が働くということはどういう困難があり、また行政はどのような対策を講じていくべきであろうか。ここでは、女性が職業をもつことについて男性の側からそして女性自身からの意向を聞き、さらに女性の地域活動やボランティア活動についての考え方も聞いた。

女性も職業をぜひ持つべきだという意見は7人に1人であり、過半数の人は「条件が許す限り」と個人的事情を重視する傾向にある。また女性には機会があれば出来る限り就業しようという意向がみられるのに対し、男性の側では積極的な支持姿勢に乏しい傾向がある。「条件」としては出産と子供が義務教育を終えるまでの育児が大きな要因となっている。また、男性高年層には女性の就業に否定的な意見が強い。

ここで、身近な女性の問題として聞き直すと、一般論としては女性は職業を持つべきだが、身近な女性には持つてほしくないと考えている男性は6%いる。また、女性は職業を

持つべきだが自分は持ちたくないとする女性は9%であり、それぞれ一般論と現実論との誤差はそれ程大きくないといえよう。

それでは女性の就業にはどのような障害が意識されているだろうか。何といっても家庭内の主婦の役割がおろそかになることが問題となっており、「家庭の潤いがなくなる」(3割)、「出産・育児」(3割)、「家族の理解・協力がない」(2割)といった項目が上位に挙げられている。若年層の家庭では出産・育児、中年層では家族の協力が焦点となっており、高年層は老人自身の世話など主婦としての役割を確実に果たすことを求めている。

また「職種が限定されている」(2割)ことも障害として重視されている。

社会活動については、職業についてとほぼ同じ結果が出た。

最後に女性のための事業への要望を聞いたところ、1割を超えた項目は、「保育事業・家庭福祉員の拡充」、「講座・講習会の充実」、「相談窓口の拡充」であり、1つの項目に要望が集中するといった傾向はみられなかった。生活の援助・保護などの必要な女性を守る方向よりも、一般女性の育児の手助け、相談などの対策が求められているといえよう

《分析》

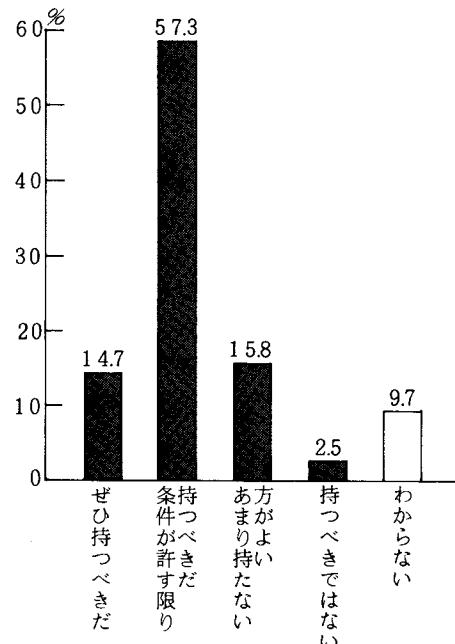
V-1 女性の職業について

「ぜひ持つべきだ」は14.7%と7人に1人にすぎない。一方、「条件が許す限り持つべきだ」が57.3%と過半数を占めている。このことは、結婚・出産・育児などを女性特有の条件として重視する傾向が依然として強いことを示している。それに対して、「あまり持たない方がよい」(15.8%)と「持つべきではない」(2.5%)とを合わせて、女性が働くことに否定的な意見が18.3%あった。

性別にみると図5-2のとおり、「ぜひ持つべきだ」と「条件が許す限り持つべきだ」という肯定的な意見は女性に多いのに対して、「あまり持たない方がよい」と「持つべきではない」という否定的な意見は男性が多い。女性は出来るだけ就業しようという傾向があ

図5-1 女性の職業について

N=1,139



るのに対し、男性の側では積極的な支持姿勢に乏しいともいえよう。

各項目ごとにその属性別の特徴をみてみよう(図5-3, 5-4参照)。

【ぜひ持つべきだ】(区全体 14.7%)

性年代別では男40代(18.9%)と女20代(24.6%)が多く、男女とも20代と40代にピークを持つ傾向がみられる(図5-3)。

これは結婚前の若年層と、子供がある程度大きくなった中年層の意見と考えられる。子供に手がかかるになってからの再就職に対し、男女とも比較的積極的であるという見方もできよう。

職業別では学生(31.1%)、ライフ・ステージ別では婚前期(22.2%)と家族形成

図5-2 性別の女性の職業について

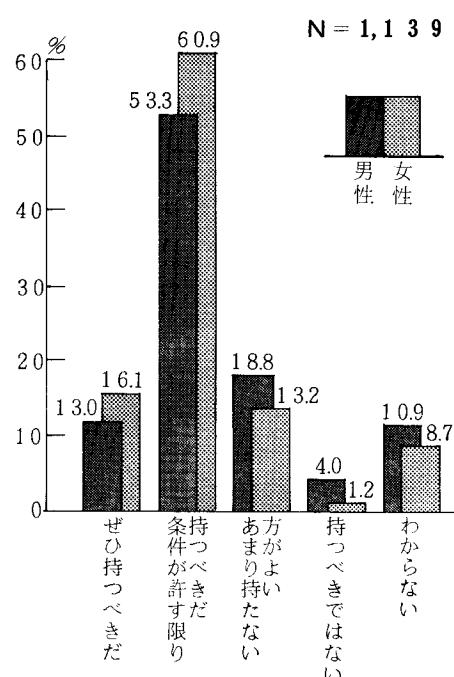
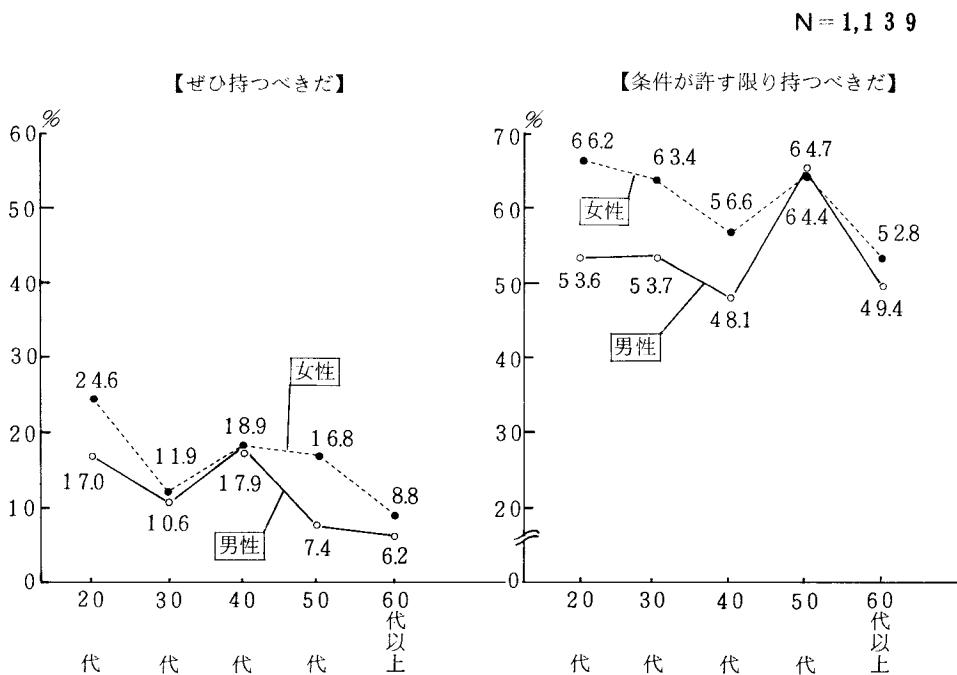


図5-3 性年代別の女性の職業について



期（20.3%）に多く、若い世代の意欲を感じさせる（図5-4）。一方、ライフ・ステージ別の家族成長期（結婚し、乳・幼児がいる親）（9.3%）と家族成熟期（学校教育を終えた独身の子供がいる親）（7.5%）に特に比率が低くなっている。前者は出産・育児の負担の大きさを示していよう。また後者は、子供が学校を卒業し就職した時点で、母親が仕事を離れる傾向がみられる。

【条件が許す限り持つべきだ】

（区全体 57.3%）

女性はほぼ年代が若いほど（52.8%→66.2%）多い。また、ライフ・ステージ別にみると家族成長期（A）から家族成熟期にかけてがピークとなっており、この時期の子育てによる制約が大きいことがわかる。

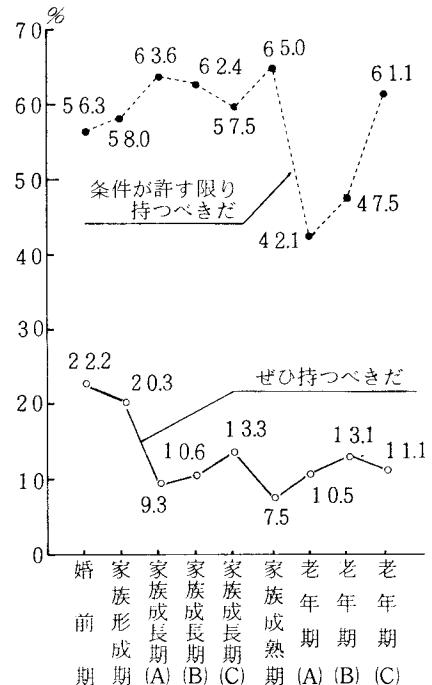
【あまり持たない方がよい】

（区全体 15.8%）

性年代別では男60代以上（27.2%）に

図5-4 ライフ・ステージ別の女性の職業について

N = 1,139



注：その他、NAを除く

表5-1 女性の職業について（昨年度調査結果）

N = 1,178

【「男は仕事、女は家庭」という考え方について】

【女性が職業をもつことについて】

当然である	27.2%
現状ではやむを得ない	33.6%
男女とも外で働き、家庭でも責任を分かちあうべきだ	24.6%
男女の役割は固定せず、女が外で働き男が家庭を守るのもよい	7.7%
その他	1.2%
NA	1.6%

職業を持たない方がよい	8.6%
結婚するまでは職業をもつ方がよい	16.0%
子供ができるまでは職業をもつ方がよい	16.9%
子供ができたらやめ、大きくなったら再就職するのがよい	33.3%
子供ができても働き続けるのがよい	15.0%
その他	6.5%
わからない	3.7%

特に多く、ライフ・ステージ別では老年期(A) (25.0%)に多い。男性高年層には、女性の職業について批判的な傾向が強いといえよう。

【持つべきではない】(区全体 2.5%)

これも男60代以上(4.9%)に多い。

「条件」にかかわらず女性の職業に積極的な意見は20代と40代に多く、再就職の意向が男女ともかなりあるといえる。また「条件」としては出産と育児が大きなものとなっているであろう。

ここで昨年度の調査結果を表5-1に示したので参考にされたい。

(1) 身近な女性の職業について

前回で支持的な意見を示した男性に、一般論ではなく身近な問題として問い合わせた。

図5-6 年代別の身近な女性の職業について

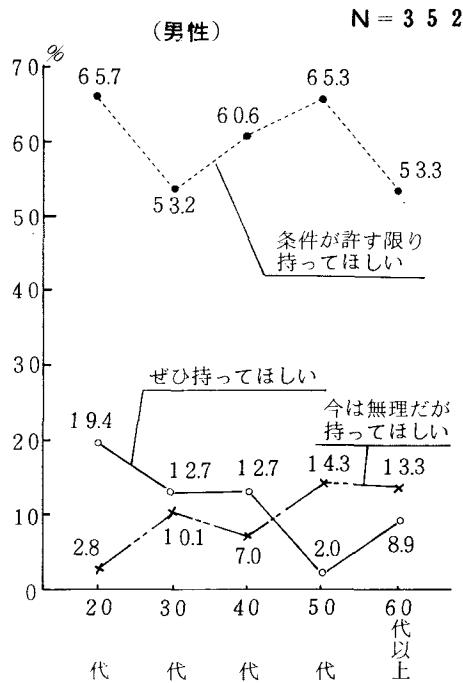


図5-5 身近な女性の職業について

N = 352

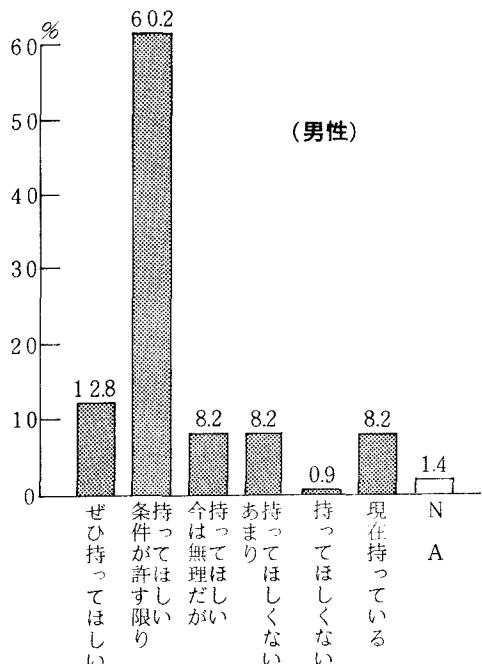
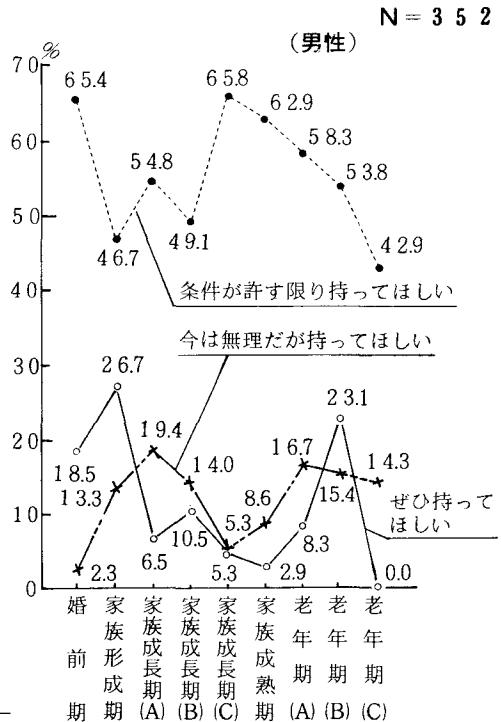


図5-7 ライフ・ステージ別の身近な女性の職業について



回答基数Nは352人であるが、一般論として「ぜひ持つべきだ」69人(19.6%)、「条件が許す限り持つべきだ」283人(80.4%)、という内訳である。

結果は図5-5のとおりであり、一般論としては、職業を持つべきだが、身近な女性には「あまり持つてほしくない」(8.2%)、「持つてほしくない」(0.9%)と答えた人が合わせて9.1%いる(全男性数531人に対しては6.0%)。

項目別の特徴をみると図5-6、5-7のとおりであり、前問の女性の職業についての属性別の特徴と大きく異なることはない(図5-3、5-4参照)。

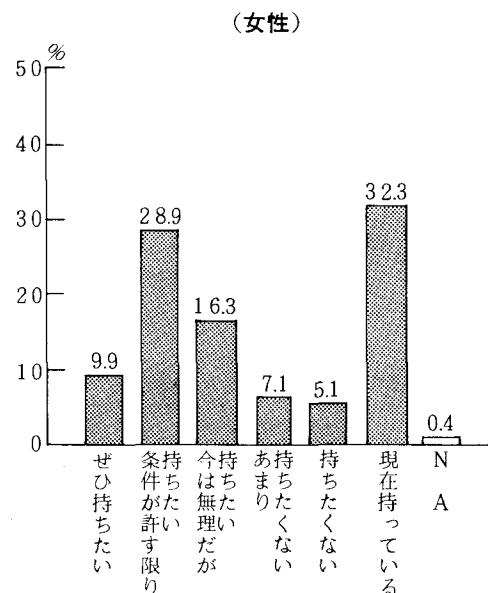
ただし、一般論に比べて身近な問題となると、高年層や老年期にある人に「持つてほしい」という意向が強くなっている、女性の就業が必要な老人家庭がかなりあるとうけとれよう。

(2) 女性自身の職業について

一般論として「ぜひ持つべきだ」(98人、21.0%)と「条件が許す限り持つべきだ」(369人、79.0%)と考えている女性に自分自身の問題として問い合わせた。その結果は図5-8のとおりである。「現在持つている」が32.3%あり、積極的な意見をもっている人の3人に1人は、職業に就いている。また、意向としては積極的だが、「今は無理だが持つたい」という回答が16.3%ある。それに対して一般的には女性は職業を持つべきだとしながらも、自分の問題としては「あまり持つたくない」(7.1%)、「持つたくない」(5.1%)と考える人が合わせて12.2%あり、前問の男性の場合の9.1%よりもむしろ多い(女性総数608人からみると9.2%)。

図5-8 女性自身の職業について

N=467



項目別に特徴をみると図5-9、5-10、5-11、表5-2のとおりである。

- ◎「ぜひ持ちたい」と「現在持つている」は若い女性に多い。
- ◎「あまり持つたくない」と「持つたくない」は老人女性に多い。
- ◎「今は無理だが持つたくない」は30代主婦、「条件が許す限り持つたい」は40代主婦に多くなっており、育児に手のかからなくなった40代頃から再就職の意向が強くなる。
- ◎学生、若年層は「ぜひ持ちたい」と強い意向を示しているのに対し、主婦、中年層は「条

図 5-9 年代別の女性自身の職業について

N = 467

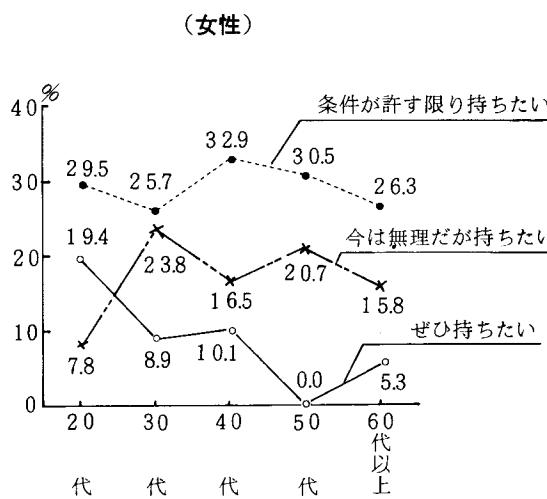
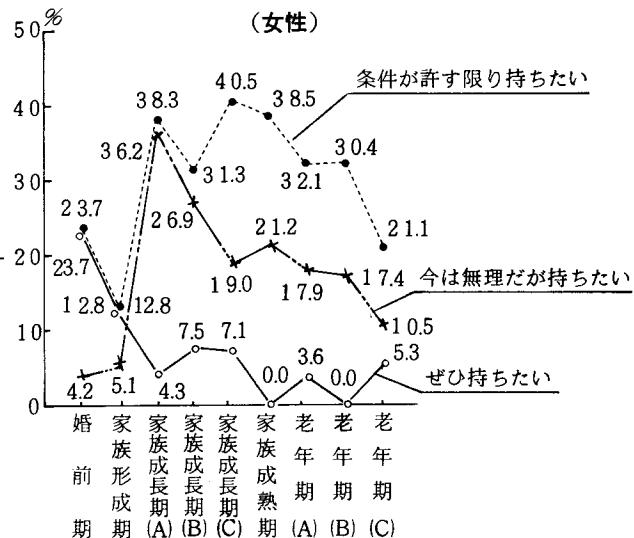


図 5-10 ライフ・ステージ別の女性自身の職業について

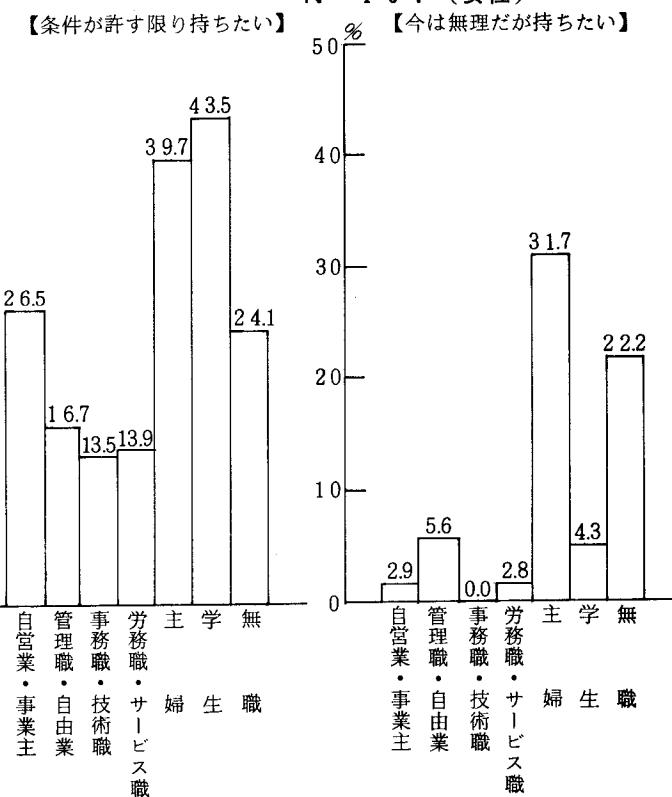
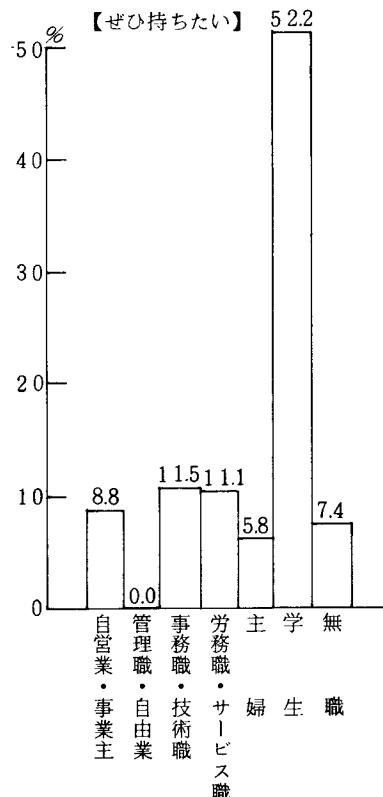
N = 467



注：その他、NAを除く

図 5-11 職業別の女性自身の職業について

N = 467 (女性)



注：その他を除く

表 5 - 2 女性自身の職業についての多い属性

N = 467

	ぜひ持ちたい	条件が許す限り持ちたい	今は無理だが持ちたい	あまり持ちたくない	持ちたくない	現在持っている
区全体	9.9%	28.9%	16.3%	7.1%	5.1%	32.3%
年代別	20代 (19.4%)	40代 (32.9%)	30代 (23.8%)	60代以上 (10.5%)	60代以上 (19.7%)	20代 (38.8%)
職業別	学生 (52.2%)	主婦 (39.7%) 学生 (43.5%)	主婦 (31.7%)	—	—	—
ライフ・ステージ別	婚前期 (23.7%)	家族成長期A) (38.3%) 家族成長期C) (40.5%) 家族成熟期 (38.5%)	家族成長期A) (36.2%) 家族成長期B) (26.9%) 家族成熟期 (21.2%)	—	—	—

件が許す限り持ちたい」，「今は無理だが持ちたい」と何らかの障害があることを示唆しながらも働く意欲を示している。

V-2 女性が職業を持つ場合の障害

それでは、その障害はどのようなものであろうか。9項目の中から選んでもらったところ，「家庭の潤いがなくなる」が最も多く，家庭の快適な維持を女性に一方的に期待する傾向がみられる。次いで「出産・育児」，「家族の理解・協力がない」が続いており，家庭内での問題が前面に出ている。次に多いのが「職種が限定されている」，「職場での差別待遇がある」といった受け入れる職場の側の問題であり，「職業意識が低い」，「技能・技術が不足している」といった女性自身の意識・技術の問題はそれ程大きな比率を示していない（図5-12）。

家庭，職場，女性自身，社会と4項目に大別して詳しくみると次のとおりである。図5-13，表5-3，5-4，5-5，5-6を参照されたい。

家庭内の問題としては，若年層では出産・育児，中年層では家族の協力がないことが中心となっている。また高年層は，娘や嫁に対して主婦としての役割を確実に果たすことを望んでおり，老人自身の世話なども求めている。

職場での問題と社会制度の問題は，女性の側からの切実な実感というよりはむしろまだ

図 5-12 女性が職業を持つ場合の障害

N = 1,139

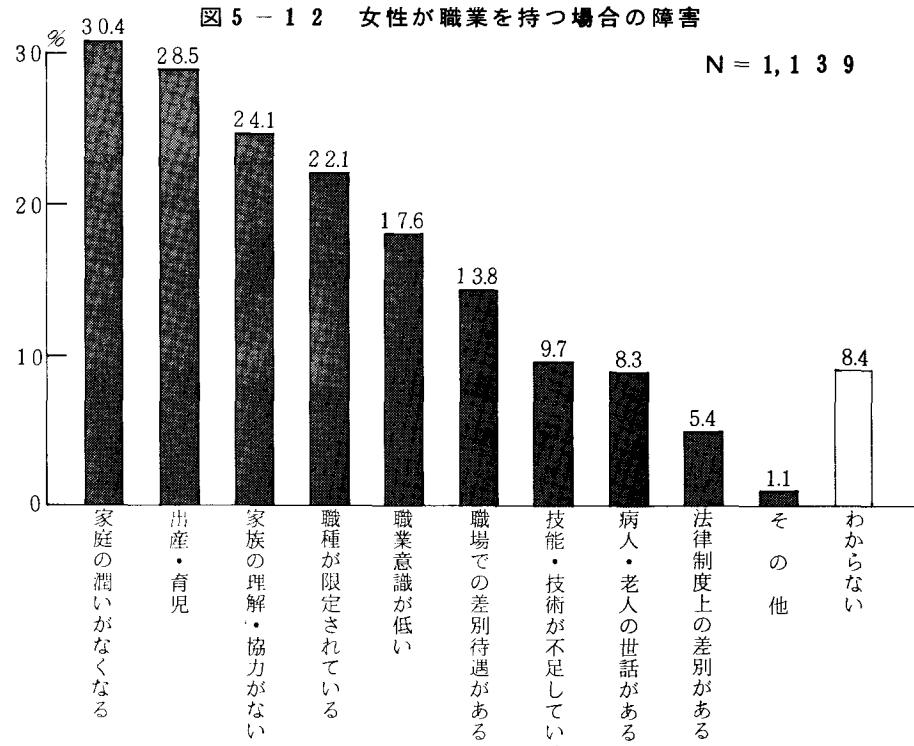


図 5-13 性別の女性が職業を持つ場合の障害

N = 1,139

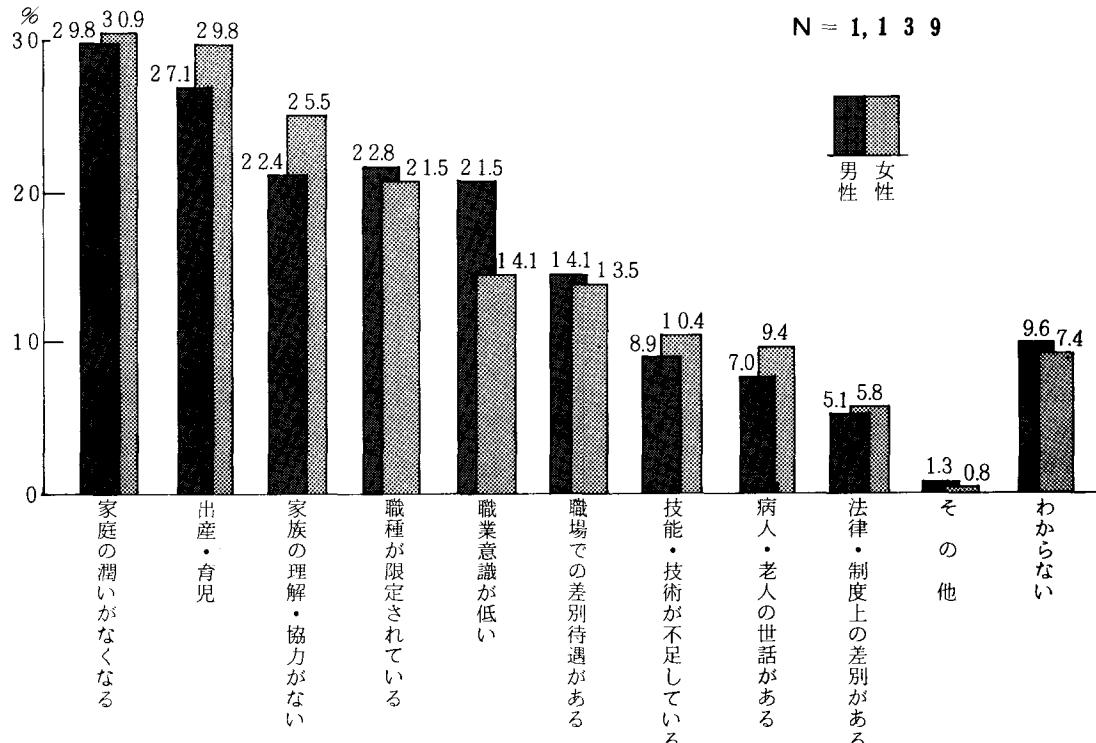


表5-3 女性が職業を持つ場合の障害の特徴

N = 1,139

【家庭内の問題】

	家庭の潤いがなくなる	出産・育児	家族の理解・協力がない	病人・老人の世話をがある
区 全 体	30.4%	28.5%	24.1%	8.3%
性 别	—	—	女性(25.5%)	—
性 年 代 別	男60代以上(37.0%) 女60代以上(37.6%)	男20代(34.0%) 女20代(35.2%) 女30代(34.3%)	男40代(30.2%) 女50代(30.7%)	男60代以上(18.5%) 女50代(13.9%) 女60代以上(14.4%)
ラ イ フ ・ ス テ ー ジ 別	家族成長期B)(35.9%) 老年期A)(42.1%) 老年期C)(44.4%)	家族成長期(36.2%) 家族成長期A)(40.2%)	—	老年期A)(22.4%)
特 徵	高年層に多い 小・中学生を持つ家庭 に多い	乳・幼児を持つ家庭に 多い	主婦に多い	子ども夫婦と一緒に暮ら している老人に多い

表5-4 女性が職業を持つ場合の
障害の特徴

【職場での問題】

N = 1,139

	職種が限定され ている	職場での差別待 遇がある
区 全 体	22.1%	13.8%
性 年 代 別	—	男50代 (29.4%) 女20代 (23.2%)
職 業 別	労務職・サービス 職(31.8%)	管理職・自由業 (18.0%) 学 生 (18.0%)
特 徵	大きな特徴はみら れない	管理者の観察, あるいはまだ働 いていない若い 女性に多い

表5-5 女性が職業を持つ場合の
障害の特徴

【女性自身の問題】

N = 1,139

	職業意識が低い	技能・技術が不 足している
区 全 体	17.6%	9.7%
性 别	男性(21.5%)	—
性 年 代 别	男20代 (25.5%) 男30代(24.4%)	大きな特徴は みられない
職 業 别	管理職・自由業 (23.6%) 学 生 (29.5%)	—
ラ イ フ ・ ス テ ー ジ 别	婚前期(26.6%)	—
特 徵	若い男性からの 女性批判である	—

就業していない若い人たちの意見といえる。

ここで注目したいのは男女差である。「家族の理解・協力がない」は女性、「職業意識が低い」は男性に多くなっており、女性は家族の協力、男性は女性の自覚を求めていともいえよう。

さらに、女性の職業についてと女性が職業を持つ場合の障害との関係を示したのが表5-7である。ぜひ持つべきだと考えている人は、障害として、「職種が限定されている」(26.3%)、「職場での差別待遇がある」(22.8%)など外部の問題を重要視する傾向がある。それに対して、持つべきではないと考えている人は、「技能・技術が不足している」(14.3%)といった女性自身に対する批判と共に、「家庭の潤いがなくなる」(42.9%)、「家族の理解・協力がない」(35.7%)といった家庭内の障害にウエイトをおく傾向がある。殊に、あまり持たない方がよいと思っている人の50.0%，持つべきではないと思っている人の42.9%が「家庭の潤いがなくなる」を挙げているのは注目されよう。

表5-6 女性が職業を持つ場合の障害の特徴

N = 1,139

【社会制度の問題】

法律・制度上の差別がある	
区 全 体	5.4%
性年代別	若い年代ほど 男20代 7.2% 女20代 7.7%
職 業 別	学 生 (11.5%)

表5-7 女性の職業についてと女性が職業を持つ場合の障害

N = 1,139

	職種が限定されている	職場での差別待遇がある	職業意識が低い	技能・技術が不足している	法律・制度上の差別がある	家庭の潤いがなくなる	家族の理解・協力がない	出産・育児	病人・老人の世話をある
区 全 体	22.1%	13.8%	17.6%	9.7%	5.4%	30.4%	24.1%	28.5%	8.3%
ぜひ持つべきだ	26.3	22.8	21.0	10.2	7.2	14.4	25.7	31.1	6.6
条件が許す限り持つべきだ	22.7	13.3	17.5	10.7	4.6	27.7	27.1	31.2	8.9
あまり持たない方がよい	21.1	12.8	20.0	7.2	10.6	50.0	15.6	22.2	8.3
持つべきではない	10.7	10.7	21.4	14.3	—	42.9	35.7	14.3	7.1
わからない	17.1	5.4	8.1	5.4	0.9	35.1	14.4	22.5	7.2

注：その他、わからないを除く

V-3 女性の社会活動について

図5-14のとおり、「ぜひやるべきだ」が15.0%、「条件が許す限りやるべきだ」が57.8%であり、女性の職業についてとはほぼ同率の回答となっている。「あまりやらない方が良い」が8.0%と職業についての場合よりいくらか少なくなっている、職業よりも社会活動については否定的な意見がやや少ないといえよう（図5-1参照）。

性別による差異もまた職業についてと同様、意欲的な意見は女性側に多い（図5-15）。しかし、女性の職業についての意見の場合とは異なり、男性の側からの否定的な意見はあまり高い比率を示していない。

項目ごとに属性別の特徴をみると、図5-16, 5-17のとおりである。「ぜひやるべきだ」は20代と40代に多く、「条件が許す限りやるべきだ」は中年の主婦に多い。一方、「あまりやらない方がよい」は中年男性に多い。すなわち職業や社会活動など女性が家庭内に閉じこもらないようにすることに条件に拘わらず積極的な意見は20代と40代に多く、中年女性は条件が許せば社会活動に参加したいと考えているのに対し、中年男性はあまり支持的ではないといえよう。

女性の職業についてと社会活動については明らかな相関を示しており、職業を持つべきだと考えている人ほど社会活動についても積極的な意向を持っている（図5-18）。

V-4 女性のための事業への要望

図5-19のとおり、一つの項目に要望が集中するという傾向はない。上位5項目は順

図5-14 女性の社会活動について

N = 1,139

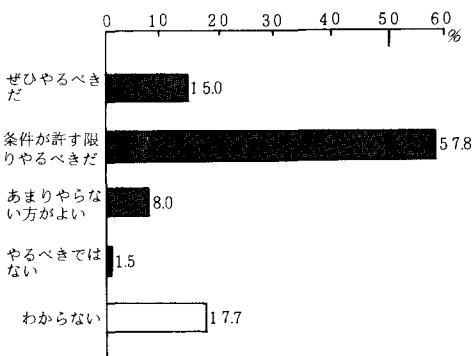


図5-15 性別の女性の社会活動について

N = 1,139

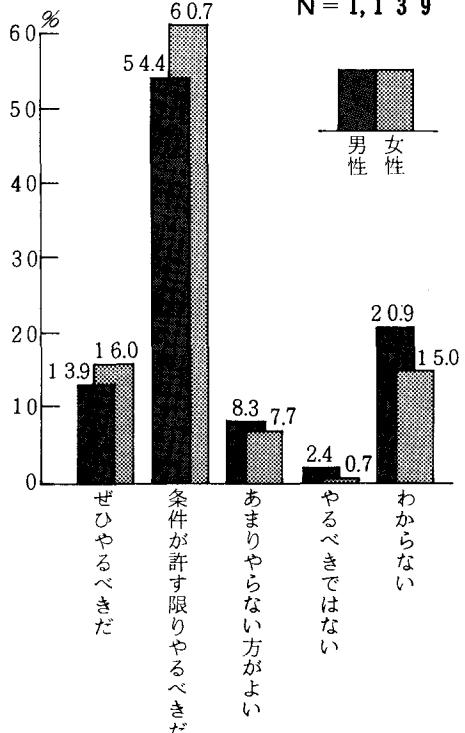


図 5-16 性年代別の女性の社会活動について

N = 1,139

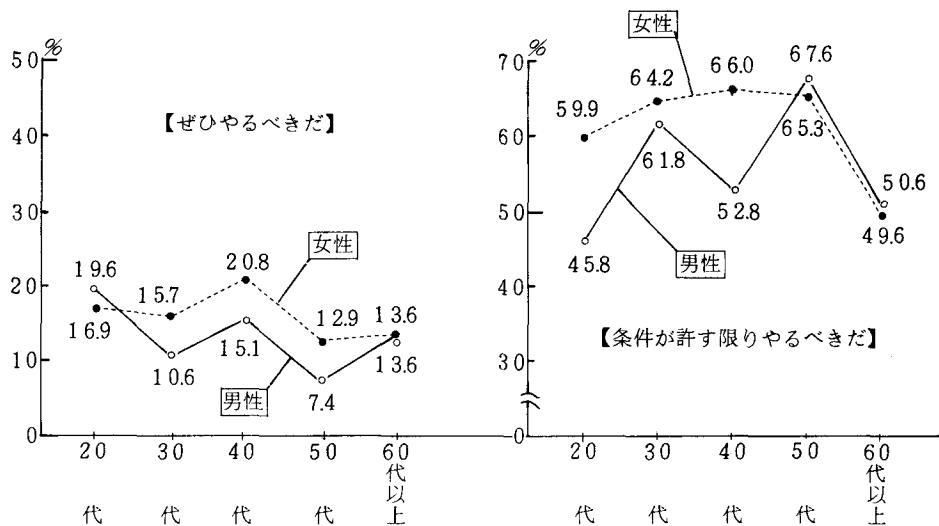
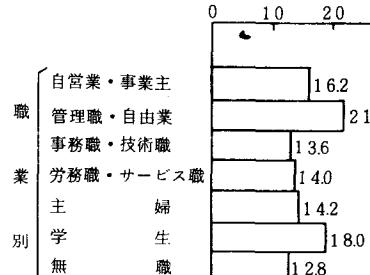


図 5-17 職業別、ライフ・ステージ別の

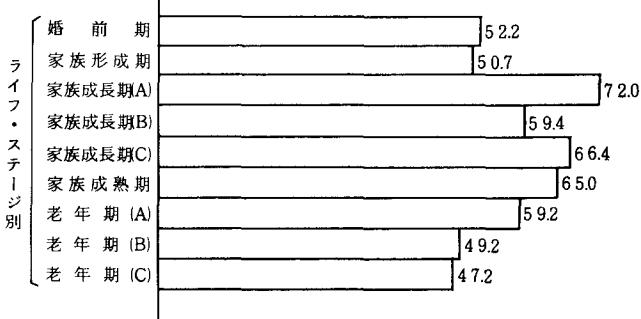
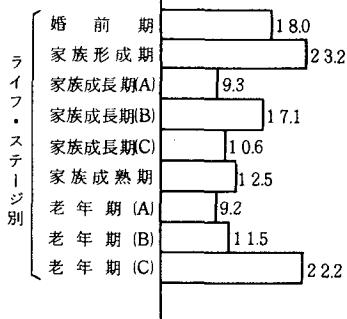
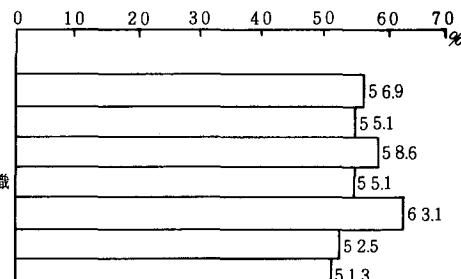
女性の社会活動について

N = 1,139

【ぜひやるべきだ】



【条件が許す限りやるべきだ】



注：その他、N/Aを除く

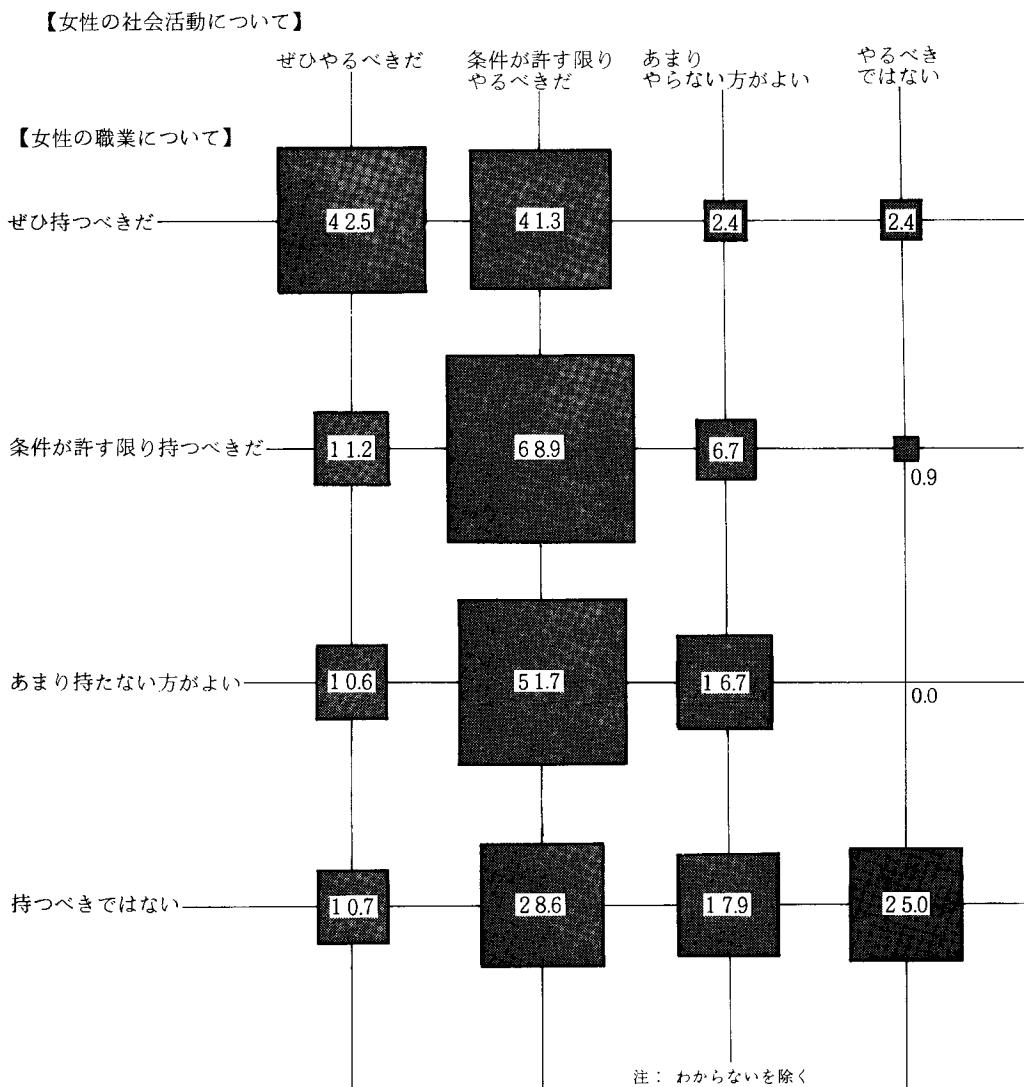
に、「保育事業・家庭福祉員の拡充」(13.1%)、「講座・講習会の充実」(12.6%),「相談窓口の拡充」(10.4%),「技術・技能訓練」(9.9%),「母子家庭などに対する生活援助・各種資金・手当の充実」(9.7%)であった。

女性が社会に進出するに際しての障害の中で「育児」は大きな要因となっており、保育事業の充実が望まれている。

図5-18 女性の職業についてと女性の社会活動について

N = 1,139

単位(%)



なお、「特にない」が32.1%あるが、これは女性(29.3%)より男性(35.4%)に多い。性年代別では男20代(39.2%), 男40代(37.7%), 男60代以上(39.5%), 女60代以上(41.6%)が多くなっており、男性全般と女性高年層の婦人問題に対する関心の低さを示しているといえよう。

性別による差異はあまりみられないが、項目ごとに目立った点だけを挙げておく(相関表参照)。

- 1) 「保育事業・家庭福祉員の拡充」は女20代(19.7%)と家族形成期(18.8%)に多くなっている。
- 2) 「講座・講習会の充実」は主婦(16.8%)に比較的多い。
- 3) 「相談窓口の拡充」は女40代(13.2%)と老年期(A)(13.2%)に比較的多い。
- 4) 「技術・技能訓練」は女40代(17.0%), 家族成長期(C)(18.6%)に多く、より意義のある再就職への意欲を示している。
- 5) 「医療・検査の充実」は、主婦(10.4%)および家族形成期(11.6%), 家族成長期(A)(13.1%), 家族成長期(B)(11.2%)に多い。

ここで、女性の職業と社会活動についての考え方と事業への要望との関係をみたのが、

図5-19 女性のための事業への要望

N = 1,139

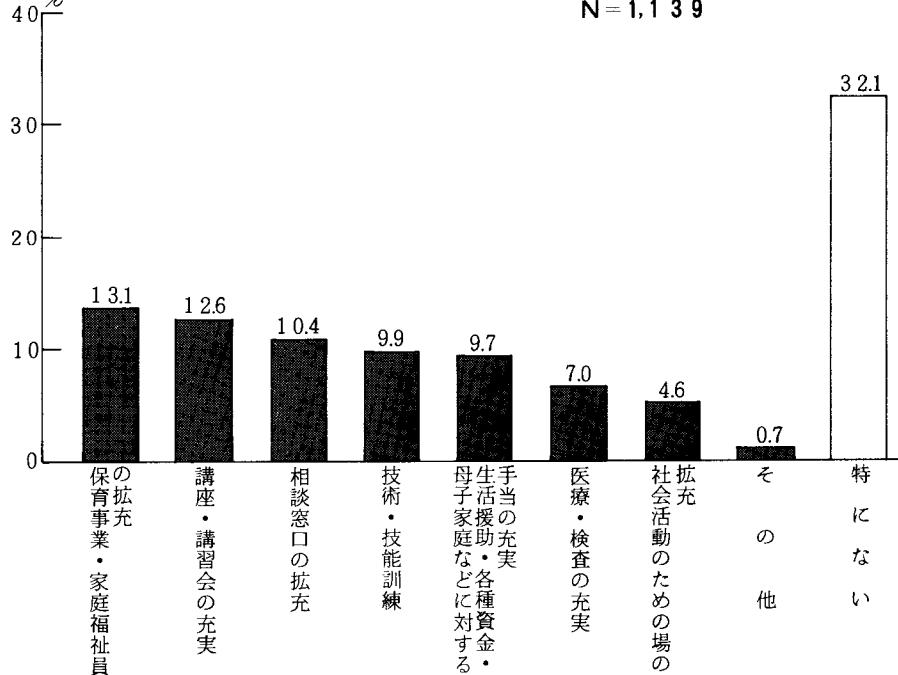


表5-8である。職業に対して積極的な意見の人ほど多い要望は「技術・技能訓練」(0.0%→12.0%)である。一方、社会活動に対して積極的な意見の人ほど多い要望は、「技術・技能訓練」(0.0%→14.6%)のほかに「相談窓口の拡充」(5.9%→12.3%)、「社会活動のための場の拡充」(0.0%→8.8%)である。

表5-8 女性の職業について、社会活動についてと
事業への要望

N = 1,139

単位 (%)

	技術 ・ 技 能 訓 練	相 談 窓 口 の 拡 充	保 育 事 業 ・ 家 庭 福 祉 員 の 拡 充	医 療 ・ 検 査 の 充 実	社 会 活 動 の た め の 場 の 拡 充	講 座 ・ 講 習 会 の 充 実	助 母 子 家 庭 な ど に 対 す る 生 活 援 助 ・ 各 種 資 金 ・ 手 当 の 充 実	そ の 他	特 に な い	
区 全 体	9.9	10.4	13.1	7.0	4.6	12.6	9.7	0.7	32.1	
職業について	ぜひ持つべきだ	12.0	8.4	14.4	0.6	6.6	15.0	9.0	0.0	34.1
	条件が許す限り持つべきだ	11.8	11.0	13.0	7.4	5.5	13.8	10.0	0.6	27.0
	あまり持たない方がよい	6.1	13.9	14.4	12.8	2.2	8.9	7.8	1.1	32.8
	持つべきではない	0.0	10.7	17.9	0.0	3.6	21.4	17.9	0.0	28.6
	わからない	4.5	3.6	8.1	7.2	0.0	5.4	9.9	1.8	59.5
社会活動について	ぜひやるべきだ	14.6	12.3	14.6	7.6	8.8	8.2	8.2	1.2	24.6
	条件が許す限りやるべきだ	10.8	11.7	14.4	7.1	5.0	15.2	10.9	0.6	24.2
	あまりやらない方がよい	5.5	6.6	15.4	11.0	0.0	14.3	12.1	1.1	34.1
	やるべきではない	0.0	5.9	23.5	0.0	0.0	11.8	17.6	0.0	41.2
	わからない	5.9	6.4	5.4	5.0	2.0	6.9	5.0	0.5	62.9

VI. 区民保養所

1. 区民保養所の利用度と周知度

【ライフ・ステージ】

- * 婚前期 結婚前の独身者
 - * 家族形成期 子どもがいない若夫婦
の夫あるいは妻
 - * 家族成長期(A) 結婚し乳・幼児
がいる親
 - * 家族成長期(B) 小・中学生がいる親
 - * 家族成長期(C) 高校・大学生がいる親
 - * 家族成熟期 学校教育を終えた
独身の子どもがいる親
 - * 老年期(A) 子どもが結婚して
一緒に住んでいる親
 - * 老年期(B) 子どもが独立して
2人だけになった親
 - * 老年期(C) 子どもが独立して
1人だけになった親
-

VII. 区民保養所

《設問とまとめ》

1. 区民保養所の利用度と周知度

Q 27. あなたは、この1年間に区民保養所を利用したことがありますか。(1A)

N = 1,139

- | | |
|---------------------|-------|
| 1. 箱根つつじ荘（中強羅）を利用した | 6.2% |
| 2. 住吉館（伊豆長岡）を利用した | 0.7% |
| 3. 両方とも利用した | 1.1% |
| 4. 知っているが利用したことない | 57.6% |
| 5. 知らない | 34.4% |

SQ1. [Q 27で1~3と答えた人に] 利用した理由は何ですか。 (1A) N = 91

- | | |
|------------|-------|
| 1. 交通が便利だ | 7.7% |
| 2. 設備がよい | 20.9% |
| 3. 料金が安い | 37.4% |
| 4. 食事がよい | —% |
| 5. 温泉がある | 6.6% |
| 6. 山がある | 6.6% |
| 7. 海水浴ができる | —% |
| 8. その他 | 9.9% |
| 9. 特に理由はない | 11.0% |

SQ2. [Q 27で4と答えた人に] 利用したことない理由は何ですか。 (1A) N = 656

- | | |
|--------------|-------|
| 1. 希望の日がとれない | 14.6% |
| 2. 申し込みがめんどう | 23.6% |
| 3. 場所がよくない | 2.0% |
| 4. 他の旅館を利用する | 6.3% |
| 5. 料金が高い | 0.3% |
| 6. その他 | 9.0% |
| 7. 特に理由はない | 44.2% |

区内には、2つの保養所がある。1つは直営の「箱根つつじ荘」で昭和50年3月から、又委託施設としては、伊豆長岡に「住吉館」が昭和53年夏からオープンした。住吉館は地震のため使用不能となった南海荘の代替として借上げたものである。

それぞれ利用定員は 122 名と 80 名である。箱根つつじ荘は三角くじによる抽せん方式で申し込みを受付けており年間の月平均利用率は 80 %である。一方住吉館も同様の方法により申し込みを受付けているが委託契約後 1 年にみたないということもあってか夏場を除くと月平均 30 %～40 %台でありさらに区民に親しんで利用されるにはまだ問題点があるといえる。

そこで、この章では区民保養所の利用状況を聞き、さらに利用した理由、利用しない理由を調べた。その結果、利用者は 1 割弱という比率であった。利用者は高年層に多く人気は住吉館よりも箱根つつじ荘に集中している。利用の理由としては料金の安さ、設備の良さ等によるものほか、箱根つつじ荘は直営であるため各種の区の福祉施策活用（おとしより優待券、身障害優先受付と使用料助成）の場として、より気楽に利用できるようはかられていることもあると思われる。利用しない理由としては、申込みの煩雑さ、希望の日がとれないことが挙がっている。

これを周知度の面からみると、7 割弱であり特に若年層にはあまり知られていない今後の保養所のあり方としては、これらの問題点についてさらに検討をはかり親近感、周知度を増すなど考えると共に年間をとおして利用できるよう若年層、中年層などへプラスの面を強調して利用者の層の拡大を図る必要があろう。

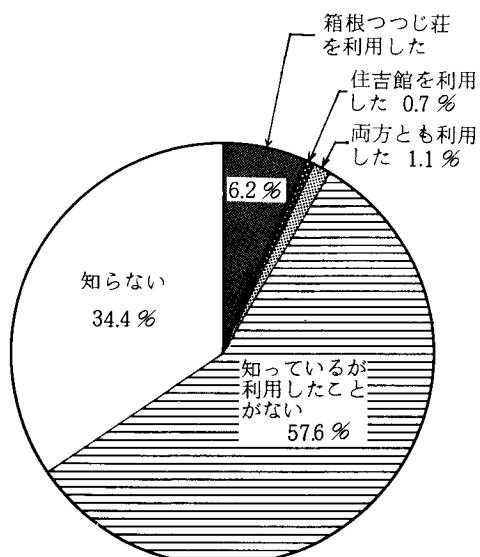
《分析》

VI-1 区民保養所の利用度と周知度

この 1 年間の区民保養所の利用状況を聞いたところ、「箱根つつじ荘（中強羅）を利用した」が 6.2 %、「住吉館（伊豆長岡）を利用した」が 0.7 %、「両方とも利用した」が 1.1 %と、《利用したことがある》人は、合計わずか 8.0 %に過ぎない。また「知っているが利用したことはない」は、57.6 %、「知らない」は、34.4 %であった（図 6-1）。

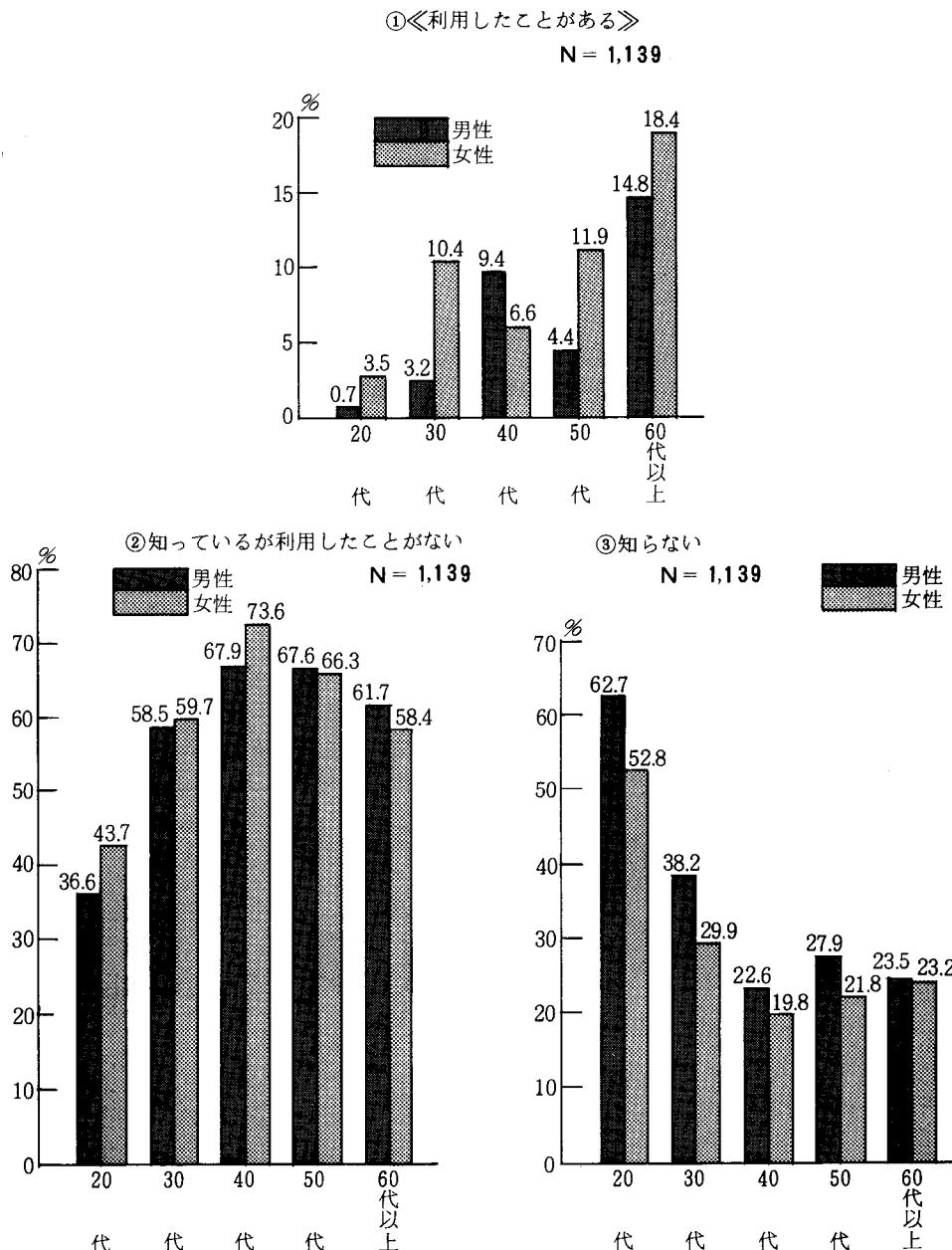
この結果を性年代別でみると、《利用したことがある》は、男女共 60 代以上の高年層に多く、男 60 代以上が

図 6-1 区民保養所の利用状況
N = 1,139



14.8%，女60代以上が18.4%である。また、『利用したことがある』の比率の大部分は、「箱根つつじ荘（中強羅）」の方で占められており、「住吉館（伊豆長岡）」の利用度は極めて低い。なお、「知っているが利用したことがない」は、男女共40～50代の中年層に多く、男40代が67.9%，50代が66.3%，女40代が73.6%，50代が61.7%である。「知らない」は、男女共若年層に多く、

図6-2 性年代別の保養所の利用状況



男20代が62.7%，女20代が52.8%となっている（図6-2）。

他の属性別では、家族人数別の6人以上（15.8%），ライフステージ別の老年期（A）（27.6%）などに「利用したことがある」が多い（相関表参照）。

(1) 利用した理由

「利用したことがある」と答えた人に、その理由を聞いたところ、もっとも多かったのが「料金が安い」（37.4%），ついで「設備がよい」（20.9%）であり、他に「特に理由はない」が11.0%であった（図6-3）。

性別では図6-4のとおりである。「料金が安い」，「設備がよい」，「交通が便利」，「山がある」などについては、女性より男性の方が、また、「温泉がある」は、女性の方が男性より評価している。

(2) 利用しない理由

「知っているが利用したことではない」と答えた人に、その理由を聞いた結果は次のとおりである。

「申し込みがめんどう」が23.6%，「希望の日がとれない」が14.6%が多い。また「特に理由はない」が44.2%であった（図6-5）。

図6-3 利用した理由

N = 91

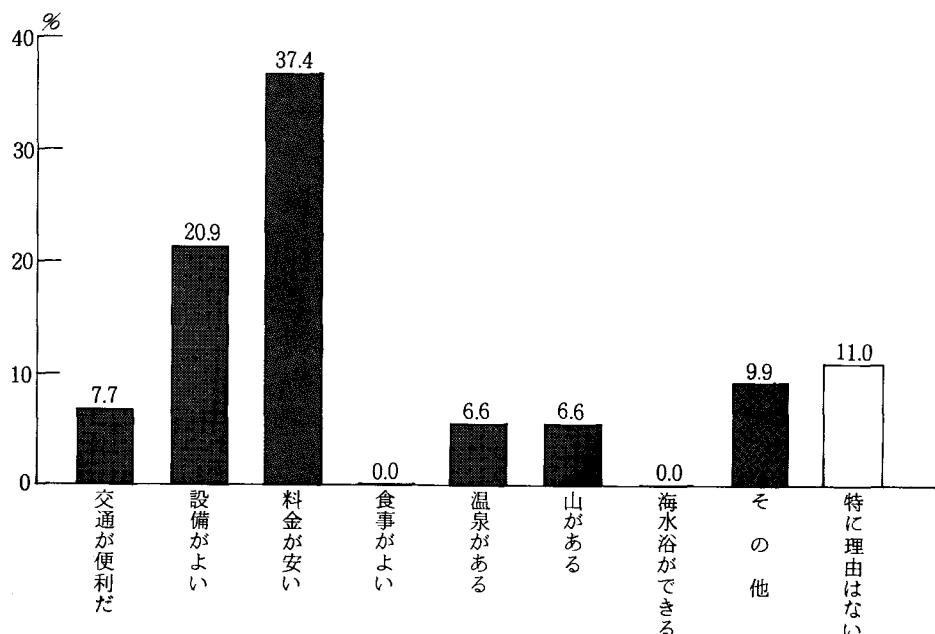
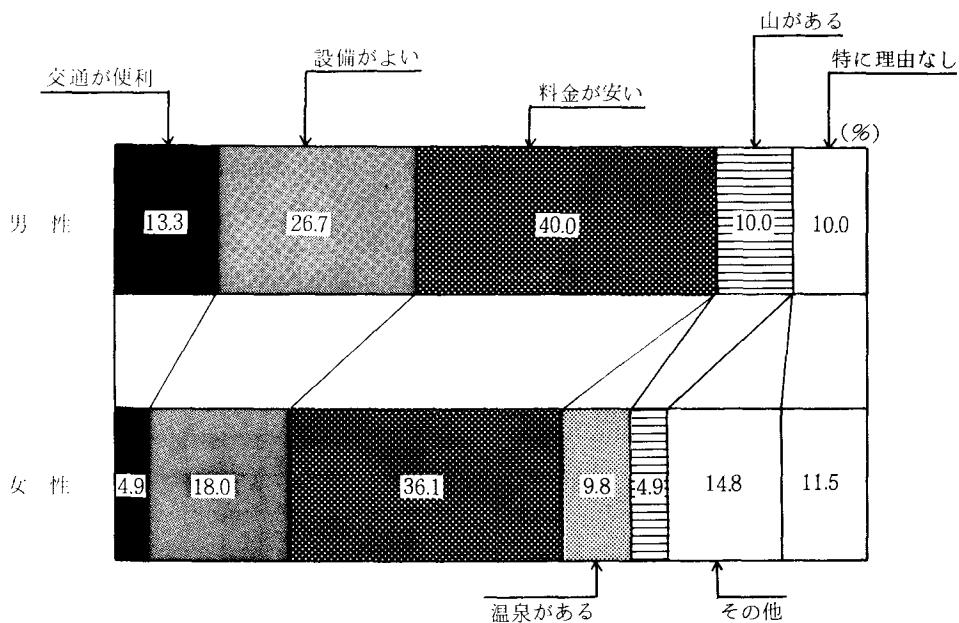


図 6-4 性別の利用した理由

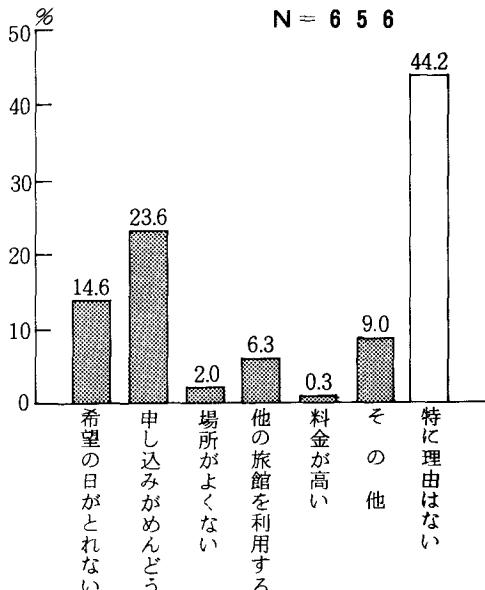
N = 91



この結果を性年代別、職業別にみると、「申し込みがめんどう」は、性年代別の男 20 代 (19.6%)、男 40 代 (23.6%)、女 40 代 (20.5%) に多い。職業別では、自営業・事業主 (21.7%) に多い。「希望の日がとれない」は、男 50 代 (32.6%)、女 30 代 (31.3%)、事務職・技術職 (30.0%) や主婦 (27.5%) に多い。また、「特に理由はない」は、男 20 代 (5.0%)、男 30 代 (51.4%)、女 20 代 (53.2%)、女 50 代

図 6-5 利用しない理由

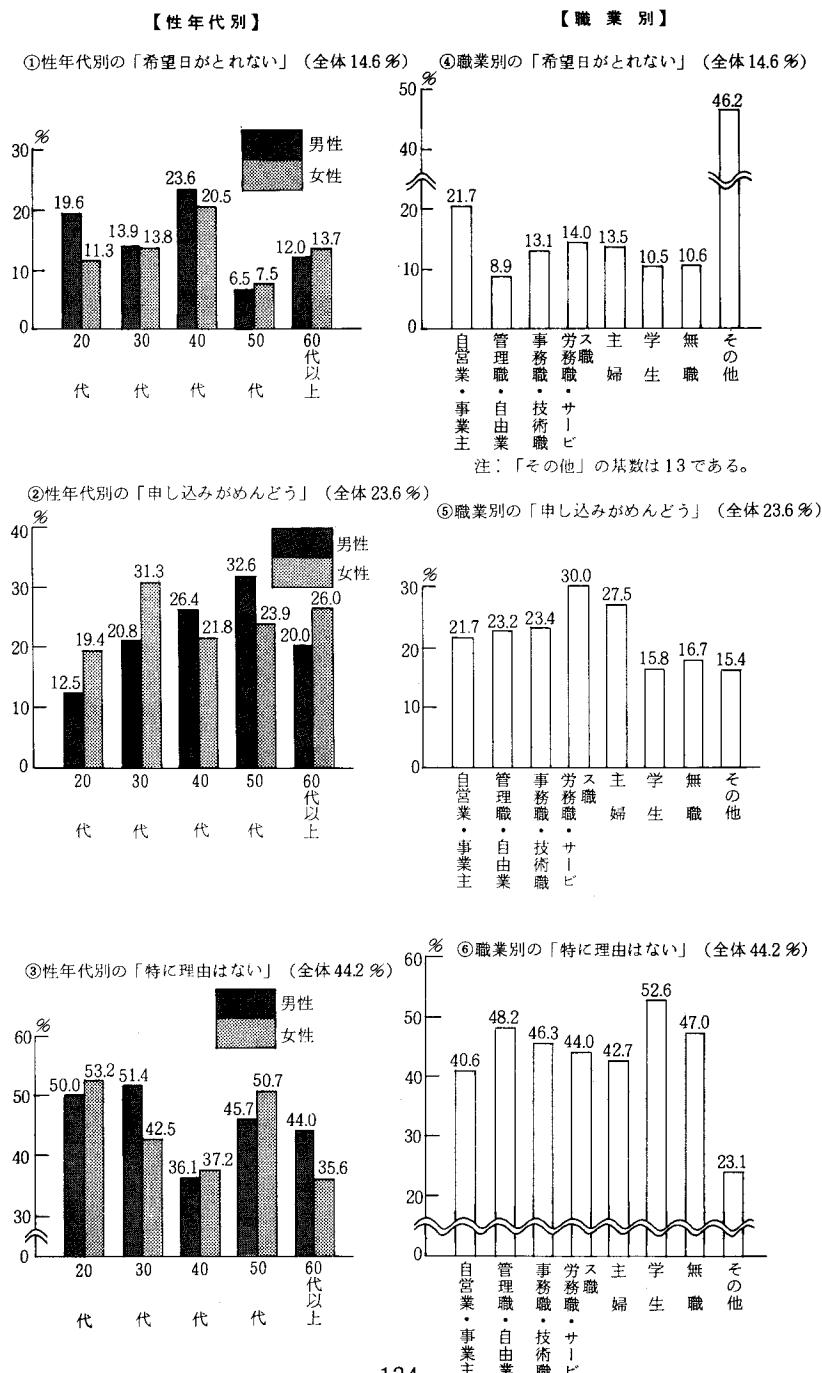
N = 656



(50.7%)，学生(52.6%)，管理職・自由業(48.2%)に多い(図6-6)。

図6-6 性年代別・職業別の「希望日がとれない」，
「申し込みがめんどう」，「特に理由はない」

N = 656



VII. 区政への関心・要望

-
1. 区政への関心の有無
 2. 区政に関する情報源
 3. 「新宿区広報」の到達閲読状況
 4. 区長名の周知度
 5. 新宿文化センターの周知度
 6. 新宿文化センターの催しものについての希望
 7. 区の事業への要望
-

【ライフ・ステージ】

- * 婚前期 結婚前の独身者
- * 家族形成期 子どもがいない若夫婦
の夫あるいは妻
- * 家族成長期(A) 結婚し乳・幼児
がいる親
- * 家族成長期(B) 小・中学生がいる親
- * 家族成長期(C) 高校・大学生がいる親
- * 家族成熟期 学校教育を終えた
独身の子どもがいる親
- * 老年期(A) 子どもが結婚して
一緒に住んでいる親
- * 老年期(B) 子どもが独立して
2人だけになった親
- * 老年期(C) 子どもが独立して
1人だけになった親

VII. 区政への関心・要望

《設問とまとめ》

1. 区政への関心の有無

Q 28. あなたは区政に関心をお持ちですか。 (1 A)

N = 1,139

- | | | | |
|-------------|-------|--------------|-------|
| 1. 非常に関心がある | 9.3% | 4. ほとんど関心がない | 11.2% |
| 2. 少しは関心がある | 40.7% | 5. わからない | 2.7% |
| 3. あまり関心がない | 36.0% | | |

2. 区政に関する情報源

Q 29. あなたはふだん、区政に関することや区の行事、お知らせを何で知りますか。次のなか主なものを2つ以内で選んでください。〔回答票8提示〕
(2 A)

N = 1,139

- | | |
|------------------------|--------|
| 1. 新宿区広報 | 7.2.6% |
| 2. 区議会だより | 19.5% |
| 3. 写真ニュース | 2.5% |
| 4. わたしの便利帳・区勢要覧・パンフレット | 9.4% |
| 5. 新聞・テレビ・ラジオ | 15.2% |
| 6. 町会・自治会の会合や回覧板 | 15.0% |
| 7. 家族や知人・友人の話 | 4.9% |
| 8. その他 | 0.9% |
| 9. 関心がない | 11.2% |

3. 「新宿区広報」の到達・閲読状況

Q 30. 区では、「新宿区広報」を毎月3回、6紙（朝日、毎日、読売、サンケイ、東京、日経）の新聞折り込みで配布していますが、お宅には届いていますか。(1 A)

N = 1,139

- | | | | |
|-----------|-------|-----------------|------|
| 1. 届いている | 87.8% | 3. わからない | 3.5% |
| 2. 届いていない | 4.2% | 4. 上記の新聞をとっていない | 3.4% |

5. N A	1.1%												
SQ1. [Q 30で1と答えた人に] あなたは読んでいますか。 (1 A) N=1,000 <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">1. よく読む</td> <td style="width: 30%;">28.2%</td> <td style="width: 30%;">4. 全く読まない</td> <td style="width: 30%;">2.8%</td> </tr> <tr> <td>2. ざっと読む</td> <td>48.1%</td> <td>5. N A</td> <td>0.6%</td> </tr> <tr> <td>3. あまり読まない</td> <td>20.3%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		1. よく読む	28.2%	4. 全く読まない	2.8%	2. ざっと読む	48.1%	5. N A	0.6%	3. あまり読まない	20.3%		
1. よく読む	28.2%	4. 全く読まない	2.8%										
2. ざっと読む	48.1%	5. N A	0.6%										
3. あまり読まない	20.3%												
SQ2. [SQ1で1,2と答えた人に「新宿区広報」に対して、ご意見・ご要望がありましたら、何でもおっしゃってください。(F A)													

4. 区長名の周知度

Q 31. 現在の新宿区長の名前を知っていますか。〔知っている人〕に区長の名前をおっしゃってください。 (1 A)			
N=1,139			
1. 知っている (正答)	55.0%	3. 知らない	39.5%
2. 知っている (誤答)	5.5%		

5. 新宿文化センターの周知度

Q 32. 新宿文化センター（新宿6丁目）は、今年の4月1日に一般にオープンしましたが、あなたはこの施設を知っていますか。 (1 A)			
N=1,139			
1. 知っている	50.6%	2. 知らない	49.4%

6. 新宿文化センターの催し物についての希望

Q 33. この集会施設には1,800人収容の大ホールを始め、小ホール、集会室、展示室、ロビーなどが設けられ多目的に利用できるよう設計されています。この施設でどんな催し物を希望しますか。次の中から2つ以内で選んでください。〔回答票9提示〕 (2 A)	
N=1,139	
1. クラシック音楽会	17.4%
2. ポピュラー音楽会	20.3%
3. 新劇・歌舞伎などの演劇	16.1%
4. 日本舞踊・バレエなどの舞踊	8.1%
5. 浪曲・落語・漫才などの大衆芸能	16.3%
6. 映画会	24.3%
7. 美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会	21.2%

8. 各種講座・講習会	21.8%
9. その他	8.1%
10. N A	6.8%

7. 区の事業への要望

Q 34. 現在、あなたが区に対して最も力を入れてほしいと思う事業はなんですか。次の中から、第1位、第2位、第3位と順をつけて**3つ以内**で選んでください。〔回答票 10 提示〕(3A)

N=1,139

	第1位	第2位	第3位	合計
1. 道路の整備（舗装、ガードレール、街路灯など）	7.1%	3.0%	3.2%	13.3%
2. 公園、児童遊園の整備・拡充	7.6	7.0	5.7	20.3
3. 緑化対策	8.3	8.2	6.1	22.7
4. 環境衛生（ゴミ収集、街の清掃など）	9.5	8.0	6.0	23.4
5. 学校教育施設の整備（幼稚園、小・中学校施設、校外施設など）	3.5	4.0	2.5	10.1
6. 区民のための施設の整備（公会堂、保養所、福祉社会館など）	4.6	3.0	3.3	10.9
7. 老人福祉	8.7	5.5	5.5	19.8
8. 心身障害者（児）福祉	1.8	3.9	1.6	7.3
9. 低所得層や母子世帯福祉	2.3	3.6	2.5	8.3
10. 青少年の健全育成対策	1.8	3.2	2.7	7.6
11. 中小企業対策	1.8	2.2	3.2	7.3
12. 消費者保護対策	2.8	4.4	4.9	12.1
13. 震災対策	10.5	10.1	5.9	26.5
14. 水害対策	2.5	1.5	1.7	5.7
15. 公害対策	3.2	4.7	4.4	12.3
16. 区民の健康管理	0.8	1.9	2.9	5.6
17. 食品衛生	1.1	1.4	2.6	5.1
18. 社会教育・社会体育活動の推進	2.8	1.8	2.6	7.3
19. 幼児・児童の保育対策	1.9	1.5	1.8	5.3
20. 交通安全対策	2.7	4.2	5.0	11.9
21. 風紀の取り締まり	4.0	4.0	6.5	14.6
22. その他	0.6	0.2	0.3	1.1
23. 特にない	9.9	—	—	9.9

(注)「合計」は四捨五入の関係で、第1～第3位までの合計と一致しない場合がある。

この章では、区民と区政がどのように関わっているかを探るため、区政への関心の有無、区政に関する情報源、広報紙の到達状況、区長名の周知度、新宿文化センターの周知度、新宿文化センターの催し物についての希望、区の事業への要望などを聞いた。その結果、区政への関心の程度は「関心がある」が全体の5割で、関心は高いとはいえない。ここ数年の変化をみても、51年6割をピークに減少傾向にあるようだ。区の行事・お知らせを知る方法としては、新宿区広報が7割と圧倒的であった。他には、「区議会だより」、「新聞・テレビ・ラジオ」、「町会・自治会の会合や回覧板」などが、それぞれ1~2割程度である。広報紙の到達状況は「届いている」が約9割とかなり高い。広報紙の閲読状況は、「よく読む」(28.2%)と「ざっと読む」(48.1%)を合わせた「読む」が全体の4分の3を占めた。「読まない」は残り4分の1である。

区長名の知名度は、5割強であった。新宿文化センターの周知度は、約5割と前回建設中の周知度2割を大きく上回っているが、まだ高いとは言えない。新宿文化センターの催し物についての希望は「映画会」、「各種講座・講習会」、「美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会」、「ポピュラー音楽会」などが上位を占めた。区の事業への要望は、第1位~第3位までの比率を合計したもので比べると、「震災対策」、「環境衛生」、「緑化対策」、「公園・児童遊園の整備・拡充」などが上位を占めた。

《分析》

VII-1 区政への関心度

「非常に関心がある」が9.3%、「少しほんとうに関心がある」が40.7%と「関心がある」が50%を占めた。これに対して「あまり関心がない」が36.0%、「ほとんど関心がない」が11.2%と「関心がない」も「関心がある」とほぼ同じくらいの割合となっている(図7-1)。

地域別にみると 7-2 のとおりである。

図7-1 区政への関心度

N=1,139

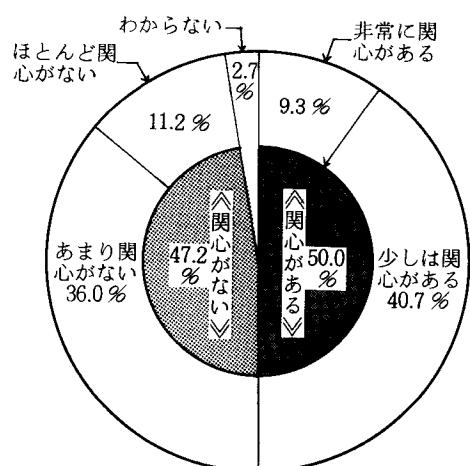


図 7-2 地域別の区政への関心の有無

N = 1,139

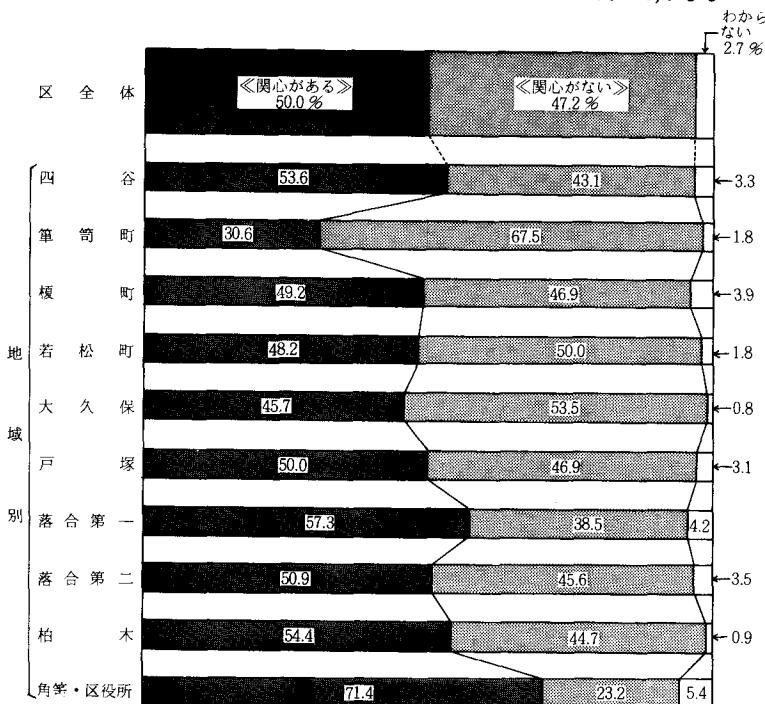
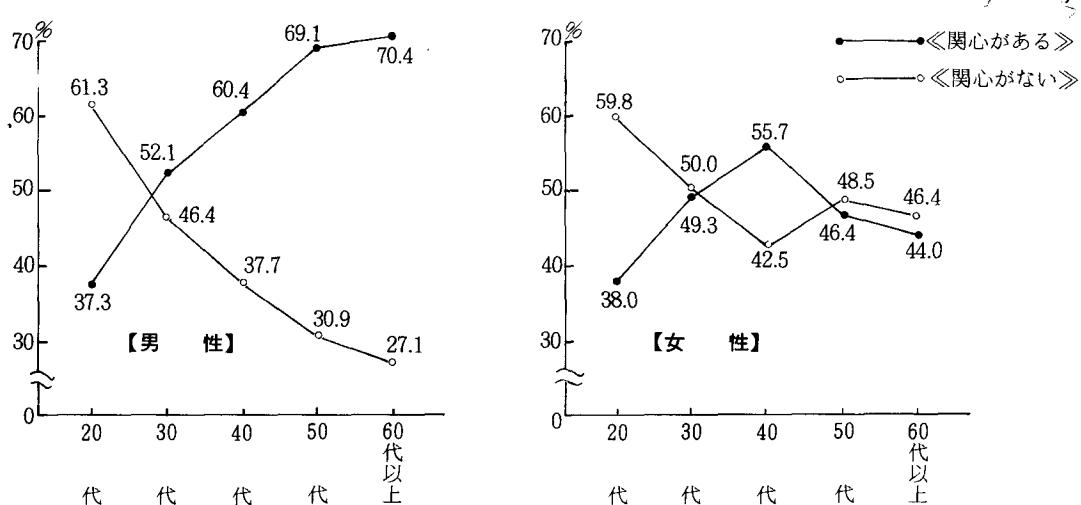


図 7-3 性年代別の区政への関心の有無

N = 1,139



性年代別では、男性の場合は年代が高くなるほど「関心がある」が増加し（20代37.3%→60代以上70.4%），また「関心がない」は、逆の傾向（60代以上27.1%→20代61.3%）を示している。女性の場合は、20代から40代までは「関心がある」は増加するが、50代、60代以上と漸減する傾向にあるようだ。女性（46.2%）に比べ、男性（54.5%）の関心が高く、それも年代が高くなるほど増加するといえよう。また男女共20代の関心が他の年代に比べて特に低く、若者の政治への無関心の傾向が区政レベルでも顕著に表われているといえよう（図7-3）。

次に定住意思別では、「定住意思のある人」ほど「関心がある」が多く、逆に「転出意思のある人」ほど「関心がない」が多い（図7-4）。

なお、職業別では、「関心がある」は、自営業・事業主（62.9%），管理職・自由業（56.1%）に多い。また「関心がない」は、労務職・サービス職（56.1%）や、学生（59.1%）に多い（相関表参照）。

また、49年調査時から今回調査までの区政への関心の有無の比較は図7-5のとおりである。

図7-4 定住意思別の区政への

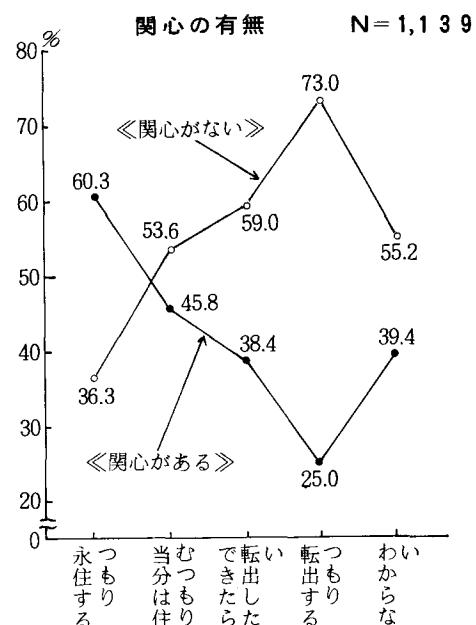
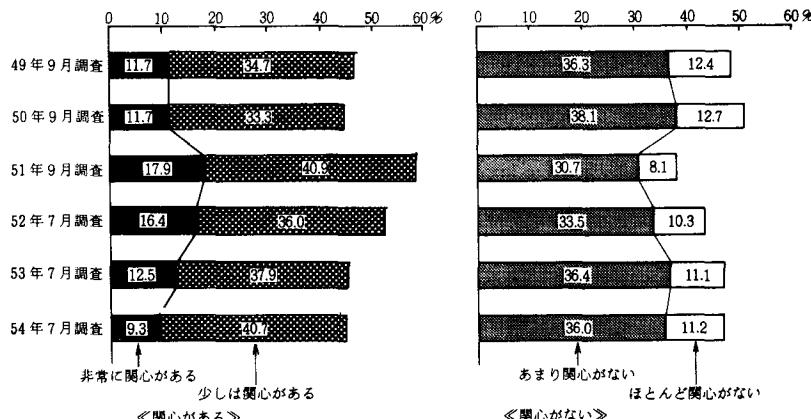


図7-5 区政への関心の有無——前回までの調査結果比較



VII-2 区政に関する情報源

「新宿区広報」が72.6%と圧倒的に多かった。他には、「区議会だより」が19.5%, 「新聞・テレビ・ラジオ」が15.2%, 「町会・自治会の会合や回覧板」が15.0%、「わたしの便利帳・区勢要覧・パンフレット」が9.4%などである。また「関心がない」が11.2%であった(図7-6)。

性年代別でみると(図7-7)のとおりである。

[新宿区広報] (区全体72.6%)

男女共、年代が高くなるほど(男20代55.6%→男60代以上82.7%, 女20代62.7%→50代86.1%→60代以上68.8%)多くなっており、特に男40代、50代、60代以上、女30代、40代、50代など男女共中高年層に多い。

[区議会だより] (区全体19.5%)

男50代(27.9%), 60代以上(24.7%), 女50代(24.8%)など男女の中高年層に多い。

[新聞・テレビ・ラジオ] (区全体15.2%)

男20代(22.2%)に特に多い。女性の20代も比率こそ17.6%ではあるが女性の他の年代に比べると最も多く、男女共、若年層に多いといえよう。

[町会・自治会の会合や回覧板] (区全体15.0%)

性年代別の男50代(19.1%), 女60代以上(19.2%)など中高年層に多い。

以上のように区の広報紙やお知らせなどは、中高年層によく利用されている。これに対し、テレビ・ラジオは若年層が多い。

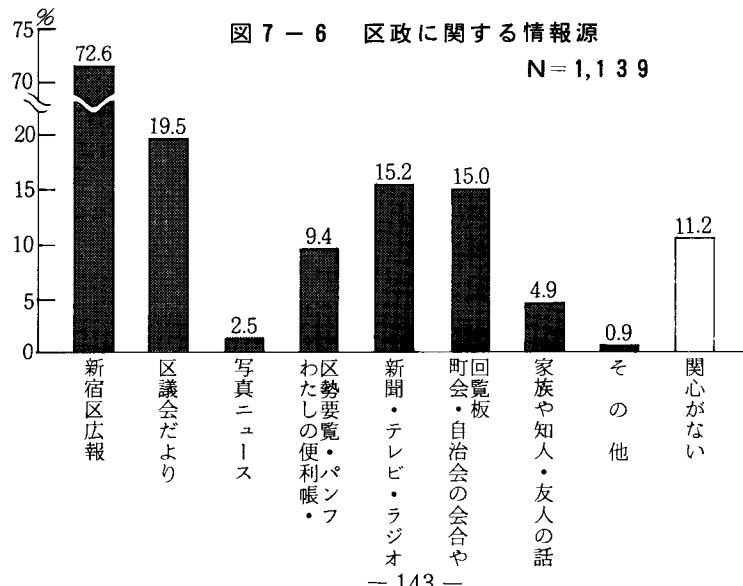
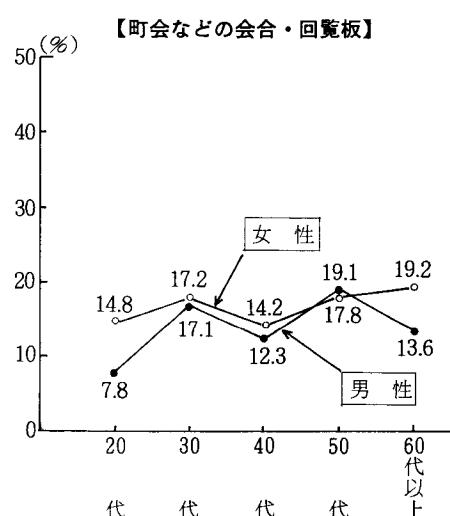
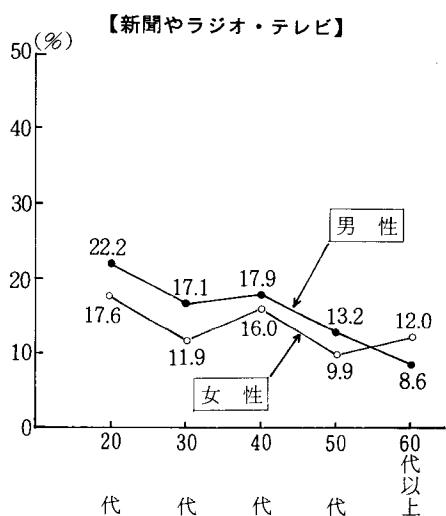
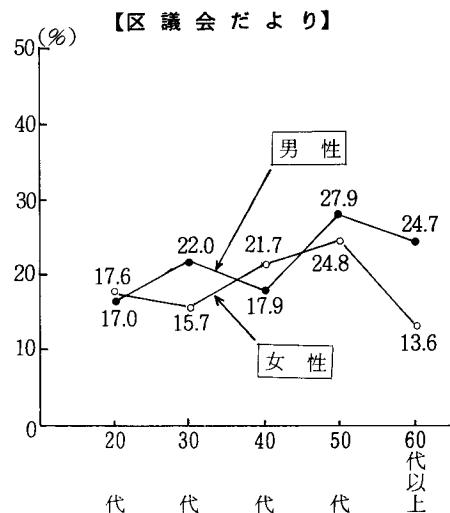
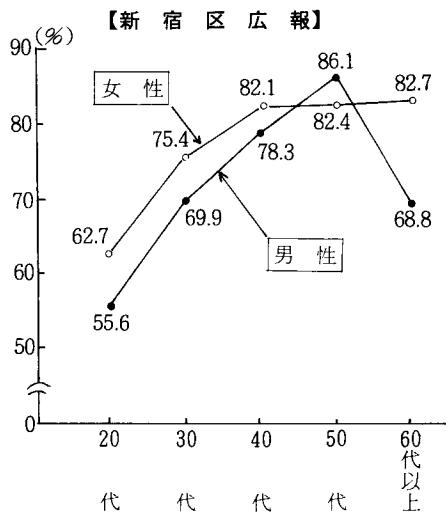


図 7-7 性年代別でみた各情報源（上位 4 位まで）

N = 1,139



その他属性別に上位4項目について多いものを挙げると表7-1のとおりである。

次に、区政への関心と区政に関する情報源の関係を見ると表7-2のとおりである。区政への関心が強い人はほど「新宿区広報」や「区議会だより」を利用していることが多い。

区政に関する情報源について前回までと比較すると、表7-3のとおりである。

表7-1 上位4項目の多い属性

N=1,139

	新宿区広報	区議会だより	新聞・テレビ・ラジオ	町会・自治会の会合や回覧板
全体	72.6%	19.5%	15.2%	15.0%
地域別	箪笥町地域(84.7%) 榎町地域(78.1%) 落合第一地域(79.2%) 落合第二地域(88.6%) 角筈・区役所地域(83.9%)	若松町地域(31.8%) 落合第二地域(28.9%) 大久保地域(24.0%)	若松町地域(23.6%) 落合第二地域(19.3%)	角筈・区役所地域(42.9%)
職業別	自営業・事業主(81.4%) 管理職・自由業(24.7%) 主婦(81.0%)	自営業・事業主(25.1%) 管理職・自由業(24.7%)	—	主婦(18.7%)
住居形態別	一戸建持家(78.4%) 社宅・官舎(82.8%)	—	寮・間借り・住込み(27.5%) 鉄筋アパート、マンション(19.9%)	—

表7-2 区政への関心と区政に関する情報源

N=1,139

	新宿区広報	区議会だより	写真ニュース	便りパック 利勢ント 帳要フ ・覧レ	新レジ 聞ビオ ・ テラ	町治合板 会会・ ・の回 自会覧	家族・話 ・知 友人	その 他	関 心 が な い
全 体	72.6	19.5	2.5	9.4	15.2	15.0	4.9	0.9	11.2
非常に関心がある	↑85.8	↑34.0	2.8	10.4	15.1	13.2	3.8	2.8	0.9
少しあは関心がある	85.3	23.3	1.5	10.3	16.4	19.0	6.0	0.4	1.7
あまり関心がない	63.2	17.3	2.9	10.0	16.1	12.7	4.4	0.2	16.3
ほとんど関心がない	53.9	4.7	3.9	5.5	10.2	11.7	3.1	2.3	28.9
わからぬ	38.7	3.2	3.2	0.0	6.5	6.5	6.5	3.2	45.2

表 7-3 区政に関する情報源——各年調査結果比較

(%)

情 報 源	50年9月	51年9月	53年7月	54年6月
新宿区広報	74.6	→ 77.8	→ 83.2	72.6
区議会だより	21.6	← 19.6	← 18.2	19.5
新聞やラジオ・テレビ	26.5	← 20.8	← 15.4	← 15.2
町会・自治会などの会合や回覧板	18.2	25.2	14.1	15.0
わたしの便利帳、区勢要覧、パンフレットなど	16.0	16.3	← 11.0	← 9.4
知人・友人・家族の話	9.0	9.4	← 6.8	← 4.9

VII-3 「新宿区広報」の到達・閲読状況

「届いている」が 87.8 %, 「届いていない」が 4.2 %, 「わからない」が 3.5 %, また「6 紙をとっていない」が 3.4 % であった(図 7-8)。

「届いていない」の各属性別の特徴をみると、地域別では若松町地域(9.1%), 戸塚地域(9.2%)に多い。性年代別の男 20 代(12.4%), 職業別的学生(13.1%), 家族人数別の 1 人(15.4%), 居住形態別の民間木造アパート(10.1%), 寮・間借り・住込み(20.3%), 居住年数別の 54 年以降(13.3%)などに多い(相関表参照)。

「6 紙をとっていない」は、性年代別の女 20 代(10.6%)や男 20 代(7.2%), 職業別の労務職, サービス職(10.3%), 学生(11.5%), 家族人数別の 1 人(11.5%), 居住形態別の寮・間借り・住込み(15.9%), 民間木造アパート(9.6%), 居住年数別の昭和 51 年～53 年(9.4%), '54 年以降(8.9%)など多く「届いていない」の属性別の特徴とほぼ同じ特徴を示している(相関表参照)。

また、前回までの調査結果と比較すると表 7-4 のとおりである。

(1) 閲読状況

「よく読む」が 28.2%, 「ざっと読む」が 48.1% と《読む》が 4 分の 3 を占めた。これに対して「あまり読まない」が 20.3%, 「全く読まない」が 2.8% と《読まない》は約 4 分の 1 である(図 7-9)。

《読む》, 《読まない》について、性年代別, 職業別にみると以下のとおりである(図 7-10, 相関表参照)。

図 7-8 新宿区広報の到達状況

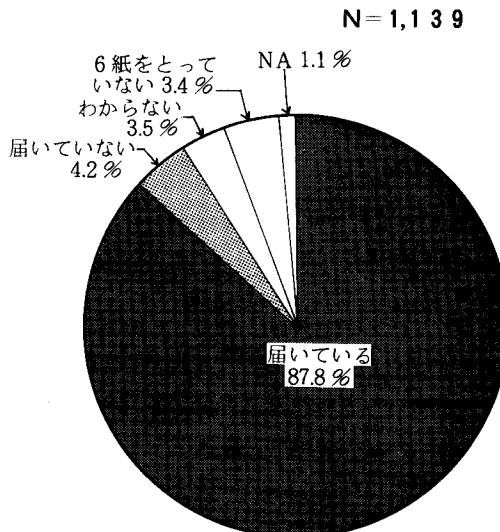


表 7-4 到達状況——前回までの比較

	届いている
今 回 調 査	87.8%
53年7月の調査	90.9%
52年7月の調査	87.6%
51年9月の調査	89.2%
50年9月の調査	88.1%
49年9月の調査	86.9%
48年9月の調査	85.3%

◎《読む》(区全体 76.3%)

性年代別の男40代(82.4%), 男60代以上(87.4%), 女30代(83.0%), 女40代(81.2%)などどちらかというと、中高年、職業別の管理職・自由業(83.3%), 自営業・事業主(81.2%)などの勤人、主婦(81.9%)が多い。

◎《読まない》(区全体 23.1%)

性年代別の男20代(43.9%), 男30代(27.1%), 女20代(26.6%)など若年層、職業別の事務・技術職(28.6%), 労務職・サービス職(29.9%), 学生(28.2%), 無職(29.1%)が多い。

定住意思別では、《定住意思がある人》ほど《読む》が多く(永住するつもり82.3%→転出するつもり61.1%), 《転出意思がある人》ほど《読まない》が多い(転出するつもり38.9%→永住するつもり16.8%)(図7-11)。

図7-9 閲読状況 N=1,139

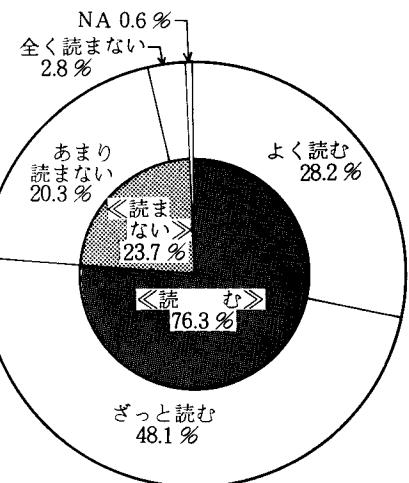


図7-10 性年代別の閲読状況

N=1,139

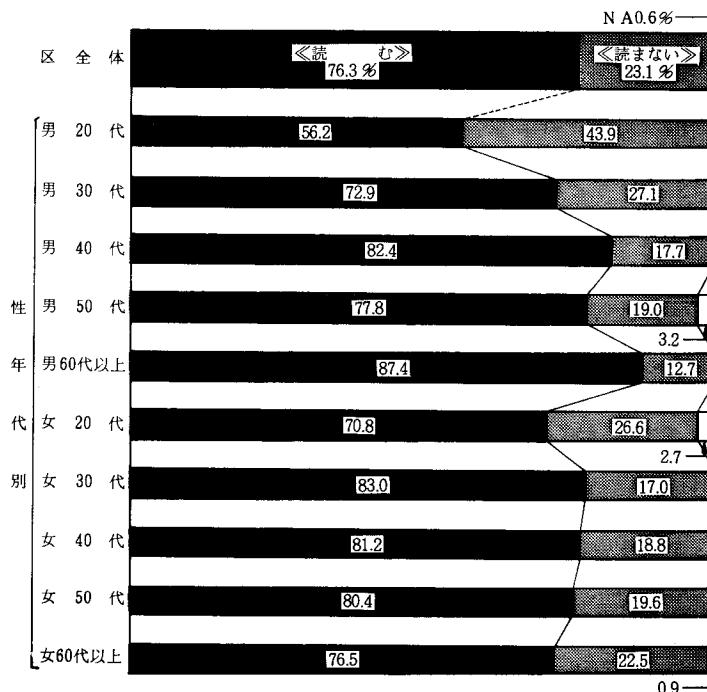


図7-11 定住意思別の閲読状況

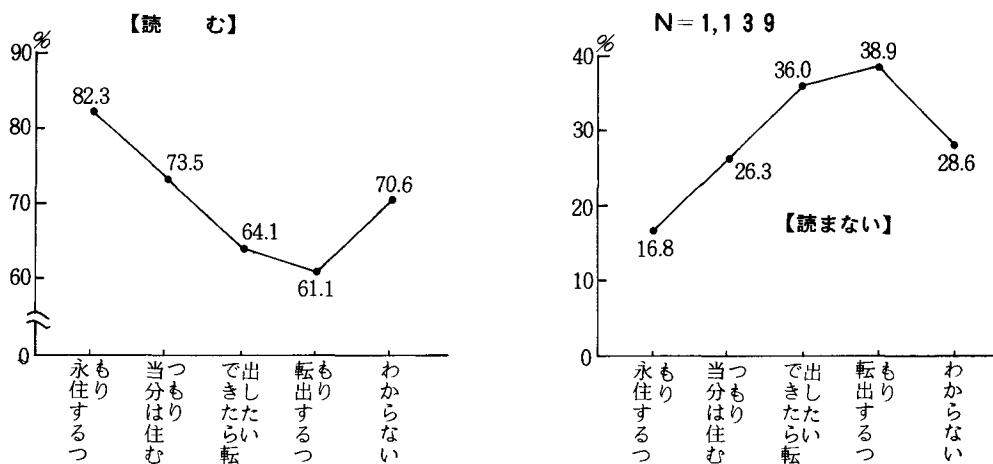


表7-5 区政への関心と閲読状況

N=1,139

	よく読む	ざっと読む	あまり読まない	全く読まない	NA
全 体	28.2%	48.1%	20.3%	2.8%	0.6%
非常に関心がある	64.7	29.4	4.9	1.0	0.0
少しあは関心がある	32.5	58.4	8.2	0.0	0.9
あまり関心がない	17.7	44.3	34.9	2.5	0.6
ほとんど関心がない	8.7	38.0	34.8	18.5	0.0
わからぬ	29.4	35.3	29.4	5.9	0.0

なお、区政への関心と閲読状況との関係を表7-6 閲読状況——前回までの比較

みると、非常に関心があるは「よく読む」の比率が目立って高く、少しあは関心があるは、「ざっと読む」が高い。また、関心がない人ほど「あまり読まない」、「ほとんど読まない」の比率が高い（表7-5）。

閲読状況について前回までの調査と比較すると表7-6のとおりである。

(2) 広報紙に対する意見・要望

表7-7のとおりであり、サンプル数の少ないのは気になる。全体として好評であるが、さらに住民の意向をくみとて改善する必要がある。

	閲読率
今回調査	76.3%
53年7月の調査	80.5%
52年7月の調査	81.8%
51年9月の調査	83.8%
50年9月の調査	83.3%
49年9月の調査	80.0%
48年9月の調査	79.2%

表7-7 広報紙に対する意見・要望

《意見》		
◦ よくできている	(22件)	◦ 各施設の紹介を (2件)
◦ いまのままでよい	(7件)	◦ 短歌・俳句などの掲載を (2件)
◦ 役に立っている	(1件)	◦ 配達方法の改善を (1件)
◦ よくわかって便利だ	(1件)	◦ 職業紹介欄の特集を (1件)
◦ 広報での役所のイメージと實際 が違う	(1件)	◦ 区役所の利用方法のP Rを (1件)
◦ 読みづらい	(1件)	◦ 医療関係記事の掲載を (1件)
《要望》		◦ 婦人集会案内の掲載を (1件)
◦ 紙面を大きく読みやすく	(3件)	◦ もっとユニークに (1件)
◦ ページ数を増やして	(3件)	◦ もっとわかりやすく (1件)
◦ 買い物情報の掲載を	(3件)	《その他》
◦ もっと身近な話題を	(2件)	◦ 特になし (54件)

VII-4 区長名の周知度

現区長、山本克忠の名前を「知っている」(正答)が55.0%である(図7-12)。

性年代別の周知度をみると「知っている」は、男女共40代をピークに中高年層に多い。「知らない」については、男女共若年層に多い(図7-13)。

職業別では「知っている」は自営業・事業主(70.7%)に目立って多く、主婦(60.1%)にも多い。「知らない」は、事務職・技術職(47.0%)、労務職・サービス職(50.5%)、学生(63.9%)が多い(相関表参照)。

図7-12 区長名の周知度

N=1,139

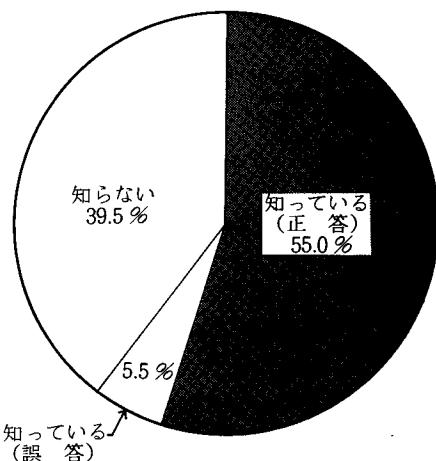
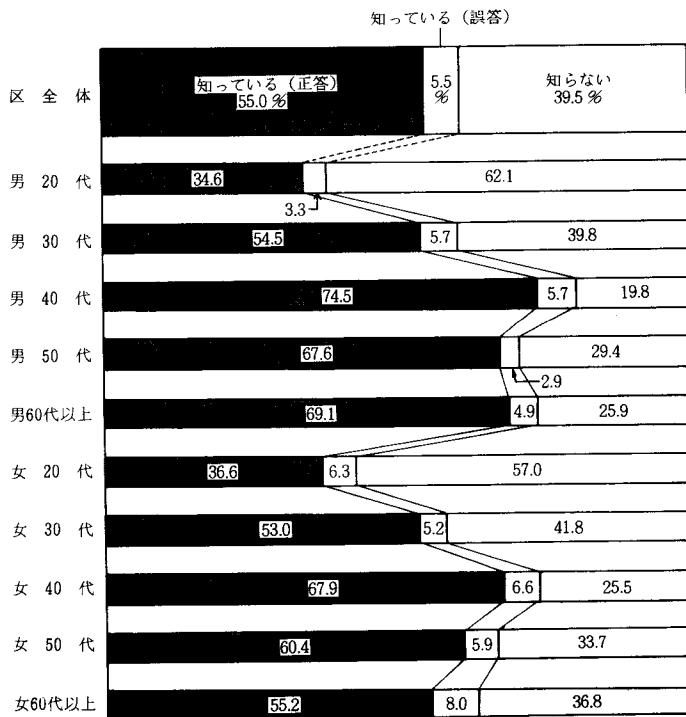


図7-13 性年代別の区長名の周知度

N=1,139



区長名の周知度と区政への関心、定住意思別、閲読状況との関係をみると表7-8、図7-14、表7-9のとおりである。

表7-8 区政への関心と区長名の周知度

N=1,139

	知っている(正)	知っている(誤)	知らない
全 体	55.0 %	5.5 %	39.5 %
非常に関心がある	78.3	0.9	20.8
少しあは関心がある	67.7	5.4	26.9
あまり関心がない	42.9	7.1	50.0
ほとんど関心がない	32.0	6.3	61.7
わからな	38.7	0.0	61.3

図7-14 定住意思別の区長名の周知度

N=1,139

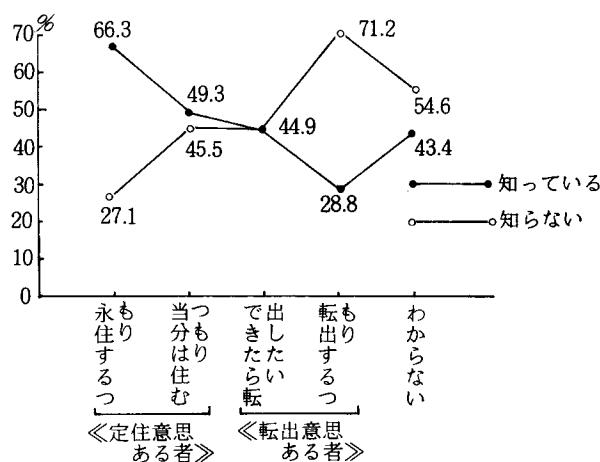


表7-9 区長名の周知度と閲読状況

N=1,139

	よく読む	ざっと読む	あまり読まない	ほとんど読まない	NA
全 体	28.2 %	48.1 %	20.3 %	2.8 %	0.6 %
知っている(正)	33.8	51.2	12.3	2.0	0.7
知っている(誤)	18.2	47.3	32.7	1.8	0.0
知らな	20.6	43.2	31.5	4.2	0.6

VII-5 新宿文化センターの周知度

「知っている」が 50.6%，「知らない」が 49.4% である。前回 53 年調査時に当時、建設中であった同センターの周知度を尋ねた時は、「知っている」が 21.5%，「知らない」が 77.3% であった。当時に比べれば 2 倍以上の周知度となってはいるが、それでも決して高い比率とはいえない（図 7-15）。

性年代別では、図 7-16 のとおり「知っている」は、男 40 代（55.7%），男 50 代（66.2%），女 40 代（58.5%），女 50 代（60.4%）と男女共に年層に多い。「知らない」は、男 20 代（58.8%），男 30 代（56.1%），女 20 代（55.6%）など男女の若年層と、女 60 代以上（54.4%）に多い。

図 7-15 新宿文化センターの周知度——前回との比較

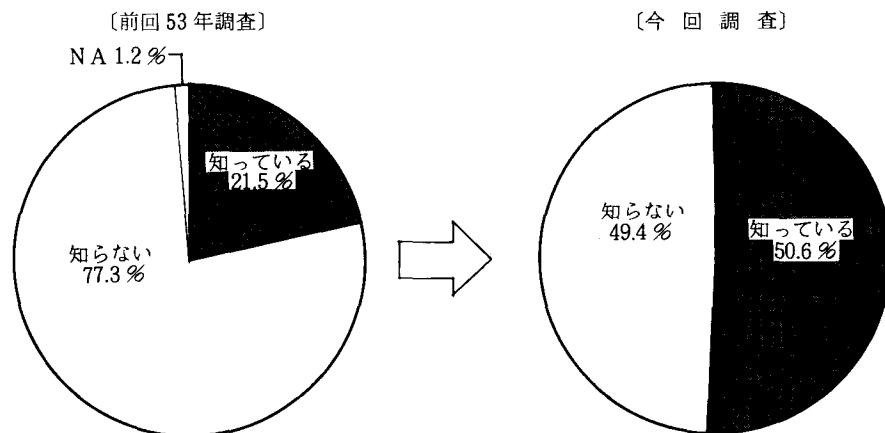
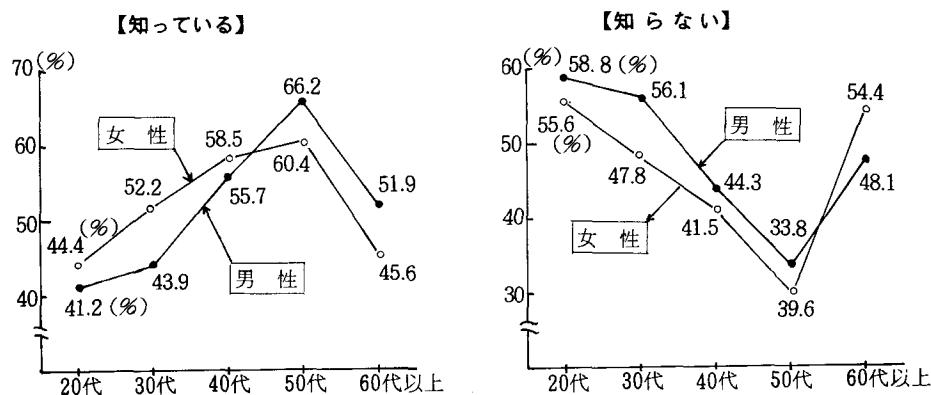


図 7-16 性年代別の新宿文化センターの周知度

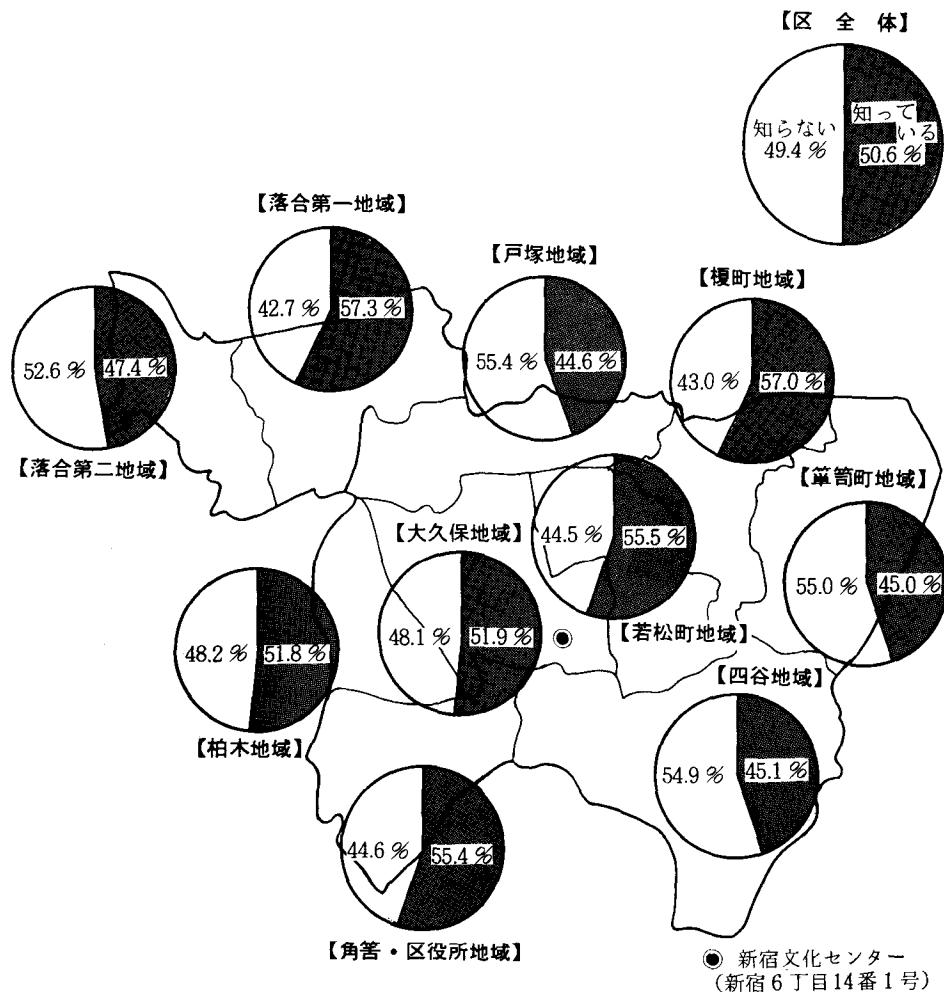
N = 1,139



地域別の周知度は図7-17のとおりである。

図7-17 地域別的新宿文化センターの周知度

N=1,139



VII-6 新宿文化センターの催しものについての希望

「新宿文化センター」でどんな催し物を希望するかについては、「映画会」が24.3%と第1位を占めた。続いて「各種講座・講習会」が21.8%、「美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会」が21.2%、「ポピュラー音楽会」が20.3%、「クラシック音楽会」が17.4%、「浪曲・落語・漫才などの大衆芸能」が16.3%、「新劇・歌舞伎などの演劇」が16.1%などである（図7-18）。

各項目ごとに性年代別、職業別での特徴をみると図7-19、表7-10のとおりである。

◎映画会（区全体24.3% 第1位）

男女の若年層や学生に特に多く、事務職・技術職、労務職・サービス職にも多い。

◎各種講座・講習会（区全体21.8% 第2位）

映画会に比べ、やや中年層に多く、事務・技術職に多い。

◎美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会（区全体21.2% 第3位）

男女の中高年層や無職、自営業・事業主、管理職・自由業に多い。

◎ポピュラー音楽会（区全体20.3% 第4位）

男女の若年層や学生、事務・技術職に多い。

◎クラシック音楽会（区全体17.4% 第5位）

男女の若年層、女性の中年層、学生に多い。

◎浪曲・落語・漫才などの大衆芸能（区全体16.3% 第6位）

男女の中高年層、無職、管理職・自由業、自営業・事業主、労務職・サービス職に多い。

◎新劇・歌舞伎などの演劇（区全体16.1% 第7位）

女性の中高年層および主婦に多い。

図7-18 新宿文化センターの催しものについての希望

N=1,139

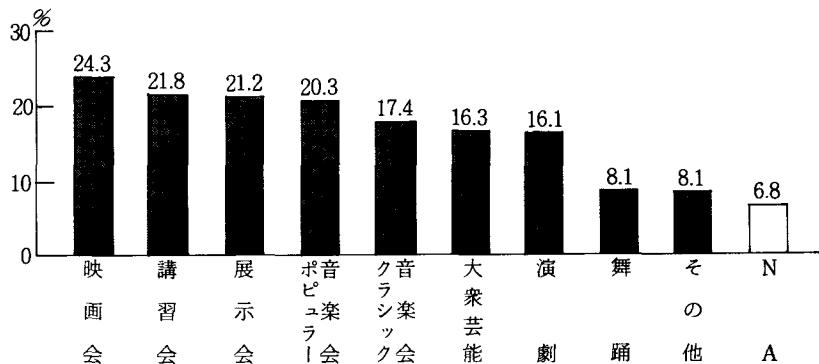


図 7-19 性年代別の新宿文化センターの催しものについての希望

N = 1,139

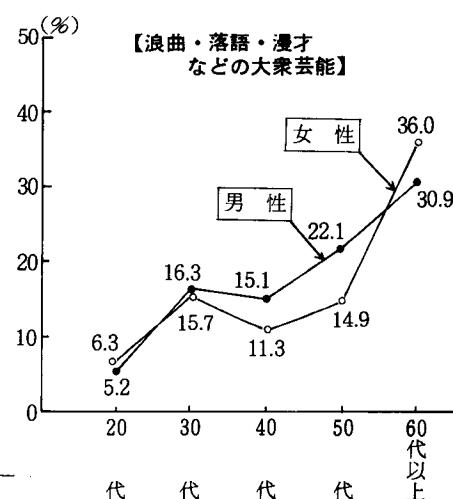
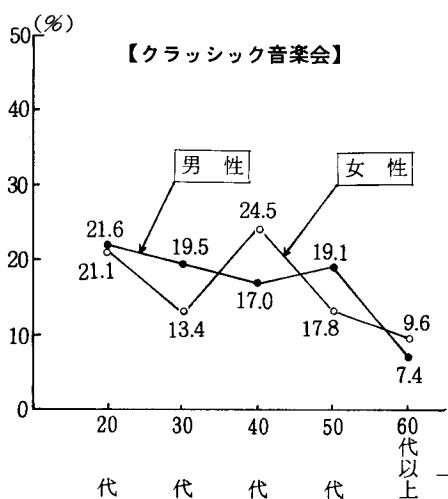
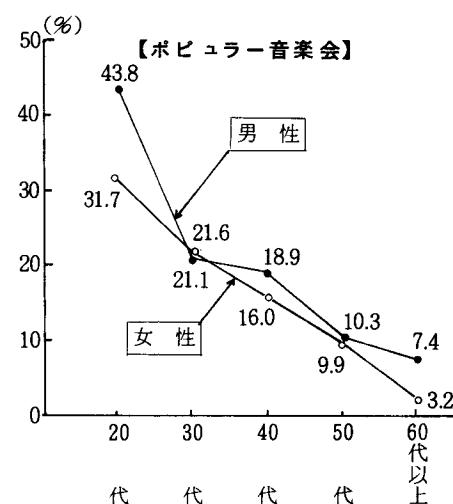
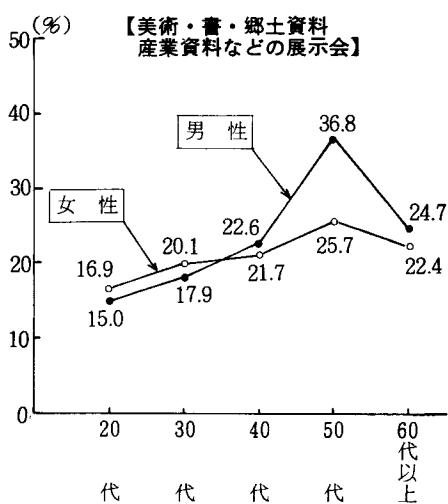
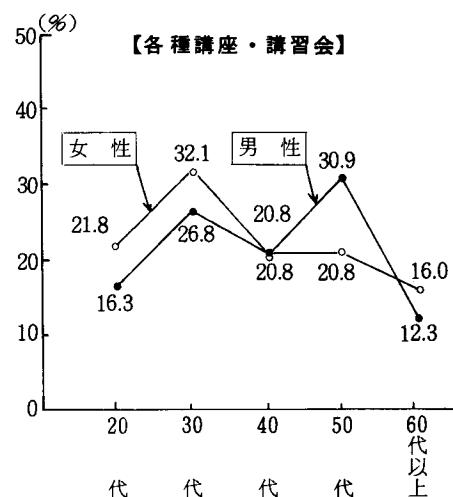
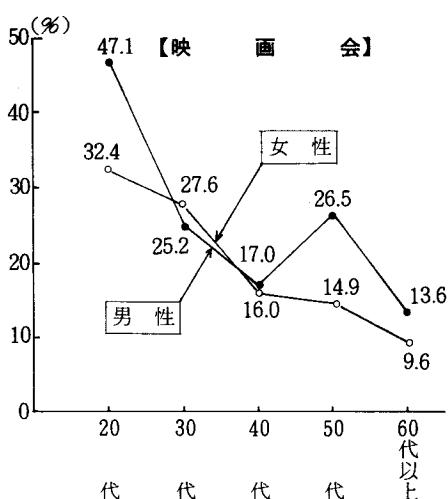


表 7-10 職業別の新宿文化センターの催しものについての希望

N=1,139

	映画会	各種講座・講習会	美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会	ポピュラー音楽会	クラシック音楽会	浪曲・落語・漫才などの大衆芸能	新劇・歌舞伎などの演劇
区全体	24.3%	21.8%	21.2%	20.3%	17.4%	16.3%	16.1%
職業別	学生 (45.9%) 事務職・技術職 (25.2%) 労務職・サービス職 (29.0%)	事務職・技術職 (26.5%) 自営業・事業主 (25.7%) 管理職・自由業 (24.7%)	無職 (29.1%) 学生 (49.2%)	事務職・技術職 (34.4%)	無職 (25.6%) 管理職・自由業 (22.5%) 自営業・事業主 (20.4%) 労務職・サービス職 (20.6%)	主婦 (24.6%)	

なお、前回調査の結果と比較したのが、表7-11である。昨年は第3位であった映画会が1位となった。

表 7-11 新宿文化センターの催しものへの希望
前回調査結果比較

【53年調査】

第1位	各種講座・講習会 35.6%
第2位	美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会 29.5%
第3位	映画会 26.0%
第4位	浪曲・落語・漫才などの大衆芸能 18.0%
第5位	クラシック音楽会 17.4%
第6位	新劇・歌舞伎などの演劇 16.0%

【今回調査】

映画会 24.3%
各種講座・講習会 21.8%
美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会 21.2%
クラシック音楽会 17.4%
浪曲・落語・漫才などの大衆芸能 16.3%
新劇・歌舞伎などの演劇 16.1%

VII-7 区の事業への要望

区に対して力を入れて欲しいと思う事業を第1位から第3位まで順位をつけて3つ選んでもらったところ、第1位、第2位、第3位の合計比率が最も高かったのは「震災対策」の26.5%である。ついで、「環境衛生」が23.4%、「緑化対策」が22.7%、「公園・児童遊園の整備・拡充」が20.3%の順で、この上位4項目が20%を越える要望度であった。以下、10%台のものとしては、「老人福祉」が19.8%、「風紀の取り締まり」が14.6%、「道路の整備」が13.3%、「公害対策」が12.3%、「消費者保護対策」が12.1%、「交通安全対策」が11.9%、「区民のための施設の整備」が10.9%、「学校教育施設の整備」が10.1%などである。

以上の結果はあくまでも第1位から第3位までの比率を単純に合計したものであって、合計比率が高くても、そのうちの第1位の比率が低ければその要望はあまり強いとはいえないし、逆に合計比率があまり高くなくとも、第1位としての比率が高ければ、その要望は強いといえよう。そこで、合計比率とは別に、以下の式を用いて点数化したのが図7-20である。

$$\begin{aligned}\star \text{ 要望の強さ (点数)} &= \text{第1位の比率} \times 3 \text{ 点} + \text{第2位の比率} \times 2 \text{ 点} + \text{第3位の比率} \\ &\quad \times 1 \text{ 点}\end{aligned}$$

要望の強さを点数化した場合、合計比率の順位とは若干異なってくる。「震災対策」は合計比率でも第1位であるが、点数化した場合、特にその要望の強さが目立っている。また合計比率で第5位の「老人福祉」は要望の強さでは第4位に、第7位の「道路の整備」は第6位となっており、第11位の「区民のための施設の整備」も第10となっている。また第17位の「社会教育・社会体育活動の推進」も第9位となっており、合計比率の割には要望度は高いといえよう。

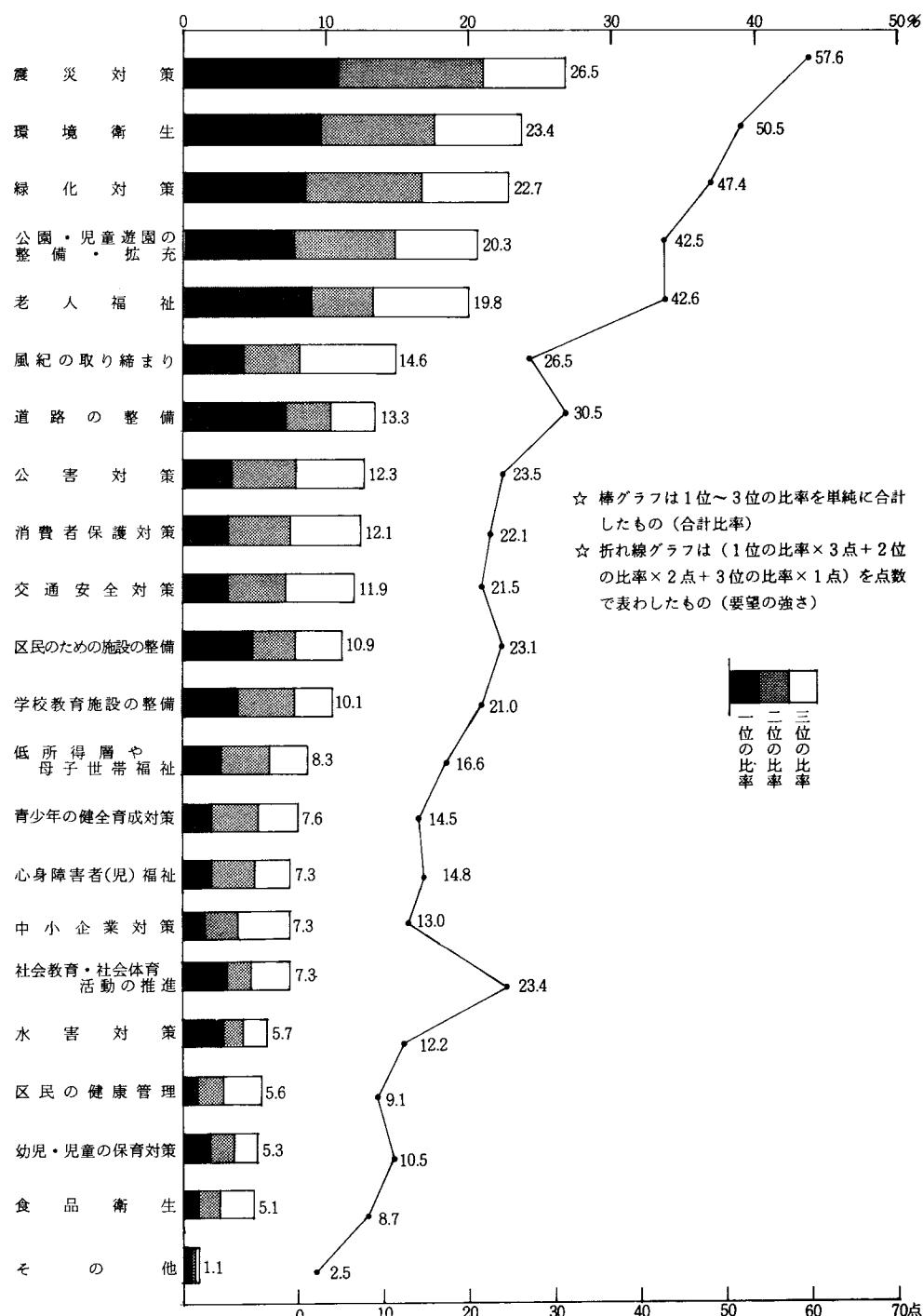
区事業の中には、「震災対策」などのように急務なものや、「緑化対策」、「道路の整備」などのように長期的な展望の中で改善していく必要があるものなどがあるが、上記の結果は、その選択のひとつの目安となるものと考えられよう。

10%以上のものについて、全体の中での位置、各属性との関係を中心に、その事業を強く望んでいる階層についてまとめてみると、次のとおりである。なお、地域別、性年代別、職業別、ライフステージ別でみた上位5位までの要望は、表7-12、表7-13のとおりである。

【震災対策】（合計比率26.5% 第1位）

落今第二地域の42.1%，男50代の38.2%，学生の34.4%，家族成長期（C）の

図 7-20 事業への要望の合計比率と要望の強さ



3 3.6 %などの比率が目立って高くなっている。地域や職業の違いを超えて広い層で切実な問題として要望されているといえよう。

【環境衛生】（合計比率 23.4% 第2位）

女40代の33.0%，家族成長期で第1位のはかは、地域別や職業別では第2位が多い。第1位には、ほとんどあげられていないのに合計比率で第2位となっているのは、第1位の「震災対策」ほど急務ではないが、各層に平均して要望している人が多いためといえよう。

【緑化対策】（合計比率 22.7% 第3位）

篠町地域の35.1%，若松町地域の30.9%などの比率が目立っている。男女の若年層に強く要望されているといえよう。

【公園・児童遊園の整備・拡充】（合計比率 20.3% 第4位）

大久保地域の27.1%，女30代の29.9%，労務・サービス業の28.0%，家族成長期(A)の33.6%，民間木造アパートの27.7%，社宅・官舎の29.3%などの比率の高さが目立っている。特に女性の若年層などの要望が強い。

【老人福祉】（合計比率 19.8% 第5位）

篠町地域、男60代以上、女50代、女60代以上、無職、老年期(A), (B), (C)で第1位となっている。女60代以上の40.0%，老年期(C)の47.2%を始め、第1位に挙げている各層では30.0%を越える高率となっている。男女の高年層にとっては切実な問題であり、要望している層の特徴がはっきりと現われている。

【風紀の取り締まり】（合計比率 14.6% 第6位）

角筈・区役所地域で第1位に挙げられているほか、大久保地域の22.5%が目立つ。繁華街地域での要望が高いのは当然であろう。

【道路の整備】（合計比率 13.3% 第7位）

落合第二地域、柏木地域での要望が高い。

【公害対策】（合計比率 12.3% 第8位）

篠町地域で第5位(21.6%)となっているほか、男50代で第4位、男40代で第5位と中年層での要望が高い。

【消費者保護対策】（合計比率 12.1% 第9位）

落合第二地域で第3位となっているほか、若松地域の第4位が特に高くなっている。

【交通安全対策】（合計比率 11.9% 第10位）

落合第二地域で第5位(18.8%)、男30代で第4位、老年期(A)で第5位となっている。

【区民のための施設の整備】（合計比率10.9% 第11位）

男20代及び婚前期でそれぞれ第5位となっている。若年層での要望といえよう。

【学校教育施設の整備】（合計比率10.1% 第12位）

榎町地域で第5位、女30代、家庭成長期(B)で第3位になっており、小・中学生を持つ年代層での要望といえよう。

次に、区の事業に対する要望をこれまでの区政世論調査と比較して、要望度の推移を追ってみると（図7-21）のとおりである。

なお、昨年まで「社会福祉対策」として扱われた項目は今回調査では「老人福祉」、「低所得層や母子福祉」、「心身障害者福祉」の3項目、「防災対策」は「震災対策」、「水害対策」の2項目、「社会教育活動の推進」は「社会教育・社会体育活動の推進」と変わっている。また新しい項目として「風紀の取り締まり」、「児童・児童の保育対策」が加わった。

表7-12 地域別、性年代別でみた区事業に対する上位5位の要望(合計比率)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		震 災 対 策 26.5 %	環 境 衛 生 23.4 %	緑 化 対 策 22.7 %	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 ・ 拡 充 20.3	老 人 福 祉 対 策 19.8 %
地 域 別	四 谷	震 災 対 策 28.8	環 境 衛 生 26.1	老 人 福 祉 対 策 20.3	消 費 者 保 護 対 策 17.0	綠 化 対 策 16.3
	簗 箕 町	綠 化 対 策, 老 人 福 祉 対 策 35.1	環 境 衛 生 29.7	震 災 対 策 27.9	公 害 対 策 21.6	
	榎 町	震 災 対 策 30.5	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 ・ 拡 充, 綠 化 対 策, 環 境 衛 生 21.9			学 校 教 育 施 設 の 整 備 18.0
	若 松 町	綠 化 対 策 30.9	環 境 衛 生 29.1	震 災 対 策 27.3	消 費 者 保 護 対 策 22.7	老 人 福 祉 対 策 19.1
	大 久 保	綠 化 対 策 29.5	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 ・ 拡 充 27.1	風 紀 の 取 締 ま り 22.5	老 人 福 祉 対 策 20.9	環 境 衛 生, 震 災 対 策 19.4
	戸 塚	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 ・ 拡 充, 震 災 対 策 26.9		綠 化 対 策, 環 境 衛 生 26.2		老 人 福 祉 対 策 22.3
	落 合 第 一	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 ・ 拡 充 25.0	環 境 衛 生 22.9	震 災 対 策 20.8	老 人 福 祉 対 策 19.8	交 通 安 全 対 策 18.8
	落 合 第 二	震 災 対 策 42.1	環 境 衛 生 23.7	道 路 整 備, 消 費 者 保 護 対 策 18.4		低 所 得 層 や 母 子 世 帯 福 祉 16.7
	柏 木	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 ・ 拡 充, 震 災 対 策 24.1		綠 化 対 策 21.4	道 路 整 備, 風 紀 の 取 締 ま り 18.8	
性 年 代 別	角 箒 ・ 区 役 所	風 紀 の 取 締 ま り 17.9	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 ・ 拡 充, 老 人 福 祉 対 策 16.1		環 境 衛 生, 社 会 教 育, 社 会 体 育 活 動 の 推 進 14.3	
	男 20 代	綠 化 対 策 29.4	震 災 対 策 27.5	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 ・ 拡 充 25.5	環 境 衛 生 21.6	区 民 の た め の 施 設 の 整 備 18.3
	男 30 代	綠 化 対 策 23.6	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 ・ 拡 充 22.8	震 災 対 策 19.5	環 境 衛 生, 交 通 安 全 対 策 16.3	
	男 40 代	震 災 対 策 22.6	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 ・ 拡 充 21.7	綠 化 対 策 20.8	環 境 衛 生 19.8	道 路 整 備, 公 害 対 策 15.1
	男 50 代	震 災 対 策 38.2	綠 化 対 策, 環 境 衛 生 26.5		老 人 福 祉 対 策, 公 害 対 策 20.6	
	男 60 代 以 上	老 人 福 祉 対 策 33.3	震 災 対 策 27.2	環 境 衛 生 24.7	綠 化 対 策 19.8	道 路 整 備 18.5
	女 20 代	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 ・ 拡 充 26.1	環 境 衛 生 25.4	綠 化 対 策 24.6	震 災 対 策 23.9	風 紀 の 取 締 ま り 16.2
	女 30 代	震 災 対 策 31.3	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 ・ 拡 充 29.9	綠 化 対 策, 学 校 教 育 施 設 の 整 備 20.1		老 人 福 祉 対 策 17.9
	女 40 代	環 境 衛 生 33.0	震 災 対 策 23.6	道 路 の 整 備, 绿 化 対 策, 風 紀 の 取 締 ま り 17.9		
	女 50 代	老 人 福 祉 対 策 30.7	震 災 対 策 26.7	環 境 衛 生 25.7	綠 化 対 策 21.8	消 費 者 保 護 対 策 15.8
	女 60 代 以 上	老 人 福 祉 対 策 40.0	震 災 対 策 28.8	環 境 衛 生 25.6	綠 化 対 策 20.0	風 紀 の 取 締 ま り 16.0

注: 上表は、上位5位までの事業をまとめたものである。5位以下のものについては、巻末の相関表参照のこと。

表7-13 職業別、ライフステージ別でみた区事業に対する上位5位の要望(合計比率)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
職業別	自営業・事業主 震災対策 26.3	環境衛生 23.4	道路整備、公園・児童遊園の整備拡充 18.6	老人福祉対策 18.0	
	管理職・自由業 震災対策 28.1	緑化対策、環境衛生 27.0	老人福祉対策 24.7	風紀の取り締まり 16.9	
	事務・技術職 震災対策 25.2	公園・児童遊園の整備・拡充、環境整備 23.2	緑化対策 22.8	風紀の取り締まり 15.2	
	労務・サービス職 公園・児童遊園の整備・拡充 28.0	緑化対策 24.3	震災対策 23.4	環境整備 21.5	老人福祉対策 18.7
	主婦 震災対策 28.7	環境整備 24.3	緑化対策 21.6	公園・児童遊園の整備・拡充 18.7	老人福祉対策 17.9
	学生 震災対策 34.4	緑化対策 32.8	公園・児童遊園の整備・拡充、環境衛生 23.0	道路整備 19.7	
	無職 老人福祉対策 44.1	環境衛生 23.9	震災対策 22.2	公園・児童遊園の整備・拡充 21.4	緑化対策 18.8
ライフステージ別	婚前期 緑化対策 27.5	震災対策 24.7	環境整備 23.7	公園・児童遊園の整備・拡充 23.1	区民のための施設の整備 16.1
	家族形成期 環境衛生 24.6	公園・児童遊園の整備・拡充 23.2	緑化対策 21.7	老人福祉対策、低所得層や母子世帯福祉 17.4	
	家族成長期(A) 公園・児童遊園の整備・拡充 33.6	震災対策 25.2	緑化対策 21.5	老人福祉対策 18.7	環境整備 16.8
	家族成長期(B) 震災対策 26.5	公園・児童遊園の整備・拡充 25.9	学校教育施設の整備 23.5	緑化対策 21.8	環境衛生 17.6
	家族成長期(C) 震災対策 33.6	環境衛生 28.7	緑化対策 24.8	道路整備 20.4	老人福祉対策 15.0
	家族成熟期 震災対策 31.7	環境衛生 28.3	老人福祉対策 23.3	風紀の取締まり 17.5	緑化対策 16.7
	老年期(A) 老人福祉対策 34.2	環境衛生 31.6	震災対策 30.3	公園・児童遊園の整備・拡充、緑化対策 19.7	
年齢別	老年期(B) 老人福祉対策 34.4	環境衛生、震災対策 21.3	緑化対策 18.0	道路整備 14.8	
	老年期(C) 老人福祉対策 47.2	環境衛生 27.8	緑化対策 25.0	震災対策 19.4	公園・児童遊園の整備・拡充 16.7

◎震災対策

昨年までは「防災対策」として順位では、8位(48年)→3位(49年)→8位→(50年)→1位(51年)→5位(52年)→1位(53年)となっており、比率の面では17.2%→25.1%→19.8%→32.3%→20.7%→32.6%となっていた。今回調査では、これを「震災対策」と「水害対策」とに分けて聞いた。「震災対策」は26.5

%と第1を占め、近年頻ぱんに発生する地震に対する不安感から早急な対策が強く望まれている事がわかる。なお「水害対策」の方は5.7%と18位であった。

●環境衛生

6位→9位→3位→5位→2位→2位，22.6%→16.3%→27.2%→23.9%→25.8%→32.0%→23.4%と比率の変動はあるが、ここ数年2位の座を占め、高い要望となっている。

●緑化対策

4位→4位→6位→4位→3位→4位→3位と推移し、比率でも27.1%→23.5%→20.6%→25.0%→25.2%→24.4%→22.7%と50年時にやや下がったものの変化は少なく、一定した強さの要望となっている。

●公園・児童遊園の整備拡充

2位→6位→5位→6位→5位→6位→4位，25.0%→17.1%→20.4%→18.2%→19.9%→22.8%→20.3%と推移しているが、49年以降5、6位と一定していた順位が4位へと上昇し、最近の区民の公園・児童遊園への要望の高さを示している。

●道路の整備

5位→8位→7位→8位→7位→5位→7位，25.0%→17.1%→20.4%→18.2%→19.9%→22.8%→13.3%で、49年～52年の間、順位、比率とも下降し、昨年再び上昇したが、今回はまた10位近く下降している。

●公害対策

1位→2位→2位→3位→8位→7位→8位と下位になってきており、比率でも29.2%→27.1%→27.5%→25.7%→16.6%→17.6%→12.3%と50年前後に比べ著しく要望度が低くなっている。

●消費者保護対策

9位→7位→15位→14位→15位→12位→9位、比率も16.9%→17.7%→9.6%→9.5%→9.4%→8.5%→12.1%と50年以降下位にあったが、今回調査では、かなり要望度がアップしている。

●交通安全対策

7位→5位→4位→7位→8位→10位と変化し、比率も18.4%→23.0%→23.8%→21.8%→20.9%→17.6%→11.9%とかなり要望度が低くなっている。

●区民のための施設の整備

10位→10位→13位→10位→8位→9位→11位と10位前後で安定しているが、

比率では 1 3.4 % → 1 3.2 % → 1 1.1 % → 1 2.1 % → 1 6.6 % → 1 5.2 % → 1 0.9 % とやや下降気味である。

●学校教育施設の整備

1 3 位 → 1 1 位 → 1 0 位 → 1 1 位 → 1 1 位 → 1 0 位 → 1 2 位，比率で 1 0.5 % → 1 2.6 % → 1 5.5 % → 1 1.7 % → 1 4.1 % → 1 4.4 % → 1 0.1 % と変化は少ない。

●青少年の健全育成対策

1 2 位 → 1 2 位 → 1 1 位 → 1 2 位 → 1 2 位 → 1 1 位 → 1 4 位，1 0.7 % → 1 0.7 % → 1 3.1 % → 1 1.5 % → 1 3.9 % → 1 3.1 % → 7.6 % と要望度は低くなっている。

●中小企業対策

1 5 位 → 1 3 位 → 1 4 位 → 1 5 位 → 1 3 位 → 1 4 位 → 1 6 位と下位にあり，比率も 8.7 % → 1 0.2 % → 1 0.3 % → 7.3 % → 1 1.1 % → 7.0 % → 7.3 % と低い。

●区民の健康管理

1 0 位 → 1 4 位 → 1 2 位 → 1 3 位 → 1 0 位 → 1 3 位 → 1 9 位とやや変動が激しく，比率でも 1 3.4 % → 7.3 % → 1 1.2 % → 1 0.3 % → 1 6.4 % → 8.2 % → 5.6 % と最高時の 3 分の 1 に減少している。

●食品衛生

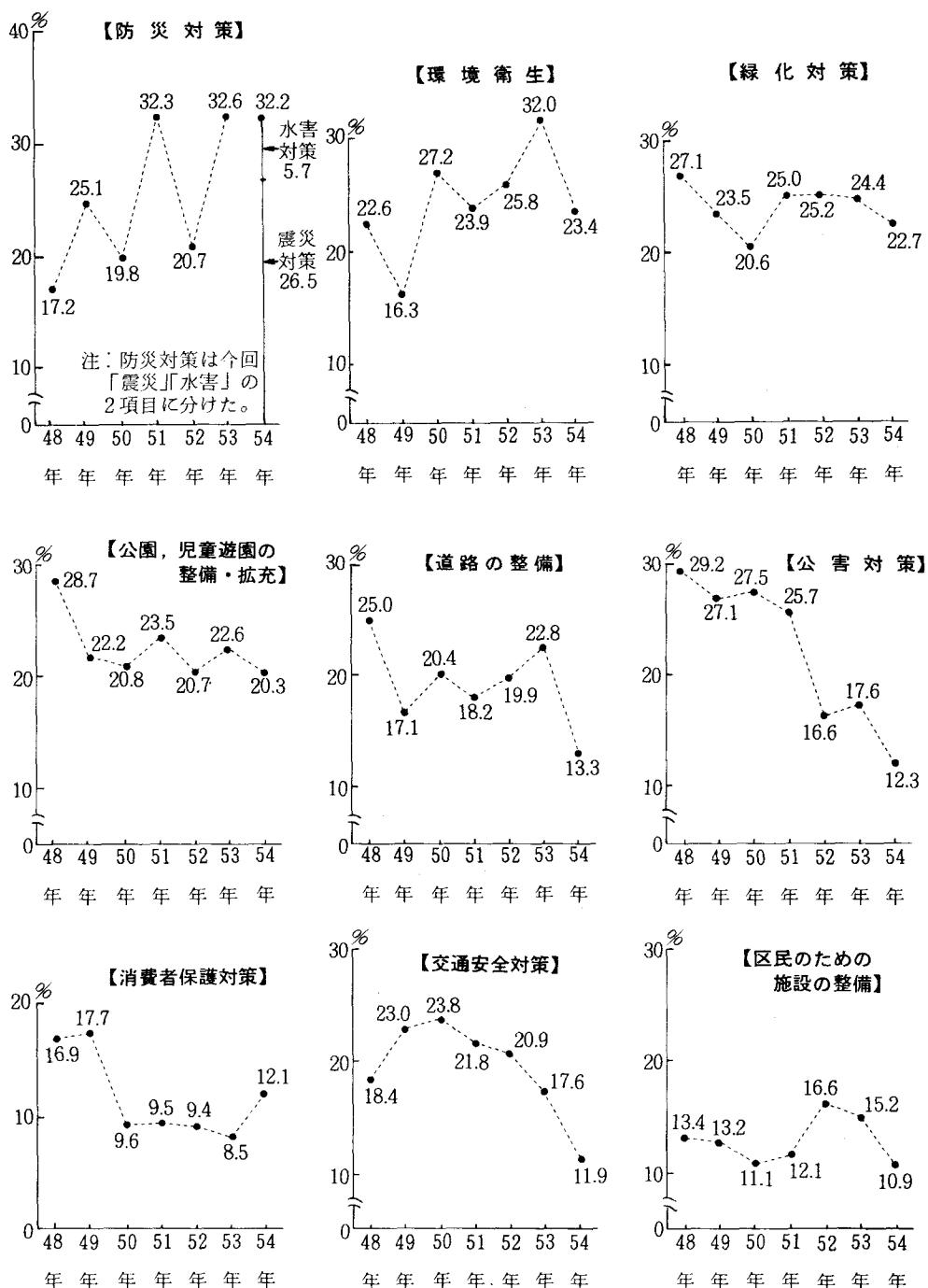
4 8 年，4 9 年の調査項目にはないが，9 位（50 年）→ 9 位（51 年）→ 14 位（52 年）→ 15 位（53 年）→ 21 位（54 年）となっている。比率でも 8.9 % → 5.2 % → 4.6 % → 4.0 % → 5.3 % → 4.8 % → 5.1 % と変化は少なく，要望としては低い。

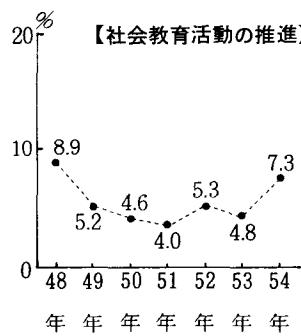
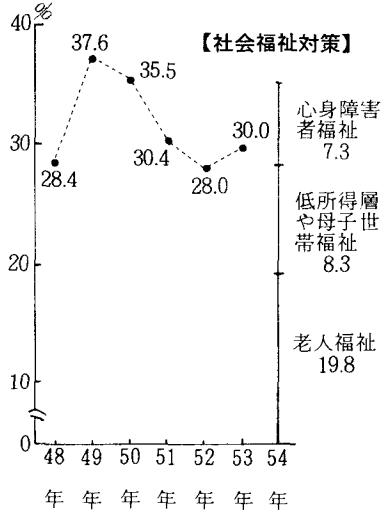
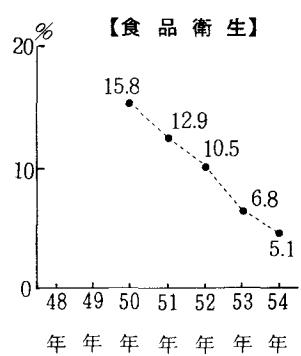
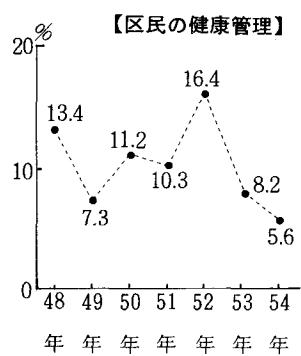
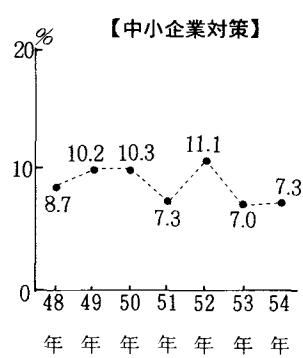
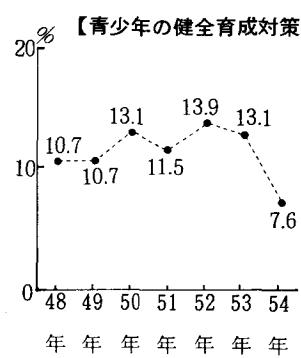
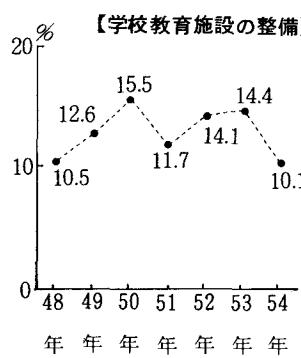
また，昨年まで「社会福祉対策」として扱われた項目は今回調査では「老人福祉」，「低所得層や母子世帯福祉」，「心身障害者（児）福祉」の 3 項目に分けて質問し，「老人福祉」が第 5 位，19.8%，「低所得層や母子世帯福祉」が 13 位，8.3%，「心身障害者（児）福祉」が 15 位，7.3% で合計 35.4% を占め，「社会福祉」に対する要望は強いといえる。「社会教育活動の推進」は今回は「社会体育」も含み，昨年 4.8% から 7.3% となっただ。

新しい項目の「風紀の取り締まり」が第 6 位で 14.6%，「幼児・児童の保育対策」が 20 位で 5.3% である。

図 7-21 区の事業への要望——前回までの調査結果比較

*今回は前回までに比べ項目数が増えているため、各項目ごとの比率は小さくなっている。





注：48年、49年は「食品衛生」の項目はない。

注：今回の社会福利に関する項目は「老人福祉」、「低所得層や母子世帯福祉」、「心身障害者福祉」の3項目に分けられた。

注：今回の社会教育活動に関する項目は「社会体育活動」も含んでいます。

相 関 表

【相関表を見る上での注意】

- (1) 「N」は基数で、その設問の回答者数の実数を表わす。
- (2) 「N」以外の数字はすべて百分比(%)である。
- (3) 百分比(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出した。そのため合計比率が100%にならない場合もある。
- (4) また複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を越える。
- (5) 「N/A」は無回答者の比率を示す。

【ライフ・ステージ】

- * 婚前期 結婚前の独身者
 - * 家族形成期 子どもがいない若夫婦
の夫あるいは妻
 - * 家族成長期(A) 結婚し乳・幼児
がいる親
 - * 家族成長期(B) 小・中学生がいる親
 - * 家族成長期(C) 高校・大学生がいる親
 - * 家族成熟期 学校教育を終えた
独身の子どもがいる親
 - * 老年期(A) 子どもが結婚して
一緒に住んでいる親
 - * 老年期(B) 子どもが独立して
2人だけになった親
 - * 老年期(C) 子どもが独立して
1人だけになった親
-

Q1. あなたが今の所に住むようになったのは、いつ頃からですか。(1A)

回答項目 フェース	N	戦前 から	終戦 ～ 昭和 30 年	昭和 31 年 ～ 40 年	昭和 41 年 ～ 45 年	昭和 46 年 ～ 50 年	昭和 51 年 ～ 53 年	54 年 以降
総 地 域	1139	8.5	23.4	14.2	11.2	17.2	21.5	4.0
数 別								
四 箇 領	153	11.1	28.8	11.1	12.4	15.0	17.6	3.9
管 構	5.4	27.0	12.6	7.2	14.4	26.1	7.2	
若 大 戸	111	7.0	27.3	17.2	14.8	10.2	20.3	3.1
松 久 合	128	2.7	15.4	9.1	15.5	32.7	19.1	4.5
保 塚	110	7.0	17.8	15.5	10.9	23.3	23.3	2.3
第 二 木 本	129	13.8	23.1	16.2	11.5	10.0	23.8	1.5
落 落 柏 角	96	7.3	15.6	12.5	8.3	15.6	33.3	7.3
役 所 別	114	13.2	21.9	19.3	14.0	18.4	12.3	0.9
・ 区	112	7.1	29.5	16.1	5.4	16.1	22.3	3.6
役 所 別	56	8.9	23.2	10.7	10.7	19.6	17.9	8.9
性 别 別								
男 性	531	8.9	24.5	11.9	11.1	17.5	22.8	3.4
女 性	608	8.2	22.4	16.3	11.3	16.9	20.4	4.4
年 齢 別								
20 代	153	0.7	16.3	14.4	4.6	14.4	43.1	6.5
30 代	123	5.7	23.6	4.1	13.8	27.6	23.6	1.6
40 代	106	13.2	15.1	17.0	22.6	18.9	11.3	1.9
50 代	68	11.8	35.3	13.2	13.2	13.2	10.3	2.9
60 代 以 上	81	21.0	44.4	11.1	2.5	9.9	8.6	2.5
70 代	142	2.8	9.9	12.7	7.0	17.6	40.8	9.2
80 代	134	0.7	9.0	14.2	15.7	29.1	24.6	6.7
90 代	106	8.5	17.0	26.4	17.0	17.0	12.3	1.9
100 代	101	9.9	39.6	15.8	9.9	11.9	9.9	3.0
110 代	125	20.8	41.6	8.0	7.2	8.0	0.0	
職 業 別								
自 営 業・事 業 主	167	14.4	32.3	15.0	12.0	12.6	13.2	0.6
管 理 職・自由業	89	11.2	18.0	14.6	10.1	24.7	18.0	3.4
事 務 職・技術職	302	4.0	22.2	9.9	11.3	21.5	25.8	5.3
労務職・サービス職	107	6.5	16.8	13.1	10.3	18.7	30.8	3.7
主 婦	268	7.8	21.6	18.7	13.4	18.3	15.3	4.9
学 生	61	3.3	6.6	23.0	3.3	8.2	47.5	8.2
無 職	117	15.4	39.3	12.8	8.5	7.7	15.4	0.9
そ の 他	28	10.7	10.7	3.6	21.4	17.9	28.6	7.1
家 族 人 数 別								
1 人	208	2.9	11.5	4.8	8.7	17.3	48.1	6.7
2 人	171	9.9	19.9	10.5	8.2	16.4	28.1	7.0
3 人	220	4.5	31.4	12.7	11.8	20.5	17.3	1.8
4 人	291	9.6	22.0	20.3	12.0	18.9	13.7	3.4
5 人	143	11.9	32.9	18.9	14.7	14.7	4.9	2.1
6 人 以 上	99	19.2	28.3	20.2	12.1	9.1	9.1	2.0
N A	7	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	42.9	0.0
タ イ フ ス テ ー ジ 別								
婚 前 成 長 期	316	3.5	22.2	14.6	6.6	14.2	34.5	4.4
家 族 成 長 期(A)	69	2.9	1.4	7.2	15.9	20.3	42.0	10.1
家 族 成 長 期(B)	107	1.9	6.5	9.3	6.5	34.6	36.4	4.7
家 族 成 長 期(C)	170	6.5	10.6	14.7	21.2	25.9	16.5	4.7
家 族 成 熟 期	113	9.7	19.5	31.0	19.5	12.4	4.4	3.5
年 期 (A)	120	12.5	49.2	10.0	12.5	10.0	4.2	1.7
年 期 (B)	76	25.0	47.4	10.5	3.9	6.6	6.6	0.0
年 期 (C)	61	18.0	36.1	18.0	1.6	8.2	13.1	4.9
そ の 他	36	11.1	38.9	11.1	8.3	13.9	16.7	0.0
N A	48	14.6	22.9	12.5	16.7	18.8	14.6	0.0
23	17.4	26.1	0.0	4.3	26.1	17.4	8.7	
住 居 形 務 別								
一 戸 建 持 家	522	15.9	40.6	20.9	8.8	8.2	4.4	1.1
一 戸 建 備 家	42	9.5	23.8	23.8	23.8	14.3	4.8	0.0
民 間 木 造 アパート	188	2.1	9.0	11.2	14.4	19.1	37.2	6.9
鉄筋アパート・マンション	251	1.6	7.6	5.6	13.9	31.5	31.9	8.0
社 宅 ・ 官 舎	58	0.0	0.0	6.9	8.6	25.9	55.2	3.4
寮・間借り・住込み	69	1.4	5.8	4.3	7.2	23.2	52.2	5.8
そ の 他	9	11.1	44.4	11.1	0.0	11.1	22.2	0.0
居 住 年 数 別								
戦 前 か ら	97	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
終 戦～昭和30年	266	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
昭和31年～40年	162	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
昭和41年～45年	128	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
昭和46年～50年	196	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
昭和51年～55年	245	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
54 年 以 降	45	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

Q2 これからも引き続いて、新宿区にお住まいになりますか。(1A)

Q3 現在の新宿区は「住みよい街」だと思いますか。(1A)

回答項目 フェース	N	永住するつもり	当分はここに住む	できたら区外に転出するうちに区外りに	近いうち区外りに	わからぬ	N	住みよし	まあ住みよし	あまい住みよくな	住みにくく	わからぬ
総数	1139	45.3	29.9	6.8	4.6	13.3	1139	30.2	45.0	12.5	2.6	9.7
地域別												
四国	153	58.3	24.8	2.0	0.7	13.7	153	37.3	47.7	8.5	2.6	3.9
中国	111	39.6	45.0	3.6	5.4	6.3	111	39.6	46.8	5.4	3.6	4.5
関東	128	41.4	27.3	12.5	3.9	14.8	128	32.0	32.8	22.7	2.3	10.2
関西	110	51.8	22.7	8.2	9.1	8.2	110	27.3	55.5	4.5	2.7	10.0
東北	129	34.1	38.8	12.4	4.7	10.1	129	24.6	42.6	18.6	3.9	10.9
大分	130	49.2	24.6	9.2	5.4	11.5	130	25.4	45.4	12.3	1.5	15.4
宮崎	96	37.5	37.5	1.0	4.2	19.8	96	27.1	49.0	15.6	2.1	6.3
鹿児島	114	50.0	24.6	2.6	5.3	17.5	114	36.8	47.4	6.1	2.6	7.0
沖縄	112	34.8	26.8	12.5	4.5	21.4	112	21.4	35.6	18.8	2.7	20.5
角筈・柏原・大戸落合	56	57.1	30.4	0.0	3.6	8.9	56	28.6	50.0	10.7	1.8	8.9
性別別												
男性	531	42.6	30.3	7.3	4.5	15.3	531	28.1	45.4	12.5	2.8	10.9
女性	608	47.7	29.6	6.4	4.6	11.7	608	32.1	44.6	12.2	2.5	8.7
年齢別												
20代	153	19.0	35.6	9.8	11.3	22.9	153	24.8	43.1	12.4	2.6	17.0
30代	123	34.1	35.0	7.3	2.4	21.1	123	26.8	45.5	15.4	4.1	8.1
40代	106	49.1	35.8	6.6	0.0	8.5	106	25.5	45.3	16.0	3.8	9.4
50代	48	64.7	19.1	5.9	1.5	8.8	48	33.8	45.6	8.8	1.5	10.3
60代以上	91	72.8	13.6	4.9	2.5	6.2	81	34.6	49.4	8.6	1.2	6.2
男女別												
男	142	16.9	40.1	11.3	10.6	21.1	142	25.4	40.1	18.3	4.2	12.0
女	134	38.8	41.0	6.0	4.5	9.7	134	28.4	48.5	11.9	2.2	9.0
職業別												
自営業・事業主	106	53.4	28.7	6.3	2.2	9.3	106	30.6	48.9	13.4	1.5	5.6
管理職・自由業	89	53.9	20.2	7.9	2.2	15.7	89	30.3	52.8	11.2	0.0	5.6
事務職・技術職	302	32.8	35.8	8.3	6.3	16.9	302	27.5	46.4	10.9	4.3	10.9
労務職・サービス職	107	27.1	31.8	10.3	9.3	21.5	107	25.2	38.3	14.0	6.5	15.9
主婦	268	53.4	28.7	6.3	2.2	9.3	268	30.6	48.9	13.4	1.5	5.6
学生	61	16.4	36.1	3.3	18.0	26.2	61	36.1	34.4	13.1	1.6	14.8
無職	117	61.5	23.9	6.0	0.9	7.7	117	33.3	43.6	9.4	1.7	12.0
その他	28	4.7	28.3	4.7	0.9	11.3	106	28.3	50.0	12.3	3.8	5.7
職業別												
自営業	101	61.4	20.8	4.0	5.9	7.9	101	39.6	41.6	11.9	1.0	5.9
管理職	125	75.2	13.6	4.8	0.0	6.4	125	40.8	43.2	5.6	0.8	9.6
事務職												
労務職	167	62.9	25.7	3.6	1.2	6.6	167	34.7	38.9	14.4	1.8	10.2
サービス職	89	53.9	20.2	7.9	2.2	15.7	89	30.3	52.8	11.2	0.0	5.6
技術職	302	32.8	35.8	8.3	6.3	16.9	302	27.5	46.4	10.9	4.3	10.9
主婦	107	27.1	31.8	10.3	9.3	21.5	107	25.2	38.3	14.0	6.5	15.9
学生	268	53.4	28.7	6.3	2.2	9.3	268	30.6	48.9	13.4	1.5	5.6
無職	61	16.4	36.1	3.3	18.0	26.2	61	36.1	34.4	13.1	1.6	14.8
その他	117	61.5	23.9	6.0	0.9	7.7	117	33.3	43.6	9.4	1.7	12.0
職業別												
自営業	28	35.7	39.3	10.7	3.6	10.7	28	21.4	57.1	17.9	0.0	3.6
家族別												
1人	208	18.8	35.1	10.6	12.5	23.1	208	26.4	40.4	14.4	3.8	14.9
2人	171	50.3	25.7	8.8	4.1	11.1	171	31.6	44.4	9.9	3.5	10.5
3人	229	43.6	34.5	7.3	4.5	10.0	220	30.9	43.2	12.7	2.7	10.5
4人	291	47.8	33.7	4.8	2.1	11.7	291	28.9	49.1	13.4	1.7	6.9
5人	143	60.8	23.1	4.9	0.7	10.5	143	36.4	43.4	11.9	2.1	6.3
6人以上	99	68.7	15.2	3.0	2.0	11.1	99	31.3	45.5	11.1	2.0	10.1
人以上	7	14.3	28.6	14.3	0.0	42.9	7	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢別												
20代前半	316	20.3	35.8	11.4	9.5	23.1	316	25.9	42.4	13.0	4.1	14.6
20代後半	69	26.1	47.8	7.2	5.8	13.0	69	24.6	50.7	11.6	2.9	10.1
30代前半	197	33.6	43.0	8.4	3.7	11.2	197	21.5	46.7	21.5	3.7	6.5
30代後半	170	48.2	34.1	4.7	2.4	10.6	170	30.6	45.3	15.3	1.8	7.1
40代前半	113	61.9	24.8	0.9	1.8	10.6	113	27.4	44.2	11.5	2.7	14.2
40代後半	120	65.8	20.8	5.0	2.5	5.8	120	38.3	47.5	8.3	1.7	4.2
50代前半	76	84.2	7.9	2.6	0.0	5.3	76	35.5	51.3	5.3	1.3	6.6
50代後半	61	68.9	14.8	8.2	1.6	6.6	61	42.6	37.7	11.5	1.6	6.6
60代前半	36	66.7	16.7	2.8	5.6	8.3	36	38.9	41.7	8.3	0.0	11.1
60代後半	48	52.1	25.0	8.3	4.2	10.4	48	41.7	41.7	8.3	0.0	8.3
70代以上	23	52.2	21.7	4.3	0.0	21.7	23	26.1	52.2	13.0	4.3	4.3
年齢別												
20代前半	522	66.7	19.7	4.4	0.8	8.4	522	35.2	44.1	10.9	1.1	8.6
20代後半	42	26.2	47.6	16.7	2.4	7.1	42	21.4	45.2	26.2	2.4	4.8
30代前半	188	25.5	36.7	10.6	8.5	18.6	188	25.0	43.6	12.2	7.4	11.7
30代後半	251	37.5	39.8	5.2	6.4	11.2	251	29.1	50.2	9.6	2.0	9.2
40代前半	58	8.6	37.9	6.9	8.6	37.9	58	22.4	37.9	22.4	1.7	15.5
40代後半	69	7.2	37.7	14.5	13.0	27.5	69	18.8	42.0	20.3	4.3	14.5
50代前半	9	55.6	11.1	11.1	11.1	11.1	9	55.6	44.4	0.0	0.0	0.0
年齢別												
20代前半	97	85.6	7.2	3.1	0.0	4.1	97	46.4	33.0	10.3	2.1	8.2
20代後半	266	67.3	16.9	5.3	1.5	9.0	266	34.2	46.2	10.4	1.1	7.5
30代前半	162	53.1	29.6	6.2	1.9	9.3	162	33.3	44.4	11.7	1.9	8.6
30代後半	128	43.3	35.2	6.3	3.1	12.5	128	25.8	53.9	10.9	2.3	7.0
40代前半	196	34.2	37.8	8.2	3.6	16.3	196	30.6	45.9	11.2	3.1	9.2
40代後半	245	14.3	40.8	10.2	12.7	22.0	245	20.4	43.7	17.1	4.9	13.9
50代前半	45	24.4	48.9	4.4	6.7	15.6	45	24.4	42.2	13.3	2.2	17.8
50代後半												

Q4. あなたの住んでいる付近の騒音の状況は、数年前にくらべて良くなつたでしょうか。悪くなつたでしょうか。
(1A)

Q5. あなたは公害の被害を受けたことがありますか。次の
中から受けたものをいくつでも選んでください。[回答
票1提示] (MA)

回答項目 フェース	N	良くなつた	変わらない	悪くなつた	どちらともいえな	わからな	N	大気汚染	騒音	振動	悪臭	その他	いと ぢれな も受けたこ
総 地 域 数 別	1139	12.1	34.1	27.7	12.6	13.5	1139	22.1	36.1	19.1	13.5	2.0	39.9
四 築 標 若 松 久 大 戸 落 落 柏 角 審・区役所別	153 111 128 110 129 130 96 114 112 56	5.2 18.9 12.5 23.6 9.3 6.2 5.2 11.4 8.0 35.7	32.7 24.3 27.3 46.4 24.0 24.6 43.8 45.6 30.4 23.2	14.4 18.0 13.3 1.8 31.3 16.2 19.8 7.0 37.5 10.7	15.0 16.2 14.8 7.3 21.7 12.3 9.4 5.3 13.4 7.1	153 111 128 110 129 130 96 114 112 56	15.7 21.6 23.4 19.1 36.4 26.2 11.5 17.5 29.5 23.2	54.9 29.7 27.3 39.1 40.3 24.5 41.7 37.7 28.6 14.3	27.5 15.3 15.6 17.3 27.9 15.4 18.8 21.9 15.2 21.4	17.6 10.8 13.3 5.5 20.9 16.2 11.5 14.9 12.5 7.1	1.3 0.9 2.3 0.0 1.6 3.1 3.1 3.5 1.8 3.6	26.8 36.9 50.0 43.6 27.9 43.1 44.8 39.5 41.1 60.7	
性 別 年 齢 別	531 608	11.3 12.8	32.4 35.5	27.1 28.1	13.7 11.7	15.4 11.8	531 608	22.6 21.7	35.6 36.5	19.6 18.8	12.6 14.3	1.5 2.5	40.3 39.5
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 10.6 16.0 8.8 34.6	31.4 30.1 31.1 10.3 12.3	20.9 16.3 30.2 30.9 11.8	14.4 19.5 10.4 10.3 12.3	24.2 25.2 35.8 26.5 3.7	153 123 106 68 81	13.1 25.2 36.8 38.2 81	32.7 39.0 23.6 22.1 16.0	15.7 21.1 17.3 22.1 32.1	13.1 17.1 8.5 16.2 7.4	1.3 0.0 2.8 2.9 1.2	45.8 37.4 33.0 33.8 49.4
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 8.0	142 134 196 101 125	30.3 23.1 20.8 12.9 18.4	36.6 44.0 35.8 33.7 31.2	14.1 19.4 25.5 16.8 19.2	14.1 15.7 20.8 11.9 9.6	0.7 1.5 5.7 5.0 0.8	35.2 36.6 34.0 42.6 49.6
職 業 別	20 30 40 50 60 代以上	9.2 9.7 33.6 9.7 34.7	32.4 32.4 42.5 34.7 36.0	19.0 14.1 9.0 15.7 10.3	14.1 15.6 10.4 16.8 10.3	25.4 25.4 4.7 8.9 							

Q6. 公害対策として、区にどんなことをしてほしいと思いますか。次のの中からとくに規制や指導などをしてほしいと思うものを2つ以内で選んでください。〔回答票2提示〕(2A)

回答項目 フェース	N	工出・振 場るば 作い・恐 業煙場 か騒 音	建設工 事にとも な	自動車音 の・振動 騒音・振 動ガス	日常生活 に活動 における 騒音	被騒音 害者に對 する充実 度	公害防 止費実 費支拂付	各種測 定結果 の公表 やボラ ンスター によるP R	その他	特にな い
総数	1139	9.8	22.8	40.5	24.2	13.3	5.4	5.0	2.5	22.7
地域別										
四国	153	5.2	36.7	38.6	26.8	17.0	9.2	5.2	1.7	19.0
愛媛	111	18.9	22.5	45.6	31.5	15.3	5.4	2.7	1.8	7.2
高知	128	14.8	14.8	35.2	21.1	10.2	4.7	3.1	2.3	33.6
徳島	110	8.2	34.5	37.3	24.5	12.7	10.9	9.1	0.9	21.8
香川	129	8.5	30.2	36.4	20.9	14.7	7.0	3.9	4.7	21.7
徳島	130	11.5	20.8	43.6	33.8	13.8	2.3	3.8	3.1	14.6
高知	96	9.4	14.6	40.6	25.0	9.4	1.0	2.1	2.1	35.4
徳島	114	11.4	17.5	47.4	21.9	17.5	4.4	9.6	3.5	18.4
徳島	112	2.7	22.3	42.0	18.8	14.3	5.4	7.1	3.6	26.8
徳島	56	7.1	10.7	39.3	8.9	0.0	0.0	1.8	3.6	41.1
性別										
男性	531	10.7	20.9	43.5	24.9	16.0	5.5	5.1	2.4	20.5
女性	608	9.0	24.5	37.8	23.7	11.0	5.4	4.9	2.6	24.7
年齢別										
20代	153	12.4	22.2	42.5	27.5	20.3	8.5	3.3	2.6	16.3
30代	123	12.2	21.1	46.3	18.7	17.1	4.1	5.7	1.0	21.1
40代	106	10.4	19.8	48.1	27.4	12.3	4.7	5.7	1.9	19.8
50代以上	68	13.2	29.4	41.2	29.4	13.4	2.9	7.4	2.9	17.6
60代以上	81	3.7	12.3	37.0	72.2	13.6	4.9	4.9	3.7	30.9
20代	142	8.5	27.5	41.5	26.1	13.4	7.7	6.3	2.8	15.5
30代	134	12.7	32.8	39.6	24.6	11.2	6.0	4.5	1.7	18.7
40代	106	7.5	22.6	36.8	27.4	14.2	7.5	4.7	0.9	24.5
50代以上	101	8.9	20.8	34.7	25.7	7.9	2.0	6.9	6.9	28.7
60代以上	125	7.2	16.8	35.2	15.2	8.0	3.2	2.4	2.4	38.4
職業別										
自営業・事業主	167	10.2	22.8	41.9	21.6	15.6	4.2	3.6	3.0	22.8
管理職・自由業	39	10.1	20.2	33.7	22.5	14.6	6.7	11.2	3.4	23.6
事務職・技術職	302	10.3	25.5	44.4	23.8	12.9	7.3	5.0	2.6	19.5
労働職・サービス職	107	12.1	20.6	48.6	24.3	16.8	3.7	2.8	4.7	18.7
婦人	268	11.9	24.6	38.4	27.2	10.1	4.5	5.2	1.1	24.6
学生	61	3.3	13.1	36.1	26.2	21.3	6.6	6.6	1.6	26.2
無職	117	6.0	18.8	31.6	23.9	10.3	4.3	3.4	3.4	29.1
その他	28	3.6	32.1	46.4	17.9	14.3	7.1	3.6	0.0	17.9
家族人数										
1人	208	7.2	22.6	37.5	25.0	13.0	9.1	5.3	3.4	23.1
2人	171	9.9	28.1	28.7	26.3	11.1	4.1	4.1	2.3	28.7
3人	220	11.4	20.5	42.6	24.1	12.3	4.1	4.5	0.9	23.6
4人	291	10.0	25.4	43.0	25.8	12.7	5.2	4.8	3.8	19.2
5人	143	9.8	18.2	44.1	25.9	15.4	4.2	5.6	0.7	22.4
6人以上	99	12.1	19.2	48.5	14.1	19.2	4.0	7.1	3.0	19.2
平均	7	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3	42.9
ライフステージ										
婚前	316	9.5	23.7	41.1	25.3	14.9	8.5	5.1	2.5	18.7
家庭形成期	69	13.0	27.5	30.4	21.7	15.9	4.3	5.8	1.4	24.6
家族成長期(A)	107	14.0	25.2	45.8	28.0	16.8	2.8	4.7	0.9	15.9
家族成長期(B)	170	12.9	23.5	48.8	24.1	15.3	4.7	5.3	1.8	18.2
家族成長期(C)	113	11.5	24.8	43.4	25.7	11.5	5.3	3.5	2.7	20.4
家族成熟期	120	5.8	23.3	39.2	24.2	9.2	0.8	7.5	2.5	29.2
老年期(A)	76	5.3	6.6	42.1	18.4	7.9	5.3	5.3	5.3	31.6
老年期(B)	61	6.6	23.0	24.6	26.2	14.8	3.3	1.6	0.0	39.3
老年期(C)	36	5.6	19.4	47.2	27.8	11.1	2.8	2.8	2.8	25.0
その他	48	8.3	29.2	20.8	18.8	10.4	8.3	8.3	8.3	25.0
平均	23	8.7	13.0	34.8	13.0	8.7	13.0	0.0	4.3	34.8
住居形態別										
一戸建持家	522	11.1	22.2	40.2	24.9	13.4	4.4	4.8	2.3	23.6
一戸建借家	42	9.5	9.5	47.6	28.6	14.3	4.8	2.4	2.4	21.4
民間木造アパート	198	6.4	24.5	33.5	23.9	13.3	9.0	4.3	1.6	26.6
鉄筋アパート・マンション	251	10.0	24.7	38.6	23.1	13.5	5.2	7.2	2.0	21.5
社宅・官舎	58	10.3	20.7	58.6	22.4	15.5	1.7	3.4	6.9	12.1
寮間借り住込み	69	10.1	27.5	42.6	24.6	11.6	4.3	4.3	5.8	20.3
その他	9	0.0	11.1	55.6	11.1	0.0	33.3	0.0	0.0	22.2
居住年数別										
戦前から	97	14.4	22.7	41.2	27.8	15.5	3.1	4.1	4.1	17.5
終戦～昭和30年	266	7.5	20.7	34.2	23.7	10.9	6.0	4.5	2.6	30.5
昭和31年～40年	162	9.9	19.1	48.1	24.7	14.2	4.3	5.6	1.9	19.1
昭和41年～45年	128	10.2	36.7	35.2	16.4	17.2	7.8	7.0	1.6	21.9
昭和46年～50年	196	11.7	26.5	42.3	27.0	12.2	6.6	6.1	3.1	17.9
昭和51年～53年	245	8.2	19.2	43.7	25.7	13.5	4.9	4.5	2.4	21.2
54年以降	45	13.3	13.3	37.8	20.0	13.3	2.2	0.0	2.2	33.3

Q7. 駆り近所からの騒音で迷惑を受けたことがありますか。次のなか主なものを2つ以内で選んでください。〔回答累3擇示〕(2A)

回答項目		N	テレビ・ステレオ	ピアノ・ギター	話しき声・歌聲・泣	居機器の音など冷暖	階段や二階音などの	自動車・オートバ	チリの紙交換や物売	商店や飲食店から	犬や猫の立き声	その他	特にない	
性別	フェース													
地	域	1139	8.3	5.2	4.7	6.6	5.7	22.9	16.7	4.0	9.2	4.0	41.0	
四	別谷町	153	5.9	5.9	5.9	9.2	3.3	26.1	34.0	4.6	9.8	2.0	29.4	
草	西	111	8.1	3.6	11.7	8.1	6.3	19.8	20.7	7.2	14.4	0.9	29.7	
復	若松町	128	6.3	3.1	7.8	7.8	3.1	28.9	11.7	3.1	7.0	3.9	46.1	
若	大戸	110	6.4	16.9	14.5	2.7	13.6	24.5	23.6	3.6	9.1	4.5	35.5	
大	戸	129	10.1	7.8	9.3	6.2	7.0	28.7	19.4	3.1	5.4	1.6	35.7	
戸	保坂	130	10.8	6.9	13.6	6.2	6.2	20.8	8.5	6.2	3.8	4.6	43.8	
落	合	96	3.1	2.1	4.2	4.2	4.2	11.5	12.5	1.0	6.3	4.2	64.6	
落	木	114	8.8	4.4	5.3	11.4	3.5	30.7	9.6	4.4	21.9	5.3	34.2	
柏	木	112	15.2	3.6	8.0	5.4	8.0	18.8	10.7	3.6	8.9	7.1	43.8	
角	木	56	8.9	0.0	3.6	0.0	0.0	7.1	5.4	1.8	3.6	8.9	67.9	
性	別	531	10.4	4.7	9.2	5.8	6.6	23.0	18.1	3.8	10.0	5.1	39.0	
性	別	608	6.6	5.6	8.2	7.2	4.9	22.9	15.5	4.3	8.6	3.0	42.8	
性	年	代	153	11.1	2.6	12.6	5.2	10.5	19.6	18.3	3.9	11.1	4.6	37.9
男	男	30	8.9	1.6	9.8	6.5	5.7	22.8	19.5	4.1	9.8	5.7	37.4	
男	男	40	10.6	6.6	9.4	2.8	2.8	23.6	17.9	2.8	9.4	3.8	43.4	
男	男	50	14.7	13.2	7.4	2.9	10.3	29.4	17.6	2.9	7.4	4.4	35.3	
男	男	60	7.4	3.7	8.5	3.7	2.5	23.5	16.0	4.9	11.1	7.4	40.7	
男	男	70	12.0	5.6	10.6	9.2	4.9	21.8	21.1	5.6	7.0	2.1	33.8	
女	女	30	6.0	6.7	14.2	4.5	6.7	26.1	12.7	3.7	9.0	7.5	38.1	
女	女	40	10.6	10.4	2.8	9.4	4.7	24.5	13.2	2.8	11.3	0.9	41.5	
女	女	50	6.9	4.0	9.9	5.0	5.9	21.8	16.8	5.9	7.9	2.0	46.5	
女	女	60	2.4	1.6	2.4	8.0	2.4	20.0	12.8	3.2	8.0	1.6	56.0	
職業	別	125	2.4	1.6	2.4	8.0	2.4	20.0	12.8	3.2	8.0	1.6	56.0	
自営業	事業主	167	12.6	6.0	8.4	6.0	5.4	23.4	13.8	6.0	8.4	4.8	41.3	
管	理職・自業主	89	7.9	5.6	10.1	9.0	2.2	28.1	20.2	4.5	13.5	6.7	29.2	
事務職・技術職	302	9.6	5.3	9.9	6.0	7.0	22.8	17.2	3.6	8.6	5.0	36.7		
労務職・サービス職	107	4.7	4.7	3.4	6.5	8.4	20.6	15.9	4.7	11.2	1.9	43.9		
婦	生	268	4.1	5.2	7.5	9.0	4.1	28.5	16.8	4.1	8.2	3.7	40.3	
生	学	61	18.0	3.3	11.5	3.3	9.8	4.9	23.0	1.6	6.6	1.6	45.4	
無	職	117	6.8	3.4	8.5	5.1	4.3	19.7	10.3	2.6	10.3	1.7	53.0	
そ	他	28	10.7	10.7	0.0	0.0	7.1	17.9	32.1	3.6	10.7	3.6	35.7	
家族	人數	1	208	8.7	4.3	10.1	2.9	5.3	20.7	16.3	1.9	11.1	1.9	43.8
2	人	171	9.4	2.9	8.2	8.8	5.8	21.6	18.7	3.5	7.0	5.3	34.2	
3	人	220	9.5	2.7	6.8	5.5	6.8	25.5	15.5	5.0	8.6	2.3	42.7	
4	人	291	9.3	7.9	10.0	10.0	6.2	18.2	15.8	5.5	8.9	5.2	39.5	
5	人	143	4.9	8.4	11.2	3.5	6.3	27.3	15.4	4.2	11.2	3.5	42.0	
6	人	99	6.1	3.0	4.0	8.1	0.0	30.3	20.2	3.0	8.1	7.1	39.4	
N	A	7	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	42.9	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3	
ライフステージ	前	316	10.6	4.7	11.7	4.4	7.3	22.2	18.4	3.8	10.1	3.5	37.0	
婚	族	69	10.1	1.4	10.1	10.1	7.2	17.4	20.3	4.3	7.2	2.9	37.1	
家	形	107	7.5	4.7	15.0	5.6	6.5	25.2	18.7	3.7	9.3	6.5	34.6	
族	成	170	8.8	6.5	5.9	10.0	2.9	22.4	14.7	4.1	9.4	5.9	39.4	
族	長	113	6.8	10.6	3.5	8.0	4.4	22.1	15.0	1.8	10.6	2.7	46.0	
族	成	120	7.5	5.0	8.3	4.2	8.3	24.2	19.2	5.0	7.5	3.3	44.2	
老	年	76	1.3	2.6	7.9	9.2	1.3	26.3	10.5	6.6	10.5	1.3	50.0	
老	年	61	6.6	3.3	4.9	13.1	4.9	18.0	19.7	4.9	4.9	6.6	47.5	
老	年	36	2.8	0.0	5.6	0.0	5.6	27.8	5.6	5.6	13.9	2.8	50.0	
老	年	48	10.4	4.2	6.3	2.1	4.2	18.8	14.6	4.2	4.2	4.2	45.8	
そ	他	23	4.3	13.0	4.3	8.7	43.5	17.4	0.0	13.0	0.0	0.0	34.8	
住居	形態	別	522	7.9	5.9	6.7	7.5	3.3	25.1	16.9	4.4	10.3	5.0	40.6
一戸	建	42	11.9	2.4	19.0	9.5	2.4	23.8	14.3	7.1	4.8	4.8	35.7	
戸	建	188	13.3	1.6	16.5	6.4	6.9	23.4	12.8	2.7	6.9	2.1	38.8	
建	木造アパート	251	5.6	7.2	7.2	6.4	10.8	17.1	16.7	4.4	8.0	4.0	45.8	
社	宅・官舎	58	6.9	3.4	6.9	6.9	3.4	20.7	19.0	5.2	10.3	3.4	41.4	
寮・間借り住込み	そ	9	8.7	1.4	4.3	7.2	5.8	23.2	26.1	1.4	14.5	1.4	37.7	
そ	他	9	0.0	33.3	0.0	0.0	11.1	55.6	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	
居住年数	別	97	7.2	6.2	5.2	8.2	1.0	26.8	20.6	5.2	12.4	9.3	30.9	
戦	前から	266	7.1	4.9	9.0	6.4	5.3	26.3	15.4	5.3	6.4	3.4	44.0	
戦	昭和30年	162	6.8	6.8	6.8	8.0	4.9	21.0	14.2	4.3	8.0	2.5	47.5	
昭	和31年～40年	128	11.7	5.5	5.5	9.4	3.1	30.5	18.0	3.1	13.3	2.3	34.4	
昭	和41年～45年	196	7.1	6.6	13.8	5.6	9.7	20.4	20.4	4.6	13.8	6.6	29.1	
昭	和46年～50年	245	10.2	3.3	9.0	4.9	7.3	19.2	13.1	2.0	6.5	1.6	47.5	
昭	和51年～53年	45	8.9	2.2	6.7	4.4	2.2	11.1	24.4	4.4	6.7	6.7	55.0	
54年以降														

Q 8. お宅の付近の道路の状態はいかがですか。（1A）

S.Q. [Q8で4, 5と答えた人に] どんな点が不満ですか。

次の中から主なものを3つ以内で選んでください。「回

答業 4 提示】(2A)

回答項目		N	たいへんよい		よい		どちらともいえな		あまりよくない		非常によくない		N	A	道が不安である災害時に		幹線道路が混雑する		道路が渋滞する		走りが悪く遅れる		込みが渋滞する		車音による振動		がひどい排ガス		狭い道で困る車が多い		
フェース																															
総地 域	数別	谷町	5.2	39.2	21.4	28.8	4.3	1.1	377	38.7	6.6	17.0	3.4	18.0	39.8																
四箇限若大戸落	第	松久合	7.8	59.5	13.7	16.3	2.0	0.7	28	35.7	3.6	7.1	3.6	10.7	46.5																
性 別	性別	町町保塚	0.9	27.9	43.2	20.7	4.5	2.7	28	39.3	0.0	17.9	0.0	10.7	39.3																
性 別	性別	木役	4.7	23.4	18.0	46.1	6.3	1.6	67	46.3	3.0	11.9	4.5	25.4	37.3																
性 別	性別	第一	12.7	52.7	16.4	14.5	0.9	2.7	17	29.4	5.9	58.8	5.9	58.8	58.8																
性 別	性別	第二	5.4	45.0	14.7	31.8	3.1	0.0	45	26.7	6.7	2.2	0.0	26.7	53.3																
性 別	性別	第三	2.3	34.6	23.8	30.8	6.9	1.5	49	36.7	8.2	16.3	2.0	20.4	51.0																
性 別	性別	第四	4.2	50.0	15.6	28.1	2.1	0.0	29	37.9	13.8	13.8	6.9	24.1	13.8																
性 別	性別	第五	7.0	29.8	21.1	36.0	5.3	0.9	47	29.8	14.9	27.7	10.6	14.9	25.5																
性 別	性別	第六	1.6	19.6	31.3	38.4	8.0	0.9	52	48.1	5.8	23.1	0.0	13.5	36.5																
性 別	性別	第七	5.6	51.8	17.9	23.2	3.6	0.0	15	60.0	0.0	6.7	0.0	6.7	46.7																
性 別	性別	第八	6.2	36.3	23.7	27.9	4.9	0.9	174	39.1	6.9	17.2	4.6	16.7	40.8																
性 別	性別	第九	4.3	41.6	19.4	29.6	3.8	1.3	203	38.4	6.4	16.7	2.5	19.2	38.9																
性 別	性別	第十	5.4	35.9	24.8	27.5	5.9	0.0	51	45.1	7.8	17.6	7.8	13.7	39.2																
性 別	性別	十一	5.7	34.1	24.4	27.6	6.5	1.6	42	35.7	14.7	11.9	0.0	19.0	52.4																
性 別	性別	十二	7.5	41.5	18.9	31.1	0.0	0.9	33	39.4	3.0	21.2	3.0	15.2	33.3																
性 別	性別	十三	8.8	41.2	19.1	27.9	1.5	1.5	20	40.0	0.0	15.0	10.0	15.0	50.0																
性 別	性別	十四	3.7	29.6	30.9	24.7	9.9	1.2	28	32.1	0.0	21.4	3.6	21.4	28.6																
性 別	性別	十五	4.9	35.9	26.1	27.5	4.9	0.7	46	34.3	6.5	26.1	4.3	19.6	41.3																
性 別	性別	十六	4.5	44.0	12.7	32.1	5.2	1.5	50	40.0	5.0	10.0	2.0	22.0	46.0																
性 別	性別	十七	2.8	37.7	21.7	31.1	3.8	2.8	37	40.5	5.4	16.2	2.7	8.1	35.1																
性 別	性別	十八	4.0	41.6	21.6	30.7	1.0	1.0	32	53.1	9.4	18.8	3.1	15.6	25.0																
性 別	性別	十九	4.3	48.8	15.2	27.2	3.2	0.8	38	26.3	2.0	13.2	0.0	28.9	42.1																
職業	業種	自営業・事業主	9.0	29.9	22.8	28.7	7.8	1.8	61	31.1	8.2	16.4	4.9	24.6	41.0																
職業	業種	官理職・自由業	4.5	38.2	21.3	29.2	5.6	1.1	31	48.4	3.2	19.4	6.5	9.7	32.3																
職業	業種	事務職・技術職	5.3	40.7	19.5	29.8	4.0	0.7	102	40.2	9.8	13.7	2.0	15.7	48.0																
職業	業種	労務職・サービス業	4.7	32.7	28.0	30.8	2.8	0.9	36	61.1	2.8	16.7	2.8	13.9	38.9																
職業	業種	婦人	5.6	44.0	17.9	27.6	3.0	1.9	82	41.5	6.1	18.3	2.4	18.3	35.4																
職業	業種	学生	1.6	37.7	24.6	27.9	6.6	1.6	21	38.1	9.5	23.8	4.8	14.3	33.3																
職業	業種	無職	2.6	39.3	24.8	29.9	3.4	0.0	39	15.4	2.6	17.9	2.6	23.1	35.9																
職業	業種	その他	0.0	60.7	21.4	17.9	0.0	0.0	5	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	40.0																
家族	人数	家人	208	6.3	40.9	24.5	27.4	1.0	0.0	59	44.1	5.1	16.9	1.7	18.6	32.2															
家族	人数	二人	171	4.7	42.7	17.5	26.3	7.6	1.2	58	41.4	6.9	17.2	3.4	19.0	43.1															
家族	人数	三人	220	6.4	35.0	23.6	30.9	1.8	2.3	72	40.3	5.6	15.3	1.4	27.8	41.7															
家族	人数	四人	291	3.8	39.5	18.6	30.2	6.2	1.7	106	40.6	5.7	16.0	3.8	12.3	44.3															
家族	人数	五人	143	2.1	42.0	22.4	28.0	5.6	0.0	48	35.4	8.3	16.7	8.3	16.7	29.2															
家族	人数	六人以上	99	10.1	32.3	22.2	30.3	4.0	1.0	34	20.6	11.8	23.5	2.9	14.7	44.1															
家族	人数	N	7	0.0	51.1	42.9	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0															
ライフスタイル	前	成年期	316	3.8	36.1	26.6	27.8	5.1	0.6	104	45.2	10.6	19.2	4.8	17.3	39.4															
ライフスタイル	前	家庭形成期	69	5.8	40.6	14.5	31.9	5.8	1.4	26	26.9	3.8	19.2	7.7	26.9	57.7															
ライフスタイル	前	家族成長期(A)	107	4.7	35.3	20.0	27.1	8.4	0.9	38	36.8	5.3	13.2	0.0	18.4	50.0															
ライフスタイル	前	家族成長期(B)	170	6.5	35.2	17.1	35.3	1.8	1.2	63	42.9	12.7	14.3	1.6	14.3	38.1															
ライフスタイル	前	家族成長期(C)	113	9.7	44.2	15.0	24.8	3.5	2.7	32	37.5	3.1	15.6	0.0	15.6	37.5															
ライフスタイル	前	老年期(A)	76	3.9	36.8	15.6	35.5	6.6	1.3	32	18.8	3.1	25.0	3.1	28.1	46.9															
ライフスタイル	前	老年期(B)	61	6.6	42.6	19.7	26.2	4.9	0.0	19	42.1	0.0	10.5	5.3	21.1	26.3															
ライフスタイル	前	老年期(C)	36	5.6	52.8	13.9	25.0	2.8	0.0	10	30.0	0.0	10.0	0.0	20.0	30.0															
ライフスタイル	前	その他	48	2.1	52.1	22.9	18.8	2.1	2.1	10	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0															
住居	形態	A	23	4.3	26.1	34.5	26.1	4.3	4.3	7	28.6	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0															
住居	形態	B	522	5.0	37.2	20.9	30.7	5.0	1.3	186	35.5	7.0	16.7	4.8	19.9	40.3															
住居	形態	C	42	2.4	16.7	28.6	47.6	4.8	0.0	22	27.3	0.0	31.8	0.0	18.2	40.9															
住居	形態	D	188	5.3	41.0	21.3	26.1	6.4	0.0	61	54.1	6.6	13.1	1.6	6.6	34.4															
住居	形態	E	251	8.0	46.2	17.1	24.3	2.4	2.0	67	32.8	6.0	10.4	4.5	28.4	41.8															
住居	形態	F	58	0.0	34.5	34.5	29.3	0.0	1.7	17	35.3	11.8	29.4	0.0	5.9	41.2															
住居	形態	G	69	2.9	36.2	26.1	30.4	4.3	0.0	24	54.2	6.4	25.0	0.0	12.5	41.7															
住居	形態	H	9	0.0	77.8	22.2	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0															
住居	年数	A	97	5.2	35.1	23.7	29.9	5.2	1.0	34	32.4	5.9	11.8	5.9	23.5	32.4															
住居	年数	B	266	4.5	36.1	23.3	29.3	5.3	1.5	92	39.1																				

Q 9. 現在、都と区が「都市
計画道路」の見直し作業
に入っていますが、知つ
ていますか。(1A)

回答項目 フェース	歩きに 歩くい がなく	道 路に 縁が 少ない	道 路に ある 通学路 が	子 ど も 危 険 な 道 路 が	そ の 他	N A	N	知 つ て い る	知 ら な い
総 地	数 別	10.9	5.6	7.7	7.4	1.3	1139	25.8	74.2
四 箇 郡	谷 町	0.0	7.1	10.7	10.7	7.1	153	37.9	62.1
大 戸 落	寺 町	7.1	14.3	7.1	3.6	0.0	111	16.2	83.8
合 合	松 久	11.9	4.5	10.4	6.0	1.5	128	24.2	75.8
性 別	保 塚	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	110	34.5	65.5
男 女	大 戸	20.0	2.2	4.4	6.7	2.2	129	32.6	67.4
年 齢	落 落	8.2	8.2	10.2	6.1	0.0	130	22.3	77.7
代 別	柏 角	13.8	0.0	10.3	3.4	3.4	96	8.3	91.7
男 女	寺 木	19.1	6.4	4.3	17.0	0.0	114	24.6	75.4
年 齢	寺 木	7.7	7.7	9.6	5.8	0.0	112	23.2	76.8
性 別	寺 木	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	56	28.6	71.4
職 業	別 別	10.9	4.0	10.9	6.3	2.9	531	28.2	71.8
職 業	男 男	10.8	6.9	4.9	8.4	0.0	608	23.7	76.3
職 業	男 男	13.7	5.9	3.9	3.9	0.0	153	15.0	85.0
職 業	男 男	7.1	0.0	16.7	7.1	2.4	123	34.1	65.9
職 業	男 男	12.1	0.0	12.1	3.0	9.1	106	34.0	66.0
職 業	男 男	10.0	15.0	5.0	5.0	0.0	68	35.3	64.7
職 業	男 男	10.7	3.6	17.9	14.3	3.6	91	30.9	69.1
職 業	女 女	17.4	8.7	4.3	2.2	0.0	142	18.3	81.7
職 業	女 女	10.0	6.0	8.0	2.0	0.0	134	29.1	70.9
職 業	女 女	13.5	10.8	2.7	16.2	0.0	106	32.1	67.9
職 業	女 女	6.3	6.3	9.4	12.5	0.0	101	23.8	76.2
職 業	女 女	5.3	2.6	0.0	13.2	0.0	125	16.8	83.2
職 業	自 営	11.5	8.2	8.2	6.6	4.9	167	26.9	73.1
職 業	管 理	12.9	3.2	16.1	6.5	3.2	89	36.0	64.0
職 業	事 務	14.7	4.9	3.9	2.0	1.0	302	26.5	73.5
職 業	勞 動	5.6	8.3	8.3	5.6	0.0	107	16.8	83.2
職 業	主 学	9.8	6.1	9.8	12.2	0.0	268	29.5	70.5
職 業	無 知	4.8	9.5	4.8	4.8	0.0	61	14.8	85.2
職 業	そ の 他	7.7	0.0	2.6	17.9	0.0	117	19.7	80.3
族 人 数	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	28	28.6	71.4
1 族 人	入 人	8.5	5.1	1.7	6.8	0.0	208	20.7	79.3
2 族 人	入 人	13.8	5.2	0.0	8.6	1.7	171	22.8	77.2
3 族 人	入 人	13.9	2.8	6.9	5.6	1.4	220	24.1	75.9
4 族 人	入 人	9.4	8.5	12.3	5.7	0.9	291	29.9	70.1
5 族 人	入 人	14.6	4.2	10.4	10.4	2.1	143	28.0	72.0
6 族 人	以 上	2.9	5.9	14.7	11.8	2.9	99	30.3	69.7
N 族 人	A	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7	28.6	71.4
ラ イ フ ス テ ー ジ	婚 前 期	9.6	4.8	2.9	4.8	0.0	316	18.7	81.3
ラ イ フ ス テ ー ジ	家 族 形 成 期(A)	19.2	3.8	0.0	0.0	0.0	69	13.0	87.0
ラ イ フ ス テ ー ジ	家 族 成 長 期(B)	13.2	2.6	10.5	7.9	2.6	107	28.0	72.0
ラ イ フ ス テ ー ジ	家 族 成 長 期(C)	12.7	4.8	17.5	3.2	1.6	170	35.9	64.1
ラ イ フ ス テ ー ジ	家 族 成 熟 期	5.6	15.6	12.5	6.3	3.1	113	33.6	66.4
老 年	年 期 (A)	3.1	0.0	9.4	6.3	0.0	76	18.4	81.6
老 年	年 期 (B)	5.3	15.8	0.0	10.5	5.3	61	31.1	68.9
老 年	年 期 (C)	10.0	10.0	20.0	10.0	0.0	36	27.8	72.2
老 年	そ の 他	30.0	0.0	0.0	20.0	0.0	48	27.1	72.9
N 年	A	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	23	34.8	65.2
住 居 形 態 別	一 戸 住 宅	8.6	6.5	7.5	10.2	0.5	522	26.8	73.2
住 居 形 態 別	一 戸 建 借 家	13.6	13.6	9.1	4.5	4.5	42	26.2	73.8
住 居 形 態 別	民 間 木 造 アパート	13.1	6.6	8.2	4.9	1.6	188	26.6	73.4
住 居 形 態 別	鐵筋アパート・マンション	11.9	0.0	10.4	6.0	3.0	251	28.7	71.3
住 居 形 態 別	社 宅 ・ 官 舎	23.5	5.9	5.9	0.0	0.0	58	13.8	86.2
住 居 形 態 別	寮・間借り住込み	8.3	4.2	0.0	4.2	0.0	69	14.5	85.5
住 居 形 態 別	そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9	33.3	66.7
住 居 年 数 別	戦 前 か ら	11.8	5.9	8.8	11.8	0.0	97	28.9	71.1
住 居 年 数 别	終 戰 昭 和 30 年	7.6	4.3	5.4	12.0	0.0	266	25.9	74.1
住 居 年 数 别	昭 和 31 年 ~ 40 年	13.1	6.6	8.2	6.6	0.0	162	25.3	74.7
住 居 年 数 别	昭 和 41 年 ~ 45 年	9.7	12.9	3.2	3.2	0.5	128	29.7	70.3
住 居 年 数 别	昭 和 46 年 ~ 50 年	11.3	4.8	16.1	6.5	3.2	196	32.7	67.3
住 居 年 数 别	昭 和 51 年 ~ 53 年	13.8	3.8	3.8	3.8	1.3	245	18.8	81.2
住 居 年 数 别	54 年 以 降	5.9	5.9	11.8	5.9	0.0	45	17.8	82.2

Q10. 法律で、「都市計画道路」に指定された区域では、3階建て以上の建物が
建てられないために、住民に不満がでていますが、これについてどう思いま
すか。(1A)

Q11. 最近、コミュニティといふ言葉がよく使われます。こ
れは地域社会または近隣社会といふ意味で使われますが、
コミュニティとはどの程度の範囲だと思いますか(1A)

回答項目 フェース	N	符とし制限の道やあるを定え地な し失すべきしてあるべき	制限する補償を予定えべき	制限ある緩和すべき	制限あるを微弱すべき	その他	わからぬ	N	隣り近所	日常の買物をする	町会・自治会の地	小学校会を中心とした地	駅域を中心とした地	特別な出た張所を中心
総数	1139	29.7	21.6	10.4	3.2	1.8	33.3	1139	20.5	16.3	27.2	4.2	1.6	2.5
城	153	23.5	33.3	9.8	2.6	2.0	28.8	153	30.1	16.3	17.6	5.2	3.3	0.0
四箇板若大戸落柏角	111	42.3	11.7	10.8	0.0	24.3	111	27.9	21.6	32.4	7.2	4.5	2.7	
谷町町合柏	128	30.5	18.0	4.7	0.0	3.1	43.8	128	19.5	7.8	39.1	1.6	0.8	2.3
町町木本答役別	110	34.5	23.6	20.0	6.4	0.9	14.5	110	30.9	23.6	20.0	1.8	0.9	7.3
保坂第一二木答別	129	20.2	32.6	7.8	4.7	0.8	34.1	129	14.0	17.8	25.6	5.4	0.0	3.1
久合第一木答別	130	27.7	21.5	6.2	3.1	0.0	41.5	130	13.1	13.1	29.2	5.4	1.5	3.1
坂第一木答別	96	30.2	19.8	6.3	1.0	2.1	40.6	96	25.0	10.4	21.9	4.2	1.0	3.1
落落柏角答別	114	37.7	21.1	14.9	1.8	6.1	18.4	114	14.0	7.9	35.1	4.4	0.9	1.8
落落柏角答別	112	28.6	17.0	14.3	0.9	1.8	37.5	112	10.7	17.9	31.3	2.7	1.8	0.0
答別	56	21.4	1.8	12.5	0.0	0.0	64.3	56	19.6	39.3	14.3	3.6	0.0	1.8
性別	531	31.1	22.6	11.3	4.9	1.9	28.2	531	21.1	13.6	29.8	4.1	1.7	3.0
男女	608	28.5	20.7	9.7	1.8	1.6	37.7	608	20.1	18.8	25.0	4.3	1.5	2.0
年代	153	28.1	27.5	10.5	3.9	1.3	28.8	153	19.0	18.3	24.8	3.3	2.0	4.6
男	123	28.5	26.0	13.0	4.1	0.8	27.6	123	21.1	14.6	32.5	5.7	0.8	1.6
30代	106	35.0	19.8	10.4	5.7	1.9	26.4	106	30.2	2.8	30.2	5.7	1.9	
40代	68	32.4	20.6	14.7	2.9	2.9	26.5	68	13.2	14.7	36.8	4.4	1.5	5.9
50代以上	41	33.3	13.6	8.6	8.6	3.7	32.1	81	19.8	16.0	28.4	1.2	2.5	1.2
男女	142	29.6	24.6	10.6	1.4	0.7	33.1	142	15.5	22.5	27.5	2.8	2.1	1.4
20代	134	25.4	25.4	11.9	3.0	0.7	33.6	134	15.7	18.7	27.6	8.2	0.7	2.2
30代	106	34.9	19.8	14.2	2.8	0.9	27.4	106	16.0	19.8	32.1	5.7	2.8	4.7
40代	101	31.7	16.8	5.9	1.0	3.0	41.6	101	24.8	17.8	19.8	2.0	2.0	1.0
50代以上	125	22.4	15.2	5.6	0.8	3.2	52.8	125	29.6	14.4	17.6	2.4	0.0	0.8
職業別	167	31.7	21.6	10.2	4.2	2.4	29.9	167	25.1	18.2	34.7	4.2	0.6	1.2
自営業・事業主	99	40.4	18.0	16.9	4.5	2.2	18.0	89	15.7	15.7	22.5	9.0	1.1	0.0
管理職・自由業	302	33.4	22.5	12.3	3.0	1.3	27.5	302	20.5	15.9	25.2	4.3	2.6	3.3
事務職・技術職	107	25.2	24.3	8.4	1.9	0.9	39.3	107	19.6	12.1	29.9	0.9	0.0	1.9
労務職・サービス職	268	26.1	20.1	10.8	3.0	1.9	38.1	268	19.0	21.6	27.6	5.2	1.1	3.4
婦婦生	61	26.2	21.3	8.2	3.3	1.6	39.3	61	16.4	18.0	27.9	3.3	3.3	4.9
学生	117	23.1	19.7	6.0	3.4	2.6	45.3	117	23.1	16.2	22.2	1.7	1.7	0.0
無職	28	28.6	35.7	0.0	3.6	0.0	32.1	28	25.0	21.4	25.0	3.6	3.6	7.1
その他	208	21.6	26.0	12.0	4.3	0.5	35.6	208	21.2	19.2	20.7	1.4	1.9	1.4
家族人數	1	29.8	19.9	8.2	1.2	4.1	36.8	171	24.0	16.4	18.1	2.9	0.6	3.5
2	220	27.3	23.2	7.3	2.3	1.4	38.6	220	21.8	16.4	27.3	5.5	2.3	4.5
3	291	34.2	18.9	11.7	4.8	1.4	29.2	291	18.6	16.2	34.4	4.5	1.7	2.1
4	143	32.2	18.9	11.9	2.8	2.1	32.2	143	18.2	13.3	28.0	7.0	2.1	1.4
5	99	34.3	22.2	13.1	3.0	2.0	25.3	99	19.2	16.2	36.4	5.1	0.0	1.0
6人以上	7	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	7	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人別	316	28.2	24.4	10.3	3.5	1.3	32.0	316	19.0	15.8	27.6	1.9	2.5	2.2
婚姻前	69	23.0	30.4	8.7	1.4	2.9	33.3	69	23.2	18.8	18.5	4.3	0.0	2.9
家庭形成期	107	23.4	23.4	13.1	4.7	0.9	34.6	107	19.6	26.2	25.2	8.4	0.9	2.8
家族成長期(A)	170	35.9	23.5	12.4	3.5	0.0	24.7	170	15.9	12.9	35.3	10.0	0.6	2.4
家族成長期(B)	113	34.5	18.6	10.6	3.5	0.9	31.9	113	20.4	17.7	28.3	4.4	4.4	3.5
家族成長期(C)	120	35.0	11.7	9.2	1.7	4.2	38.3	120	20.8	15.8	30.8	2.5	0.0	1.7
老老年期(A)	76	25.0	19.7	6.6	3.9	3.9	40.8	76	14.5	10.5	35.5	2.6	0.0	2.6
老老年期(B)	61	36.1	11.5	4.9	1.6	3.3	42.6	61	32.8	16.4	14.8	1.6	1.6	1.6
老老年期(C)	36	25.0	27.8	11.1	5.6	0.0	30.6	36	38.9	11.1	8.3	5.6	2.8	0.0
その他	48	22.9	25.0	10.4	4.2	4.2	33.3	48	25.0	16.7	21.7	0.0	2.1	4.2
A	23	21.7	17.4	17.4	0.0	0.0	43.5	23	21.7	17.4	26.1	0.0	0.0	4.3
住居形態別	522	30.7	20.7	10.7	3.1	2.7	32.2	522	18.4	13.8	32.4	3.8	1.5	2.3
一戸建待家	42	35.7	16.7	9.5	2.4	0.0	35.7	42	35.7	7.1	26.2	9.5	4.8	0.0
一戸建借家	198	25.0	23.9	9.6	2.1	1.6	37.8	188	18.6	23.4	19.7	3.2	1.6	3.2
民間木造アパート	251	31.5	22.3	11.6	3.2	0.8	30.7	251	24.3	17.9	24.7	4.4	0.8	2.4
鉄筋アパートマンション	58	31.0	25.9	5.2	5.2	0.0	32.8	58	15.5	17.2	27.6	8.6	1.7	5.2
社宅・官舎	69	27.5	17.4	8.7	7.2	1.4	37.7	69	21.7	13.0	21.7	2.9	2.9	1.4
寮宿泊等	9	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	9	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	97	28.9	16.5	9.3	3.1	1.0	41.2	97	22.7	13.4	33.0	1.0	3.1	1.0
年数別	266	30.5	18.0	8.6	3.4	3.0	36.5	266	19.5	13.2	28.6	3.4	1.5	1.5
戰前から	162	29.0	22.2	13.6	3.1	1.9	30.2	162	21.6	15.4	26.5	5.6	3.1	1.9
昭和31年~40年	128	32.8	28.9	8.6	3.9	0.8	25.0	128	23.4	13.3	28.9	7.8	0.8	3.1
昭和41年~45年	196	31.1	26.0	11.1	2.6	2.0	26.5	196	20.9	15.4	26.0	5.1	1.0	3.6
昭和46年~50年	245	26.9	19.6	11.0	4.1	1.2	37.1	245	20.0	20.4	24.9	2.9	1.2	2.0
昭和51年~53年	45	28.9	22.2	8.9	0.0	0.0	40.0	45	11.1	22.2	22.2	4.4	0.0	8.9
54年以降														

Q12. 隣り近所の人とふだんどの程度のお付き合いをしていますか。
(1A)

回答項目 フェース	新宿区全体	その他	わからぬ	N	挨拶をかわす程度	立ち話をする程度	お互いにいる家に行き	困った程親しいは助け	ほどの付合つ	付合つてない	N A
総 地域	数別	10.7	1.8	15.2	1139	36.8	29.7	12.3	6.6	10.4	3.8 0.4
四 篓 横	谷町 町 町 町	9.2 3.6 10.2 11.6	2.0 0.0 3.1 2.3	16.3 15.6 8.2 20.2	153 111 128 110	39.9 37.8 33.6 43.6	33.3 32.4 29.7 30.0	11.1 16.2 13.3 10.0	5.9 2.7 5.5 5.5	5.9 7.2 15.6 6.2	3.3 3.6 1.6 1.6 0.7 0.0 0.8 0.0
若 大 戸 落	保 塚 合 第 二 木 柏	6.4 10.8 12.5 14.9 19.6	0.9 4.6 0.0 1.8 0.0	8.2 19.2 21.9 19.3 16.1	110 130 96 114 112	43.6 31.5 29.2 48.2 36.6	30.0 25.4 27.1 24.6 27.7	14.7 10.8 11.5 13.2 11.6	5.5 4.2 4.5 8.8 8.0	4.5 21.9 6.3 1.8 8.9	6.4 3.8 6.3 2.6 7.1 0.0 0.8 0.0 0.9 0.0
大 戸 落 柏	角 等・役 所 別	7.1	1.8	12.5	56	41.1	37.5	8.9	0.0	8.9	1.8 1.8
性 男女	年 代 別	12.2 9.4	2.8 0.8	11.7 18.3	531 608	39.9 34.0	25.8 33.1	8.7 15.5	6.4 6.7	13.6 7.7	5.1 2.6 0.6 0.3
男 男	20 30 40 50 60 代 以 上	15.7 13.0 9.4 16.2 4.9 2.5	3.3 3.3 2.8 1.5 5.9 23.5	9.2 7.3 15.1 5.9 44.4 31.4	153 123 106 68 91 142	39.2 37.4 39.6 41.2 44.4 43.0	20.9 25.2 30.2 36.8 21.0 28.2	2.6 10.6 10.4 5.9 17.3 9.2	2.0 6.5 10.4 4.4 11.1 2.8	23.5 13.8 10.4 10.3 11.1 4.5	11.8 4.1 1.9 1.5 1.2 6.3 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0
女 女	20 30 40 50 60 代 以 上	14.1 8.2 8.0 7.0 17.9 13.4	0.7 0.7 0.7 0.7 17.9 13.4	8.5 8.5 8.5 8.5 29.2 32.8	106 101 101 101 125	35.6 34.0 34.0 34.0 28.0 32.8	27.7 34.7 34.7 34.7 29.6 28.4	11.3 11.3 11.3 11.3 19.2 19.4	5.7 5.7 5.7 5.7 18.8 4.0	3.8 5.0 5.0 5.0 16.8 4.8	1.9 2.0 0.0 0.0 0.8 0.8 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0
職 業	自 営 業・事 業 主	9.0	1.8	13.2	167	31.7	35.3	14.4	11.4	4.8	1.2 1.2
管 理 職・自 由 葉	事 務 職・技 術 職	20.2 15.6	5.6 2.0	10.1 10.6	99 302	37.1 41.7	23.6 27.8	12.4 5.3	9.0 4.6	12.4 13.9	5.6 6.0 0.0 0.7
勞 務 職・サ ビ サ 職	主 学 生	12.1 6.3	0.9 0.0	22.4 15.7	107 268	44.9 30.2	17.8 39.9	11.2 16.4	5.6 6.3	15.0 5.2	5.6 1.5 0.0 0.4
無 そ の 他	別 人 別 人	11.5 4.3	1.6 3.4	13.1 27.4	61 117	42.6 39.3	14.8 26.5	4.9 19.7	1.6 6.8	29.5 6.0	6.6 1.7 0.0 0.0
家 族 人 数	1 2 3 4 5 6 7 N	13.9 10.5 9.1 9.6 11.9 11.0 7.1 42.9	3.4 1.2 2.3 1.4 0.7 1.4 1.0 0.0	16.8 22.8 10.9 11.7 17.5 14.1 14.1 28.6	208 171 220 291 143 99 7 57	34.6 43.9 38.6 29.9 40.6 38.4 0.0 57.1	19.2 19.9 28.6 41.6 33.6 32.3 0.0 0.0	10.6 8.8 11.8 14.8 13.3 14.1 14.3 14.3	3.8 8.8 7.7 7.2 4.2 8.1 0.0 0.0	19.2 15.8 10.9 4.5 7.7 3.0 14.3 14.3	12.0 2.9 1.8 1.4 0.7 3.0 0.0 0.0 0.5 0.0 0.5 0.7 0.0 1.0 0.0 0.0
ラ イ フ ス テ ー ジ	婚 前 期	14.9	3.5	12.3	316	42.1	20.6	6.6	3.2	18.4	9.2 0.0
家 族 成 長 期(A)	家 族 成 長 期(B)	15.9 5.6	0.0 0.9	15.9 10.3	69 107	43.5 34.6	18.8 36.4	1.4 15.9	4.3 3.7	26.1 5.6	5.8 0.9 0.0 2.8
家 族 成 長 期(C)	家 族 成 熟 期	11.2 11.5	1.8 0.0	10.0 9.7	170 113	32.9 31.9	32.9 43.4	15.3 15.9	10.0 4.4	7.1 4.4	1.8 0.0 0.0 0.0
老 年 期 (A)	老 年 期 (B)	6.6 4.9	1.3 0.0	19.2 26.2	76 61	22.4 39.3	44.7 21.3	22.4 16.4	7.5 14.8	5.8 6.6	0.8 1.6 0.0 0.0
老 年 期 (C)	そ の 他	5.6 10.4	0.0 4.2	27.8 20.8	36 48	38.9 35.4	16.7 27.1	19.4 14.6	11.1 10.4	11.1 8.3	2.8 2.1 0.0 0.0
N A	8.7	0.0	21.7	23	39.1	26.1	18.8	8.7	4.3	8.7	4.3 4.3
住 居 形態 別	一 戸 建 持 家	10.0	1.1	16.7	522	35.8	32.2	15.5	8.8	6.3	1.0 0.4
一 戸 建 借 家	民 用 木 造 ア ベ	7.1 7.4	0.0 3.7	9.5 19.1	42 188	42.9 43.6	28.6 26.6	14.3 8.5	9.5 3.7	4.8 11.7	0.0 5.9 0.0 0.0
铁筋アーベント・コンクリート	社 宅・官 舎	12.7	1.2	11.6	251	39.4	27.5	9.2	4.4	15.1	4.0 0.4
寮・間借り・住込み	そ の 他	13.8 17.4	1.7 4.3	8.6 14.5	58 69	27.6 23.2	37.9 18.8	12.1 8.7	6.9 2.9	15.1 27.5	4.0 1.4 0.0 0.0
そ の 他	居 住 年 数 別	11.1	0.0	22.2	9	11.1	44.4	11.1	11.1	11.1	11.1 0.0
戦 前 か ら	終 戦～昭 和 30 年	6.2 12.0	0.0 1.9	19.6 18.4	97 266	38.1 32.0	30.9 29.3	11.3 19.5	14.4 10.5	2.1 6.8	1.0 0.8 2.1 0.0
昭 和 31 年～40 年	昭 和 41 年～45 年	9.3 8.6	1.2 1.6	15.4 12.5	162 128	34.6 37.5	39.5 38.3	10.5 11.7	9.4 4.7	9.0 6.3	0.8 2.5 0.0 0.0
昭 和 46 年～50 年	昭 和 51 年～53 年	10.2 14.3	3.1 1.6	11.7 12.7	196 245	37.8 38.8	23.5 26.9	13.8 7.3	5.1 2.4	14.8 15.5	4.1 9.0 1.0 0.0
54 年 以 降		6.7	2.2	22.2	45	53.3	0.0	6.7	6.7	17.8	8.9 2.2

Q13. 最近の報道で、一人暮らしの老人が死んだまま発見されたり、両親が不在のまま学生の子どもだけで何か月も暮らしていたということがありました。これについてどう思いますか。(1A)

Q14. あなたが住んでいる地域にほしいと思う施設を、次のなかから2つ以内で選んでください。〔回答票5提示〕(2A)

回答項目 フェース	N	個々人で方的なのがなことない事柄だとかあら	仕事の気が何でもないと思ふ	どちらが気を付ける人なべ	親がだり気を付ける人なべ	役所がだり気を付ける人なべ	閑所がだり気を付ける人なべ	その他	わからぬい	N	保育園	児童館	集会室	婦人会館	老人会館	
総 地	数	1139	9.8	14.4	20.5	33.4	15.9	1.1	4.8	1139	6.4	5.3	5.1	7.6	8.9	
四 篠	別 谷 司	153	10.5	13.7	21.6	34.0	16.3	0.7	3.3	153	5.2	9.8	5.9	13.7	14.4	
篠 若 大 戸	松 久 落 落 柏 角	111	20.7	15.3	16.2	38.7	7.2	0.9	111	3.0	2.7	8.1	6.3	8.1	6.3	
第 二 木 角	合 合 区 役 所	128	14.1	5.5	16.4	35.9	17.2	0.8	10.2	128	7.8	1.6	3.9	3.1	11.7	
性 别	年 齢 別	110	11.8	16.4	29.1	29.1	10.0	0.0	3.6	110	8.2	13.6	4.5	10.0	19.1	
性 别	年 代 別	129	10.1	26.4	17.1	28.7	10.9	2.3	4.7	129	10.1	7.8	7.8	10.1	9.3	
性 别	年 代 別	130	6.9	15.4	26.2	27.7	19.2	0.0	4.6	130	4.6	4.6	6.2	7.7	8.5	
性 别	年 代 別	96	4.2	12.5	24.0	32.3	20.8	1.0	5.2	96	4.2	4.2	3.1	4.2	2.1	
性 别	年 代 別	114	4.4	17.5	20.2	24.6	28.1	3.5	1.8	114	12.3	3.9	8.8	3.5	3.5	
性 別	年 代 別	112	6.3	11.6	20.5	36.6	16.1	0.0	8.9	112	2.7	2.7	2.7	7.1	4.5	
職 業	業 別	56	7.1	3.6	8.9	60.7	10.7	3.6	5.4	56	3.6	1.8	3.6	5.4	3.6	
職 業	業 別	531	11.7	12.6	20.7	31.3	17.9	1.3	4.5	531	4.1	5.3	4.9	4.5	7.7	
職 業	業 別	608	8.2	16.0	20.4	35.2	14.1	1.0	5.1	608	8.4	5.3	5.3	10.4	9.9	
家 族 人 數	人 別	20	153	14.4	9.8	23.5	28.1	17.6	0.7	5.9	153	3.9	4.6	3.3	3.3	2.6
家 族 人 數	人 別	30	123	13.8	11.4	20.3	26.8	17.9	3.3	6.5	123	8.1	8.1	5.7	4.9	4.9
家 族 人 數	人 別	40	176	9.4	15.1	22.6	39.6	9.4	0.0	3.8	176	1.9	2.8	3.8	6.6	7.5
家 族 人 數	人 別	50	68	8.8	14.7	17.6	30.9	22.1	1.5	4.4	68	1.5	5.9	10.3	5.9	7.4
家 族 人 數	人 別	60	81	8.6	14.8	16.0	33.3	25.9	1.2	0.0	81	3.7	4.9	3.7	2.5	22.2
家 族 人 數	人 別	70	142	4.2	19.0	19.0	32.4	19.0	1.4	4.9	142	10.6	9.2	2.8	7.7	5.6
家 族 人 數	人 別	80	134	9.7	14.2	21.6	31.3	17.2	0.7	5.2	134	9.7	8.2	5.2	14.2	4.5
家 族 人 數	人 別	90	176	13.2	15.1	17.0	41.5	10.4	0.9	1.9	176	9.4	2.8	9.4	15.1	2.8
家 族 人 數	人 別	100	101	9.9	13.9	24.8	34.7	7.9	1.0	7.9	101	5.9	2.0	5.9	9.9	14.9
家 族 人 數	人 別	110	125	5.6	16.8	20.0	37.6	13.6	0.8	5.6	125	5.6	2.4	4.0	5.6	22.4
生 活	前 期	167	10.2	9.0	20.4	37.7	17.4	0.0	5.4	167	6.0	3.6	6.0	4.8	10.2	
生 活	形 成 期	89	15.7	11.2	18.0	25.8	25.8	1.1	2.2	89	3.4	5.6	5.6	6.7	9.0	
生 活	成 長 期(A)	302	7.0	15.9	22.2	31.5	18.9	1.7	3.0	302	5.0	6.6	4.3	8.9	5.3	
生 活	成 長 期(B)	107	14.0	17.8	19.6	26.2	16.8	0.9	4.7	107	6.5	4.7	4.7	1.9	6.5	
生 活	成 長 期(C)	268	10.4	12.3	20.5	39.9	9.7	1.5	5.6	268	8.6	4.9	6.0	12.7	9.7	
生 活	成 熟 期(A)	61	9.8	14.0	19.7	36.1	9.8	0.0	6.6	61	6.6	8.2	3.3	4.9	1.6	
生 活	成 熟 期(B)	117	6.0	14.5	22.2	32.5	16.2	1.7	6.8	117	6.8	3.4	2.6	2.6	22.2	
生 活	成 熟 期(C)	28	14.3	39.3	10.7	14.3	10.7	0.0	10.7	28	10.7	7.1	14.3	14.3	0.0	
生 活	A	7	28.6	24.6	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	7	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	
生 活	前 期	316	13.3	14.9	19.0	27.2	18.4	1.3	5.4	316	4.7	6.6	3.2	7.3	3.8	
生 活	成 長 期	69	8.7	14.5	15.9	34.8	20.3	0.0	5.8	69	11.6	2.9	4.3	7.2	4.3	
生 活	成 長 期(A)	107	10.3	13.1	22.4	31.8	15.0	1.9	5.6	107	12.1	14.0	4.7	3.7	3.7	
生 活	成 長 期(B)	170	5.3	15.3	24.7	36.5	13.5	1.5	2.9	170	6.5	4.1	5.9	8.2	5.3	
生 活	成 長 期(C)	113	15.9	13.3	21.2	30.1	14.2	0.9	4.4	113	6.2	2.7	5.3	13.3	4.4	
生 活	成 熟 期	120	4.2	11.7	22.5	43.3	13.3	0.0	5.0	120	4.2	2.5	10.8	5.8	10.8	
生 活	年 期 (A)	76	10.5	10.5	26.3	30.3	17.1	0.0	5.3	76	13.2	2.6	2.6	6.6	15.8	
生 活	年 期 (B)	61	8.2	19.7	18.0	45.9	6.6	1.6	0.0	61	0.0	1.6	8.2	6.6	27.9	
生 活	年 期 (C)	36	8.3	13.9	41.7	16.7	2.8	2.8	2.8	36	8.3	5.6	2.8	2.8	25.0	
生 活	其 の 他	48	8.3	22.9	14.6	25.0	20.8	2.1	6.3	48	0.0	6.3	6.3	16.7	27.1	
生 活	A	23	4.3	8.7	4.3	43.5	21.7	0.0	17.4	23	4.3	4.3	0.0	4.3	17.4	
住 居 形 態 別	一 戸 建 特 家	522	10.0	14.0	19.3	33.9	16.9	0.6	5.4	522	7.1	4.4	6.1	8.0	10.0	
住 居 形 態 別	一 戸 建 借 家	42	23.8	4.8	26.2	33.3	9.5	0.0	2.4	42	11.9	4.8	7.1	9.5	9.5	
住 居 形 態 別	民 間 木 造 ア パ ー ト	188	9.6	16.5	17.6	30.9	18.6	2.1	4.8	188	6.4	6.4	4.3	4.8	9.6	
住 居 形 態 別	筋 鋼 ア パ ー ト・マ シ ョ ン	251	8.4	14.3	22.7	34.7	13.9	1.6	4.4	251	4.0	4.0	4.4	8.8	7.6	
住 居 形 態 別	社 宅・官 舎	58	12.1	13.8	17.2	36.2	12.1	3.4	5.2	58	6.9	13.8	3.4	6.9	3.4	
住 居 形 態 別	寮・間借り・住込み	69	4.3	18.8	29.0	29.0	17.4	0.0	1.4	69	7.2	5.8	1.4	5.8	5.8	
住 居 形 態 別	そ の 他	9	11.1	11.1	22.2	33.3	0.0	0.0	22.2	9	0.0	11.1	11.1	22.2	22.2	
居 住 年 数 別	戸 前 か ら	97	10.3	16.5	19.6	34.0	13.4	1.0	6.2	97	5.2	3.1	6.2	11.3	15.5	
居 住 年 数 別	昭 和 30 年	266	12.0	10.9	16.5	37.6	18.8	0.4	3.8	266	6.4	3.0	4.5	8.3	10.9	
居 住 年 数 別	昭 和 31 年～40 年	162	12.3	20.4	19.1	31.5	12.3	0.0	4.3	162	4.3	6.8	7.4	7.4	8.0	
居 住 年 数 別	昭 和 41 年～45 年	128	9.4	13.3	24.2	30.5	17.2	1.6	3.9	128	8.6	6.3	7.8	9.4	9.4	
居 住 年 数 別	昭 和 46 年～50 年	196	4.6	15.8	24.5	33.7	15.3	1.0	5.1	196	7.1	8.2	4.5	6.6	9.2	
居 住 年 数 別	昭 和 51 年～53 年	245	11.4	12.2	20.5	30.6	16.7	2.0	6.1	245	6.1	4.9	3.3	6.9	5.3	
居 住 年 数 別	54 年 以 降	45	2.2	17.8	24.4	35.6	11.1	4.4	4.4	45	8.9	4.4	2.2	0.0	2.2	

Q15. 今年は国際児童年で

すが、ご存知ですか。

(1A)

回答項目 フェース	公園・児童遊園	健康相談所	運動場	体育館	社会教育会館	図書館	その他	特にない	N	知つている	知らない	
総 地域	29.3	12.1	25.5	14.3	4.0	16.0	2.8	21.3	1139	63.9	16.1	
四 要 標	29.4	11.1	20.9	8.5	3.3	11.1	0.7	24.8	153	78.4	21.6	
大 戸 落 合	26.1	7.2	20.7	11.7	0.9	29.7	0.0	24.3	111	78.4	21.6	
性 別	32.0	8.6	32.0	18.8	2.3	12.5	3.1	18.0	128	86.7	13.3	
年 齢	16.4	17.3	22.7	19.1	2.7	20.9	1.8	15.5	110	81.8	18.2	
性 別	46.5	7.0	20.9	10.1	3.9	17.1	2.3	18.6	129	85.3	14.7	
性 別	36.2	16.9	25.4	12.3	6.9	13.1	2.3	16.9	130	87.7	12.3	
性 別	25.0	14.6	42.7	25.0	1.0	15.6	5.2	19.8	96	84.4	15.6	
性 別	22.8	20.2	26.3	14.0	5.3	16.7	5.3	16.7	114	89.5	10.5	
性 別	32.1	9.8	27.7	17.9	7.1	21.4	7.1	20.5	112	87.5	12.5	
性 別	14.3	7.1	12.5	5.4	7.1	5.4	0.0	55.4	56	76.8	23.2	
職 業	28.2	12.6	31.8	16.9	3.0	16.2	3.4	20.3	531	84.6	15.4	
職 業	30.3	11.7	19.9	12.0	4.8	16.9	2.3	22.2	608	83.4	16.6	
年 齢	28.1	6.5	45.8	25.5	1.3	26.1	2.0	15.0	153	88.9	11.1	
年 齢	30	8.9	31.7	19.5	1.6	12.2	3.3	19.5	123	83.7	16.3	
年 齢	30.2	15.1	31.1	14.2	5.7	16.0	0.9	22.6	106	83.0	17.0	
年 齢	29.6	26.5	20.6	11.8	7.4	16.2	4.4	16.2	68	94.1	5.9	
年 齢	24.7	14.8	16.0	4.9	1.2	3.7	8.6	32.1	81	71.6	28.4	
年 齢	33.8	6.3	25.4	21.8	6.3	26.8	2.8	12.7	142	93.7	6.3	
年 齢	37.3	9.0	26.1	14.9	1.5	20.1	2.2	14.2	134	96.3	3.7	
年 齢	34.9	12.3	22.6	13.2	6.6	16.0	3.8	14.2	106	87.7	12.3	
年 齢	18.8	18.8	9.9	5.0	5.0	13.9	0.0	36.6	101	76.2	23.8	
年 齢	24.0	14.4	12.8	2.4	4.8	5.6	2.4	36.8	125	60.0	40.0	
職 業	22.8	12.0	28.7	12.6	3.6	10.8	4.2	26.3	167	80.2	19.8	
職 業	16.9	24.7	21.3	15.7	4.5	16.9	3.4	22.5	89	84.3	15.7	
職 業	32.5	7.3	29.1	20.9	5.0	21.2	2.3	17.9	302	90.1	9.9	
職 業	36.4	13.1	28.0	19.6	3.7	15.4	2.8	16.6	107	80.4	19.6	
職 業	30.8	14.2	21.6	9.7	3.7	14.2	2.2	20.9	268	85.8	14.2	
職 業	27.9	1.6	45.9	23.0	1.6	36.1	1.6	11.5	61	95.1	4.9	
職 業	26.5	14.5	11.1	0.9	4.3	8.5	4.3	35.0	117	64.1	35.9	
職 業	50.0	14.3	21.4	10.7	0.0	17.4	0.0	10.7	28	92.9	7.1	
家 族 人 数	1	29.8	10.6	29.8	22.1	2.4	19.7	1.4	16.8	208	84.6	15.4
家 族 人 数	2	27.5	14.0	19.9	11.1	2.9	14.0	2.9	27.5	171	73.7	26.3
家 族 人 数	3	30.9	11.4	25.9	11.8	4.5	13.2	3.6	21.8	220	85.0	15.0
家 族 人 数	4	29.9	12.7	25.1	13.4	4.8	18.2	3.4	20.3	291	88.3	11.7
家 族 人 数	5	30.1	11.2	28.7	14.7	4.9	18.2	2.8	17.5	143	81.8	18.2
人 以 上	6	26.3	13.1	21.2	10.1	3.0	16.2	2.0	28.3	99	87.9	12.1
A	N	14.3	14.3	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	7	85.7	14.3
ラ イ フ ス テ ー ジ	婚 前	29.1	7.0	33.2	23.1	3.2	25.9	2.2	15.2	316	90.5	9.5
ラ イ フ ス テ ー ジ	家 族 成 長 期	33.3	5.8	33.3	17.4	4.3	18.8	5.8	20.3	69	85.5	14.5
ラ イ フ ス テ ー ジ	家 族 成 長 期(A)	37.4	11.2	25.2	13.1	2.8	16.7	2.8	14.0	107	89.7	10.3
ラ イ フ ス テ ー ジ	家 族 成 長 期(B)	35.3	10.0	36.5	19.6	2.4	17.6	2.4	14.7	170	87.6	12.4
ラ イ フ ス テ ー ジ	家 族 成 長 期(C)	34.5	16.8	24.8	9.7	8.0	16.8	1.8	16.8	113	93.8	6.2
ラ イ フ ス テ ー ジ	20.0	21.7	11.7	4.2	5.8	9.2	2.5	37.5	120	80.8	19.2	
老 年 期	(A)	25.0	10.5	15.8	5.3	3.9	6.6	7.9	28.9	76	65.8	34.2
老 年 期	(B)	23.0	14.8	6.6	4.9	4.9	4.9	1.6	37.7	61	65.6	34.4
老 年 期	(C)	25.0	19.4	8.3	0.0	0.0	0.0	5.6	38.9	36	61.1	38.9
そ の 他	22.9	25.0	8.3	6.3	2.1	10.4	0.0	25.0	48	66.7	33.3	
A	N	13.0	8.7	34.8	21.7	8.7	4.3	0.0	26.1	23	82.6	17.4
住 居 形態 別	28.4	13.4	22.8	10.5	4.8	14.4	3.3	23.9	522	81.6	18.4	
一 戸 建 持 家	42.9	11.9	21.4	16.7	2.4	19.0	0.0	14.3	42	81.0	19.0	
民 間 木 造 アパート	32.4	12.8	26.6	21.3	3.7	14.9	2.7	16.0	188	83.5	16.5	
鐵筋アパート・マンション	29.9	12.4	28.3	14.7	3.2	16.7	3.2	20.7	251	87.6	12.4	
社 宅・官舎	25.9	5.2	22.4	12.1	1.7	29.3	1.7	24.1	58	93.1	6.9	
寮・間借り・住込み	20.3	7.2	37.7	23.2	4.3	26.1	1.4	20.3	69	82.6	17.4	
そ の 他	33.3	0.0	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	22.2	9	88.9	11.1	
居 住 年 数 別	27.8	16.5	21.6	10.3	7.2	8.2	1.0	24.7	97	74.2	25.8	
戦 前 か ら	23.3	11.3	21.4	10.2	3.4	16.5	3.8	28.2	266	76.7	23.3	
昭和30年～昭和40年	32.7	13.6	20.4	12.3	4.9	16.0	3.1	22.8	162	89.5	10.5	
昭和41年～45年	34.4	13.3	25.8	16.4	3.9	11.7	2.3	14.1	128	85.2	14.8	
昭和46年～50年	28.6	12.8	30.6	15.8	4.1	17.3	2.0	18.9	196	85.7	14.3	
昭和51年～53年	31.8	9.8	30.6	19.6	1.2	21.4	3.7	16.7	245	88.6	11.4	
54 年 以 降	31.1	8.9	24.4	13.3	11.1	22.2	0.0	24.4	45	81.1	8.9	

Q16. では、青少年がすこやかに育ち、それをとりまく環境をよくするには、どこが最も力を入れてやらなければならないと思いますか。(1A)

回答項目 フェース	判断力	責任感	豊かな情操	自己表現力	協調性	その他	特にない	
							1.7	3.8
総 地域	9.8	29.9	8.7	3.7	6.6	1.7	3.8	
谷町	6.5	26.1	4.6	3.9	2.6	2.6	2.6	
西宮	18.9	33.3	11.7	11.7	10.8	0.0	0.0	
東大阪	17.2	31.3	7.0	1.6	5.5	0.8	1.6	
柏原	5.5	28.2	7.3	4.5	11.8	1.8	2.7	
守口	10.9	25.6	8.5	4.7	3.1	0.0	3.9	
大河内	10.0	32.3	9.2	0.8	7.7	0.8	5.4	
守山	10.4	33.3	8.3	5.2	8.3	3.1	8.3	
守山	6.1	29.8	13.2	3.5	8.8	1.8	2.6	
守山	6.3	33.0	11.6	0.0	4.5	1.8	3.6	
守山	3.6	19.6	5.4	0.0	3.6	7.1	12.5	
性別	男	10.2	31.8	7.7	2.8	7.0	2.1	5.1
性別	女	9.5	28.1	9.5	4.4	6.3	1.3	2.6
年齢	20代	13.7	32.0	6.5	5.9	3.9	0.0	8.5
年齢	30代	9.8	35.0	9.8	2.4	8.9	3.3	4.9
年齢	40代	11.3	34.9	8.5	0.9	9.4	2.8	4.7
年齢	50代	8.8	30.9	10.3	2.9	8.8	2.9	0.0
年齢	60代以上	3.7	23.5	3.7	0.0	4.9	2.5	3.7
年齢	20代	9.9	29.6	16.2	7.0	5.6	0.7	1.4
年齢	30代	14.9	30.6	11.2	4.5	6.7	0.7	0.7
年齢	40代	11.3	35.8	6.6	2.8	8.5	0.0	0.9
年齢	50代	6.9	23.8	5.0	6.9	6.9	0.0	5.0
年齢	60代以上	4.0	20.8	6.4	0.8	4.0	4.8	5.6
職業	自営業・事業主	9.0	33.5	8.4	2.4	11.4	3.0	4.6
職業	管理職・自営業	12.4	24.7	11.2	5.6	7.9	2.2	1.1
職業	事務職・技術職	8.3	31.1	9.6	3.0	6.6	1.3	4.0
職業	労務職・サービス職	13.1	35.5	11.2	3.7	4.7	0.0	3.7
職業	主婦	10.8	29.9	7.5	4.1	5.0	0.7	2.2
職業	学生	13.1	29.5	11.5	11.5	6.6	0.0	9.8
職業	無職	6.0	22.2	5.1	0.9	3.4	3.4	5.1
職業	その他	10.7	21.4	3.6	3.6	3.6	7.1	0.0
家族構成	1人	10.6	27.9	9.6	5.8	2.9	1.4	7.2
家族構成	2人	3.5	28.1	6.2	4.7	5.8	1.2	6.4
家族構成	3人	8.6	25.9	8.2	2.7	5.5	2.7	1.2
家族構成	4人	12.0	30.6	10.0	3.8	9.6	1.4	1.4
家族構成	5人	12.6	32.9	7.0	2.8	7.7	0.7	4.2
家族構成	6人以上	11.1	40.4	8.1	1.0	8.1	2.0	1.0
家族構成	N人	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6
ライフステージ	未婚	11.4	29.7	10.4	5.7	5.1	0.6	6.6
ライフステージ	既婚	4.3	34.8	13.0	7.2	4.3	0.0	2.9
ライフステージ	既婚成長期(A)	7.5	32.7	14.0	2.8	14.0	3.7	0.9
ライフステージ	既婚成長期(B)	17.1	38.8	6.5	2.9	5.3	1.2	0.6
ライフステージ	既婚成長期(C)	12.4	32.7	6.2	2.7	10.6	0.9	0.0
ライフステージ	既婚成熟期(A)	8.3	27.5	8.3	1.7	4.2	2.5	0.8
ライフステージ	既婚成熟期(B)	9.2	25.0	6.6	2.6	7.9	2.6	3.9
ライフステージ	既婚成熟期(C)	1.6	19.7	4.9	4.9	8.2	3.3	6.6
ライフステージ	既婚成熟期(C)	2.8	30.6	2.8	0.0	2.8	2.8	5.6
ライフステージ	既婚成熟期(C)	2.1	10.4	8.3	0.0	2.1	2.1	10.4
ライフステージ	N人	8.7	17.4	4.3	4.3	8.7	4.3	13.0
住居形態	別荘	8.4	29.9	6.9	2.7	7.1	2.1	3.6
住居形態	一戸建	14.3	35.7	14.3	4.8	7.1	0.0	0.0
住居形態	賃貸	9.0	29.3	9.6	3.7	2.7	0.5	5.9
住居形態	民間木造アパート	10.8	28.7	12.0	6.4	7.6	2.0	2.4
住居形態	社宅・官舎	15.5	36.2	8.6	3.4	10.3	1.7	1.7
住居形態	寮・間借り・住込み	11.6	30.4	5.8	1.4	7.2	0.0	5.8
住居形態	その他	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2
居住年数	5年未満	3.1	23.7	6.2	1.0	12.4	4.1	4.1
居住年数	6年～10年	9.4	27.1	7.9	3.0	4.5	1.1	5.6
居住年数	11年～20年	11.1	31.5	6.6	3.7	4.3	0.6	3.7
居住年数	21年～40年	9.4	34.4	4.7	2.3	6.3	1.6	0.8
居住年数	41年～50年	8.7	32.1	10.7	3.6	7.1	2.6	1.5
居住年数	51年～59年	13.5	29.0	10.6	5.7	8.6	1.2	4.9
居住年数	60年～	8.9	35.6	11.1	6.7	2.2	2.2	4.4

Q18. また、子どもが宿題や塾などあらゆるものから解放され、遊びに専念できる「子どもの午後」を、日を決めて設けるべきだという意見がありますが、どう思いますか。(1A)

Q18. 子どもに對しては、地域の人全体が親のように注意を払うべきだという意見がありますが、どう思いますか。(1A)

回答項目 フェース	N	当然のことだ	個人の主義で美しい化際にしてはいむ	自分で精一杯だと感じること	子供の親に任せること	むの仕事だ	その他の	わからぬ	N	ぜひ設けるべきだ	できれば設けるべきだ	そあれどもかの考案が実際がに	そん勉強がなにでかしめの考案が実際がに	都の心配だ	
総 地 域	1139	43.1	38.0	2.4	7.6	1.3	1.0	6.6	1139	21.9	27.1	25.5	0.8	1.6	
四 草 機 間 保 塚	153	32.7	46.4	3.3	6.5	3.3	0.0	7.8	153	28.1	17.0	34.0	0.0	0.7	
四 草 機 間 保 塚	111	50.5	26.1	0.9	19.8	1.8	0.9	0.0	111	21.6	19.8	36.0	2.7	0.9	
四 草 機 間 保 塚	128	42.2	34.4	3.9	5.5	0.0	1.6	12.5	128	18.8	33.6	20.3	1.6	0.8	
四 草 機 間 保 塚	110	57.3	26.4	2.7	7.3	2.7	0.0	3.6	110	38.2	21.3	18.2	0.9	3.6	
四 草 機 間 保 塚	129	35.7	42.6	3.1	7.0	0.0	0.8	10.9	129	23.3	37.2	19.4	1.6	1.6	
四 草 機 間 保 塚	130	40.8	40.0	3.1	10.0	0.0	0.8	5.4	130	13.1	26.9	26.9	0.0	3.1	
四 草 機 間 保 塚	96	59.4	27.1	1.0	3.1	2.1	2.1	5.2	96	16.7	33.3	20.8	0.0	1.0	
四 草 機 間 保 塚	114	36.8	50.9	0.9	3.5	1.8	3.5	2.6	114	17.5	21.1	35.1	0.0	0.0	
四 草 機 間 保 塚	112	33.0	47.3	2.7	5.4	0.9	0.0	10.7	112	20.5	33.9	20.5	0.9	2.7	
四 草 機 間 保 塚	56	58.9	28.6	0.0	8.9	0.0	0.0	3.6	56	17.9	19.6	17.9	0.0	1.8	
性 別	男	531	44.1	36.3	2.1	9.2	0.9	1.3	6.0	531	24.9	24.7	25.0	0.9	1.3
性 別	女	608	42.3	39.5	2.6	6.3	1.6	0.7	7.1	608	19.2	29.3	26.0	0.7	1.8
年 齢	20代	153	41.2	41.2	2.0	5.2	0.0	2.0	8.5	153	27.5	25.5	22.2	0.7	0.7
年 齢	30代	123	39.6	40.7	1.6	8.9	1.6	0.8	6.1	123	21.1	24.4	26.0	0.8	1.6
年 齢	40代	106	53.8	29.2	5.7	5.7	0.0	0.0	5.7	106	26.4	25.5	27.4	1.9	0.0
年 齢	50代	68	48.5	39.7	0.0	5.9	2.9	0.0	2.9	68	23.5	26.5	27.9	1.5	2.9
年 齢	60代以上	81	39.5	27.2	0.0	2.6	2.7	1.2	3.7	81	24.7	21.0	23.5	0.0	2.5
年 齢	20代	142	36.6	45.8	2.1	8.5	1.4	0.0	5.6	142	19.0	33.8	24.6	0.7	0.0
年 齢	30代	134	44.0	37.3	2.2	6.0	1.5	0.7	8.2	134	22.4	30.6	24.6	0.7	2.2
年 齢	40代	106	38.7	47.2	0.9	7.5	0.9	0.0	4.7	106	17.9	24.5	36.8	0.0	0.0
年 齢	50代	101	47.5	38.6	3.0	4.0	0.0	2.0	5.0	101	16.8	31.7	23.8	2.0	2.0
年 齢	60代以上	125	45.6	28.8	4.8	4.8	4.0	0.8	11.2	125	19.2	24.8	21.6	0.0	4.8
職 業	自営業・事業主	167	48.5	32.3	1.2	10.8	1.2	1.2	4.8	167	27.5	21.0	23.4	1.8	2.4
職 業	管理職・自由業	89	47.2	31.5	3.4	10.1	1.1	2.2	4.5	89	23.6	29.2	27.0	1.1	0.0
職 業	事務職・技術職	302	44.4	41.7	1.0	7.3	2.0	0.3	3.3	302	22.2	26.2	26.8	0.3	1.7
職 業	労務職・サービス職	107	38.3	40.2	4.7	3.7	0.0	0.0	13.1	107	23.4	27.1	23.4	0.9	0.9
職 業	婦人	268	41.8	42.2	3.0	3.7	1.9	1.1	6.3	268	17.5	31.3	29.5	0.7	1.1
職 業	学生	61	41.0	39.3	0.0	9.8	0.0	1.6	8.2	61	13.1	31.1	32.8	1.6	0.0
職 業	無職	117	39.3	28.2	4.3	12.8	0.9	1.7	12.8	117	20.5	23.9	15.4	0.0	4.3
職 業	その他	28	35.7	42.9	3.6	10.7	0.0	0.0	7.1	28	39.3	32.1	17.9	0.0	0.0
家 族 人 數	1人	208	42.3	37.5	1.0	9.1	0.5	1.0	8.7	208	26.9	25.5	24.5	0.0	0.0
家 族 人 數	2人	171	35.7	35.1	1.2	11.7	2.3	2.3	11.7	171	26.3	23.4	19.3	1.2	3.5
家 族 人 數	3人	220	47.7	36.8	0.5	8.2	0.5	1.4	5.0	220	20.5	32.7	23.6	0.0	1.8
家 族 人 數	4人	291	40.9	42.6	3.8	5.8	1.4	0.3	5.2	291	18.2	26.5	29.2	2.1	2.1
家 族 人 數	5人	143	50.3	32.2	4.2	6.3	2.1	0.7	4.2	143	18.9	28.7	28.0	0.7	1.4
人 以 上	N	7	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	4.2	9	7	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	前 期	316	36.4	42.4	2.5	7.9	0.9	0.9	8.9	316	22.2	25.3	25.9	0.6	0.6
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	成 長 期(A)	69	40.6	36.2	0.0	8.7	2.9	1.4	10.1	69	27.5	30.4	21.7	0.0	1.4
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	成 長 期(B)	170	46.5	41.8	2.4	4.1	0.6	0.6	4.1	170	22.9	27.1	30.0	0.6	0.6
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	成 長 期(C)	113	44.2	41.6	4.4	7.1	0.9	0.0	1.8	113	15.9	33.6	31.0	0.9	0.0
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	熟 熟 期(A)	120	53.3	35.0	0.6	5.8	0.8	0.8	3.3	120	14.2	29.2	26.7	0.8	3.3
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	年 年 期(B)	76	47.4	26.3	3.9	10.5	5.3	1.3	5.3	76	17.1	25.0	26.3	0.0	2.6
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	年 年 期(C)	61	34.4	31.1	3.3	16.4	1.6	3.3	9.8	61	26.2	19.7	18.0	3.3	6.6
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	そ の 他	36	69.4	19.4	0.0	8.3	0.0	2.8	0.0	36	22.2	19.4	0.0	2.8	0.0
住 居 形 態 別	N	48	29.2	41.7	2.1	10.4	0.0	2.1	14.6	48	27.1	22.9	18.8	0.0	2.1
住 居 形 態 別	A	23	52.2	21.7	0.0	4.3	4.3	0.0	17.4	23	21.7	26.1	21.7	0.0	0.0
住 居 年 数 別	戦 前 か ら	522	42.3	37.2	2.7	7.9	1.9	1.1	6.9	522	19.7	25.1	26.4	1.1	1.9
住 居 年 数 別	終 戦～昭和30年	42	40.5	47.6	2.4	9.5	0.0	0.0	0.0	42	19.0	38.1	28.6	0.0	2.4
住 居 年 数 別	昭和31年～40年	188	40.4	39.9	2.1	8.5	1.1	0.5	7.4	188	23.4	26.6	22.9	0.5	1.6
住 居 年 数 別	昭和41年～45年	162	42.6	35.8	3.7	8.6	1.2	1.2	6.8	162	18.5	26.5	27.2	0.0	1.9
住 居 年 数 別	昭和46年～50年	128	45.3	36.7	3.9	7.0	1.6	0.8	4.7	128	25.0	35.9	25.6	0.8	0.0
住 居 年 数 別	昭和51年～53年	196	45.9	35.3	2.0	7.1	1.0	0.5	5.1	196	26.5	29.6	21.4	1.5	1.0
住 居 年 数 別	54 年 以 降	245	36.7	44.1	1.2	5.3	1.2	1.6	9.8	245	19.6	30.2	24.5	0.0	1.2
住 居 年 数 別	54 年 以 降	45	53.3	24.4	0.0	15.6	2.2	0.0	4.4	45	22.2	22.2	33.3	0.0	2.2

Q20. 新宿区には、区民による地区青少年対策委員会があり、青少年をとりまく環境を良くする活動などをしていますが、あなたは知っていますか。（1A）

Q21. では、地区青少年対策委員会の活動に参加したいと思いますか。（1A）

回答項目 フェース	そんな必要はない	その他	わからぬ	N 知つて いる	N 知らぬ い	に参 加し たく ない	呼び かけ があ れば	参 加し たく ない	参 加し たく ない	参 加し たく ない	わ から ぬ	
総数	8.7	2.3	12.1	1139	30.8	69.2	1139	0.7	23.6	31.6	1.1	42.9
地城												
四谷町	6.5	0.0	13.7	153	37.9	62.1	153	0.7	24.8	34.3	1.3	35.3
新宿町	5.4	0.9	12.6	111	16.2	83.8	111	0.0	27.0	47.7	0.0	25.2
若葉町	10.9	2.3	11.7	128	26.6	73.4	128	0.0	19.5	23.4	0.8	56.3
大久保町	4.5	2.7	4.5	110	34.5	65.5	110	0.0	28.2	46.4	2.7	22.7
大戸塚	5.4	1.6	10.1	129	31.8	68.2	129	0.8	35.7	27.1	0.8	35.7
落合	10.8	3.8	15.4	130	25.4	74.6	130	0.0	24.6	30.8	0.0	44.6
柏原	11.5	3.1	13.5	96	21.9	78.1	96	0.0	17.7	17.7	1.0	53.5
柏原	17.5	3.5	5.3	114	45.6	54.4	114	3.5	14.9	35.1	1.8	44.7
柏原	8.9	3.6	8.9	112	33.0	67.0	112	0.9	17.0	33.0	0.9	48.2
角筈	3.6	1.8	37.5	56	33.9	66.1	56	1.8	14.3	8.9	3.6	71.4
性別												
男女	9.0	2.4	11.7	531	30.9	69.1	531	0.8	23.0	33.5	1.3	41.4
性別	8.4	2.1	12.5	608	30.8	69.2	608	0.7	24.2	29.9	1.0	44.2
年齢												
20代	10.5	2.6	10.5	153	22.2	77.8	153	0.0	20.3	40.5	0.7	38.6
30代	10.6	1.6	13.8	123	30.9	69.1	123	0.8	17.9	33.3	1.6	46.3
40代	4.7	1.9	12.3	106	33.0	67.0	106	1.9	27.4	26.4	2.8	41.5
50代	8.8	1.5	7.4	68	33.8	64.2	68	0.0	25.0	33.8	1.5	39.7
60代以上	9.9	4.9	13.6	91	42.0	58.0	91	1.2	28.4	29.6	0.0	40.7
男女	9.2	4.9	7.7	142	19.7	80.3	142	1.4	18.3	33.8	0.7	45.8
男女	7.5	3.0	9.0	134	30.6	69.4	134	0.0	31.3	26.9	0.0	41.8
男女	10.4	0.9	9.4	106	48.1	51.9	106	1.9	33.0	28.3	3.8	33.0
男女	7.9	0.0	15.8	101	34.7	65.3	101	0.0	16.8	35.6	1.0	46.5
男女	7.2	0.8	21.6	125	25.6	74.4	125	0.0	21.6	25.6	0.0	52.8
職業												
自営業・事業主	10.8	1.8	11.4	167	34.7	65.3	167	0.6	25.1	29.9	2.4	41.9
管理職・自由業	5.6	3.4	10.1	89	27.0	73.0	89	0.0	25.8	23.6	1.1	49.4
事務職・技術職	8.9	3.0	10.9	302	28.8	71.2	302	1.0	21.2	35.4	0.7	41.7
労務職・サービス職	11.2	0.9	12.1	107	23.4	76.6	107	0.9	15.9	39.3	0.0	43.9
主婦	7.5	1.1	11.2	268	38.4	61.6	268	0.7	28.4	27.2	2.2	41.4
学生	6.6	4.9	9.8	61	13.1	86.9	61	0.0	11.5	45.9	0.0	42.6
無職	10.3	3.4	22.2	117	25.6	74.4	117	0.9	22.2	29.9	0.0	47.0
その他	3.6	0.0	7.1	28	57.1	42.9	28	0.0	50.0	14.3	0.0	35.7
家族												
1人	8.7	2.9	11.5	208	17.8	82.2	208	1.0	17.8	42.3	0.0	38.9
2人	8.2	1.8	16.4	171	24.6	75.4	171	0.6	22.8	28.7	1.2	46.8
3人	6.4	3.2	11.8	220	30.5	69.5	220	0.5	24.1	31.4	0.9	43.2
4人	10.3	1.0	10.7	291	34.0	66.0	291	0.3	24.7	30.5	1.7	42.6
5人	8.4	4.2	9.8	143	36.6	63.6	143	0.7	30.8	24.5	1.4	42.7
6人以上	11.1	1.0	12.1	99	51.5	48.5	99	2.0	23.2	29.3	2.0	43.4
N人	0.0	0.0	42.9	7	42.9	57.1	7	0.0	14.3	14.3	0.0	71.4
ライフスタイル												
婚前	10.1	4.1	11.1	316	22.5	77.5	316	0.6	15.5	42.4	0.3	40.2
家族形成期	7.2	1.4	10.1	69	20.3	79.7	69	0.0	21.7	29.0	2.9	46.4
家族成長期(A)	5.6	1.9	11.2	107	27.1	72.9	107	0.9	28.0	29.0	0.9	41.1
家族成長期(B)	7.6	2.4	8.8	170	42.4	57.0	170	1.2	30.0	24.1	2.4	42.4
家族成長期(C)	12.4	1.8	4.4	113	42.5	57.5	113	0.9	27.4	25.7	1.8	44.2
家庭成熟期	9.2	0.8	15.8	120	37.5	62.5	120	0.8	22.5	29.2	1.7	45.8
老年期(A)	9.2	2.6	17.1	76	31.0	64.4	76	0.0	25.0	31.6	0.0	43.4
老年期(B)	8.2	0.0	18.0	61	31.1	68.9	61	0.0	23.0	31.1	0.0	45.9
老年期(C)	5.6	2.8	11.1	36	30.6	69.4	36	2.8	30.6	27.8	0.0	38.9
その他	6.3	0.0	22.9	48	22.9	77.1	48	0.0	25.0	25.0	2.1	47.9
NBA	4.3	0.0	26.1	23	30.4	69.6	23	0.0	30.4	21.7	0.0	47.8
住居形態												
一戸建持家	10.2	2.5	13.0	522	36.8	63.2	522	1.0	23.6	32.8	1.7	41.0
民間木造アパート	2.4	2.4	7.1	42	31.0	69.0	42	0.0	23.8	28.6	4.8	42.9
鉄筋アパート・マンション	7.4	2.7	14.9	188	25.0	75.0	188	1.1	23.4	28.7	0.0	46.8
社宅・官舎	6.0	1.2	10.0	251	27.1	72.9	251	0.4	28.7	29.9	0.8	40.2
寮・間借り住込み	15.5	3.4	5.2	58	22.4	77.6	58	0.0	12.1	37.9	0.0	50.0
その他	10.1	2.9	13.0	69	20.3	79.7	69	0.0	14.5	34.8	0.0	50.7
年齢	0.0	0.0	22.2	9	44.4	55.6	9	0.0	33.3	22.2	0.0	44.4
年数												
戦前から	8.2	3.1	18.6	97	39.2	60.8	97	1.0	16.5	35.1	4.1	43.3
終戦～昭和30年	8.3	3.0	14.3	266	34.2	65.8	266	0.4	22.6	31.6	1.5	44.0
昭和31年～40年	11.1	1.2	13.6	162	41.4	58.6	162	1.2	30.2	29.0	0.6	38.9
昭和41年～45年	5.5	1.6	5.5	128	41.4	58.6	128	0.0	30.5	28.9	1.6	39.1
昭和46年～50年	7.1	0.5	12.2	196	26.0	74.0	196	1.0	26.0	29.6	0.5	42.9
昭和51年～53年	11.4	3.7	9.4	245	16.3	83.7	245	0.8	19.2	34.7	0.0	45.3
54年以降	4.4	2.2	13.3	45	24.4	75.6	45	0.0	15.6	33.3	2.2	48.9

Q22. 区の児童・青少年のための事業として、とくに力を入れてほしいと思うことは何ですか。（1A）

回答項目 フェース	N	会をもつと与える機	幼稚園・保育園の充実度	健康診断を強化する栄養指	公園の遊具・児童遊園の充実度	学校教育の充実度	非正行化・自殺の防	仲間づくりの促進	その他	特にない
総数	1139	26.2	7.9	6.0	13.0	10.4	13.4	9.0	1.1	13.1
地域										
四国	153	15.7	15.0	13.7	13.1	9.8	5.2	3.3	0.7	23.5
高知	111	19.8	5.3	5.4	11.7	20.7	19.8	11.7	0.0	4.5
愛媛	128	31.3	3.1	0.0	14.8	14.1	10.2	10.2	0.8	15.6
徳島	110	25.5	7.3	15.5	9.1	5.5	19.1	7.3	0.9	10.0
香川	129	24.8	16.3	8.5	12.4	8.5	10.1	5.4	0.8	13.2
高松	130	34.6	3.8	2.3	18.5	7.7	10.0	14.6	3.1	5.4
丸亀	96	33.3	5.2	2.1	7.3	8.3	16.7	6.3	0.0	20.8
宇多津	114	33.3	7.0	3.5	12.3	13.2	14.9	9.6	2.6	3.5
小豆島	112	25.0	4.5	2.7	17.0	8.9	12.5	14.3	0.9	14.3
大三島	56	16.1	7.1	1.8	10.7	3.6	28.6	8.9	0.0	23.2
性別										
男	531	29.0	6.6	5.5	12.1	11.3	13.7	9.8	1.3	10.7
女	608	23.7	9.0	6.4	13.8	9.5	13.2	8.4	0.8	15.1
年齢										
20代	153	35.9	4.6	5.2	9.8	9.8	10.5	11.8	0.0	12.4
30代	203	28.5	10.6	7.3	11.4	9.8	12.2	10.6	0.8	8.9
40代	106	27.4	3.8	2.8	12.3	13.2	19.8	9.4	1.9	9.4
50代	68	26.5	7.4	1.5	10.3	14.7	14.7	11.8	0.0	13.2
60代以上	81	21.0	7.4	9.9	18.5	11.1	13.6	3.7	4.9	9.9
男女	142	26.1	12.0	7.7	19.0	7.7	7.0	7.0	0.0	13.4
30代	134	26.9	13.4	5.2	16.4	8.2	12.7	11.2	0.0	9.0
40代	106	21.7	10.4	1.9	10.4	11.3	17.9	14.2	0.9	11.3
50代	101	22.8	6.9	7.9	9.9	13.9	13.9	3.0	2.0	19.8
60代以上	125	20.0	4.8	8.8	11.2	8.0	16.0	6.4	1.6	23.2
職業										
自営業・事業主	167	29.3	6.6	2.4	12.6	9.6	15.6	9.0	1.2	13.8
管理職・自由業	39	24.7	5.6	4.5	20.2	18.0	7.9	10.1	1.1	7.9
事務職・技術職	302	27.5	8.9	7.9	11.9	8.3	12.3	10.6	1.0	11.6
労働組・サービス職	197	31.8	5.6	1.9	10.3	9.3	16.8	10.3	0.0	14.0
主婦	268	23.5	10.1	5.6	14.9	10.4	15.7	7.5	0.7	11.6
学生	61	32.6	4.9	1.6	13.1	13.1	9.8	4.9	0.0	19.7
無職	117	17.9	6.0	10.3	11.1	11.1	12.8	7.7	3.4	19.7
その他	28	21.4	14.3	21.4	3.6	7.1	7.1	14.3	0.0	10.7
家族人数										
1人	208	31.3	8.2	6.7	11.1	4.8	8.2	12.0	0.5	17.3
2人	171	17.5	8.2	8.8	15.8	12.3	12.3	7.0	1.8	16.4
3人	220	26.4	7.7	5.9	12.7	10.5	15.0	8.2	1.8	11.8
4人	291	25.8	9.3	5.5	15.5	12.4	14.4	8.9	0.7	7.6
5人	143	24.5	5.6	3.5	10.5	11.9	20.3	9.8	0.0	14.0
6人以上	99	33.3	7.1	3.0	10.1	11.1	11.1	8.1	2.0	14.1
N	7	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9
ライフステージ										
婚前期	316	32.3	5.4	5.1	13.0	9.8	10.4	10.4	0.0	13.6
家庭形成期	69	20.3	13.0	8.7	14.5	7.2	7.2	11.6	1.4	15.9
家庭成長期(A)	107	21.5	17.8	10.3	17.8	8.4	12.1	5.6	0.0	6.5
家庭成長期(B)	170	29.4	8.8	2.9	14.1	12.9	17.1	8.2	1.2	5.3
家庭成長期(C)	113	28.3	5.3	2.7	8.8	12.4	17.7	14.2	2.7	8.0
家庭成熟期	120	22.5	4.2	5.0	11.7	12.5	17.5	9.2	1.7	15.8
老年期(A)	76	26.3	5.3	5.3	17.1	7.9	15.8	2.6	1.3	18.4
老年期(B)	61	18.0	6.6	11.5	11.5	16.4	19.7	3.3	1.6	11.5
老年期(C)	36	19.4	13.9	11.1	13.9	5.6	8.3	8.3	2.8	16.7
その他	48	8.3	12.5	8.3	4.2	8.3	8.3	10.4	2.1	37.5
N	23	34.8	0.0	8.7	13.0	0.0	4.3	13.0	0.0	26.1
住居形態別										
一戸建持家	522	28.4	6.1	5.7	12.6	12.3	13.4	7.9	1.1	12.5
一戸建借家	42	23.8	7.1	11.9	11.9	16.7	9.5	9.5	0.0	9.5
民間木造アパート	198	22.3	11.7	4.8	18.1	7.4	13.3	9.6	0.5	12.2
鉄筋アパートマンション	251	23.1	9.6	6.8	11.6	9.2	13.9	9.6	2.0	14.3
社宅・官舎	58	24.1	12.1	3.4	15.5	13.8	15.5	6.9	0.0	8.6
寮間借り住込み	69	34.8	2.9	2.9	5.8	2.9	13.0	17.4	0.0	20.3
その他	9	22.2	0.0	33.3	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2
居住年数別										
戦前から	97	27.8	7.2	5.2	9.3	19.6	15.5	2.1	2.1	11.3
終戦～昭和30年	266	21.4	5.6	6.4	13.2	11.3	15.0	10.2	1.9	15.0
昭和31年～40年	162	24.7	9.9	5.6	14.2	10.5	14.8	9.3	0.6	10.5
昭和41年～45年	128	32.8	10.9	6.3	10.9	7.8	12.5	9.4	0.8	8.6
昭和46年～50年	126	26.5	7.1	5.1	12.2	10.2	12.8	10.2	1.0	14.8
昭和51年～55年	245	28.6	4.2	6.5	15.1	7.3	11.0	9.4	0.4	13.5
55年以降	45	22.2	8.9	6.7	13.3	8.9	13.3	8.9	0.0	17.8

Q23: 女性が職業を持つことについて、あなたはどう思いますか。

(1A)

[Q23で1, 2と答えた人に]

SQ1. [男性の場合]では、あなたの身近な女性に職業を持つてほしいと思いますか。(1A)

回答項目 フェース	N	せひ持つべきだ	条件が許す限り持つべきではない方	あまり持たない	わからぬ	N	せひ持つてほしい	条件が許す限り持つてほしい	今は無理だが持つ	くまない持つてほし	持つてほしくない	現在持つている	N	
													A	
総数	1139	14.7	57.3	15.8	2.5	9.7	352	12.8	60.2	2.2	8.2	0.9	8.2	1.4
地域														
四国														
谷町	153	3.9	49.0	26.1	2.0	19.0	27	11.1	55.6	14.8	11.1	0.0	7.4	0.0
寺町	111	16.2	56.8	18.0	1.8	7.2	35	17.1	48.6	11.4	20.0	2.9	0.0	0.0
若松町	128	22.7	52.3	12.5	3.1	9.4	43	23.3	62.8	0.0	7.0	0.0	2.3	4.7
久戸町	110	20.9	47.3	15.5	6.2	8.2	38	21.1	57.9	5.3	0.0	2.6	10.5	2.6
大芦町	129	14.7	52.7	24.0	0.0	8.5	33	12.1	48.5	12.1	12.1	0.0	12.1	3.0
落合町	130	11.5	63.1	12.3	1.5	11.5	43	11.6	62.8	14.0	7.0	2.3	2.3	0.0
柏原町	96	13.5	59.4	15.6	2.1	9.4	34	5.9	82.4	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0
木下町	114	11.4	66.7	12.3	1.8	7.9	36	5.6	66.7	5.6	8.3	0.0	13.9	0.0
角筈町	112	17.9	64.3	7.1	3.6	7.1	39	10.3	61.5	12.8	5.1	0.0	10.3	0.0
役所別	56	19.6	73.2	5.4	0.0	1.8	24	4.2	50.0	0.0	8.3	0.0	33.3	4.2
性別														
男性	531	13.0	53.3	18.8	4.0	10.9	352	12.8	60.2	2.2	8.2	0.9	8.2	1.4
女性	608	16.1	60.9	13.2	1.2	8.7	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢														
20代	153	17.0	53.6	15.0	3.3	11.1	108	19.4	65.7	2.8	6.5	0.0	3.7	1.9
30代	123	10.6	53.7	17.1	3.3	15.4	79	12.7	53.2	10.1	10.1	2.5	10.1	1.3
40代	106	18.9	48.1	19.8	4.7	8.5	71	12.7	60.6	7.0	7.0	0.0	12.7	0.0
50代以上	68	7.4	64.7	19.1	4.4	4.4	49	2.0	65.3	14.3	10.2	0.0	6.1	2.0
60代	91	6.2	49.4	27.2	4.9	12.3	45	8.9	53.3	13.3	8.9	2.2	11.1	2.2
職業														
自営業・事業主	167	12.6	59.9	15.6	3.0	9.0	47	13.8	56.3	5.7	6.9	0.0	16.1	1.1
販賣職・自由業	89	18.0	60.7	12.4	3.4	5.6	52	17.3	50.0	15.4	7.7	0.0	9.6	0.0
事務職・技術職	302	16.2	57.3	14.2	3.0	9.3	117	9.4	67.5	8.5	9.4	1.7	1.7	
労働職・サービス職	197	16.8	59.8	12.1	0.9	10.3	46	10.9	60.9	8.7	4.3	2.2	13.0	0.0
主婦	268	10.4	60.4	18.3	1.1	9.7	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学生	61	31.1	47.5	9.8	1.6	9.8	25	24.0	60.0	0.0	4.0	0.0	8.0	4.0
無職	117	12.8	47.9	20.5	2.6	16.2	17	5.9	70.6	5.9	11.8	0.0	0.0	5.9
その他	28	3.6	53.6	28.6	10.7	3.6	7	14.3	28.6	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0
家族人数														
1人	208	19.7	57.7	10.6	2.9	9.1	75	16.0	68.0	0.0	6.7	0.0	6.7	2.7
2人	171	16.4	55.0	13.5	2.9	12.3	38	18.4	60.5	13.2	2.6	2.6	0.0	0.0
3人	220	12.7	60.0	16.4	1.8	9.1	62	4.8	62.9	14.5	6.5	0.0	11.3	0.0
4人	291	14.4	57.7	19.2	3.1	5.5	97	16.5	46.4	10.3	11.3	2.1	12.4	1.0
5人	143	11.9	54.5	16.1	1.4	16.1	44	6.8	72.7	4.5	11.4	0.0	2.3	2.3
6人以上	99	10.1	60.6	17.2	2.0	10.1	34	8.8	61.8	8.8	8.8	0.0	8.8	2.9
N	7	14.3	42.9	0.0	28.6		2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ライフステージ														
婚前期	316	22.2	56.3	11.4	2.2	7.9	130	18.5	65.4	2.3	7.7	0.0	3.8	2.3
家庭形成期	69	20.3	58.0	10.1	1.4	10.1	15	26.7	46.7	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0
家族成長期(A)	107	9.3	63.6	15.0	3.7	8.4	31	6.5	54.8	19.4	6.5	3.2	9.7	0.0
家族成長期(B)	170	10.6	62.4	15.9	2.4	8.8	57	10.5	49.1	14.0	7.0	1.8	17.5	0.0
家族成長期(C)	113	13.3	57.5	19.5	1.8	8.0	38	5.3	65.8	5.3	15.8	0.0	7.9	0.0
家族成熟期	120	7.5	65.0	18.3	1.7	7.5	35	2.9	62.9	8.6	8.6	0.0	14.3	2.9
老年期(A)	76	10.5	42.1	25.0	3.9	18.4	12	8.3	58.3	16.7	0.0	0.0	8.3	8.3
老年期(B)	61	13.1	47.5	19.7	1.6	18.0	13	23.1	53.8	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0
老年期(C)	36	11.1	61.1	13.9	0.0	13.9	7	0.0	42.9	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0
その他	48	14.6	50.0	20.8	6.3	8.3	9	11.1	88.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
N	23	17.4	47.8	17.4	4.3	13.0	5	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
住居形態別														
一戸建持家	522	11.9	57.9	17.6	2.1	10.5	143	12.9	58.3	10.4	9.8	0.6	6.1	1.8
一戸建借家	42	16.7	61.9	16.7	0.0	4.8	13	30.8	46.2	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0
民間大造アパート	188	20.7	62.8	9.0	1.6	5.9	64	10.9	59.4	6.3	4.7	0.0	15.6	3.1
鉄筋アパートマンション	251	14.7	55.4	14.3	3.6	12.0	73	9.6	65.8	5.5	11.0	1.4	6.8	0.0
社宅・官舎	58	8.6	56.9	22.4	3.4	8.6	15	13.3	66.7	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0
寮・賃借り住込み	69	21.7	47.8	17.4	4.3	8.7	22	18.2	64.2	0.0	4.5	0.0	9.1	0.0
その他	9	22.2	22.2	33.3	0.0	22.2	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
居住年数														
50歳前から	97	14.4	52.6	17.5	3.1	12.4	31	6.5	64.5	6.5	9.7	0.0	12.9	0.0
終戦～昭和30年	266	12.8	53.8	19.2	2.3	12.0	82	11.0	56.1	9.8	13.4	1.2	4.9	3.7
昭和31年～40年	162	17.3	57.4	15.4	0.6	9.3	47	19.1	53.2	10.6	6.4	0.0	10.6	0.0
昭和41年～45年	128	12.5	65.6	14.8	3.1	3.9	42	9.5	64.3	9.5	7.1	0.0	9.5	0.0
昭和46年～50年	196	15.3	56.1	16.3	3.1	9.2	61	18.0	57.4	11.5	6.6	0.0	4.9	1.6
昭和51年～53年	245	15.1	58.8	12.7	2.9	10.6	78	11.5	66.7	3.8	2.6	2.6	11.5	1.3
54年以降	45	17.8	62.2	11.1	2.2	6.7	11	9.1	63.6	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0

SQ2 [女性の場合]では、あなたは職業を持ちたいと思いますか。(1A)

Q24. 女性が職業を持つ場合、どのような障害があると思いますか。次のの中から主なことを2つ以内で選んでください。

[回答票7提示] (2A)

回答項目 フェース	N	職種が限 定されて いる 職場ある ての差別待 遇	職業意 識が低 い	技能して いる 技術が不 足	法律別 ある 制度上 の差	家庭なる の潤いが なく	家族の 理解・協 力	出産・育児	病が人 ある 老人の世 話	その他	わから ない	
総 数	1139	22.1	13.8	17.6	9.7	5.4	30.4	24.1	28.5	8.3	1.1	8.4
地 域 別												
四国	153	20.3	11.8	15.0	8.5	11.1	43.8	15.0	23.5	7.2	1.3	10.5
高知	111	21.6	9.9	21.6	9.0	1.8	31.5	25.2	29.7	10.8	0.9	1.8
愛媛	128	29.1	16.4	15.6	7.0	0.0	27.3	25.8	30.5	9.4	0.8	6.6
徳島	110	16.4	15.2	20.0	7.3	10.0	23.6	20.0	38.2	15.5	0.0	8.2
香川	129	29.5	17.8	21.7	15.5	10.9	27.9	20.9	14.7	7.8	1.6	7.0
岡山	130	18.5	13.1	20.0	10.0	1.5	38.5	21.5	37.7	6.9	0.8	9.2
広島	96	26.0	18.8	13.5	7.3	6.3	17.7	30.2	35.4	6.3	1.0	6.3
福岡	114	15.8	5.3	14.9	16.7	3.5	29.8	22.8	37.7	12.3	0.9	8.8
大分	112	29.5	16.1	18.8	8.9	4.5	25.9	28.6	18.8	1.8	1.8	10.7
宮崎	56	5.4	8.9	10.7	1.8	1.8	30.4	46.4	16.1	1.8	1.8	12.5
性 别 別												
男性	531	22.8	14.1	21.5	8.9	5.1	29.8	22.4	27.1	7.0	1.3	9.6
女性	608	21.5	13.5	14.1	10.4	5.8	30.9	25.5	29.8	9.4	0.8	7.4
年 齢 別												
20代	153	24.2	9.8	25.5	7.8	7.2	24.8	19.6	34.0	5.9	2.0	11.8
30代	123	23.6	15.4	24.4	10.6	4.9	28.5	26.0	26.0	1.6	0.0	6.2
40代	106	19.8	12.3	17.0	10.4	5.7	33.0	30.2	23.6	8.5	1.9	7.5
50代	68	25.0	29.4	22.1	10.3	1.5	29.4	27.9	25.0	2.9	0.0	4.4
60代以上	81	21.0	9.9	14.8	4.9	3.7	37.0	7.4	22.2	18.5	2.5	17.3
男女代	142	24.6	23.2	22.5	12.0	7.7	24.6	19.7	35.2	2.1	1.4	3.5
男女代	134	23.9	11.9	17.2	10.4	7.5	26.9	28.4	34.3	7.5	0.7	3.0
男女代	106	21.7	14.2	12.3	10.4	5.7	33.0	24.5	24.5	11.3	0.9	5.7
男女代	101	23.8	7.9	9.9	8.9	4.0	34.7	30.7	27.7	13.9	0.0	5.9
男女代	125	13.6	8.0	6.4	9.6	3.2	37.6	25.6	24.8	14.4	0.8	19.2
職 業 別												
自営業・事業主	167	22.2	14.4	15.0	9.0	2.4	30.5	24.6	29.9	11.4	2.4	6.6
管理職・自由業	49	21.3	8.0	23.6	13.5	5.6	30.3	22.5	20.2	4.5	2.2	7.9
事務職・技術職	302	22.8	14.9	21.5	7.3	7.6	29.1	25.8	29.5	4.3	0.3	7.9
労働職・サービス職	107	31.8	15.0	19.6	9.3	3.7	24.3	15.9	31.8	6.5	2.8	6.5
婦人	268	20.5	10.4	10.4	11.9	4.1	31.3	32.1	32.8	10.4	0.0	6.0
学生	61	16.4	18.0	29.5	6.6	11.5	27.9	11.5	31.1	4.9	1.6	13.1
無職	117	16.2	9.4	12.3	11.1	5.1	31.7	17.9	17.9	17.1	0.9	17.9
その他	28	32.1	21.4	25.0	7.1	7.1	28.6	14.3	21.4	0.0	0.0	7.1
家 族 人 数 別												
1人	208	22.6	18.3	17.3	8.2	10.1	27.9	16.8	27.4	5.3	1.9	11.1
2人	171	15.2	10.5	19.9	11.1	1.8	34.5	21.6	33.3	7.0	1.2	11.7
3人	220	28.2	14.5	16.8	10.9	3.2	27.3	22.7	29.1	5.0	0.5	9.6
4人	291	24.1	14.4	18.9	10.7	6.2	28.9	28.5	27.1	8.2	0.3	4.5
5人	143	17.5	11.9	17.5	6.3	5.6	35.0	26.6	28.7	15.4	0.7	8.4
6人以上	99	19.2	10.1	13.1	9.1	4.0	34.3	31.3	26.3	14.1	3.0	6.1
N	7	42.9	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9
ライフルステージ別												
前 期	316	23.4	17.4	26.6	7.6	8.9	22.5	19.6	28.8	3.8	1.3	10.1
中期	69	20.3	11.6	17.4	14.5	1.4	31.9	26.1	36.2	2.9	2.9	5.8
成長期(A)	107	27.1	16.8	20.6	13.1	4.7	26.2	19.6	40.2	2.8	0.0	2.8
成長期(B)	170	22.9	8.8	15.3	10.0	7.1	35.9	36.5	26.5	8.8	0.6	2.4
成長期(C)	113	23.9	23.0	13.3	10.6	1.8	30.1	23.9	27.4	9.7	0.9	3.5
成熟期	120	20.8	8.3	14.2	10.8	2.5	32.5	34.2	25.8	14.2	0.0	5.8
老 年 年 期 (A)	76	18.4	7.9	6.6	6.6	1.3	42.1	15.8	28.9	22.4	2.6	13.2
老 年 年 期 (B)	61	9.8	6.6	14.8	8.2	0.0	37.7	26.2	32.8	16.4	0.0	16.4
老 年 年 期 (C)	36	13.9	13.9	5.6	5.6	2.8	44.4	13.9	13.9	2.8	22.2	
他そ	48	22.9	14.6	16.6	10.4	14.6	29.2	12.5	16.7	4.2	2.1	18.8
A	23	34.8	13.0	4.3	13.0	8.7	26.1	17.4	17.4	0.0	0.0	21.7
住 居 形態 別												
戸建	522	21.5	13.6	18.0	8.4	4.6	33.7	26.1	25.3	9.8	1.0	9.2
一戸建	42	35.7	11.9	16.7	19.0	0.0	33.3	19.0	23.8	11.9	0.0	2.4
民間木造アパート	188	22.9	16.0	16.0	8.5	10.1	26.6	20.2	28.2	4.8	1.6	10.6
鉄筋アパート・マンション	251	18.7	11.6	18.7	10.8	3.6	26.3	26.7	37.5	7.6	1.6	6.0
社宅・官舎	58	32.8	12.1	15.5	15.5	6.9	27.6	15.5	31.0	12.1	0.0	3.4
寮宿泊り住込み	69	21.7	21.7	17.4	5.8	7.2	29.0	20.3	24.6	4.3	0.0	11.6
その他	9	11.1	0.0	11.1	22.2	11.1	44.4	22.2	11.1	0.0	0.0	22.2
居 住 年 数 別												
戸建	97	20.6	15.5	16.5	9.3	4.1	40.2	23.7	18.6	13.4	0.0	10.3
終戦～昭和30年	266	24.1	10.5	15.0	7.5	4.9	28.2	25.9	24.4	9.0	1.5	12.4
昭和31年～40年	162	18.5	11.7	21.0	11.1	6.2	37.7	28.4	25.3	8.6	0.6	6.2
昭和41年～45年	128	28.9	16.0	20.3	14.1	5.5	27.3	21.9	25.0	9.4	0.8	6.3
昭和46年～50年	196	20.9	13.8	17.3	10.2	6.6	27.0	25.5	32.7	6.6	1.0	7.7
昭和51年～55年	245	20.8	16.7	17.1	8.6	4.9	26.5	18.4	38.0	5.7	1.6	7.8
56年以降	45	20.0	13.3	17.5	8.9	6.7	40.0	28.9	26.7	8.9	0.0	2.2

Q25. 女性が地域活動やボランティア活動、学習活動などをすることについてどう思いますか。(1A)

Q26. 区が行っている女性のための事業として、とくに力を入れてほしいことは何ですか。(1A)

回答項目 フェース	N	せひやるべきだ	条件が許す限りや	あまりやらない方	やるべきではない	わからぬ	N	技術・技能訓練	相談窓口の拡充	福祉員の拡充・家庭幸福	医療・検査の充実	社会活動のための場の拡充	講座・講習会の充実	母子種実生金庭活支援手など助当の各充	
		ひやるべきだ	れいの拡充	の拡充	りやらない方	の拡充		ひやるべきだ	れいの拡充	の拡充	の充実	のための拡充	の充実	の各充	
総 地域	数別	1139	15.0	57.0	8.0	1.5	17.7	1139	9.9	10.4	13.1	7.0	4.6	12.6	9.7
四 要 等	谷町	153	9.2	56.9	6.5	2.0	25.5	153	6.5	20.9	15.7	7.8	3.3	3.9	7.8
草 市 郡	町町	111	9.0	67.4	6.3	0.0	15.3	111	5.4	10.8	6.3	12.6	4.5	6.3	13.5
福 岩 市	町町	128	18.8	45.3	10.2	0.8	25.0	128	14.1	3.1	11.7	7.0	7.0	11.7	10.2
若 松 市	町町	110	14.5	53.6	11.8	6.4	13.6	110	14.5	15.5	13.6	5.5	2.7	22.7	8.2
大 戸 市	松久	129	17.8	57.4	10.1	0.0	14.7	129	14.0	16.3	16.3	5.4	1.6	10.9	7.0
戸 落 落 柏	合合	130	9.2	62.8	9.2	0.8	16.9	130	7.7	10.8	13.1	2.3	6.9	23.1	10.8
柏 角 善	木木	96	13.5	53.1	4.2	0.0	29.2	96	5.2	7.3	12.5	9.4	5.2	9.4	5.2
角 善	木木	114	11.4	65.4	6.1	2.6	11.4	114	15.8	3.5	17.5	12.3	4.4	13.2	16.7
角 善	木木	112	25.0	55.4	7.1	0.9	11.6	112	9.8	5.4	12.5	3.6	5.4	15.2	10.7
角 善	木木	56	32.1	51.8	7.1	1.8	7.1	56	1.8	1.8	7.1	3.6	5.4	8.9	3.6
性 別	男	531	13.9	54.4	8.3	2.4	20.9	531	8.9	9.6	11.7	6.4	5.3	11.1	10.7
性 別	女	678	16.0	64.7	7.7	0.7	15.0	678	10.9	11.0	14.3	7.6	3.9	13.8	8.7
年 齢	20代	153	19.0	45.8	7.2	2.0	26.1	153	7.2	9.2	9.8	7.2	2.6	11.8	13.1
年 齢	30代	123	10.6	61.8	5.7	1.6	20.3	123	5.7	11.4	15.4	4.9	8.9	8.9	12.2
年 齢	40代	106	15.1	52.8	14.2	0.9	17.0	106	9.4	9.4	5.7	6.6	7.5	10.4	12.3
年 齢	50代	48	7.4	67.6	10.3	4.4	10.3	68	13.2	11.8	13.2	5.9	1.5	19.1	7.4
年 齢	60代以上	91	13.6	50.6	4.9	4.9	25.9	91	12.3	6.2	16.0	7.4	4.9	7.4	4.9
年 齢	20代以上	142	16.9	59.9	12.0	0.7	10.6	142	10.6	7.0	19.7	9.9	4.9	12.7	8.5
年 齢	30代	134	15.7	64.2	5.2	0.7	14.2	134	10.4	11.9	15.7	9.0	5.2	16.4	7.5
年 齢	40代	176	20.8	66.0	4.7	0.0	8.5	106	17.0	13.2	10.4	7.5	4.7	16.0	6.6
年 齢	50代	101	12.9	65.3	6.9	0.0	14.9	101	12.9	10.9	12.9	3.0	4.0	14.9	10.9
年 齢	60代以上	125	13.6	49.6	8.8	1.6	26.4	125	4.8	12.8	11.2	7.2	0.8	9.6	10.4
職 業	自営業・事業主	147	16.2	56.9	9.0	1.8	16.2	167	10.4	7.2	13.8	4.2	5.4	10.8	13.8
職 業	管理職・自由業	89	21.3	55.1	4.5	1.1	18.0	89	11.5	11.2	12.4	9.0	7.9	11.2	10.1
職 業	事務職・技術職	302	13.6	58.6	7.9	1.7	18.2	302	8.9	11.3	12.3	6.3	5.3	12.3	9.9
職 業	労務職・サービス職	107	14.0	55.1	7.5	2.8	20.6	107	8.4	11.2	13.1	6.5	3.7	11.2	13.1
職 業	婦 娣 生 職	248	14.2	63.1	7.1	0.4	15.3	268	9.3	10.8	11.9	10.4	4.1	16.8	7.5
職 業	学 生	41	18.0	52.5	13.1	0.0	16.4	61	9.5	6.6	16.4	6.6	3.3	13.1	6.6
職 業	無 そ の 他	117	12.8	51.3	9.4	2.6	23.9	117	11.1	12.0	8.5	5.1	2.6	7.7	8.5
職 業	人 數	28	17.9	60.7	7.1	3.6	10.7	28	10.7	10.7	42.9	3.6	0.0	14.3	0.0
家 族 人 數	1	298	21.6	49.0	8.7	1.9	18.8	298	7.7	11.1	12.5	3.4	4.8	12.0	10.1
家 族 人 數	2	171	18.1	50.9	6.4	2.3	22.2	171	8.2	10.5	11.7	8.8	4.7	9.9	12.9
家 族 人 數	3	220	12.3	63.6	7.7	1.4	15.0	220	8.6	11.8	15.0	8.6	4.1	12.7	7.7
家 族 人 數	4	291	13.4	63.2	7.6	1.6	14.4	291	12.4	9.3	13.7	8.9	5.2	12.0	8.2
家 族 人 數	5	143	11.2	56.6	8.4	0.7	23.1	143	9.8	8.4	11.2	6.3	2.8	18.2	7.7
人 以 上	A	99	13.1	61.6	10.1	1.0	14.1	99	14.1	12.1	13.1	4.0	6.1	11.1	14.1
N	7	0.0	42.9	14.3	0.0	42.9	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	
ラ イ フ ス テ ー ジ	前 期	316	18.0	52.2	8.2	1.3	20.3	316	8.9	9.8	12.0	3.8	4.7	12.0	13.9
ラ イ フ ス テ ー ジ	成 長 期	49	23.2	50.7	4.3	1.4	20.3	69	8.7	10.1	18.8	11.6	8.7	8.7	5.8
ラ イ フ ス テ ー ジ	成 長 期(A)	177	9.3	72.0	6.5	0.0	12.1	107	5.6	13.1	17.8	13.1	5.6	12.1	2.8
ラ イ フ ス テ ー ジ	成 長 期(B)	170	17.1	59.4	7.6	1.8	14.1	170	10.6	9.2	11.2	5.3	17.1	12.4	12.4
ラ イ フ ス テ ー ジ	成 長 期(C)	113	10.6	66.4	9.7	0.9	12.4	113	18.6	8.8	13.3	6.2	5.3	14.2	6.2
ラ イ フ ス テ ー ジ	成 熟 期(A)	120	12.5	65.0	6.7	0.0	15.8	120	11.7	9.2	10.5	5.0	1.7	14.2	8.3
ラ イ フ ス テ ー ジ	成 熟 期(B)	76	9.2	59.2	9.2	1.3	21.1	76	9.2	13.2	11.8	6.6	0.0	14.5	7.9
ラ イ フ ス テ ー ジ	成 熟 期(C)	41	11.5	49.2	11.5	3.3	24.6	61	8.2	11.5	9.8	8.2	3.3	3.3	9.8
ラ イ フ ス テ ー ジ	老 年 期	36	22.2	47.2	11.1	5.6	13.9	36	8.3	11.1	19.4	2.8	2.8	8.3	5.6
ラ イ フ ス テ ー ジ	老 年 期	48	18.8	50.0	6.3	4.2	20.8	48	8.3	14.6	18.5	2.1	4.2	10.4	12.5
ラ イ フ ス テ ー ジ	そ の 他	23	4.3	47.8	8.7	4.3	34.8	23	4.3	13.0	4.3	8.7	13.0	13.0	4.3
住 居 形態	別 家	522	12.5	59.0	7.9	1.5	19.2	522	10.3	9.8	13.0	6.7	4.2	13.4	9.2
住 居 形態	一 戸 建 借 家	42	21.4	50.0	16.7	2.4	9.5	42	11.9	9.5	14.3	7.1	4.8	7.1	9.5
住 居 形態	民 間 木 造 ア ベ ト	188	17.0	56.9	6.9	1.6	17.6	198	9.0	9.0	15.4	6.4	5.9	9.6	10.1
住 居 形態	鐵筋アーマー・マンション	251	18.3	59.8	6.4	1.2	14.3	251	10.0	13.1	12.4	7.2	5.2	12.7	10.8
住 居 形態	社 宅・官 倉	58	15.5	58.6	3.4	1.7	20.7	58	12.1	8.6	8.6	19.0	5.2	13.8	6.9
住 居 形態	寮・間借り・住込み	49	13.0	49.3	14.5	1.4	21.7	69	7.2	10.1	13.0	1.4	1.4	11.6	10.1
住 居 形態	そ の 他	9	11.1	44.4	22.2	0.0	22.2	9	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	44.4	11.1
住 住 年 数 別	前 か ら	97	6.2	59.8	4.1	4.1	25.8	97	10.3	8.2	15.5	3.1	4.1	13.4	12.4
住 住 年 数 別	終 戰～昭和30年	246	15.0	56.8	7.4	1.5	18.8	246	10.9	10.2	10.9	3.8	3.0	12.8	9.8
住 住 年 数 別	昭和31年～40年	152	19.1	60.5	6.2	0.0	14.2	162	8.6	13.6	17.3	9.9	4.3	9.3	7.4
住 住 年 数 別	昭和41年～45年	128	15.5	59.4	10.9	0.8	13.3	128	10.9	12.5	18.5	4.7	8.6	10.2	11.7
住 住 年 数 別	昭和46年～50年	136	15.8	53.6	8.7	2.0	19.9	196	11.2	11.7	8.2	10.2	3.6	15.3	8.7
住 住 年 数 別	昭和51年～55年	245	13.9	54.8	8.2	1.6	17.6	245	8.6	7.3	12.7	9.0	4.9	12.2	10.2
住 住 年 数 別	54 年 以 降	45	20.0	57.8	11.1	0.0	11.1	45	6.7	8.9	13.3	6.7	17.3	6.7	6.7

Q27. あなたは、この1年間に区民保養所を利用したことがありますか。（1A）

回答項目	その他	特にない	N	強根繩つを利用して(伊豆長岡)	住吉館利用した(中)	両方とも利用した	知ったていろいろがな利用	知らない
フェース								
総 地域	0.7	32.1	1139	6.2	6.7	1.1	57.6	34.4
四葉谷町	2.6	31.4	153	4.6	3.0	0.4	53.6	41.8
大戸落松久町	0.0	40.5	111	2.7	0.9	0.4	45.9	50.5
合合第一二木	0.8	34.4	128	7.8	0.0	0.4	59.4	32.0
柏角宿・区役所別	0.0	17.3	110	3.6	0.0	0.9	48.2	47.3
性別	0.8	27.9	129	12.4	0.8	2.3	53.5	31.0
男女年齢	0.0	25.4	130	4.6	2.3	1.5	65.4	26.2
性別年代	0.0	45.8	96	3.1	0.0	1.0	61.5	34.4
男女代	0.9	15.8	114	7.4	1.8	2.5	73.7	14.0
男女代	0.9	36.6	112	8.9	0.0	0.0	51.8	39.3
男女代	0.0	67.9	56	5.4	1.8	1.4	69.6	21.4
職業	0.6	33.5	531	4.3	0.2	1.1	55.7	38.6
自営業・事業主	0.0	39.2	153	0.7	0.0	0.0	36.6	42.7
管理職・自由業	3.4	21.3	89	5.6	0.0	0.8	58.5	38.2
事務職・技術職	0.3	33.4	302	3.6	0.3	0.0	57.9	38.1
労務職・サービス職	0.9	31.8	107	4.7	0.0	0.0	46.7	48.6
主婦	0.0	29.1	258	7.8	1.9	1.9	63.8	24.6
学生	0.0	37.7	61	1.6	0.0	0.0	31.1	67.2
無職	1.7	42.7	117	10.3	0.9	0.9	56.4	31.6
その他	0.0	17.9	28	7.1	0.0	0.0	46.4	46.4
家族人数	0.5	38.0	208	1.9	0.0	0.5	38.0	59.6
1人	0.0	33.3	171	7.0	1.2	0.4	55.6	35.7
2人	0.9	30.5	220	5.9	0.5	0.0	41.8	31.8
3人	0.7	29.6	291	6.5	0.7	1.0	64.9	26.8
4人	1.4	34.3	143	7.0	1.4	2.1	62.9	26.6
5人以上	1.0	24.2	99	13.1	1.0	4.3	66.7	15.2
N人以下	0.0	57.1	7	0.0	0.0	0.0	14.3	85.7
ライフステージ	0.0	34.8	316	2.2	0.3	0.0	45.3	52.2
婚前期	0.0	27.5	69	2.9	0.0	0.0	53.6	43.5
家庭形成期	0.9	29.0	107	1.9	0.9	0.9	57.9	38.3
家族成長期(A)	1.8	22.4	170	6.5	1.8	2.4	46.5	22.9
家族成長期(B)	0.9	26.5	113	4.4	0.9	0.9	70.8	23.0
家族成長期(C)	0.0	39.2	120	10.0	0.8	1.7	48.3	19.2
老老年期(A)	2.6	34.2	76	7.5	0.0	2.6	60.5	11.8
老老年期(B)	0.0	45.9	61	9.8	1.6	1.6	67.2	19.7
老老年期(C)	2.8	38.9	36	5.6	0.0	2.3	61.1	30.6
その他	0.0	29.2	48	6.3	0.0	0.0	47.9	45.8
N	0.0	39.1	73	8.7	0.0	0.0	30.4	60.9
住居形態別	0.8	32.6	522	10.2	3.4	2.1	64.6	22.8
一戸建持家	0.0	35.7	42	0.0	2.4	0.3	69.0	28.6
民間木造アパート	1.1	33.5	188	4.8	0.5	0.0	46.9	45.7
鉄筋アパート・マンション	0.4	28.3	251	2.4	1.6	0.4	56.6	39.0
社宅・官舎	1.7	24.1	58	3.4	0.0	0.0	56.9	39.7
寮・間借り住込み	0.0	44.9	69	1.4	0.0	0.0	30.4	68.1
その他	0.0	22.2	9	0.0	0.0	0.0	22.2	77.8
住居年数別	0.0	33.0	97	7.2	1.0	2.1	72.2	17.5
戸前から	1.1	37.6	266	14.3	0.0	1.5	62.8	21.4
昭和30年～終戦	0.0	29.6	152	5.0	1.5	1.9	62.3	27.8
昭和31年～40年	0.0	22.7	128	4.7	1.6	0.2	64.8	28.9
昭和41年～45年	1.5	29.6	194	2.1	9.5	1.5	56.2	37.8
昭和46年～50年	0.4	34.7	245	2.6	0.0	0.2	44.5	53.5
昭和51年～55年	2.2	31.1	45	4.4	0.0	0.0	26.7	48.9
56年以降								

SQ1 [Q27で1~3と答えた人に] 利用した理由は何ですか。(1A)

SQ2 [Q27で4と答えた人に] 利用したことがない理由は何ですか。(1A)

回答項目 フェース	N	交通 が便 利だ	設 備 がよ い	料 金 が安 い	食 事 がよ い	温 泉 が有 る	山 が有 る	海 水浴 が可 能	その 他	特 に理 由はな い	N	希 望 の日 がと れな ど	申 し込 みがめ んど	場 所 がよ くない
総 地域	91	7.7	20.9	37.4	0.0	6.6	6.6	0.0	9.9	11.0	656	14.6	23.6	2.0
四 草 樹 若 大 戸 落 桜 柏 角	7	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	42	22.0	29.3	3.7
谷 町 町 保 塚 二 木 所 別	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51	3.9	15.7	2.0
町 町 第 一 木 所 別	11	18.2	0.0	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4	76	9.2	23.7	0.0
保 塚 二 木 所 別	5	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	53	13.2	47.2	7.5
大 戸 第 一 木 所 別	20	5.0	20.0	40.0	0.0	15.0	5.0	0.0	0.0	15.0	49	23.2	13.0	4.3
松 久 合 合	1	0.0	27.3	63.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	45	12.9	15.3	0.0
落 落 柏	4	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	59	15.3	25.4	3.4
柏 角	14	14.3	2.6	21.4	0.0	0.0	7.1	0.0	26.6	0.0	24	11.9	33.3	0.0
答。区役所別	10	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	10.0	10.0	58	24.1	20.7	0.0
性別	5	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	39	5.1	7.7	0.0
男女年齢別	30	13.3	26.7	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0	C.C.	10.0	296	15.9	22.3	2.7
性別年齢別	61	4.9	15.0	36.1	0.0	9.8	4.9	0.0	14.8	11.5	360	13.5	24.7	1.4
性別年齢別	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56	19.6	12.5	5.4
男男男男男男男男男男	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72	13.9	20.8	1.4
男男男男男男男男男男	10	0.0	30.0	50.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	72	23.6	26.4	1.4
男男男男男男男男男男	12	25.0	25.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	46	6.5	32.6	2.2
男男男男男男男男男男	14	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	50	12.0	20.0	4.0
男男男男男男男男男男	16	28.6	26.6	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	80	13.8	31.3	3.2
男男男男男男男男男男	18	0.0	8.3	41.7	0.0	0.0	8.3	0.0	25.0	16.7	67	20.5	21.8	0.0
男男男男男男男男男男	20	0.0	17.4	26.1	0.0	21.7	4.3	0.0	17.4	8.7	73	7.5	23.9	0.0
業別	23	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.7	26.0	1.4	
自営業・事業主	21	9.5	9.5	66.7	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	4.8	106	21.7	21.7	1.9
管理職・自由業	5	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56	8.9	23.2	1.8
事務職・技術職	12	0.0	33.3	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0	16.7	16.7	175	13.1	23.4	3.4
労務職・サービス職	5	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	50	14.0	30.0	0.0
主婦	31	6.5	19.4	41.9	0.0	6.5	3.2	0.0	9.7	12.9	171	13.5	27.5	1.2
学生無職	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19	10.5	15.8	0.0
その他	14	7.1	14.3	14.3	0.0	14.3	7.1	0.0	28.6	14.3	66	10.6	16.7	3.0
家族人數	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13	46.2	15.4	0.0
1	5	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	79	11.4	21.5	5.1
2	15	13.3	20.0	46.7	0.0	13.3	0.0	0.0	6.7	0.0	95	12.6	18.9	1.1
3	14	7.1	7.1	42.9	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1	21.4	136	16.9	25.7	0.7
4	24	4.2	20.8	29.2	0.0	4.2	16.7	0.0	16.7	8.3	189	16.9	25.9	1.1
5	15	6.7	20.0	26.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	20.0	90	10.0	27.8	4.4
6 人以上	18	11.1	27.8	38.9	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	11.1	66	15.2	16.7	1.5
N	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	100.0	0.0	0.0
ライフステージ別	8	0.0	37.5	50.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	143	14.0	16.1	3.5
前成期	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37	10.8	21.6	0.0
家庭成長期(A)	4	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	62	11.3	40.3	3.2
家庭成長期(B)	18	0.0	34.9	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	5.6	113	23.9	24.8	0.9
家庭成長期(C)	7	28.6	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	80	15.0	21.3	1.3
家庭成熟期	15	0.0	20.0	13.3	0.0	6.7	13.3	0.0	26.7	20.0	82	14.6	31.7	0.0
老老年期(A)	21	9.5	9.5	33.3	0.0	9.5	4.8	0.0	9.5	23.8	46	8.7	17.4	2.2
老老年期(B)	8	12.5	0.0	62.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41	9.8	17.1	2.4
老老年期(C)	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22	9.1	27.3	4.5
その他	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23	17.4	17.4	0.0
A	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7	0.0	42.9	14.3
住居形態別	66	6.1	22.7	30.3	0.0	9.1	7.6	0.0	12.1	12.1	337	13.4	24.3	1.8
一戸建	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29	13.8	27.6	0.0
建物アパートマンション	10	20.0	0.0	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	92	13.0	19.6	3.3
社宅・官舎	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	33	18.2	15.2	3.0
寮・間借り・住込み	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21	9.5	9.5	4.8
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2	0.0	0.0	0.0
居住年数別	10	20.0	40.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70	11.4	21.4	0.0
戦前から	42	2.4	21.4	23.8	0.0	9.5	9.5	0.0	16.7	16.7	147	15.0	22.8	3.0
昭和30年～昭和40年	16	18.8	12.5	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	12.5	101	15.5	26.7	0.0
昭和40年～45年	8	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	83	22.9	24.1	2.4
昭和45年～50年	8	12.5	12.5	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	114	12.3	28.9	1.8
昭和50年～55年	5	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	109	11.0	17.4	3.7
昭和55年～60年	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	12	16.7	8.3	0.0

Q28. あなたは区政に関心をお持ちですか。(1A)

回答項目 フェース	他の旅館を利用す	料金が高い	その他	特に理由はない	N	非常に関心がある	少しは関心がある	あまり関心がない	ほとんど関心がない	わからない	
職業	数別	6.3	0.3	9.0	44.2	1139	9.3	40.7	36.0	11.2	2.7
地	域	3.7	0.0	17.1	24.4	153	12.4	41.2	35.3	7.8	3.3
四	算	25.5	0.0	5.9	47.1	111	2.7	27.9	34.2	33.3	1.8
算	復	1.3	0.0	6.6	59.2	128	8.6	40.6	42.2	4.7	3.9
復	若	3.8	0.0	5.7	22.6	110	10.9	37.3	36.4	13.6	1.8
若	大	4.3	0.0	14.5	40.6	129	5.4	40.3	47.3	6.2	0.8
大	戸	5.9	1.2	9.4	55.3	140	9.2	40.8	36.9	10.0	3.1
戸	落	3.4	0.0	1.7	50.8	96	12.5	44.8	28.1	10.4	4.2
落	合	10.7	1.2	8.3	34.5	114	13.2	37.7	37.7	7.9	3.5
合	柏	1.7	0.0	10.3	43.1	112	9.8	44.6	29.5	15.2	0.9
柏	角	5.1	0.0	5.1	76.9	56	7.1	64.3	21.4	1.8	5.4
性	性	5.4	0.7	7.8	45.3	531	11.5	42.9	32.6	11.3	1.5
性	男女	6.9	0.0	10.0	43.3	608	7.4	38.8	38.8	11.2	3.8
性	年	5.4	1.8	5.4	50.0	153	5.9	31.4	43.1	18.3	1.3
性	代	4.2	0.0	8.3	51.4	123	9.8	42.3	35.8	10.6	1.6
性	男	5.6	0.0	6.9	36.1	116	12.3	48.1	29.2	8.5	1.9
性	男	4.3	0.0	8.7	45.7	68	16.2	52.9	26.5	4.4	0.0
性	男	8.0	2.0	10.0	44.0	81	19.8	50.6	18.5	8.6	2.5
性	女	6.5	0.0	6.5	53.2	142	7.0	31.0	37.3	22.5	2.1
性	女	3.8	0.0	6.3	42.5	134	6.0	43.3	42.5	7.5	0.7
性	女	6.4	0.0	14.1	37.2	106	5.7	50.0	36.8	5.7	1.9
性	女	9.0	0.0	9.0	50.7	101	12.9	33.7	40.6	7.9	5.0
性	女	9.6	0.0	13.7	35.6	125	6.4	37.6	36.8	9.6	9.6
職業	自営業・事業主	5.7	0.0	8.5	40.6	157	15.0	47.9	28.7	6.6	1.8
職業	管理職・自由業	7.1	0.0	10.7	48.2	39	21.3	34.8	34.8	6.7	2.2
職業	事務職・技術職	5.1	0.6	8.0	46.3	302	6.3	41.4	37.4	12.6	2.3
職業	労務職・サービス職	2.0	0.0	10.0	44.0	107	2.8	38.3	37.4	18.7	2.8
職業	主婦	7.0	0.0	8.2	42.7	268	7.5	44.4	39.2	7.1	1.9
職業	学生	5.3	0.0	15.8	52.6	61	4.9	34.4	36.1	23.0	1.6
職業	無職	10.6	1.5	10.6	47.0	117	12.0	33.3	34.2	13.7	6.8
職業	その他	7.7	0.0	7.7	23.1	78	10.7	24.6	39.3	14.3	7.1
家族	人家族	6.3	1.3	11.4	43.0	208	6.3	27.4	43.8	18.8	3.8
家族	1人	6.3	0.0	12.6	48.4	171	11.1	34.5	40.4	9.9	4.1
家族	2人	8.8	0.7	5.9	41.2	220	10.0	46.8	30.9	9.5	2.7
家族	3人	5.8	0.0	7.4	42.9	291	9.6	46.4	32.6	10.3	1.0
家族	4人	7.8	0.0	3.3	46.7	143	7.7	43.4	35.7	9.1	4.2
家族	5人	0.0	0.0	19.7	47.0	99	12.1	48.5	33.3	6.1	0.0
家族	6人以上	0.0	0.0	0.0	0.0	7	14.3	0.0	42.9	28.6	14.3
ライフスタイル	前	4.9	0.7	11.2	49.7	316	6.0	33.9	37.3	20.3	2.5
ライフスタイル	中期	8.1	0.0	2.7	56.8	69	15.9	26.1	49.3	8.7	0.0
ライフスタイル	長期(A)	3.2	0.0	8.1	33.9	107	5.6	45.8	39.3	8.4	0.9
ライフスタイル	長期(B)	6.2	0.0	4.4	39.8	170	9.4	47.1	35.3	7.1	1.2
ライフスタイル	長期(C)	10.0	0.0	10.0	42.5	113	12.4	48.7	32.7	4.4	1.8
ライフスタイル	成熟期(A)	3.7	0.0	6.1	43.9	120	10.8	53.3	26.7	7.5	1.7
ライフスタイル	成熟期(B)	10.9	0.0	8.7	52.2	76	15.8	42.1	26.3	10.5	5.3
ライフスタイル	成熟期(C)	4.9	0.0	17.1	48.8	61	6.6	44.3	31.1	11.5	6.6
ライフスタイル	老年前期(A)	4.5	4.5	9.1	40.9	36	13.9	27.8	44.4	8.3	5.6
ライフスタイル	老年前期(B)	13.0	0.0	21.7	30.4	48	8.3	31.3	47.9	4.2	8.3
ライフスタイル	その他	0.0	0.0	14.3	28.6	23	8.7	30.4	39.1	13.0	8.7
住居形態	別別	5.6	0.3	10.1	44.5	522	11.1	45.6	31.8	7.7	3.8
住居形態	一戸建	17.2	0.0	0.0	41.4	42	11.9	23.8	42.9	21.4	0.0
住居形態	借家	7.6	1.1	10.9	44.6	188	8.0	36.7	40.4	11.7	3.2
住居形態	民間木造アパート	3.5	0.0	6.3	41.5	251	8.4	41.8	38.2	10.0	1.6
住居形態	鉄筋アパートマンション	9.1	0.0	9.1	45.5	58	1.7	31.0	46.6	20.7	0.0
住居形態	社宅・官舎	9.5	0.0	9.5	57.1	69	5.8	30.4	36.2	27.5	0.0
住居形態	寮・間借り・住込み	0.0	0.0	50.0	50.0	9	22.2	33.3	22.2	11.1	11.1
住居年数	別別	7.1	0.0	8.6	51.4	97	18.6	39.2	27.8	7.2	7.2
住居年数	前から	5.4	0.6	10.2	43.1	266	9.8	44.4	33.1	9.8	3.0
住居年数	終戦～昭和30年	8.9	1.0	9.9	35.6	162	9.9	47.5	34.0	6.8	1.9
住居年数	昭和31年～40年	2.4	0.0	3.6	44.6	128	7.8	42.2	39.8	6.6	1.6
住居年数	昭和41年～45年	6.1	0.0	8.8	42.1	196	8.2	40.8	36.7	11.7	2.6
住居年数	昭和46年～50年	8.3	0.0	10.1	49.5	245	7.3	32.7	40.0	14.8	1.2
住居年数	昭和51年～55年	0.0	0.0	16.7	58.3	45	4.4	37.8	42.2	8.9	6.7
住居年数	54年以降										

Q29. あなたはふだん、区政に関することや区の行事、お知らせを何で知りますか。次の中から主なものを
2つ以内で選んでください。〔回答票8提示〕(2A)

回答項目 フェース	N	新宿区広報	区議会だより	写真ニュース	わく区勢と わたくし要ト レッターバンフ	新聞ジオ ・レビューラ	町会や回観板 ・自治会の会	家の族話 や知人・友人	その他	関心がない	
総 地域	1139	72.6	19.5	2.5	9.4	15.2	15.0	4.9	0.9	11.2	
四 篠 谷 町 駅	153	64.1	20.3	3.9	14.4	15.7	18.3	9.2	0.7	8.5	
大 戸 落 柏 角	111	84.7	8.1	4.5	5.1	2.7	12.6	11.7	0.0	6.3	
松 久 合 合	128	78.1	16.4	0.0	6.6	14.8	7.8	3.9	1.6	12.5	
大 戸 落 柏 角	110	62.7	31.8	2.7	11.8	23.6	17.3	2.7	0.0	11.3	
大 戸 落 柏 角	129	52.7	24.0	5.4	11.6	19.4	12.4	2.3	0.0	17.8	
大 戸 落 柏 角	130	70.8	23.1	1.5	6.2	15.4	11.5	3.1	0.0	19.2	
大 戸 落 柏 角	96	79.2	10.4	2.1	14.6	18.8	6.3	2.1	0.0	6.3	
大 戸 落 柏 角	114	88.6	28.9	1.8	7.0	19.3	15.8	3.5	1.8	1.8	
大 戸 落 柏 角	112	73.2	17.0	0.9	6.3	11.6	18.8	5.4	2.7	15.2	
大 戸 落 柏 角	56	83.9	5.4	0.0	0.0	5.4	42.9	3.6	3.6	8.9	
性 別	531	71.0	20.9	1.5	8.9	16.9	13.2	4.9	0.8	11.1	
性 別	608	74.0	18.3	3.3	9.9	13.7	16.6	4.9	1.0	11.2	
年 齢	20代	153	55.6	17.0	3.9	6.5	22.2	7.8	2.0	0.0	20.9
年 齢	30代	123	19.9	22.0	0.8	8.1	17.1	17.1	7.3	1.6	8.1
年 齢	40代	176	78.3	17.9	0.9	15.1	17.9	12.3	4.7	0.0	6.6
年 齢	50代	68	82.4	27.9	0.0	5.9	13.2	19.1	8.8	0.0	4.4
年 齢	60代以上	41	82.7	24.7	0.0	8.6	8.6	13.6	3.7	2.5	8.6
年 齢	20代	142	62.7	17.6	5.6	12.0	17.6	14.8	4.2	2.1	14.8
年 齢	30代	134	75.4	15.7	3.7	11.9	11.9	17.2	7.5	0.7	11.2
年 齢	40代	176	82.1	21.7	2.8	5.7	16.0	14.2	4.7	0.0	5.7
年 齢	50代	101	86.1	24.8	1.0	8.9	9.9	17.8	3.0	1.0	6.9
年 齢	60代以上	125	68.8	13.6	2.4	9.6	12.0	19.2	4.8	0.8	15.2
職 業	自営業・事業主	167	81.4	25.1	0.0	6.6	13.2	16.2	7.8	0.6	6.0
職 業	管理職・自由業	99	79.8	24.7	0.0	10.1	16.9	15.7	5.6	1.1	6.7
職 業	事務職・技術職	302	68.9	22.8	3.3	10.6	17.5	13.9	5.0	0.7	10.6
職 業	労務職・サービス職	107	62.6	13.1	0.9	9.3	19.6	16.8	1.9	0.9	14.0
職 業	主 学	268	81.0	18.7	3.0	10.1	11.2	18.7	5.2	0.7	8.6
職 業	無 知 の 他	51	50.8	6.6	4.9	9.8	18.0	6.6	0.0	1.6	31.1
職 業	無 知 の 他	117	66.7	15.4	1.7	9.4	12.8	11.1	5.1	1.7	17.1
職 業	無 知 の 他	28	67.9	10.7	14.3	3.6	21.4	10.7	3.6	0.0	7.1
家 族 人 数	1人以下	208	56.7	16.3	4.3	8.7	21.6	10.6	3.4	2.4	17.8
家 族 人 数	2人	171	73.1	15.8	2.9	7.6	15.2	13.5	2.9	1.2	13.5
家 族 人 数	3人	220	75.9	21.8	0.9	9.1	12.3	15.5	4.1	0.0	9.5
家 族 人 数	4人	291	79.4	20.6	2.1	10.0	15.8	16.8	7.2	0.3	6.9
家 族 人 数	5人	143	72.7	16.8	0.7	11.9	13.3	19.6	8.4	0.0	11.2
家 族 人 数	6人以上	99	81.8	29.3	3.0	10.1	8.1	15.2	2.0	2.0	7.1
家 族 人 数	N	7	14.3	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	42.9
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	婚 前 成 長 期	316	59.4	17.7	4.1	8.5	19.9	12.3	3.8	1.3	15.5
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	家 族 成 長 期(A)	69	71.0	15.9	7.2	10.1	15.9	14.5	0.0	0.0	13.0
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	家 族 成 長 期(B)	107	73.8	21.5	0.9	13.1	18.7	15.0	10.3	0.0	5.6
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	家 族 成 長 期(C)	170	79.4	20.0	0.6	12.9	13.5	16.5	5.3	0.6	9.4
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	老 年 成 熟 期(A)	113	83.2	23.9	2.7	7.1	9.7	15.9	5.3	0.0	6.2
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	老 年 成 熟 期(B)	120	90.8	21.7	0.0	7.5	10.0	19.2	3.3	0.8	5.8
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	老 年 成 熟 期(C)	76	80.3	22.4	2.6	13.2	7.9	10.5	5.3	2.6	11.8
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	そ の 他 A	61	80.3	16.4	1.6	6.6	13.1	14.8	6.6	1.6	8.2
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	そ の 他 B	36	61.1	16.7	0.0	2.8	16.7	30.6	2.8	0.0	13.9
ラ イ フ ス テ ー ジ 期	そ の 他 C	48	56.3	14.6	2.1	6.3	18.8	18.8	6.3	2.1	16.7
住 居 形 態 別	A	23	56.5	21.7	4.3	8.7	17.4	0.0	8.7	0.0	26.1
住 居 年 数 別	522	78.4	22.0	1.7	8.2	10.5	17.6	5.9	1.0	8.6	
住 居 年 数 别	42	69.0	16.7	4.8	11.9	11.9	19.0	7.1	0.0	14.3	
住 居 年 数 别	188	66.0	22.3	2.1	9.0	17.6	13.3	3.2	1.1	16.5	
住 居 年 数 别	251	72.1	15.9	3.2	11.6	19.9	12.7	2.8	0.4	9.6	
住 居 年 数 别	58	82.8	17.2	0.0	13.8	17.2	6.9	8.6	0.0	10.3	
住 居 年 数 别	69	66.4	8.7	5.8	7.2	27.5	14.5	5.8	2.9	18.8	
住 居 年 数 别	9	44.4	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	
住 居 年 数 别	97	75.3	25.8	0.0	11.3	10.3	16.5	4.1	1.0	12.4	
住 居 年 数 别	266	77.1	21.1	1.1	7.5	12.4	18.8	6.8	1.1	6.4	
住 居 年 数 别	142	77.8	19.8	5.6	9.3	13.0	17.3	4.3	0.0	8.6	
住 居 年 数 别	128	73.4	21.1	4.7	14.1	14.8	18.8	5.5	0.8	5.5	
住 居 年 数 别	196	65.9	21.4	1.0	10.2	18.9	12.8	4.6	1.5	13.3	
住 居 年 数 别	245	66.1	13.9	3.3	8.2	18.0	9.4	3.7	0.8	17.6	
住 居 年 数 别	45	66.7	13.3	0.0	6.7	20.0	11.1	4.4	0.0	17.8	

Q30. 区では、「新宿区広報」を毎月3回、6紙(朝日、毎日、読売、サンケイ、東京、日経)の新聞折り込みで配布していますが、お宅には届いていますか。(1A)

SQ1. [Q30で1と答えた人に]あなたは読んでいますか。(1A)

回答項目 フェース	N	届いて いる	届いて いない	わから ない	6い 紙を とつ てい な	N A	N	よく 読む	ざつ と 読む	あまり 読ま ない	全く 読ま ない	N A	
総 地域	1139	87.8	4.2	3.5	3.4	1.1	1000	28.2	48.1	20.3	2.8	0.6	
都道府県	153	85.6	3.7	5.2	5.9	2.6	131	21.4	55.0	22.1	0.8	0.8	
東京都	111	89.2	6.3	2.7	0.0	1.8	99	17.2	37.4	33.3	11.1	1.0	
神奈川県	128	91.4	1.6	2.3	3.1	1.6	117	36.8	44.4	15.4	3.4	0.0	
埼玉県	110	78.2	9.1	7.3	5.5	0.0	86	19.8	45.3	27.9	4.7	2.3	
千葉県	129	93.8	1.6	1.6	3.1	0.0	121	38.8	43.0	16.5	1.7	0.0	
茨城県	130	84.6	9.2	2.3	2.3	1.5	110	22.7	50.9	25.5	0.9	0.0	
栃木県	96	87.5	5.2	2.1	3.1	2.1	84	34.5	51.2	13.1	0.0	1.2	
群馬県	114	93.0	1.8	3.5	1.8	0.0	136	31.1	50.9	17.0	0.9	0.0	
新潟県	112	85.7	5.4	2.7	6.3	0.0	96	30.2	47.9	18.8	2.1	1.0	
福島県	56	89.3	1.8	7.1	1.8	0.0	50	28.0	60.0	8.0	4.0	0.0	
性別													
男性	531	87.6	4.7	3.4	3.2	1.1	465	24.9	49.0	21.9	3.7	0.4	
女性	608	88.0	3.8	3.6	3.6	1.0	535	31.0	47.3	18.9	2.1	0.7	
年齢													
20代	153	74.5	12.4	5.9	7.2	0.0	114	8.8	47.4	36.0	7.9	0.0	
30代	123	87.0	3.3	3.3	4.9	1.6	107	25.2	47.7	21.5	5.6	0.0	
40代	106	96.2	0.0	2.8	0.0	0.9	102	30.4	52.0	16.7	1.0	0.0	
50代	68	92.6	2.9	2.9	0.0	1.5	63	28.6	49.2	19.0	0.0	3.2	
60代以上	81	97.5	0.0	0.0	0.0	0.0	79	38.0	49.4	11.4	1.3	0.0	
男女比	20代	142	79.6	5.6	3.5	10.6	0.7	113	15.9	54.9	23.9	2.7	2.7
男女比	30代	134	91.8	3.0	4.5	0.7	0.0	123	35.0	48.0	14.6	2.4	0.0
男女比	40代	106	90.6	6.6	0.9	0.9	0.9	96	38.5	42.7	18.8	0.0	0.0
男女比	50代以上	171	91.1	3.0	1.0	4.0	1.0	92	31.5	48.9	18.5	1.1	0.0
職業	20代	125	88.8	0.8	7.2	0.8	2.4	111	35.1	41.4	18.9	3.6	0.9
自営業・事業主	167	92.2	2.4	4.2	0.6	0.6	154	31.8	49.4	16.9	1.3	0.6	
管理職・自由業	49	87.6	3.4	2.2	4.5	2.2	78	29.5	53.8	14.1	1.3	1.3	
事務職・技術職	302	87.1	6.0	2.3	3.6	1.0	263	21.7	49.4	25.9	2.7	0.4	
労務職・サービス職	107	81.3	4.7	3.7	10.3	0.0	87	25.3	44.8	23.0	6.9	0.0	
主婦	268	94.4	2.2	1.9	1.0	0.4	253	36.4	45.5	15.6	1.2	1.2	
学生	61	63.9	13.1	11.5	11.5	0.0	39	12.8	59.0	20.5	7.7	0.0	
無職	117	88.0	2.6	6.0	0.9	2.6	103	29.1	41.7	23.3	5.8	0.0	
その他	28	82.1	3.6	3.6	3.6	7.1	23	17.4	56.5	26.1	0.0	0.0	
家族人数													
1人	208	67.8	15.4	3.4	11.5	1.9	141	19.9	45.4	30.5	4.3	0.0	
2人	171	88.3	3.5	3.5	4.7	0.0	151	31.1	43.0	20.5	4.0	1.3	
3人	220	91.4	1.8	3.2	1.8	1.8	201	28.4	50.2	19.4	2.0	0.0	
4人	291	95.5	1.4	2.4	0.3	0.3	278	29.1	47.5	20.5	1.8	1.1	
5人	143	91.6	0.7	7.0	0.0	0.7	131	24.4	55.7	16.6	3.8	0.0	
6人以上	99	96.0	1.0	2.0	1.0	0.0	95	38.9	47.6	10.5	2.1	1.1	
N人以上	7	42.9	0.0	14.3	14.3	28.6	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	
ライフスタイル													
未婚	316	76.9	9.5	5.1	8.2	0.3	243	16.0	47.7	30.5	5.3	0.4	
既婚	69	85.5	1.4	2.9	10.1	0.0	59	23.7	47.5	23.7	3.4	1.7	
家庭形成期	107	92.5	3.7	3.7	0.0	0.0	99	22.2	52.5	21.2	3.0	1.0	
家族成長期(A)	170	96.5	1.2	2.4	0.0	0.0	164	38.4	47.0	12.2	2.4	0.0	
家族成長期(B)	113	95.6	0.9	1.8	0.0	1.8	108	36.1	42.6	20.4	0.0	0.9	
家族成長期(C)	120	92.5	2.5	2.5	1.7	0.8	111	27.9	55.9	15.3	0.0	0.9	
老年期(A)	76	97.4	0.0	1.3	0.0	1.3	74	35.1	48.6	12.2	4.1	0.0	
老年期(B)	61	93.4	1.6	4.9	0.0	0.0	57	36.8	43.9	15.8	1.8	1.8	
老年期(C)	36	80.6	5.6	2.9	5.6	5.6	29	44.8	34.5	17.2	3.4	0.0	
その他	48	85.4	2.1	6.3	2.1	4.2	41	24.4	48.8	24.4	2.4	0.0	
Nその他	23	65.2	13.0	4.3	4.3	13.0	15	26.7	60.0	13.3	0.0	0.0	
住居形態													
一戸建持家	522	93.9	0.6	3.4	0.8	1.3	470	28.6	51.2	17.3	2.0	0.8	
戸建借家	42	92.9	4.8	0.0	2.4	0.0	39	28.2	41.0	25.6	5.1	0.0	
民間木造アパート	188	77.1	10.1	2.1	9.6	1.1	145	27.6	47.6	18.6	5.5	0.7	
鉄筋アパートマンション	251	89.6	3.6	4.0	2.0	0.8	225	27.1	47.1	23.6	1.8	0.4	
社宅・官舎	58	96.6	0.0	3.4	0.0	0.0	56	35.7	37.5	19.6	7.1	0.0	
寮・借宿・住込み	69	55.1	20.3	8.7	15.9	0.0	38	21.1	36.8	42.1	0.0	0.0	
その他	9	77.8	11.1	0.0	0.0	11.1	7	28.6	57.1	14.3	0.0	0.0	
居住年数別													
5年前から	97	91.8	0.0	4.1	0.0	4.1	89	29.2	50.6	15.7	4.5	0.0	
終戦～昭和30年	266	94.4	1.1	1.9	1.5	1.1	251	31.9	45.0	19.9	2.0	1.2	
昭和31年～40年	162	94.4	2.5	2.5	0.6	0.0	153	33.3	47.7	17.6	0.7	0.7	
昭和41年～45年	128	89.8	3.9	3.1	2.3	0.8	115	27.0	52.2	19.1	1.7	0.0	
昭和46年～50年	196	83.2	7.7	5.6	2.0	1.5	143	23.9	50.3	22.7	2.5	0.6	
昭和51年～55年	245	79.2	6.1	4.9	9.4	0.4	194	22.7	48.5	22.7	5.7	0.5	
54年以降	45	77.4	13.3	0.0	8.9	0.0	35	31.4	40.0	25.7	2.9	0.0	

Q31. 現在の新宿区長の名前を知っていますか。〔知っている人に〕区長の名前をおっしゃってください。(1A)

Q32. 新宿文化センター
(新宿6丁目)は、
今年の4月1日に一般オープンしました
が、あなたはこの施設を知っていますか。
(1A)

回答項目 フェース	N	知つ て いる (正 答)	知つ て いる (誤 答)	知 ら な い	N	知つ て いる	知 ら な い	
総 地 域	1139	55.0	5.5	39.5	1139	50.6	49.4	
都 別 谷 町 町 町 町 保 塚	153 111 128 110 129 130 96 114 112 56	57.5 54.1 64.1 55.5 50.4 52.3 43.8 61.4 50.0 60.7	5.2 7.2 5.8 10.0 10.1 3.1 7.3 1.8 2.7 0.0	33.3 38.7 35.2 34.5 39.5 44.6 49.0 36.8 47.3 39.3	153 111 128 110 129 130 96 114 112 56	45.1 45.0 57.0 55.5 51.9 44.6 57.3 47.4 51.8 55.4	54.9 55.0 43.0 44.5 48.1 55.4 42.7 52.6 48.2 44.6	
大 戸 合 第 二 木 柏 角 答 ・ 区 役 別 性 别 性 別 性 別 性 別 性 別	120 130 114 112 531 608	52.0 52.3 61.4 50.0 56.7 53.5	3.1 1.8 2.7 0.0	44.6 36.8 47.3 39.3	120 130 114 112 531 608	51.9 44.6 47.4 51.8 49.5 51.5	48.1 55.4 42.7 48.2 50.5 48.5	
性 別 年 代	20 30 40 50 60 代 以上	153 123 106 68 81 142 134 106 101 125	34.6 54.5 74.5 67.6 69.1 36.6 53.0 67.9 60.4 55.2	3.3 5.7 5.7 2.9 4.9 6.3 5.2 6.6 5.9 8.0	62.1 39.6 19.6 29.4 25.9 57.0 41.6 25.5 33.7 36.8	153 123 106 68 81 142 134 106 101 125	41.2 43.9 55.7 66.2 51.9 44.4 52.2 58.5 60.4 45.6	58.8 56.1 44.3 33.8 48.1 55.6 47.8 41.5 39.6 54.4
職 業	自 営 業 ・ 事 業 主 管 理 職 ・ 自 由 業 事 務 職 ・ 技 術 職 労 動 職 ・ サ ー ビ ス 職 主 学 生 無 そ の 他 別 人 別 家 族 人 數	167 89 302 107 268 61 117 28 208 171 220 291 143 99 7 316 69 107 170 113 120 76 61 36 48 23	70.7 58.4 48.7 45.8 60.1 34.4 58.1 35.7 31.7 53.8 56.4 59.1 69.9 71.7 14.3 38.6 54.8 7.5 51.4 6.4 7.2 7.0 7.7 2.0 0.0 10.7	4.2 5.6 4.3 3.7 7.1 1.6 9.4 10.7	25.1 36.0 47.0 50.5 32.8 63.9 32.5 53.6	167 89 302 107 268 61 117 28 208 171 220 291 143 99 7 316 69 107 170 113 120 76 61 36 48 23	56.9 49.4 51.0 45.8 54.5 37.7 46.2 39.3 37.5 47.4 48.6 60.8 49.7 62.6 0.0 42.7 58.0 40.2 55.3 62.5 51.4 39.2 50.3 37.4 100.0	43.1 50.6 49.0 54.2 45.5 62.3 53.8 60.7
ライ フ ス テ ー ジ	婚 前 形 成 期 家 族 成 長 期 (A) 家 族 成 長 期 (B) 家 族 成 長 期 (C) 家 族 成 長 期 (A) 年 期 (B) 年 期 (C) 年 期 (D) 其 の 他 N	316 69 107 170 113 120 76 61 36 48 23	38.6 43.5 51.4 65.3 69.0 70.8 67.1 62.3 58.3 50.0 47.8	4.1 5.8 7.5 4.7 4.4 4.2 9.2 6.6 8.3 10.4	57.3 50.7 41.1 30.0 26.5 25.0 23.7 31.1 33.3 39.6	316 69 107 170 113 120 76 61 36 48 23	42.7 58.0 40.2 55.3 49.0 62.5 57.9 47.5 41.7 33.3	57.3 42.0 59.8 44.7 31.0 37.5 42.1 52.5 58.3 66.7 69.6
住 居 形 態 別	一 戸 建 持 家 一 戸 建 借 家 民 間 木 造 ア ベ ト 鉄 路 ア ベ ト マ ン ジ ン 社 宅 ・ 官 舎 寝 間 借 り 住 込 み そ の 他	522 42 188 251 58 69 23 522 42 188 251 58 69 23	67.2 66.7 37.8 51.0 34.5 34.8 47.8	6.3 9.5 5.9 4.8 3.4 0.0 4.3	26.4 23.8 56.4 44.2 62.1 65.2 47.8	522 42 188 251 58 69 23	57.3 50.0 42.0 50.6 43.1 33.3 30.4	42.7 50.0 58.0 49.4 56.9 66.7 69.6
居 住 年 数 別	戦 前 か ら 終 戦 ～ 昭 和 30 年 昭 和 31 年 ～ 40 年 昭 和 41 年 ～ 45 年 昭 和 46 年 ～ 50 年 昭 和 51 年 ～ 53 年 54 年 以 降	97 266 162 128 196 245 45	66.0 65.8 63.6 65.6 54.6 33.1 26.7	7.2 4.9 12.3 4.7 6.1 1.6 2.2	26.8 29.3 24.1 29.7 39.3 65.3 71.1	97 266 162 128 196 245 45	55.7 58.3 59.3 46.1 45.9 45.3 24.4	44.3 41.7 40.7 53.9 54.1 54.7 75.6

Q33. この集会施設には1800人収容の大ホールを始め、小ホール、集会室、展示室、ロビーなどが設けられ多目的に利用できるよう設計されています。この施設でどんな催し物を希望しますか。次のなかから2つ以内で選んでください。〔回答欄9提示〕(2A)

回答項目 フェース	N	クラシック音楽会	ボビュラーオーディオ音楽会	の演劇・歌舞伎など	日本舞踊・バレエ	浪曲などの大衆芸能漫才	映画会	美術・書・篆刻・資料など	の展示会	各種講座・講習会	その他	N
		A										
総数	1139	17.4	20.3	16.1	8.1	16.3	24.3	21.2	21.8	8.1	6.8	
地域別												
四国地方	153	19.0	19.0	17.5	11.8	13.7	29.4	12.4	15.7	12.4	5.2	
高知県	111	10.8	29.7	17.1	9.9	14.4	14.4	22.5	15.3	0.9	1.8	
愛媛県	128	21.1	19.5	21.9	9.4	22.7	22.7	20.3	22.7	7.0	7.8	
香川県	110	16.4	34.5	19.1	6.4	11.8	25.5	24.5	28.2	3.6	0.9	
徳島県	129	20.9	19.4	14.0	9.3	20.2	32.6	27.1	24.0	5.4	3.1	
大分県	130	14.6	21.5	18.5	6.2	27.7	27.7	24.6	22.3	2.3	3.8	
宮崎県	76	24.0	16.7	10.4	2.1	11.5	19.8	31.3	25.0	5.2	11.5	
鹿児島県	114	18.4	12.3	16.7	7.9	13.2	20.2	22.8	27.2	5.3	14.0	
沖縄県	112	17.0	17.0	12.5	8.0	14.3	30.4	15.2	23.2	19.6	1.8	
性別	56	5.4	7.1	5.4	7.1	5.4	8.9	8.9	10.7	28.6	32.1	
年齢別	531	17.7	23.7	9.8	2.6	15.8	28.2	21.5	20.9	8.3	8.3	
男女別	678	17.1	17.3	21.5	12.8	16.8	20.9	21.1	22.5	7.9	5.4	
年代別	20代	153	21.6	43.8	7.8	2.6	5.2	47.1	15.0	16.3	3.9	2.6
男	30代	123	19.5	21.1	6.5	2.4	16.3	25.2	17.9	26.8	9.8	10.6
女	40代	106	17.0	18.9	11.3	1.9	15.1	17.0	22.6	20.8	12.3	12.3
男	50代	48	19.1	10.3	13.2	1.5	22.1	26.5	36.8	30.9	1.5	4.4
女	60代以上	81	7.4	7.4	13.6	4.9	30.9	13.6	24.7	12.3	14.8	13.6
男	20代	142	21.1	31.7	11.3	12.7	6.3	32.4	16.9	21.8	6.3	3.5
女	30代	134	13.4	21.6	17.2	9.7	15.7	27.6	20.1	32.1	8.2	2.2
女	40代	106	24.5	16.0	24.5	16.0	11.3	16.0	21.7	20.8	8.5	5.7
女	50代	101	17.8	9.9	26.7	12.9	14.9	14.9	25.7	20.8	8.9	6.9
女	60代以上	125	9.6	3.2	31.2	13.6	36.0	9.6	22.6	16.0	8.0	9.6
職業別	自営業・事業主	167	17.4	12.6	16.2	4.2	20.4	19.2	25.7	19.2	12.0	9.6
管理職・自由業	99	14.6	14.6	16.9	7.9	22.5	22.5	24.7	19.1	9.0	6.7	
事務職・技術職	302	18.9	29.1	10.3	5.3	8.9	29.1	18.5	25.2	7.0	7.9	
労務職・サービス職	177	12.1	20.6	14.0	7.5	20.6	29.0	18.7	18.7	12.1	5.6	
主婦	268	16.8	16.8	24.6	13.8	17.9	20.9	20.1	23.1	6.7	3.7	
学生	61	34.4	49.2	11.5	3.3	1.6	45.9	9.8	13.1	0.0	0.0	
無職	117	9.4	5.1	18.6	11.1	25.6	9.4	26.5	24.8	10.3	11.1	
その他	78	32.1	21.4	0.0	7.1	14.3	39.3	35.7	14.3	0.0	7.1	
家族別	1人	208	21.6	20.9	14.9	5.3	9.1	31.3	20.2	17.3	7.2	5.3
2人	171	17.5	17.0	18.1	11.1	15.8	21.1	22.2	18.1	11.1	7.0	
3人	220	20.0	18.6	12.7	7.3	16.8	22.7	24.1	25.0	9.1	6.4	
4人	291	15.5	19.6	16.2	8.2	16.8	24.4	20.6	27.1	6.2	6.5	
5人	143	14.0	20.3	18.2	7.7	17.5	28.0	23.1	19.6	6.3	6.3	
6人以上	99	13.1	17.2	20.2	11.1	29.3	13.1	16.2	19.2	11.1	9.1	
N	7	14.3	28.6	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	
ライフスタイル別	未婚	316	21.5	35.1	11.4	5.1	7.0	37.3	16.8	21.5	7.0	2.8
前婚期	69	21.7	23.2	15.9	10.1	10.1	34.8	18.8	24.6	5.8	2.9	
家庭形成期	107	21.5	26.2	9.3	15.0	8.4	29.9	14.0	24.3	7.5	5.6	
家庭成長期B	170	12.4	20.0	14.1	4.7	21.8	20.6	23.5	25.9	10.6	8.2	
家庭成長期C	113	22.1	13.3	18.6	9.7	15.0	20.4	30.1	22.1	4.4	6.2	
家庭成熟期	120	15.0	8.3	24.2	9.2	23.3	15.0	19.2	25.0	8.3	10.0	
老年前期(A)	76	7.9	5.3	25.0	11.8	36.8	13.2	26.3	17.1	6.6	7.9	
老年前期(B)	61	16.4	4.9	21.3	8.2	31.1	6.6	29.5	8.2	19.7	6.6	
老年前期(C)	36	19.4	2.8	25.0	11.1	27.8	8.3	27.8	22.2	2.8	8.3	
その他	48	8.3	12.5	20.8	8.3	14.6	16.7	27.1	12.5	8.3	14.6	
N	23	4.3	13.0	4.3	8.7	8.7	13.0	26.1	13.0	30.4		
住居形態別	一戸建持家	522	16.3	18.2	17.2	9.6	22.4	19.2	20.5	22.4	8.4	6.9
一戸建借家	42	14.3	11.9	26.6	11.9	14.3	23.8	28.6	19.0	4.8	4.8	
民間木造アパート	188	17.0	18.6	14.4	6.9	11.2	30.3	22.3	14.9	12.8	7.4	
鉄筋アパートマンション	251	21.5	21.5	14.3	7.6	11.2	25.1	24.3	24.3	5.2	4.8	
社宅・官舎	58	13.8	27.6	12.1	3.4	10.3	36.2	17.2	25.9	6.9	10.3	
寮・借付住込み	69	17.4	34.8	14.5	2.9	10.1	34.8	14.5	26.1	5.8	8.7	
その他	9	11.1	22.2	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	11.1	11.1	11.1	
居住年数別	戦前から	97	16.5	12.4	15.5	11.3	33.0	16.5	19.6	18.6	4.1	13.4
終戦～昭和30年	246	15.0	15.0	20.7	8.3	21.1	19.2	18.0	23.3	9.8	6.0	
昭和31年～40年	162	22.2	19.1	17.9	6.2	16.7	22.2	25.3	20.4	8.6	4.3	
昭和41年～45年	128	17.2	15.6	16.8	8.6	12.5	29.7	23.4	24.2	5.5	7.0	
昭和46年～50年	136	11.7	21.9	12.8	9.2	18.4	24.0	23.0	24.5	8.7	6.1	
昭和51年～55年	245	20.0	28.6	12.7	6.1	6.1	31.4	20.8	19.6	8.2	7.8	
56年以降	45	26.7	33.3	8.9	11.1	8.9	26.7	17.8	17.8	8.9	2.2	

Q34. 現在、あなたが区に対して最も力を入れてほしいと思う事業はなんですか。次の中から、第1位、第2位、第3位と順位をつけて3つ以内で選んでください。[回答票10提示] (3A)

第1位

回答項目 フェース	N	道路の整備	公園・児童遊園の整備	緑化対策	環境衛生	学校教育施設の整備	区の整備のための施設	老人福祉	心身障害者(児)	低所得層や母子世帯福祉	青少年の健全育成	中小企業対策	消費者保護対策	震災対策	
総 地域	数別	1139	7.1	7.6	8.3	9.5	3.5	4.6	8.7	1.8	2.3	1.8	1.8	2.8	10.5
四 箇 枝	谷 町 町 保 塚	153	5.9	7.2	5.9	11.1	2.0	8.5	10.5	2.6	4.6	0.7	1.3	2.0	11.1
大 戸 落 柴 柏	111	8.1	6.3	10.8	6.3	7.2	9.9	0.9	1.8	0.9	1.8	0.8	1.8	6.3	9.9
松 久 角 苦	128	7.0	10.2	10.2	3.9	7.0	1.6	10.2	0.8	0.8	1.6	0.8	0.8	3.1	12.5
大 戸 落 柏	110	4.5	6.4	16.4	19.1	1.8	8.2	8.2	0.9	1.8	1.8	0.9	6.4	6.4	6.4
松 久 角 苦	129	3.9	3.5	10.1	10.1	3.9	4.7	9.3	3.9	2.3	3.9	3.9	3.9	1.6	7.8
松 久 角 苦	130	5.4	9.2	9.2	7.7	4.6	1.5	9.2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	0.8	12.3
松 久 角 苦	96	8.3	7.3	5.2	8.3	2.1	3.1	6.3	2.1	2.1	1.0	2.1	0.0	0.0	12.5
松 久 角 苦	114	12.3	2.6	2.6	10.5	0.9	2.6	8.8	2.6	3.5	0.0	3.5	5.3	5.3	18.4
松 久 角 苦	112	11.6	5.9	8.0	5.4	2.7	3.6	3.6	0.0	1.8	5.4	1.8	1.8	8.0	8.0
松 久 角 苦	56	3.6	8.9	1.8	7.1	3.6	3.6	10.7	3.6	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
性 別	男 性	531	7.9	7.7	8.9	8.7	3.2	6.2	6.8	2.4	2.3	2.1	3.2	2.1	9.6
性 別	女 性	608	6.4	7.4	7.9	10.2	3.8	3.1	10.4	1.3	2.3	1.5	0.7	3.5	11.3
年 齢	20代	153	5.9	9.2	8.5	9.2	1.3	9.2	5.9	2.6	2.0	1.3	3.3	3.3	7.8
年 齢	30代	123	6.5	4.9	9.8	7.3	0.0	4.9	2.4	2.4	2.4	2.4	4.1	0.8	5.7
年 齢	40代	106	6.6	8.5	7.5	5.7	10.4	5.7	7.5	2.8	2.8	1.9	2.8	1.9	11.3
年 齢	50代	68	8.8	2.9	14.7	11.8	4.4	7.4	5.9	1.5	1.5	4.4	1.5	4.4	13.2
年 齢	60代 以上	81	14.8	6.2	4.9	11.1	1.2	2.5	14.8	2.5	2.5	1.2	3.7	0.0	13.6
年 齢	20代	142	4.9	10.6	9.2	2.1	3.5	1.4	0.7	2.8	2.8	0.6	3.5	11.3	11.3
年 齢	30代	134	4.5	12.7	10.4	11.2	4.5	5.2	6.0	1.5	2.2	0.0	0.7	1.5	12.7
年 齢	40代	176	10.4	3.8	4.7	13.2	6.6	3.8	9.4	0.9	3.8	0.9	0.9	4.7	11.3
年 齢	50代	121	8.9	2.0	8.9	10.9	3.0	1.0	10.9	2.0	1.0	2.0	2.0	5.9	9.9
年 齢	60代 以上	125	4.8	5.6	5.6	7.2	3.2	1.6	25.6	1.6	1.6	1.6	0.0	2.4	11.2
職 業	自 動 車・事業主	167	13.2	6.0	5.4	7.2	2.4	7.2	5.4	3.0	1.8	1.2	5.4	3.6	10.8
職 業	管 理 職・自由業	89	6.7	4.5	13.5	11.2	7.9	2.2	6.7	0.0	1.1	2.2	1.1	1.1	11.2
職 業	事 務 職・技術職	302	4.6	6.3	8.6	10.6	3.3	7.3	5.3	0.7	3.6	3.0	1.7	3.0	9.6
職 業	労務職・サービス職	107	4.7	15.0	8.4	4.7	1.9	1.9	8.4	4.7	3.7	0.0	1.9	3.7	12.1
職 業	婦 生 無 職	268	6.7	7.8	8.6	10.8	4.5	3.7	9.0	1.5	1.1	1.5	0.4	4.1	10.8
職 業	学 生	61	11.5	9.8	11.5	9.8	0.0	3.3	4.9	1.6	1.6	0.0	1.6	1.6	11.5
職 業	其 他	117	6.0	6.8	5.1	8.5	2.6	0.0	24.8	2.6	2.6	2.6	1.7	0.0	8.5
家 族 人 数	1 人	28	7.1	10.7	14.3	7.1	7.1	10.7	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
家 族 人 数	2 人	208	3.4	7.2	7.7	11.5	1.4	6.7	9.1	1.4	3.8	1.4	2.4	2.9	10.6
家 族 人 数	3 人	171	4.1	7.6	9.4	7.0	6.2	2.3	13.5	1.8	2.9	2.3	1.8	4.5	11.1
家 族 人 数	4 人	220	10.5	5.9	9.5	11.4	4.1	3.6	5.5	1.8	1.4	3.2	1.4	4.5	10.0
家 族 人 数	5 人	291	7.6	7.9	6.9	11.0	4.5	5.2	8.2	1.7	2.1	1.0	1.4	2.1	10.0
家 族 人 数	6 人	143	8.4	9.8	12.6	4.2	5.6	4.9	9.1	1.4	0.7	1.4	1.4	3.5	12.6
家 族 人 数	N 人 以 上	99	10.1	6.1	4.0	9.1	5.1	4.0	7.1	3.0	3.0	1.0	4.0	2.0	10.1
家 族 人 数	7	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生 活 方 式	前 期	316	6.6	8.9	9.2	1.3	7.6	6.3	2.2	3.2	1.9	2.8	2.5	2.5	10.1
生 活 方 式	形 成 期	69	1.4	11.6	7.2	7.2	1.4	2.9	2.9	0.0	4.3	1.4	0.0	1.4	10.1
生 活 方 式	家 族 成 長 期(A)	107	5.6	13.1	7.5	8.4	2.8	4.7	1.9	1.9	0.9	2.8	6.7	6.5	
生 活 方 式	家 族 成 長 期(B)	170	5.9	11.2	11.2	8.8	9.4	4.1	4.7	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	10.6
生 活 方 式	家 族 成 長 期(C)	113	13.3	2.7	8.8	10.6	7.1	5.3	6.2	1.8	0.9	4.4	0.9	4.4	14.2
生 活 方 式	家 族 成 熟 期(A)	120	7.5	4.2	8.3	10.8	2.5	0.0	13.3	1.7	1.7	1.7	0.8	5.8	12.5
生 活 方 式	老 老 年 期(B)	76	11.8	7.9	5.3	10.5	5.3	0.0	10.5	1.3	3.9	1.3	3.9	2.6	10.5
生 活 方 式	老 老 年 期(C)	61	9.8	4.9	8.2	6.6	1.6	3.3	19.7	3.3	0.0	1.6	3.3	1.6	9.8
生 活 方 式	老 老 年 期(D)	36	8.3	2.8	2.8	16.7	0.0	5.6	25.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	13.9
生 活 方 式	其 他	48	0.0	2.1	8.3	12.5	0.0	6.3	16.7	2.1	2.1	2.1	0.0	6.3	10.4
住 居 形 態	A	23	4.3	8.7	4.3	0.0	4.3	17.4	4.3	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3
住 居 形 態	別 家	522	10.3	5.6	7.5	9.0	3.1	4.4	9.6	1.9	2.1	1.3	2.3	2.7	11.3
住 居 形 態	一 戸 建 借 家	42	4.8	9.5	4.8	9.5	9.5	9.5	2.4	0.0	2.4	0.0	2.4	2.4	7.1
住 居 形 態	民 间 木 造 ア ベ ト	138	3.7	8.5	6.9	9.6	3.2	7.4	8.5	1.6	2.7	3.2	2.1	3.2	12.2
住 居 形 態	铁筋アーハウス	251	5.6	9.6	11.6	9.6	4.4	2.8	7.2	1.6	2.0	1.2	0.8	3.2	8.0
住 居 形 態	社 宅・官 舎	58	1.7	10.3	12.1	12.1	5.2	5.2	1.7	0.0	1.7	3.4	1.7	1.7	13.8
住 居 形 態	寮・間借り・住込み	69	4.3	8.7	4.3	11.6	0.0	1.4	11.6	2.9	4.3	1.4	2.9	1.4	10.1
住 居 形 態	そ の 他	9	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
住 住 年 数 別	戦 前 か ら	97	12.4	4.1	3.1	10.3	3.1	4.1	15.5	3.1	4.1	2.1	0.0	2.1	8.2
住 住 年 数 別	終戦～昭和30年	266	7.5	5.6	7.5	7.1	3.8	4.1	13.9	2.3	3.0	1.9	2.6	3.4	9.8
住 住 年 数 別	昭和31年～40年	162	13.0	6.2	7.4	10.5	3.1	8.0	7.4	1.2	0.6	2.5	2.5	2.5	13.6
住 住 年 数 別	昭和41年～45年	128	4.7	6.3	7.8	15.6	8.6	6.3	7.8	2.3	0.0	1.6	0.8	1.6	10.2
住 住 年 数 別	昭和46年～50年	196	6.1	8.7	10.2	8.7	4.6	5.1	5.1	1.5	2.6	2.0	0.5	3.6	10.7
住 住 年 数 別	昭和51年～53年	245	3.7	9.8	10.2	8.2	0.8	1.2	5.7	1.2	2.9	2.0	3.3	2.4	10.6
住 住 年 数 別	54 年 以 降	45	2.2	17.8	11.1	11.1	0.0	6.7	2.2	2.2	2.2	2.2	0.0	4.4	8.9

回答項目	フェース		水害対策	公害対策	区民の健康管理	食品衛生	社会活動の推進会体	幼児・児童の保育	交通安全対策	風紀の取り締まり	その他	特にない
	数別	種別										
総 地 域	2.5	3.2	0.8	1.1	2.8	1.9	2.7	4.0	0.6	9.9		
四 節 標	0.0	0.7	0.7	1.3	0.7	0.0	2.0	2.6	0.7	18.3		
大 戸 落	0.0	6.3	0.0	0.0	1.8	0.0	3.6	7.2	0.0	0.0		
木 棚	2.3	2.3	0.8	1.6	3.9	1.6	3.9	1.6	0.0	12.5		
松 久	0.0	0.9	0.9	2.7	3.6	0.9	2.7	2.7	0.9	1.8		
保 塚	1.6	3.9	0.8	0.8	3.9	3.1	2.3	7.0	0.0	3.1		
合 合	10.0	4.6	0.0	2.3	0.8	0.0	3.8	6.9	0.0	5.4		
木 木	5.2	6.3	1.0	0.0	0.0	4.2	2.1	2.1	0.0	18.8		
柏 梓	2.6	1.8	2.6	0.9	0.0	6.1	1.8	2.6	1.8	6.1		
角 等	1.8	4.5	0.9	0.0	9.8	1.8	2.7	1.8	1.8	12.5		
性 別	1.8	1.8	0.0	0.0	5.4	3.6	1.8	7.1	1.8	30.4		
年 齢	2.1	3.4	0.8	0.9	2.3	2.3	3.0	4.0	0.8	9.6		
性 別 年 齢	3.0	3.1	0.8	1.2	3.3	1.6	2.5	4.1	0.5	10.2		
職 業	2.0	5.9	0.0	0.7	2.6	2.6	3.3	3.9	0.7	7.8		
男 男 男 男 男	2.4	2.4	0.0	0.8	2.4	6.5	5.7	0.8	14.6			
女 女 女 女 女	1.9	2.8	0.9	1.9	3.8	0.0	1.9	0.9	0.9	9.4		
60 代 以 上	1.5	4.4	2.9	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	1.5			
60 代 以 下	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0	0.0	1.2	2.5	1.2	12.3		
職 業 別	3.5	2.1	1.4	0.0	7.0	4.2	4.9	3.5	0.0	11.3		
自 営 業	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	1.5	3.0	0.7	8.2		
事 務 業	3.3	3.6	0.3	1.0	3.6	3.3	3.0	2.6	0.7	10.9		
勞 務 業	0.9	3.7	0.0	0.9	2.8	3.7	1.9	4.7	0.0	10.3		
主 学 無	2.2	4.1	1.9	1.9	2.6	1.1	1.9	5.6	0.4	7.8		
そ の 他	3.3	4.9	0.0	0.0	6.6	0.0	4.9	1.6	0.0	9.8		
家 族 の 人 数	0.9	0.0	0.9	1.7	3.4	1.7	4.3	4.3	0.0	1.0	8.9	
1 人 以 上	1.9	3.8	0.0	1.0	2.4	1.9	1.9	3.8	1.0	12.5		
N	2.3	2.9	1.8	1.2	1.8	1.2	4.1	7.6	1.2	9.9		
生 活 ライフステージ	3.6	2.7	0.5	0.9	2.3	3.2	2.7	1.4	0.5	9.5		
婚 前	2.7	4.1	1.4	1.7	4.8	0.3	3.8	3.8	0.3	7.6		
族 形 成	7.2	4.3	0.0	1.4	2.9	2.9	7.2	8.7	1.4	11.6		
族 成 長 期(A)	4.7	0.9	1.9	0.9	5.6	7.5	4.7	0.9	0.9	6.5		
族 成 長 期(B)	2.4	4.1	1.2	1.8	2.4	2.4	2.9	2.4	0.0	9.4		
族 成 長 期(C)	0.9	5.3	2.7	1.8	0.0	0.0	0.0	6.2	0.9	3.5		
族 成 熟 期	3.3	4.2	0.0	0.8	4.2	0.0	0.8	3.3	0.8	11.7		
老 老 年 期 (A)	2.6	0.0	0.0	1.3	3.9	1.3	5.3	3.9	0.0	6.6		
老 老 年 期 (B)	1.6	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0	3.3	8.2	0.0	8.2		
老 老 年 期 (C)	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	2.8	11.1		
そ の 他 A	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	6.3	2.1	18.8		
住 所 居 住 年 数 別	0.0	8.7	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0	21.7		
一 戸 建 特 別	2.1	3.1	0.8	0.8	2.9	1.1	2.3	3.6	0.8	11.5		
一 戸 建 借 家	2.4	7.1	4.8	0.0	4.8	2.4	4.8	2.4	0.0	0.0		
民 用 木 造 アパート	2.1	3.7	0.0	0.5	2.1	3.7	2.1	3.2	0.5	9.0		
鉄筋アパート・マンション	4.0	2.8	0.8	2.4	2.4	2.0	3.2	6.0	0.4	8.8		
社 宅 ・ 官 舎	3.4	0.0	1.7	0.0	3.4	5.2	6.9	3.4	1.7	3.4		
寮・間借り・住込み	1.4	5.8	0.0	1.4	4.3	0.0	1.4	4.3	0.0	15.9		
そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1		
居 住 年 数 別	3.1	3.1	0.0	1.0	2.1	1.0	1.0	3.1	1.0	12.4		
戦 前 か ら	1.9	3.4	0.4	0.4	3.0	0.8	1.9	3.0	0.4	12.4		
終 戦～昭和30年	1.9	2.5	0.6	0.6	3.1	0.0	3.1	2.5	0.0	9.3		
昭和31年～40年	1.9	2.3	0.8	1.6	3.1	2.3	1.6	5.5	1.6	6.3		
昭和41年～45年	1.6	2.3	0.8	1.6	4.1	1.5	4.1	5.1	0.5	5.6		
昭和46年～50年	3.1	3.6	2.0	2.0	1.5	1.5	4.1	5.7	0.8	10.6		
昭和51年～53年	3.7	4.5	0.8	0.8	3.3	4.9	2.9	5.7	0.0	13.3		
54 年 以 降	2.2	0.0	0.0	0.0	4.4	2.2	6.7	0.0	0.0			

第2位

回答項目 フェース	N	道路の整備	公園・児童遊園の整備	緑化対策	環境衛生	学校教育施設の整備	備蓄の整備	区民のための施設	老人福祉	心身障害者(児)	低所得層や母子世帯福祉	対策少年の健全育成	中小企業対策	消費者保護対策	震災対策
総 地	1139	3.0	7.0	6.2	8.0	4.0	3.0	5.5	3.9	3.6	3.2	2.2	4.4	10.1	
四 箇 模	153	1.3	3.9	4.6	9.8	2.0	2.6	4.6	4.6	9.8	2.6	2.6	7.2	10.5	
大 戸 落	111	1.8	8.1	17.1	12.6	5.4	1.8	13.5	4.5	0.0	5.4	6.0	4.5	11.7	
柏 合	128	3.1	6.3	6.3	10.2	4.7	2.3	2.3	4.7	2.3	1.6	3.9	3.1	10.9	
角 善	110	2.7	7.3	12.7	7.3	0.9	1.8	9.1	9.1	0.9	0.9	4.5	7.3	9.1	
所 別	129	4.7	5.5	10.9	0.8	9.3	1.6	5.4	4.7	2.3	2.3	2.3	3.9	9.3	
性 别	130	2.3	9.2	10.0	10.0	5.4	6.9	3.8	0.0	3.1	4.6	1.5	3.8	10.8	
男 性	96	3.1	11.5	3.1	8.3	4.2	2.1	5.2	4.2	1.0	1.0	0.0	3.1	4.2	
女 性	114	2.6	4.6	3.5	7.9	1.8	2.6	3.5	4.4	8.8	3.5	4.4	4.4	14.9	
年 齢	112	5.4	7.1	8.9	5.4	3.6	2.7	6.3	0.0	3.6	3.6	0.0	2.7	12.5	
20 歳	56	3.6	3.6	1.8	7.1	1.8	7.1	0.0	1.8	0.0	8.9	1.8	1.8	1.8	
20 歳 以 上	531	3.2	4.5	9.2	7.0	3.4	3.2	4.9	3.4	3.4	3.4	1.9	4.0	10.9	
20 歳 以 下	608	2.8	5.8	7.2	8.9	4.6	2.8	6.1	4.3	3.8	3.0	2.5	4.8	9.4	
職 業	153	2.0	9.8	11.5	3.9	3.9	4.6	4.6	5.2	2.0	5.2	1.3	2.6	11.1	
自 営 業	30	3.3	8.1	8.1	4.9	5.7	3.3	4.9	3.3	4.1	0.8	2.4	4.9	9.8	
管 理 業	106	5.7	8.5	7.5	9.4	1.9	2.8	0.9	2.8	3.8	5.7	1.9	4.7	9.4	
事 務 業	58	4.4	10.3	11.3	8.8	2.9	2.9	4.4	0.0	4.4	1.5	2.9	5.9	16.2	
勞 務 業	41	1.2	4.9	6.2	11.1	1.2	1.2	11.1	3.7	3.7	2.5	1.2	2.5	9.9	
20 歳 以 上	142	6.3	7.0	7.0	9.9	4.2	2.8	4.9	4.9	2.1	4.9	1.4	3.5	6.3	
20 歳 以 下	134	1.5	7.5	6.7	5.2	11.9	3.7	4.5	3.0	4.5	1.5	3.0	7.5	9.0	
30 歳 以 上	106	2.6	2.8	9.4	10.4	1.9	1.9	1.9	5.7	4.7	3.8	2.8	5.7	7.5	
30 歳 以 下	101	2.0	5.0	5.9	9.9	3.0	3.0	11.9	5.0	4.0	2.0	3.0	14.9		
40 歳 以 上	125	0.8	5.6	7.2	9.6	0.8	2.4	8.0	3.2	4.0	2.4	3.2	4.0	10.4	
40 歳 以 下	28	3.6	10.7	14.3	0.0	3.6	3.6	7.1	7.1	3.6	3.6	0.0	0.0	7.1	
家 族 の 数	298	2.9	7.7	10.1	5.8	3.8	2.4	4.3	5.3	3.8	4.8	2.4	3.4	3.6	
1 人	171	2.9	4.1	5.3	11.1	1.2	2.3	4.7	4.7	6.4	2.3	2.9	4.7	9.4	
2 人	220	2.7	8.2	7.7	7.7	5.5	3.6	6.8	3.6	2.3	3.2	0.9	4.1	12.7	
3 人	291	2.7	7.9	8.6	5.8	5.5	3.4	5.8	4.8	2.7	2.4	0.7	5.8	13.7	
4 人	143	1.4	8.4	9.1	9.1	3.5	1.4	6.3	1.4	1.4	4.2	5.6	4.9	7.0	
5 人	99	5.1	4.0	7.1	13.1	3.0	5.1	4.0	1.0	6.1	2.0	2.0	2.0	13.1	
6 人 以 上	7	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	
N A	316	4.1	8.5	10.1	7.6	2.8	4.1	4.4	5.7	2.2	4.7	2.2	3.2	7.9	
前 期	69	2.9	8.7	8.7	8.7	1.4	0.0	4.3	4.3	8.7	1.4	4.3	5.8	5.8	
家 族 形 成 期	127	1.9	14.0	10.3	3.7	11.2	5.6	7.5	0.0	3.7	0.0	2.8	5.6	9.3	
(A) 長 期	170	3.5	7.1	5.3	6.5	9.4	1.2	1.8	4.1	2.9	2.9	0.6	5.9	11.2	
(B) 長 期	113	3.5	3.5	12.4	8.8	1.8	3.5	5.3	4.4	4.4	0.0	5.3	14.2		
(C) 成 熟 期	120	1.7	5.0	5.0	9.2	1.7	4.2	6.7	3.3	2.5	1.7	2.5	5.0	14.2	
老 老 年 期 (A)	76	1.3	6.6	6.6	15.8	1.3	1.3	14.5	2.6	3.9	0.0	3.9	2.6	13.2	
老 老 年 期 (B)	61	3.3	3.3	1.6	11.5	1.6	3.3	4.9	6.6	6.6	6.6	4.9	6.6	6.6	
老 老 年 期 (C)	36	0.0	8.3	13.9	8.3	2.8	0.0	11.1	2.8	2.8	2.8	2.6	0.0	0.0	
そ の 他	48	2.1	6.3	6.3	2.1	2.1	0.0	4.0	0.0	4.2	2.1	2.1	2.1	16.7	
N A	23	4.3	4.3	8.7	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	4.3	8.7	0.0	8.7	8.7	
住 居 形 態 別	522	1.9	5.7	8.0	9.0	3.3	3.1	5.6	3.4	3.8	2.3	2.3	4.6	11.1	
一 戸 建 特 家	42	4.8	4.8	7.1	7.1	2.4	0.0	7.1	4.8	4.8	7.1	0.0	0.0	19.0	
民 間 木 造 ア ペ ト	188	4.3	8.5	8.5	3.7	4.8	2.7	4.8	4.3	2.1	6.4	3.2	4.8	10.1	
鉄筋 ア ペ ト マ シ ョ ン	251	3.2	6.8	8.4	11.6	3.6	3.6	5.6	4.0	4.8	2.0	2.8	4.0	9.2	
社 宅 ・ 官 舎	58	8.6	15.5	5.2	5.2	8.6	3.4	5.2	3.4	1.7	0.0	0.0	6.9	8.6	
寮・借宿・住込み	69	1.4	7.2	10.1	1.4	7.2	2.9	5.8	5.8	1.4	5.8	0.0	4.3	1.4	
そ の 他	9	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	
居 住 年 数 別	97	2.1	2.1	10.3	9.3	0.0	2.1	8.2	2.1	6.2	2.1	0.0	5.2	9.3	
戦 前 か ら	246	0.0	5.8	8.3	10.5	1.9	3.4	5.3	2.6	3.4	1.9	4.5	3.4	12.0	
終 戦～昭和30年	152	3.1	5.6	7.4	5.6	1.9	2.5	6.2	4.9	3.1	5.6	2.5	5.6	11.7	
昭和31年～40年	128	3.9	8.6	8.6	9.4	4.7	3.9	4.7	5.5	3.9	6.3	4.7	5.5	4.7	
昭和41年～45年	196	5.1	6.1	3.1	6.1	5.6	4.1	4.6	5.1	4.6	2.6	0.5	5.1	14.3	
昭和46年～50年	245	4.1	9.4	11.0	6.9	8.2	2.0	6.1	4.1	2.9	1.6	0.8	3.3	6.9	
昭和51年～53年	45	4.4	11.1	11.1	8.9	2.2	2.2	2.2	0.0	0.0	6.7	0.0	4.4	8.9	
54 年 以 降															

回答項目		水害対策	公害対策	区民の健康管理	食品衛生	社会活動の推進会体	幼児対策 児童の保育	交通安全対策	風紀の取り締まり	その他
フェース										
総 地	数	1.5	4.7	1.9	1.4	1.8	1.5	4.2	4.0	0.2
域	別									
四 舟	町 町	0.7	5.2	2.0	1.3	0.7	0.0	1.3	2.0	0.0
第 橋	町 町	4.9	6.3	1.8	0.9	0.0	0.9	1.8	0.9	0.0
後 若	松 久	2.3	3.9	2.3	0.6	2.3	2.3	5.5	3.9	0.0
大 戸	保 塚	0.0	2.7	0.9	2.7	1.8	2.7	5.5	5.5	0.0
落 落	合 合	4.6	3.8	1.5	0.8	1.5	0.8	4.6	3.8	0.8
柏 角	木 木	2.1	9.4	4.2	0.0	0.0	2.1	7.3	5.2	0.0
角 苦	柏 柏	0.0	1.8	1.8	3.5	2.6	3.5	7.9	4.4	0.0
性 性	角 角	0.8	4.5	0.0	1.8	2.7	0.9	0.0	3.6	0.9
性 性	角 角	0.0	1.8	0.0	0.0	5.4	0.0	1.8	5.4	0.0
年 年	代 代	2.6	4.5	2.1	0.4	2.3	1.1	4.7	4.1	0.2
性 性	代 代	6.5	4.8	1.8	2.3	1.5	1.8	3.8	3.9	0.2
男 男	20 代	3.3	3.3	2.6	0.0	2.0	0.7	7.2	4.6	0.0
男 男	30 代	3.8	4.1	1.6	0.0	3.3	3.3	3.3	3.3	0.0
男 男	40 代	1.9	6.6	1.9	0.9	2.8	0.0	2.8	4.7	0.9
男 男	50 代	2.9	5.9	0.0	1.5	0.0	1.5	4.4	5.9	0.0
男 男	60 代 以	4.9	3.7	3.7	0.0	2.5	0.0	4.9	2.5	0.0
女 女	20 代	0.0	7.0	0.7	2.1	2.1	3.5	2.8	4.2	0.0
女 女	30 代	0.0	5.2	1.5	2.2	2.2	3.7	3.0	3.0	0.0
女 女	40 代	1.9	5.7	2.8	2.5	0.9	0.0	3.8	6.6	0.9
女 女	50 代	2.0	3.0	1.0	2.0	0.0	1.0	5.0	2.0	0.0
女 女	60 代 以	0.8	2.4	3.2	2.4	1.6	0.0	4.8	4.0	0.0
職 業	別									
自 営	業 主	1.2	4.8	1.8	1.8	1.2	1.2	3.0	3.0	0.0
管 理	事 由	3.4	5.6	3.4	0.0	1.1	1.1	3.4	4.5	0.0
事 務	職 力	2.0	4.3	1.3	0.0	2.3	1.3	5.3	6.0	0.3
労 働	職 務	0.9	3.7	0.9	1.9	3.7	2.8	6.5	3.7	0.0
主 学	婦 生	1.1	4.5	2.2	3.7	1.5	2.6	3.7	3.0	0.4
無 そ	職 他	0.0	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	3.3	6.6	0.0
そ の う	の う	0.9	3.4	2.6	0.9	2.6	0.0	4.3	2.6	0.0
家 族 人 数	別									
1 人	別 別	1.4	4.8	2.9	0.0	2.4	0.5	4.3	6.3	0.0
2 人	別 別	0.6	5.8	2.3	1.2	0.6	1.8	6.4	3.5	0.0
3 人	別 別	0.9	4.5	1.8	1.4	1.4	3.6	1.8	3.6	0.0
4 人	別 別	2.4	4.5	1.4	2.1	1.0	1.0	4.5	3.4	0.7
5 人	別 別	2.8	5.6	1.4	2.8	3.5	0.7	5.6	3.5	0.0
6 人 以	上 A	0.0	2.0	2.0	1.0	4.0	1.0	3.0	4.0	0.0
N	上 A	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ライ フ ス テ ー	前 A	2.2	3.8	2.2	0.3	2.2	0.3	4.1	4.7	0.0
婚 家	成 形 期	0.0	7.2	1.4	1.4	1.4	4.3	4.3	5.8	0.0
家 族	成 長 期(A)	0.0	0.9	0.9	1.9	1.9	9.3	0.9	0.0	0.0
家 族	成 長 期(B)	1.2	7.1	2.4	2.4	2.4	0.6	4.1	4.7	0.6
家 族	成 長 期(C)	1.8	10.6	0.0	0.9	1.8	0.0	4.4	1.8	0.9
家 族	成 熟 期(A)	3.3	2.5	0.8	3.3	0.0	1.7	4.2	7.5	0.0
老 老	年 年 期(A)	1.3	2.6	1.3	1.3	3.9	0.0	6.6	1.3	0.0
老 老	年 年 期(B)	0.0	3.3	4.9	0.0	0.0	0.0	4.9	3.3	0.0
老 老	年 年 期(C)	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	8.3	5.6	0.0
老 老	そ の う	0.0	4.2	6.3	2.1	2.1	0.0	6.3	6.3	0.0
N	A	4.3	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
住 居 形 態 別										
一 戸	建 持 家	2.5	4.2	2.3	2.3	2.1	0.4	4.4	3.4	0.2
一 戸	借 家	0.0	7.1	0.0	2.4	4.8	2.4	7.1	4.8	0.0
民 間	木 造 ア パ ト	0.5	4.8	2.1	0.0	2.1	1.6	3.2	4.8	0.0
鉄 設	ア バ ト マ ン ジ ン	0.0	4.8	1.2	0.8	0.8	3.2	3.6	4.0	0.4
社 宅	・ 官 舎	0.0	10.3	1.7	1.7	0.0	1.7	3.4	5.2	0.0
察	・ 間 借	4.3	1.4	1.4	0.0	2.9	2.9	7.2	5.8	0.0
そ の う	の う	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居 住 年 数 別										
戦 前	か ら	4.1	6.2	4.1	2.1	3.1	0.0	4.1	3.1	0.0
終 戦	～ 昭 和 30 年	3.0	2.0	1.5	1.5	2.3	0.4	4.1	4.1	0.0
昭 和 31 年 ～ 40 年	1.2	3.7	3.7	3.1	1.9	0.0	4.3	3.7	0.6	0.0
昭 和 41 年 ～ 45 年	0.0	2.3	0.8	0.8	0.8	2.3	5.5	2.3	0.8	0.0
昭 和 46 年 ～ 50 年	0.0	6.6	1.5	1.5	2.6	3.1	5.6	5.1	0.0	0.0
昭 和 51 年 ～ 53 年	0.8	6.1	1.2	0.4	1.2	2.4	2.9	4.5	4.0	0.0
54 年 以 降	2.2	6.7	2.2	0.0	0.0	2.2	2.2	4.4	4.4	0.0

第3位

回答項目 フェース	N	道路の整備	公園・児童遊園の整備	緑化対策	環境衛生	学校教育施設の整備	区の民のための施設	老人福祉	心身障害者(児)	低所得層や母子世帯福祉	青少年の健全育成	中小企業対策	消費者保護対策	震災対策
総 地域	1139	3.2	5.7	6.1	6.0	2.5	3.3	5.5	1.6	2.5	2.7	3.2	4.9	5.9
四 軍 権 若 大 戸 落 柏 角 営 所 別 性 別 年 代 別 職 業 別 家 族 の 人 数 別	153 111 128 110 129 130 96 114 112 56	0.7 5.4 3.9 5.5 1.6 3.1 5.2 3.5 1.8 1.8	3.3 2.7 5.5 4.5 8.5 6.9 8.3 8.8 4.5 3.6	5.9 5.2 5.5 1.8 8.5 8.5 6.3 5.3 5.4 1.3	5.2 1.3 6.3 0.9 4.7 2.3 1.0 3.5 1.8 0.0	1.3 0.0 3.1 3.6 5.4 3.8 3.1 1.8 5.4 0.0	5.2 0.7 2.3 1.8 6.2 9.2 8.3 3.5 1.8 5.4	0.7 5.4 2.3 0.9 6.2 2.3 1.0 3.0 0.0 0.0	0.7 1.8 2.3 0.9 2.3 6.9 4.2 2.6 2.7 0.0	2.6 0.9 1.6 3.6 3.1 6.9 1.0 2.6 2.7 0.0	3.9 0.9 0.8 10.9 9.1 11.8	3.0 3.1 3.0 1.0 1.0 0.0 0.0 8.8 3.6 1.8	7.8 6.3 3.9 7.0 2.3 3.1 3.0 8.8 3.6 1.8	
男 男 女 女 年 代 別 職 業 別 家 族 の 人 数 別	531 608	3.6 2.3	5.1 6.3	6.4 5.9	5.5 6.4	2.6 2.5	4.0 2.8	5.1 5.9	1.7 1.5	2.4 2.5	3.4 2.1	4.1 2.5	4.9 4.9	5.5 6.3
20 30 40 50 60 70 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170 180 190 200 210 220 230 240 250 260 270 280 290 300 310 320 330 340 350 360 370 380 390 400 410 420 430 440 450 460 470 480 490 500 510 520 530 540 550 560 570 580 590 600 610 620 630 640 650 660 670 680 690 700 710 720 730 740 750 760 770 780 790 800 810 820 830 840 850 860 870 880 890 900 910 920 930 940 950 960 970 980 990 1000 1010 1020 1030 1040 1050 1060 1070 1080 1090 1100 1110 1120 1130 1140 1150 1160 1170 1180 1190 1200 1210 1220 1230 1240 1250 1260 1270 1280 1290 1300 1310 1320 1330 1340 1350 1360 1370 1380 1390 1400 1410 1420 1430 1440 1450 1460 1470 1480 1490 1500 1510 1520 1530 1540 1550 1560 1570 1580 1590 1600 1610 1620 1630 1640 1650 1660 1670 1680 1690 1700 1710 1720 1730 1740 1750 1760 1770 1780 1790 1800 1810 1820 1830 1840 1850 1860 1870 1880 1890 1900 1910 1920 1930 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020 2030 2040 2050 2060 2070 2080 2090 2100 2110 2120 2130 2140 2150 2160 2170 2180 2190 2200 2210 2220 2230 2240 2250 2260 2270 2280 2290 2300 2310 2320 2330 2340 2350 2360 2370 2380 2390 2400 2410 2420 2430 2440 2450 2460 2470 2480 2490 2500 2510 2520 2530 2540 2550 2560 2570 2580 2590 2600 2610 2620 2630 2640 2650 2660 2670 2680 2690 2700 2710 2720 2730 2740 2750 2760 2770 2780 2790 2700 2800 2810 2820 2830 2840 2850 2860 2870 2880 2890 2800 2900 2910 2920 2930 2940 2950 2960 2970 2980 2990 3000 3010 3020 3030 3040 3050 3060 3070 3080 3090 3000 3100 3110 3120 3130 3140 3150 3160 3170 3180 3190 3100 3200 3210 3220 3230 3240 3250 3260 3270 3280 3290 3200 3300 3310 3320 3330 3340 3350 3360 3370 3380 3390 3300 3400 3410 3420 3430 3440 3450 3460 3470 3480 3490 3400 3500 3510 3520 3530 3540 3550 3560 3570 3580 3590 3500 3600 3610 3620 3630 3640 3650 3660 3670 3680 3690 3600 3700 3710 3720 3730 3740 3750 3760 3770 3780 3790 3700 3800 3810 3820 3830 3840 3850 3860 3870 3880 3890 3800 3900 3910 3920 3930 3940 3950 3960 3970 3980 3990 3900 4000 4010 4020 4030 4040 4050 4060 4070 4080 4090 4000 4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4180 4190 4100 4200 4210 4220 4230 4240 4250 4260 4270 4280 4290 4200 4300 4310 4320 4330 4340 4350 4360 4370 4380 4390 4300 4400 4410 4420 4430 4440 4450 4460 4470 4480 4490 4400 4500 4510 4520 4530 4540 4550 4560 4570 4580 4590 4500 4600 4610 4620 4630 4640 4650 4660 4670 4680 4690 4600 4700 4710 4720 4730 4740 4750 4760 4770 4780 4790 4700 4800 4810 4820 4830 4840 4850 4860 4870 4880 4890 4800 4900 4910 4920 4930 4940 4950 4960 4970 4980 4990 4900 5000 5010 5020 5030 5040 5050 5060 5070 5080 5090 5000 5100 5110 5120 5130 5140 5150 5160 5170 5180 5190 5100 5200 5210 5220 5230 5240 5250 5260 5270 5280 5290 5200 5300 5310 5320 5330 5340 5350 5360 5370 5380 5390 5300 5400 5410 5420 5430 5440 5450 5460 5470 5480 5490 5400 5500 5510 5520 5530 5540 5550 5560 5570 5580 5590 5500 5600 5610 5620 5630 5640 5650 5660 5670 5680 5690 5600 5700 5710 5720 5730 5740 5750 5760 5770 5780 5790 5700 5800 5810 5820 5830 5840 5850 5860 5870 5880 5890 5800 5900 5910 5920 5930 5940 5950 5960 5970 5980 5990 5900 6000 6010 6020 6030 6040 6050 6060 6070 6080 6090 6000 6100 6110 6120 6130 6140 6150 6160 6170 6180 6190 6100 6200 6210 6220 6230 6240 6250 6260 6270 6280 6290 6200 6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360 6370 6380 6390 6300 6400 6410 6420 6430 6440 6450 6460 6470 6480 6490 6400 6500 6510 6520 6530 6540 6550 6560 6570 6580 6590 6500 6600 6610 6620 6630 6640 6650 6660 6670 6680 6690 6600 6700 6710 6720 6730 6740 6750 6760 6770 6780 6790 6700 6800 6810 6820 6830 6840 6850 6860 6870 6880 6890 6800 6900 6910 6920 6930 6940 6950 6960 6970 6980 6990 6900 7000 7010 7020 7030 7040 7050 7060 7070 7080 7090 7000 7100 7110 7120 7130 7140 7150 7160 7170 7180 7190 7100 7200 7210 7220 7230 7240 7250 7260 7270 7280 7290 7200 7300 7310 7320 7330 7340 7350 7360 7370 7380 7390 7300 7400 7410 7420 7430 7440 7450 7460 7470 7480 7490 7400 7500 7510 7520 7530 7540 7550 7560 7570 7580 7590 7500 7600 7610 7620 7630 7640 7650 7660 7670 7680 7690 7600 7700 7710 7720 7730 7740 7750 7760 7770 7780 7790 7700 7800 7810 7820 7830 7840 7850 7860 7870 7880 7890 7800 7900 7910 7920 7930 7940 7950 7960 7970 7980 7990 7900 8000 8010 8020 8030 8040 8050 8060 8070 8080 8090 8000 8100 8110 8120 8130 8140 8150 8160 8170 8180 8190 8100 8200 8210 8220 8230 8240 8250 8260 8270 8280 8290 8200 8300 8310 8320 8330 8340 8350 8360 8370 8380 8390 8300 8400 8410 8420 8430 8440 8450 8460 8470 8480 8490 8400 8500 8510 8520 8530 8540 8550 8560 8570 8580 8590 8500 8600 8610 8620 8630 8640 8650 8660 8670 8680 8690 8600 8700 8710 8720 8730 8740 8750 8760 8770 8780 8790 8700 8800 8810 8820 8830 8840 8850 8860 8870 8880 8890 8800 8900 8910 8920 8930 8940 8950 8960 8970 8980 8990 8900 9000 9010 9020 9030 9040 9050 9060 9070 9080 9090 9000 9100 9110 9120 9130 9140 9150 9160 9170 9180 9190 9100 9200 9210 9220 9230 9240 9250 9260 9270 9280 9290 9200 9300 9310 9320 9330 9340 9350 9360 9370 9380 9390 9300 9400 9410 9420 9430 9440 9450 9460 9470 9480 9490 9400 9500 9510 9520 9530 9540 9550 9560 9570 9580 9590 9500 9600 9610 9620 9630 9640 9650 9660 9670 9680 9690 9600 9700 9710 9720 9730 9740 9750 9760 9770 9780 9790 9700 9800 9810 9820 9830 9840 9850 9860 9870 9880 9890 9800 9900 9910 9920 9930 9940 9950 9960 9970 9980 9990 9900 10000 10010 10020 10030 10040 10050 10060 10070 10080 10090 10000 10100 10110 10120 10130 10140 10150 10160 10170 10180 10190 10000 10200 10210 10220 10230 10240 10250 10260 10270 10280 10290 10000 10300 10310 10320 10330 10340 10350 10360 10370 10380 10390 10000 10400 10410 10420 10430 10440 10450 10460 10470 10480 10490 10000 10500 10510 10520 10530 10540 10550 10560 10570 10580 10000 10600 10610 10620 10630 10640 10650 10660 10670 10680 10000 10700 10710 10720 10730 10740 10750 10760 10770 10780 10000 10800 10810 10820 10830 10840 10850 10860 10870 10880 10000 10900 10910 10920 10930 10940 10950 10960 10970 10980 10000 11000 11010 11020 11030 11040 11050 11060 11070 11080 10000 11100 11110 11120 11130 11140 11150 11160 11170 11180 10000 11200 11210 11220 11230 11240 11250 11260 11270 11280 10000 11300 11310 11320 11330 11340 11350 11360 11370 11380 10000 11400 11410 11420 11430 11440 11450 11460 11470 11480 10000 11500 11510 11520 11530 11540 11550 11560 11570 11580 10000 11600 11610 11620 11630 11640 11650 11660 11670 11680 10000 11700 11710 11720 11730 11740 11750 11760 11770 11780 10000 11800 11810 11820 11830 11840 11850 11860 11870 11880 10000 11900 11910 11920 11930 11940 11950 11960 11970 11980 10000 12000 12010 12020 12030 12040 12050 12060 12070 12080 10000 12100 12110 12120 12130 12140 12150 12160 12170 12180 10000 12200 12210 12220 12230 12240 12250 12260 12270 12280 10000 12300 12310 12320 12330 12340 12350 12360 12370 12380 10000 12400 12410 12420 12430 12440 12450 12460 12470 12480 10000 12500 12510 12520 12530 12540 12550 12560 12570 12580 10000 12600 12610 12620 12630 12640 12650 12660 12670 12680 10000 12700 12710 12720 12730 12740 12750 12760 12770 12780 10000 12800 12810 12820 12830 12840 12850 12860 12870 12880 10000 12900 12910 12920 12930 12940 12950 12960 12970 12980 10000 13000 13010 13020 13030 13040 13050 13060 13070 13080 10000 13100 13110 13120 13130 13140 13150 13160 13170 13180 10000 13200 13210 13220 13230 13240 13250 13260 13270 13280 10000 13300 13310 13320 13330 13340 13350 13360 13370 13380 10000 13400 13410 13420 13430 13440 13450 13460 13470 13480 10000 13500 13510 13520 13530 13540 13550 13560 13570 13580 10000 13600 13610 13620 13630 13640 13650 13660 13670 13680 10000 13700 13710 13720 13730 13740 13750 13760 13770 13780 10000 13800 13810 13820 13830 13840 13850 13860 13870 13880 10000 13900 13910 13920 13930 13940 13950 13960 13970 13980 10000 14000 14010 14020 14030 14040 14050 14060 14070 14080 10000 14100 14110 14120 14130 14140 14150 14160 14170 14180 10000 14200 14210 14220 14230 14240 14250 14260 14270 14280 10000 14300 14310 14320 14330 14340 14350 14360 14370 14380 10000 14400 14410 14420 14430 14440 14450 14460 14470 14480 10000 14500 14510 14520 14530 14540 14550 14560 14570 14580 10000 14600 14610 14620 14630 14640 14650 14660 14670 14680 10000 14700 14710 14720 14730 14740 14750 14760 14770 14780 10000 14800 14810 14820 14830 14840 14850 14860 14870 14880 10000 14900 14910 14920 14930 14940 14950 14960 14970 14980 10000 15000 15010 15020 15030 15040 15050 15060 15070 15080 10000 15100 15110 15120 15130 15140 15150 15160 15170 15180 10000 15200 15210 15220 15230 15240 15250 15260 15270 15280 10000 15300 15310 15320 15330 15340 15350 15360 15370 15380 10000 15400 15410 15420 15430 15440 15450 15460 15470 15480 10000 15500 15510 15520 15530 15540 15550 15560 15570 15580 10000 15600 15610 15620 15630 15640 15650 15660 15670 15680 10000 15700 15710 15720 15730 15740 15750 15760 15770 15780 10000 15800 15810 15820 15830 15840 15850 15860 15870 15880 10000 15900 15910 15920 15930 15940 15950 15960 15970 15980 10000 16000 16010 16020 16030 16040 16050 16060 16070 16080 10000 16100 16110 16120 16130 16140 16150 16160 16170 16180 10000														

回答項目		水害対策	公害対策	区民の健康管理	食品衛生	社会活動の推進会社	児童の保育	交通安全対策	風紀の取り締まり	その他	
フェース											
総数	域別	1.7	4.4	2.9	2.6	2.6	1.8	5.0	6.5	0.3	
地四	谷町	0.7	4.6	4.6	5.2	2.6	0.7	2.6	3.3	0.0	
四	司町	0.9	9.0	0.0	0.0	1.8	0.0	5.4	6.3	0.0	
策	松原町	0.8	1.6	0.8	1.6	0.8	3.9	5.5	10.9	0.8	
策	若木保塚	0.9	6.4	9.1	5.5	0.0	0.0	6.4	3.6	0.0	
策	大戸落木	1.6	6.2	3.9	2.3	4.7	1.6	2.3	8.5	0.0	
策	松久合	5.4	4.6	2.3	3.1	2.3	3.1	3.8	4.6	0.8	
策	第一木	1.0	2.1	3.1	0.0	3.1	1.0	9.4	6.3	0.0	
策	第二木	3.5	2.6	1.8	3.5	2.6	4.4	6.1	2.6	0.0	
策	柏角	0.9	3.6	0.9	1.6	5.4	1.8	4.5	13.4	0.0	
性男女	角・役別	0.0	1.8	1.8	1.8	3.6	1.8	7.1	5.4	1.8	
性男女	性別	1.5	4.3	2.6	2.6	3.2	1.7	6.2	6.2	0.0	
性男女	年代	1.8	4.4	3.1	2.6	2.1	2.0	3.9	6.7	0.5	
性男女	男男	2.0	3.9	2.6	2.0	2.0	2.0	3.9	5.2	0.0	
性男女	男男	2.4	0.8	3.3	0.0	1.6	3.3	6.5	5.7	0.0	
性男女	男男	4.0	5.7	2.8	0.9	5.7	1.9	8.5	6.6	0.0	
性男女	男男	50代以上	1.5	10.3	1.5	10.3	5.9	0.0	5.9	7.4	0.0
性男女	男女	60代以上	0.0	3.7	2.5	3.7	2.5	0.0	7.4	7.4	0.0
性男女	男女	20代	0.0	4.9	3.5	1.4	2.8	2.1	4.9	8.5	0.0
性男女	男女	30代	0.7	3.0	3.0	3.7	2.2	3.7	5.2	4.5	1.5
性男女	男女	40代	1.9	6.6	3.8	4.7	3.8	0.0	0.9	5.7	0.9
性男女	男女	50代以上	2.0	4.0	2.0	3.0	0.0	2.0	6.9	5.9	0.0
職業	男女	60代以上	4.8	4.0	3.2	0.8	1.6	1.6	8.8	0.0	
職業	自営業・事業主	1.2	4.2	1.8	3.0	3.0	2.4	7.2	7.2	0.0	
職業	管理職・自由業	2.2	1.1	3.4	1.1	3.4	2.2	5.6	7.9	0.0	
職業	事務職・技術職	1.0	4.3	5.3	1.3	3.6	2.3	4.6	6.6	0.0	
職業	労務職・サービス職	0.0	6.5	1.9	3.7	0.9	1.9	2.8	4.7	0.0	
職業	主婦	2.6	4.9	1.5	3.4	2.6	1.5	4.1	6.7	0.7	
職業	学生	1.6	4.9	1.6	1.6	1.6	0.0	9.8	6.6	0.0	
職業	無職	2.6	3.4	3.4	3.4	1.7	0.9	2.6	6.0	0.9	
職業	その他	3.6	7.1	0.0	7.1	0.0	3.6	10.7	3.6	0.0	
家族	人數	1	0.0	3.8	3.4	3.4	1.4	2.9	5.8	0.0	
家族	2	0.6	1.8	2.3	2.9	1.8	2.3	3.5	7.6	0.0	
家族	3	1.8	6.4	2.7	2.7	2.3	2.3	5.5	7.7	0.0	
家族	4	2.7	6.2	3.1	3.1	2.7	1.7	6.2	4.8	0.7	
家族	5	1.4	3.5	2.1	2.1	2.9	0.7	8.4	7.0	0.7	
家族	6	4.0	2.0	3.0	0.0	3.0	3.0	3.0	8.1	0.0	
家族	N	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ライフステージ	婚前期	0.9	2.5	3.5	2.5	2.5	1.6	4.1	6.6	0.0	
ライフステージ	家庭成長期(A)	1.9	1.4	1.4	0.0	1.4	2.9	2.9	7.2	0.0	
ライフステージ	家庭成長期(B)	1.2	3.5	4.7	1.2	3.5	2.9	6.5	7.6	0.6	
ライフステージ	家庭成長期(C)	1.8	8.8	0.9	4.4	5.3	0.9	8.0	6.2	0.9	
ライフステージ	家庭成熟期	5.0	6.7	1.7	4.2	2.5	0.0	5.8	6.7	0.0	
老老年	年齢期(A)	3.9	1.3	5.3	1.3	1.3	1.3	2.6	9.2	0.0	
老老年	年齢期(B)	0.0	3.3	1.6	3.3	1.6	1.6	4.9	8.2	0.0	
老老年	年齢期(C)	2.8	2.8	2.8	5.6	0.0	2.8	2.8	2.8	0.0	
老老年	その他	0.0	8.3	2.1	4.2	2.1	0.0	4.2	6.3	0.0	
老老年	N	0.0	8.7	0.0	4.3	8.7	0.0	4.3	0.0	0.0	
住居形態	別荘	2.3	3.6	2.7	2.1	2.3	1.7	5.2	5.6	0.4	
住居形態	一戸建持家	0.0	7.1	0.0	4.8	0.0	4.8	9.5	7.1	0.0	
住居形態	民間木造アパート	2.1	4.8	1.1	2.1	1.1	3.2	4.3	4.8	0.0	
住居形態	鉄筋アパート・マンション	1.2	5.6	4.8	4.0	3.2	1.2	6.0	6.4	0.4	
住居形態	社宅・官舎	0.0	3.4	0.0	1.7	5.2	0.0	3.4	15.5	0.0	
住居形態	寮・間借り住込み	0.0	2.9	7.2	2.9	4.3	1.4	1.4	11.6	0.0	
住居形態	その他	0.0	11.1	3.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
居住年数別	戦前から	5.2	3.1	1.0	0.0	4.1	1.0	3.1	5.2	0.0	
居住年数別	終戦～昭和30年	1.1	6.3	2.6	2.3	3.8	1.5	5.6	4.5	0.0	
居住年数別	昭和31年～40年	3.1	4.3	3.7	1.9	1.2	4.9	4.9	6.8	1.2	
居住年数別	昭和41年～45年	1.6	3.9	3.9	3.9	2.3	2.3	5.5	6.3	1.0	
居住年数別	昭和46年～50年	1.5	4.1	4.1	4.6	1.0	3.6	3.6	5.6	0.0	
居住年数別	昭和51年～53年	0.4	2.9	2.0	1.2	3.3	1.2	5.7	9.0	0.0	
居住年数別	54年以降	0.0	4.4	2.2	2.2	0.0	2.2	6.7	11.1	2.2	

合計

回答項目 フェース	水害対策	公害対策	区民の健康管理	食品衛生	社会活動の推進会体	幼児対策 児童の保育	交通安全対策	風紀の取り締まり	その他	特にない
総数	城別町	市別町	地区別町	年齢別性別	年齢別性別	年齢別性別	年齢別性別	年齢別性別	年齢別性別	年齢別性別
総数	5.7	12.3	5.6	5.1	7.3	5.3	11.9	14.6	1.1	9.9
地域	1.3	10.5	7.2	7.8	3.9	0.7	5.9	7.8	0.7	15.3
四箇域	1.8	21.6	1.8	0.9	3.6	0.9	10.8	14.4	0.0	0.0
松原	5.5	7.8	3.9	3.9	7.0	7.8	14.8	16.4	0.8	12.5
若大戸	6.9	10.0	10.9	10.9	5.5	3.6	14.5	11.8	0.9	1.8
保坂	3.9	16.3	8.5	4.7	11.6	6.2	10.9	22.5	0.0	3.1
落合	20.0	13.1	3.8	6.2	4.6	3.8	12.3	15.4	1.5	5.4
落合	8.3	17.7	8.3	0.0	3.1	7.3	18.8	13.5	0.0	18.8
柏	6.1	6.1	6.1	7.9	5.3	14.0	15.8	9.6	1.8	6.1
角	5.4	12.5	1.8	3.6	17.9	4.5	7.1	18.8	2.7	12.5
善・役所	1.8	5.4	1.8	1.8	1.8	1.8	10.7	17.9	3.6	30.4
性別	6.2	12.2	5.5	4.0	7.7	5.1	13.9	14.3	0.9	9.6
男女	5.3	12.3	5.8	6.1	6.9	5.4	10.2	14.8	1.2	10.2
年齢	20代	3.5	13.1	5.2	2.6	6.5	5.2	14.4	0.7	7.8
男	30代	5.7	7.3	4.9	0.0	7.3	13.0	16.3	0.8	14.6
女	40代	4.7	15.1	5.7	3.8	12.3	1.9	13.2	1.9	9.4
男	50代	5.9	20.6	4.4	11.8	5.9	1.5	10.3	0.0	1.5
女	60代以上	4.9	7.4	7.4	4.9	6.2	0.0	13.6	12.3	1.2
男	20代以下	3.5	14.1	5.6	3.5	12.0	9.9	12.7	16.2	0.0
女	30代	3.0	10.4	6.7	8.2	6.7	9.7	10.4	2.2	8.2
男	40代	7.5	17.0	6.6	9.4	4.7	0.0	4.7	17.9	1.9
女	50代以上	5.0	13.9	3.0	6.9	4.0	3.0	11.9	13.9	1.0
女	60代以上	4.0	7.2	6.4	3.2	5.6	2.4	11.2	16.0	0.8
職業	自営業・事業主	6.6	12.0	4.2	5.4	4.8	4.2	12.6	14.4	0.6
農	労働者・自由業	7.9	10.1	7.9	1.1	4.5	5.6	12.4	16.9	3.4
事務職・技術職	6.3	12.3	7.0	2.3	9.6	7.0	12.9	15.2	1.0	10.9
労働職・サービス職	1.9	14.0	2.8	6.5	7.5	8.4	11.2	13.1	0.0	10.3
主婦	6.0	13.4	5.6	9.0	6.7	5.2	9.7	15.3	1.5	7.8
学生	4.9	13.1	4.9	1.6	8.2	0.0	18.0	14.8	0.6	9.8
無職	4.3	6.8	6.8	6.0	7.7	2.6	11.1	12.8	0.9	11.1
その他	7.1	25.0	1.0	7.1	3.6	10.7	7.1	0.0	7.1	7.1
家族人数	1人	3.4	12.5	6.7	4.3	8.2	3.8	9.1	15.9	1.0
2人	3.5	10.5	6.4	5.3	4.1	5.3	14.0	18.7	1.2	9.9
3人	6.4	13.6	5.0	5.0	5.9	9.1	10.0	12.7	0.5	9.5
4人	7.9	14.8	5.8	6.9	8.6	3.1	14.4	12.0	1.7	7.6
5人	4.9	10.5	3.5	4.9	9.1	5.6	14.7	15.4	0.7	9.8
6人以上	8.1	8.1	6.1	2.0	8.1	6.1	8.1	15.2	1.0	12.1
N人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3
ライフスタイル	前	5.4	9.8	5.7	3.5	8.2	3.8	11.1	14.9	0.3
族	形	7.2	13.0	2.9	2.9	5.8	10.1	14.5	21.7	1.4
成	期(A)	6.5	8.4	5.6	4.7	8.4	21.5	11.2	4.7	1.9
族	成	期(B)	4.7	14.7	5.2	5.3	7.6	5.9	13.5	1.2
族	成	期(C)	4.4	24.8	3.5	7.1	0.9	12.4	14.2	2.7
族	成	熟期	11.7	13.3	2.5	8.3	6.7	1.7	10.8	17.5
老	年	期(A)	7.9	3.9	6.6	3.9	9.2	2.6	14.5	0.8
老	年	期(B)	1.6	8.2	5.2	4.9	1.6	1.6	13.1	19.7
老	年	期(C)	2.8	8.3	2.8	5.6	2.8	11.1	11.1	2.8
老	年	その他	0.0	12.5	10.4	6.3	0.0	10.4	18.8	2.1
N	A	4.3	21.7	4.3	8.7	8.7	4.3	4.3	4.3	0.0
住居形態	別荘	6.9	10.9	5.7	5.2	7.3	3.3	11.9	12.6	1.3
一戸建	2.4	21.4	4.8	7.1	9.5	9.5	21.4	14.3	0.0	0.0
民間木造アパート	4.8	13.3	3.2	2.7	5.3	8.5	9.6	12.8	0.5	9.0
既存アパート・マンション	5.2	13.1	6.8	7.2	6.4	6.4	12.7	16.3	1.2	8.8
社宅・官舎	3.4	13.8	3.4	3.4	8.6	6.9	13.8	24.1	1.7	3.4
寮・借宿・住込み	5.8	10.1	8.7	4.3	11.6	4.3	10.1	21.7	0.0	15.9
その他	0.0	11.1	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
居住年数別	50歳前から	12.4	12.4	5.2	3.1	9.3	2.1	8.2	11.3	1.0
終戦～昭和30年	6.0	12.8	4.5	4.1	9.0	2.6	11.7	11.7	0.4	12.4
昭和31年～40年	6.2	10.5	8.0	7.4	6.8	1.2	12.3	13.0	1.9	9.3
昭和41年～45年	3.1	8.6	5.5	6.3	6.3	7.0	12.5	14.1	2.3	6.3
昭和46年～50年	4.6	14.3	1.7	8.7	5.1	8.2	13.3	15.8	0.5	6.6
昭和51年～55年	4.9	13.5	4.1	2.6	7.8	8.6	11.4	19.2	0.8	10.6
54年以降	4.4	11.1	4.4	2.2	4.4	6.7	15.6	2.2	13.3	13.3

F 3. あなたのご職業は何でしょうか。

〔回答票11提示〕(1A)

F 1. 性別

F 2. 満何歳でいらっしゃるか。____歳

回答項目 フェース	N	男	女	N	20代	30代	40代	50代	60代以上	N	自営業・事業主	管理職・自由業	事務職・技術職	労働職・サービス	
総数	1139	46.6	53.4	1139	25.9	22.6	18.6	14.8	18.1	1139	14.7	7.8	26.5	9.4	
地城															
四国	153	41.8	58.2	153	19.6	21.6	20.9	11.8	26.1	153	16.3	7.8	26.1	5.9	
京都	111	49.5	50.5	111	33.3	15.2	19.3	16.2	14.4	111	11.7	9.9	24.3	9.9	
大阪	128	43.8	56.3	128	25.0	21.9	24.2	11.7	17.2	128	16.4	6.3	20.3	10.9	
福岡	110	55.5	44.5	110	30.0	22.7	13.8	20.0	13.6	110	10.0	8.2	38.2	16.0	
兵庫	129	42.0	57.4	129	24.8	31.8	17.8	10.9	14.7	129	12.4	5.4	21.7	13.2	
神奈川	130	47.7	52.3	130	23.1	22.3	17.7	16.9	20.0	130	13.1	8.5	27.7	8.5	
東京	96	54.2	45.8	96	28.1	21.9	17.7	14.6	17.7	96	16.7	7.3	29.2	6.3	
愛知	114	44.7	55.3	114	21.9	24.6	20.2	15.8	17.5	114	16.7	6.8	22.6	11.4	
岐阜	112	44.6	55.4	112	36.6	15.2	12.5	17.0	18.8	112	14.3	8.9	32.1	12.5	
長野	56	44.6	55.4	56	14.3	30.4	21.4	16.1	17.9	56	23.2	7.1	23.2	1.8	
性別															
男性	531	100.0	0.0	531	28.6	23.2	20.3	12.8	15.3	531	23.0	13.0	35.0	11.9	
女性	608	0.0	100.0	608	23.4	22.0	17.4	16.6	20.6	608	7.4	3.3	19.1	7.2	
年齢															
20代	153	100.0	0.0	153	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	153	7.8	5.2	41.8	16.3	
30代	123	100.0	0.0	123	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	123	24.4	11.4	47.2	13.8	
40代	176	100.0	0.0	176	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	176	34.9	19.8	30.2	8.5	
50代	68	100.0	0.0	68	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	68	25.0	23.5	32.4	8.8	
60代以上	41	100.0	0.0	41	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	41	32.1	12.3	12.3	7.4	
20代	142	0.0	100.0	142	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	142	1.4	2.1	43.7	11.3	
30代	134	0.0	100.0	134	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	134	6.0	2.2	15.7	3.0	
40代	106	0.0	100.0	106	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	106	7.5	1.9	14.2	10.4	
50代	101	0.0	100.0	101	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	101	15.8	7.9	12.9	5.0	
60代以上	125	0.0	100.0	125	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	125	8.8	3.2	4.0	6.4	
職業別															
自営業・事業主	167	73.1	25.9	167	8.4	22.8	26.9	19.8	22.2	167	100.0	0.0	0.0	0.0	
管理職・自由業	89	77.5	22.5	89	12.4	19.1	25.8	27.0	15.7	99	0.0	100.0	0.0	0.0	
事務職・技術職	302	61.6	38.4	302	41.7	26.2	15.6	11.6	5.0	302	0.0	3.0	100.0	0.0	
労働職・サービス職	107	58.9	41.1	107	38.3	19.6	18.7	10.3	13.1	107	0.0	0.0	0.0	100.0	
主婦	248	0.4	99.6	268	9.7	31.0	25.0	19.8	14.6	268	0.0	0.0	0.0	0.0	
学生	61	62.3	37.7	61	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61	0.0	0.0	0.0	0.0	
無職	117	31.6	68.4	117	6.8	9.4	5.1	8.5	70.1	117	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	28	53.6	46.4	28	28.6	28.6	14.3	10.7	17.9	28	0.0	0.0	0.0	0.0	
家族人數															
1人	208	50.5	49.5	208	53.8	12.0	10.6	8.7	14.9	208	6.7	7.7	38.5	20.2	
2人	171	38.0	62.0	171	25.1	17.5	7.0	16.4	33.9	171	16.4	10.5	24.6	8.2	
3人	220	45.0	55.0	220	20.5	23.2	20.5	20.9	15.0	220	11.8	7.3	29.1	7.3	
4人	291	48.5	51.5	291	16.2	29.2	24.4	18.9	11.3	291	15.1	7.6	24.1	6.9	
5人	143	48.3	51.7	143	22.4	25.2	23.3	9.8	18.9	143	17.5	4.9	23.1	7.0	
6人以上	99	47.5	52.5	99	14.1	27.3	26.3	8.1	24.2	99	30.3	9.1	12.1	3.0	
N	7	71.4	28.6	7	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0	7	0.0	14.3	14.3	28.6	
ライフステージ															
婚前期	316	59.2	40.8	316	71.8	17.7	7.3	2.5	0.6	316	6.0	6.0	45.3	15.5	
家庭形成期	69	33.3	66.7	69	44.9	43.5	4.3	4.3	2.9	69	15.9	4.7	31.9	11.6	
家族成長期(A)	107	43.9	56.1	107	23.4	66.4	8.4	1.9	0.0	107	14.0	1.9	30.6	4.7	
家族成長期(B)	170	50.6	49.4	170	1.2	52.4	42.4	2.9	1.2	170	20.6	11.2	20.6	7.1	
家族成長期(C)	113	50.4	49.6	113	0.0	1.8	62.0	30.1	5.3	113	19.5	12.4	15.9	8.0	
家族成熟期	120	40.8	59.2	120	0.0	0.0	13.3	57.5	29.2	120	14.2	9.2	17.5	4.2	
老年期(A)	76	26.3	73.7	76	1.3	0.0	2.0	13.2	82.9	76	18.4	2.6	3.9	3.9	
老年期(B)	61	41.0	59.0	61	1.6	0.0	1.6	26.2	70.5	61	23.0	8.2	11.5	9.8	
老年期(C)	36	27.8	72.2	36	0.0	0.0	2.5	22.2	75.0	36	19.4	13.9	8.3	11.1	
その他	48	33.3	66.7	48	6.3	6.3	16.7	25.0	45.8	48	14.6	10.4	14.6	8.3	
N	23	47.8	52.2	23	21.7	26.1	26.1	8.7	17.4	23	17.4	4.3	43.5	8.7	
住居形態別															
一戸建持家	522	47.9	52.1	522	16.7	18.0	19.9	18.4	27.0	522	20.7	7.9	19.5	6.1	
一戸建借家	42	42.9	57.1	42	14.3	23.8	33.3	11.9	16.7	42	19.0	4.8	19.0	7.1	
民間木造アパート	188	45.2	54.8	188	39.9	23.4	16.0	10.6	10.1	198	8.5	7.4	33.5	14.4	
鉄筋コンクリートマンション	251	44.6	55.4	251	23.5	31.1	19.1	15.1	11.2	251	12.0	10.0	31.9	9.2	
社宅・官舎	58	44.8	55.2	58	31.0	41.4	12.1	13.8	1.7	58	0.0	6.9	36.2	10.3	
寮・間借り住込み	69	52.2	47.8	69	69.6	7.2	8.7	1.4	13.0	69	5.8	2.9	39.1	21.7	
その他	9	44.4	55.6	9	22.2	22.2	33.3	11.1	11.1	9	11.1	11.1	11.1	11.1	
居住年数別															
戦前から	97	48.5	51.5	97	5.2	4.2	23.7	18.6	44.3	97	24.7	10.3	12.4	7.2	
終戦～昭和30年	266	48.9	51.1	266	14.7	15.4	12.8	24.1	33.1	266	20.3	6.0	25.2	6.8	
昭和31年～40年	162	38.9	61.1	162	24.7	14.8	28.4	15.4	16.7	162	15.4	8.0	18.5	8.6	
昭和41年～45年	128	46.1	53.9	128	13.3	29.7	32.8	14.8	9.4	128	15.6	7.0	26.6	8.6	
昭和46年～50年	196	47.4	52.6	196	24.0	37.2	19.4	10.7	8.7	196	16.7	11.2	33.2	10.2	
昭和51年～53年	245	49.4	50.6	245	50.6	25.3	10.2	6.9	6.9	245	9.0	6.5	31.8	13.5	
54年以降	45	40.0	60.0	45	51.1	24.4	8.9	11.1	4.4	45	2.2	6.7	35.6	8.9	

図4. 一緒に住んでいるご家族は、あなたを含めて何人ですか。

(1A)

回答項目 フェース	主婦	学生	無職	N	N	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	N
	A	A	A	A		A	A	A	A	A	A	A
総数	23.5	5.4	10.3	2.5	1139	18.3	15.0	19.3	25.5	12.6	8.7	0.6
地域別												
谷町	4.6	10.5	3.3	1.5	153	17.6	21.5	19.6	23.5	7.8	9.2	1.3
大門	9.0	10.8	0.9	1.1	216	9.9	18.0	33.3	12.6	4.5	0.0	
久松	3.1	10.2	1.6	1.2	128	15.6	7.8	26.6	20.3	16.4	12.5	0.8
大戸	2.7	10.9	0.9	1.0	110	22.7	4.1	20.0	28.2	17.3	2.7	0.0
落合	8.5	9.3	4.7	1.2	129	20.2	16.3	17.8	25.6	10.1	9.3	0.8
第一木	5.4	11.5	1.5	1.3	130	14.6	21.5	13.1	27.7	13.1	10.0	0.0
第二木	11.5	8.3	4.2	1.2	96	22.9	14.6	22.9	18.8	12.5	6.3	2.1
柏角	4.4	7.0	1.8	1.1	114	11.4	14.9	18.4	21.9	18.4	14.9	0.0
角筈	2.7	11.6	4.5	1.1	112	24.1	15.1	15.2	28.6	8.0	7.1	0.9
区役所	0.0	14.3	0.0	0.6	56	8.9	17.9	25.0	30.4	8.9	8.9	0.0
性別												
男女	0.2	7.2	7.0	2.8	531	19.8	12.2	18.6	26.6	13.0	8.9	0.9
性別	43.9	3.8	13.2	2.1	608	16.9	17.4	19.9	24.7	12.2	8.6	0.3
年齢別												
20代	0.0	24.8	2.6	1.3	153	46.4	9.2	13.7	12.4	12.4	4.6	1.3
30代	0.0	0.0	3.3	1.2	123	13.0	11.4	21.1	30.1	14.6	8.9	0.8
40代	0.9	0.0	2.8	2.8	106	6.5	4.7	17.0	38.7	17.9	13.2	1.9
50代	0.0	0.0	5.9	4.4	48	4.4	11.8	26.5	47.1	7.4	2.9	0.0
60代以上	0.0	0.0	32.1	3.7	81	9.9	29.6	19.8	14.8	9.9	16.0	0.0
男女	18.3	16.2	2.8	4.2	142	28.9	20.4	16.9	19.7	9.2	4.9	0.0
男女	61.9	0.0	8.2	3.0	134	6.7	11.9	18.7	35.8	13.4	11.9	1.5
男女	40代	0.0	2.8	0.9	106	14.2	6.6	25.5	28.3	14.2	11.3	0.0
男女	50代	0.0	5.9	0.0	101	14.9	19.8	27.7	22.8	8.9	5.9	0.0
男女	60代以上	0.0	44.8	1.6	125	18.4	27.2	13.6	16.8	15.2	8.8	0.0
職業別												
自営業・事業主	0.0	0.0	0.0	0.0	157	8.4	16.8	15.6	26.3	15.0	18.0	0.0
管理職・自由業	0.0	0.0	0.0	0.0	69	18.0	21.2	18.0	24.7	7.9	10.1	1.1
事務職・技術職	0.0	0.0	0.0	0.0	302	26.5	13.9	21.2	23.2	10.9	4.0	0.3
労務職・サービス職	0.0	0.0	0.0	0.0	107	39.3	13.1	15.0	18.7	9.3	2.8	1.9
主婦	100.0	0.0	0.0	0.0	268	1.5	14.2	25.4	35.4	12.3	11.2	0.0
学生	0.0	100.0	0.0	0.0	51	42.6	6.6	9.6	18.4	18.0	6.6	0.0
無職	0.0	0.0	100.0	0.0	117	18.8	18.8	16.2	17.9	19.7	8.5	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	100.0	28	14.3	17.9	17.9	32.1	3.6	3.6	10.7
家族人数別												
1人	1.9	12.5	10.6	1.9	208	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2人	22.2	2.3	12.9	2.9	171	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3人	30.9	2.7	8.6	2.3	220	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4人	32.6	3.4	7.2	3.1	271	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
5人	23.1	7.7	16.1	0.7	143	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
6人以上	30.3	4.0	10.1	1.0	99	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
N	0.0	0.0	42.9	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ライフスタイル別												
未婚	0.9	19.0	5.4	1.3	316	47.2	7.0	14.2	14.2	11.1	5.4	0.9
既婚	21.7	1.4	2.9	5.8	69	1.4	84.1	2.9	7.2	0.0	2.9	1.4
家庭形成期	43.9	0.0	0.0	4.7	197	0.0	0.0	41.1	40.2	11.2	7.5	0.0
家庭成長期(A)	37.6	0.0	1.2	1.8	170	0.0	1.2	17.1	44.7	23.5	13.5	0.0
家庭成長期(B)	38.9	0.0	1.8	3.5	113	0.9	1.8	25.7	45.1	9.7	16.8	0.0
家庭成長期(C)	41.7	0.0	12.5	0.8	120	0.0	5.8	39.2	38.3	10.0	6.7	0.0
老年	21.1	0.0	50.0	0.0	76	0.0	0.0	14.5	23.7	36.8	25.0	0.0
老年	27.9	0.0	19.7	0.0	61	0.0	91.8	4.9	1.6	0.0	1.6	0.0
老年	5.6	0.0	38.9	2.8	36	R6.1	5.6	2.8	5.6	0.0	0.0	0.0
その他	16.7	0.0	29.2	6.3	48	35.4	37.5	14.6	4.2	6.3	2.1	0.0
N	8.7	0.0	4.3	13.0	23	39.1	17.4	8.7	8.7	4.3	13.0	
住居形態別												
一戸建持家	26.6	4.4	13.2	1.5	522	3.3	11.7	19.2	30.1	19.0	16.9	0.0
一戸建借家	28.6	0.0	14.3	7.1	42	2.4	11.9	23.8	47.6	14.3	0.0	0.0
民間木造アパート	13.8	9.6	11.2	1.6	188	44.7	18.6	19.1	11.2	5.3	0.0	1.1
鉄筋アパート・マンション	25.5	1.6	6.8	3.2	251	16.7	23.5	24.3	23.9	8.4	2.8	0.4
社宅・官舎	37.9	5.2	0.0	3.4	58	13.8	6.9	20.7	50.0	6.9	1.7	0.0
寮・間借り住込み	2.9	18.8	5.8	2.9	69	76.8	8.7	0.0	5.8	1.4	4.3	2.9
その他	33.3	0.0	0.0	22.2	9	33.3	11.1	11.1	0.0	22.2	0.0	22.2
居住年数別												
戦前から	21.6	2.1	18.6	3.1	97	6.2	17.5	10.3	28.9	17.5	19.6	0.0
終戦～昭和30年	21.8	1.5	17.3	1.1	266	9.0	12.8	25.9	24.1	17.7	10.5	0.0
昭和31年～40年	30.9	8.6	9.3	0.6	162	6.2	11.1	17.3	36.4	16.7	12.3	0.0
昭和41年～45年	28.1	1.6	7.8	4.7	128	14.1	10.9	20.3	27.3	16.4	9.4	1.6
昭和46年～50年	25.0	2.6	4.6	2.6	196	18.4	14.3	23.0	28.1	10.7	4.6	1.0
昭和51年～53年	16.7	11.8	7.3	3.3	245	40.8	19.6	15.5	16.3	2.9	3.7	1.2
54年以降	28.9	11.1	2.2	4.4	45	31.1	25.7	8.9	22.2	6.7	4.4	0.0

F 6. お宅の住宅
の種類は何で
しょうか。
(1A)

F5. あなたは、ご一緒に住んでいる家族の中で、次のうちのどれにあたりますか。あなたご自身のこととしてお答えください。
〔子供がいる親の場合、現在一番上の子供の年齢が乳・幼児か、小・中学生かなどで分類する〕
〔回答用12種示〕〔1A〕

F 7. お宅には自動車(四輪車)がありますか。
(1A)

回答項目 フェース	一戸建借家	民間木造アパート (共住)	鉄筋アパート (共住)	社宅・官舎	寮・間借り・住込	N A	N	あ る	な い
総 地域	数別	3.7	16.5	22.0	5.1	6.1	0.8	1139	31.6 68.4
四国	高知県	2.0	12.4	74.2	3.3	6.5	0.7	153	34.6 65.4
	愛媛県	4.0	9.9	15.0	8.1	9.9	0.9	111	29.7 70.3
	香川県	5.5	15.6	17.2	3.9	6.3	0.0	128	35.9 64.1
	徳島県	1.8	17.3	42.7	2.7	3.6	0.9	110	28.2 71.8
関東	埼玉県	3.1	18.6	23.3	11.6	7.0	1.6	129	31.0 69.0
	千葉県	3.8	15.4	27.7	4.6	0.8	0.8	130	26.2 73.8
	東京都	2.1	15.6	22.9	4.2	12.5	1.0	96	28.1 71.9
	神奈川県	2.6	20.2	6.1	4.4	1.8	1.8	114	43.9 56.1
中部	岐阜県	4.5	22.3	13.4	4.5	8.9	0.0	112	24.1 75.9
	愛知県	1.8	21.4	26.8	1.8	3.6	0.0	56	33.9 66.1
近畿	大阪府	3.4	16.0	21.1	4.9	6.8	0.8	531	37.3 62.7
	兵庫県	3.9	16.9	22.9	5.3	5.4	0.8	608	26.6 73.4
性別	男	20代	0.7	22.9	19.0	5.9	1.0	153	26.1 73.9
	男	30代	4.1	19.5	26.8	8.9	1.6	123	36.6 63.4
	男	40代	6.6	14.2	23.6	2.8	2.8	106	45.3 54.7
	男	50代	2.9	5.9	26.5	4.4	0.0	58	39.7 60.3
	男	60代以上	3.7	8.6	8.6	0.0	2.5	0.0	81 46.9 53.1
	女	20代	3.5	28.2	21.1	6.3	13.4	0.0	142 20.4 79.6
	女	30代	3.7	14.9	33.6	9.7	2.2	0.7	134 35.1 64.9
	女	40代	6.6	14.2	21.7	3.8	2.8	1.9	106 32.1 67.9
	女	50代以上	3.0	15.5	19.8	5.0	1.0	1.0	101 26.7 73.3
	女	60代以上	3.2	9.6	16.8	0.8	5.6	0.8	125 20.0 80.0
職業	自営業・事業主	4.8	9.6	18.0	0.0	2.4	0.6	167	55.7 44.3
	管理職・自由業	2.2	15.7	28.1	4.5	2.2	1.1	39	33.7 66.3
	事務職・技術職	2.6	20.9	26.5	7.0	8.9	0.3	322	20.5 79.5
	労働職・サービス職	2.8	25.2	21.5	5.6	14.0	0.9	137	25.2 74.8
	主婦	4.5	9.7	23.9	8.2	0.7	1.1	268	36.2 63.8
	学生	0.0	29.5	6.6	4.9	21.3	0.0	61	24.6 75.4
	無職	5.1	17.9	14.5	0.0	3.4	0.0	117	25.6 74.4
	その他	10.7	10.7	28.6	7.1	7.1	7.1	28	21.4 78.6
家族人数	1人	0.5	40.4	20.2	3.8	25.5	1.4	278	5.8 94.2
	2人	2.9	20.5	34.5	2.3	3.5	0.6	171	15.8 84.2
	3人	4.5	16.4	27.7	5.5	0.0	0.5	220	35.5 64.5
	4人	6.9	7.2	20.6	10.0	1.4	0.0	291	38.8 61.2
	5人	4.2	7.0	14.7	2.8	0.7	1.4	143	51.0 49.0
	6人以上	9.0	0.0	7.1	1.0	3.0	0.0	99	56.6 43.4
	N	0.0	28.6	14.3	0.0	28.6	28.6	7	14.3 85.7
ライフステージ	未婚	1.3	25.9	15.8	4.7	16.1	0.3	316	22.5 77.5
	形成期	4.3	17.4	52.2	4.3	5.8	0.0	69	26.1 73.9
	家族成長期(A)	4.7	22.4	30.8	12.1	0.9	0.0	197	35.5 64.5
	家族成長期(B)	7.6	8.8	28.2	10.6	1.2	0.0	170	40.6 59.4
	家族成長期(C)	5.3	8.0	17.7	2.7	0.9	0.9	113	40.7 59.3
	家庭成熟期	2.5	5.0	20.8	3.3	0.0	0.0	120	43.3 56.7
	老年期(A)	3.9	3.9	6.6	0.0	0.0	1.3	76	48.7 51.3
	老年期(B)	6.6	13.1	19.7	0.0	1.6	0.0	61	19.7 80.3
	老年期(C)	2.8	30.6	11.1	0.0	13.9	0.0	36	5.6 94.4
	その他	2.0	25.0	31.3	2.1	4.2	0.0	48	18.8 81.3
	N	0.0	26.1	13.0	4.3	8.7	26.1	23	26.1 73.9
住居形態別	一戸建持家	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	522	46.0 54.0
	一戸建借家	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42	26.2 73.8
	民間木造アパート	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	198	11.2 88.8
	鉄筋アパート・マンション	9.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	251	27.9 72.1
	社宅・官舎	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	58	20.7 79.3
	寮・間借り・住込み	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	59	4.3 95.7
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9	33.3 66.7
居住年数別	未前から	4.1	4.1	4.1	0.0	1.0	1.0	97	42.3 57.7
	終戦～昭和30年	3.8	6.4	7.1	0.0	1.5	1.5	246	38.0 62.0
	昭和31年～40年	6.2	13.0	8.6	2.5	1.9	0.6	162	39.5 60.5
	昭和41年～45年	7.8	21.1	27.3	3.9	3.9	0.0	128	42.2 57.8
	昭和46年～50年	3.1	18.4	40.3	7.7	8.2	0.5	196	24.5 75.5
	昭和51年～53年	0.8	28.6	32.7	13.1	14.7	0.8	245	18.8 81.2
	54年以降	0.0	28.9	44.4	4.4	8.9	0.0	45	13.3 85.7

新宿区政世論調査

①②③④

--	--	--	--

昭和54年6月

調査員	
点検者	

【企画】新宿区企画部広報課

【実施】日本EDP(株)調査部

434-8831内線 34

訪問日時	第1回	月	日	午前	時
	第2回	月	日	午前	時
	第3回	月	日	午前	時

1. 有効回収

2. 回収不能 (該当するものを○で囲む)

- (1) 短期不在 (5) 拒否
(2) 長期不在(旅行・出張・帰省) (6) 病気・高齢
(3) 転居(家・本人) (7) 住所不明
(4) 当該地に居住せず (8) その他()

【調査依頼のあいさつ】

先日ハガキでお願いしました「新宿区政世論調査」のアンケートにおうかがいしました。××さんはおいででしょうか。お忙しいところ恐縮ですが、簡単な調査ですので、よろしくお願ひいたします。では、早速ですか……

〔質問されたら〕この調査は、区民全体の中からクジ引きのような方法で1,500人の調査回答者を選んだ結果、あなたがそのうちの1人に選ばれました。この調査の結果は、「こういう意見の人が100人中何人いる」という形でしか発表しませんので、ご迷惑をおかけすることは絶対にありません。

【定住性】

Q1. あなたが今の所に住むようになったのは、いつ頃からですか。(1A)

1. 戦前から 4. 昭和41年～45年 7. 54年以降 (5)
2. 終戦～昭和30年 5. 昭和46年～50年
3. 昭和31年～40年 6. 昭和51年～53年

Q2. これからも引き続いて、新宿区にお住まいになりますか。(1A)

1. 永住するつもり 3. できたら区外に転出したい(5年以内に) 5. わからない (6)
2. 当分はここに住むつもり(5～10年位) 4. 近いうちに区外に転出するつもり(1年以内に)

Q3. 現在の新宿区は「住みよい街」だと思いますか。(1A)

1. 住みよい 3. あまり住みよくない 5. わからない (7)
2. まあ住みよい 4. 住みにくい

SQ1. [Q3で1, 2と答えた人に] 住みよい理由は何ですか。(FA)

SQ2. [Q3で3, 4と答えた人に] 住みにくい理由は何ですか。(FA)

【生活環境】

Q4. あなたの住んでいる付近の緑の状況は、数年前にくらべて良くなつたでしょうか。悪くなつたでしょうか。(1A) (8)

1. 良くなつた 3. 悪くなつた 5. わからない
2. 変わらない 4. どちらともいえない

Q5. あなたは公害の被害を受けたことがありますか。次の中から受けたものをいくつでも選んでください。(回答票1提示)(MA) (9)

1. 大気汚染 3. 振動 5. その他()
2. 騒音 4. 悪臭 6. いずれも受けたことはない (13)

Q6. 公害対策として、区にどんなことをしてほしいと思いますか。次の中からとくに規制や指導などをしてほしいと思うものを2つ以内で選んでください。(回答票2提示)(2A)

1. 工場・作業場から出るばい煙・騒音・振動・悪臭
2. 建設工事にともなう騒音・振動
3. 自動車の排気ガス・騒音・振動
4. 日常生活における騒音・振動・悪臭
5. 被害者に対する医療費の補償など救済制度の充実
6. 公害防止資金貸付制度の充実
7. 各種測定結果の公表やポスターによるPR
8. その他()
9. 特にない

Q7. 隣り近所からの騒音で迷惑を受けたことがありますか。次の中から主なものを2つ以内で選んでください。(回答票3提示)(2A)

01. テレビ・ステレオ 07. チリ紙交換や物売りのスピーカー (16)
02. ピアノ・ギター 08. 商店や飲食店からの音
03. 話し声・歌声・泣き声 09. 犬や猫のなき声 (19)
04. クーラーなど冷暖房機器の音 10. その他()
05. 階段や二階などの物音・足音 11. 特にない
06. 自動車・オートバイ

Q8. お宅の付近の道路の状態はいかがですか。(1A)

1. たいへんよい 3. どちらともいえない
2. よい 4. あまりよくない

5. 非常によくない

SQ. [Q8で4, 5と答えた人に]どんな点が不満ですか。次の中から主なものを2つ以内で選んでください。(回答票4提示)(2A)

01. 道が狭く災害時に不安である 06. 狹い道に車がはいり込んで困る (21)
02. 幹線道路が混雑する 07. 道路に歩道がなく歩きにくい
03. 道路が狭く、車が走りづらい 08. 道路に緑が少ない (24)
04. バスが渋滞に巻き込まれて遅れる 09. 子供の通学路が危険である
05. 車による公害(騒音・振動・排ガス)がひどい 10. その他()

Q9. 現在、都と区が「都市計画道路」の見直し作業に入っていますが、知っていますか。(1A)

1. 知っている 2. 知らない

(25)

Q10. 法律で、「都市計画道路」に指定された区域では、3階建て以上の建物が建てられないために、住民に不満がでていますが、これについてどう思いますか。(1A)

1. 将来の道路予定地としてやむをえない制限である
2. 制限によって受ける損失に対して、補償すべきである
3. 制限を緩和すべきである
4. 制限を撤廃すべきである
5. その他()
6. わからない

(26)

【地域社会】

Q11. 最近、コミュニティという言葉がよく使われます。これは地域社会または近隣社会という意味で使われますが、コミュニティとはどの程度の範囲だと思いますか(1A)

1. 隣り近所 6. 特別出張所を中心とした地域
2. 日常の買物をする地域 7. 新宿区全体
3. 町会・自治会の地域 8. その他()
4. 小学校を中心とした地域 9. わからない
5. 駅を中心とした地域

(27)

Q12. 隣り近所の人とふだんどの程度のお付き合いをしていますか。(1A)

1. 挨拶をかわす程度
2. 立ち話をする程度
3. お互いの家に行き来している

4. 困ったときは助け合う程親しい
5. ほとんど付き合っていない
6. 付き合っていない

(28)

SQ1. [Q12で1～4と答えた人に] どんなきっかけで付き合うようになりましたか。
(FA)

SQ2. [Q12で5、6と答えた人に] 付き合わない理由は何ですか。(FA)

Q13. 最近の報道で、一人暮らしの老人が死んだまま発見されたり、両親が不在のまま小学生の子供だけで何か月も暮らしていたということがありましたが、これについてどう思いますか。(1A)

1. 個人的な事情があってのことだから仕方がない
2. 気の毒だとは思うが何もできない
3. だれか親戚の人などが気を付けるべきだ

4. 隣り近所の人たちが気を付けるべきだ
5. 役所などの行政機関が面倒をみるべきだ
6. その他()
7. わからない

(29)

Q14. あなたが住んでいる地域にはほしいと思う施設を、次の中から2つ以内で選んでください。[回答票5]

提示)(2A)

- | | | | |
|----------|-------------|------------|------|
| 01. 保育園 | 06. 公園・児童遊園 | 11. 図書館 | (30) |
| 02. 児童館 | 07. 健康相談所 | 12. その他() | () |
| 03. 集会室 | 08. 運動場 | 13. 特はない | (33) |
| 04. 婦人会館 | 09. 体育館 | | |
| 05. 老人会館 | 10. 社会教育会館 | | |

【児童・青少年】

Q15. 今年は国際児童年ですが、ご存知ですか。(1A)

- | | | |
|----------|---------|------|
| 1. 知っている | 2. 知らない | (34) |
|----------|---------|------|

Q16. では、青少年がすこやかに育ち、それをとりまく環境をよくするには、どこが最も力を入れてやらなければならぬと思いますか。(1A)

- | | | |
|---------------|-----------|------|
| 1. 個々の家庭 | 4. 学校 | (35) |
| 2. 地域社会 | 5. その他() | () |
| 3. 区役所などの行政機関 | 6. わからない | |

Q17. あなたは子供にどんなことを身につけてほしいと思いますか。次の中から主なことを2つ以内で選んでください。[回答票6提示](2A)

- | | | | |
|----------|-----------|------------|------|
| 01. 自主性 | 06. 礼儀作法 | 11. 協調性 | (36) |
| 02. 忍耐力 | 07. 判断力 | 12. その他() | () |
| 03. 自立心 | 08. 責任感 | 13. 特はない | (39) |
| 04. 親切心 | 09. 豊かな情操 | | |
| 05. 社会道徳 | 10. 自己表現力 | | |

Q18. 子供に対しては、地域の人全体が親のように注意を払うべきだという意見がありますが、どう思いますか。(1A)

- | | | |
|-------------------------|------------------|------|
| 1. 当然のことだ | 4. 子供の親に任せておけばよい | (40) |
| 2. 個人主義化しているので実際にはむずかしい | 5. むしろ学校や役所の仕事だ | |
| 3. 自分の子供のことで精一杯だ | 6. その他() | () |
| | 7. わからない | |

Q19. また、子供が宿題や塾などあらゆるものから解放され、遊びに専念できる「子どもの午後」を、日を決めて設けるべきだという意見がありますが、どう思いますか。(1A)

- | | | |
|---------------------------|------------------|------|
| 1. ぜひ設けるべきだ | 5. 都会は危険が多いので心配だ | (41) |
| 2. できれば設けるべきだ | 6. そんな必要はない | |
| 3. それぞれの考えがあるので、実際にはむずかしい | 7. その他() | () |
| 4. そんなことをすると勉強が遅れる | 8. わからない | |

Q20. 新宿区には、区民による地区青少年対策委員会があり、青少年をとりまく環境を良くする活動などをしていますが、あなたは知っていますか。(1A)

1. 知っている 2. 知らない

(42)

Q21. では、地区青少年対策委員会の活動に参加したいと思いますか。(1A)

1. 委員として積極的に参加したい 4. すでに委員として参加している
2. 呼びかけがあれば参加したい 5. わからない
3. 参加したくない

(43)

Q22. 区の児童・青少年のための事業として、とくに力を入れてほしいと思うことは何ですか。(1A)

1. スポーツをする機会をもっと与える 6. 非行化・自殺の防止
2. 幼稚園・保育園・児童館を充実する 7. 仲間づくりの促進
3. 健康診断・栄養指導を強化する 8. その他()
4. 公園・児童遊園などの遊び場を充実する 9. 特にない
5. 学校教育の充実

(44)

【婦 人】

Q23. 女性が職業を持つことについて、あなたはどう思いますか。(1A)

1. ぜひ持つべきだ 4. 持つべきではない
2. 条件が許す限り持つべきだ 5. わからない
3. あまり持たない方がよい

(45)

〔Q23で1、2と答えた人に〕

S Q1. 〔男性の場合〕では、あなたの身近な女性に職業を持ってほしいと思いますか。(1A)

1. ぜひ持ってほしい 4. あまり持ってほしくない
2. 条件が許す限り持ってほしい 5. 持ってほしくない
3. 今は無理だが持ってほしい 6. 現在持っている

(46)

S Q2. 〔女性の場合〕では、あなたは職業を持ちたいと思いますか。(1A)

1. ぜひ持ちたい 4. あまり持ちたくない
2. 条件が許す限り持ちたい 5. 持ちたくない
3. 今は無理だが持ちたい 6. 現在持っている

(47)

Q24. 女性が職業を持つ場合、どのような障害があると思いますか。次の中から主なことを2つ以内で選んでください。〔回答票7提示〕(2A)

- | | | |
|------------------|-----------------------|------|
| 01. 職種が限定されている | 07. 家族の理解・協力がない | (48) |
| 02. 職場での差別待遇がある | 08. 出産・育児(保育所が不足している) | () |
| 03. 職業意識が低い | 09. 病人・老人の世話がある | (51) |
| 04. 技能・技術が不足している | 10. その他() | |
| 05. 法律・制度上の差別がある | 11. わからない | |
| 06. 家庭の潤いがなくなる | | |

Q25. 女性が地域活動やボランティア活動、学習活動などをしてはどう思いますか。(1A)

- | | | |
|-----------------|-------------|------|
| 1. ぜひやるべきだ | 4. やるべきではない | (52) |
| 2. 条件が許す限りやるべきだ | 5. わからない | () |
| 3. あまりやらない方がよい | | |

Q26. 区が行っている女性のための事業として、とくに力を入れてほしいことは何ですか。(1A)

- | | | |
|----------------------------|------------------------------|------|
| 1. 技術・技能訓練 | 6. 講座・講習会の充実 | (53) |
| 2. 相談窓口の拡充 | 7. 母子家庭などに対する生活援助・各種資金・手当の充実 | |
| 3. 保育事業・家庭福祉員の拡充
(就労援助) | 8. その他() | |
| 4. 医療・検査の充実(母性保護) | 9. 特にない | |
| 5. 社会活動のための場の拡充 | | |

【区民保養所】

Q27. あなたは、この1年間に区民保養所を利用したことがありますか。(1A)

- | | | |
|---------------------|--------------------|------|
| 1. 箱根つつじ荘(中強羅)を利用した | 4. 知っているが利用したことはない | (54) |
| 2. 住吉館(伊豆長岡)を利用した | 5. 知らない | () |
| 3. 両方とも利用した | | |

S Q1. [Q27で1~3と答えた人に] 利用した理由は何ですか。(1A)

1. 交通が便利だ	(55)
2. 設備がよい	
3. 料金が安い	
4. 食事がよい	
5. 温泉がある	
6. 山がある	
7. 海水浴ができる	
8. その他()	
9. 特に理由はない	

S Q2. [Q27で4と答えた人に] 利用したことがない理由は何ですか。(1A)

1. 希望の日がとれない	(56)
2. 申し込みがめんどう	
3. 場所が良くない	
4. 他の旅館を利用する	
5. 料金が高い	
6. その他()	
7. 特に理由はない	

【区政への関心・要望】

Q28. あなたは区政に関心をお持ちですか。(1A)

- | | | |
|-------------|--------------|----------|
| 1. 非常に関心がある | 3. あまり関心がない | 5. わからない |
| 2. 少しは関心がある | 4. ほとんど関心がない | |

(57)

Q29. あなたはふだん、区政に関することや区の行事、お知らせを何で知りますか。次の中から主なもの
を2つ以内で選んでください。〔回答票8提示〕(2A)

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. 新宿区広報 | 5. 新聞・テレビ・ラジオ |
| 2. 区議会だより | 6. 町会・自治会の会合や回覧板 |
| 3. 写真ニュース | 7. 家族や知人・友人の話 |
| 4. わたしの便利帳・区政要覧・
パンフレット | 8. その他() |
| | 9. 関心がない |

(58)

(59)

Q30. 区では、「新宿区広報」を毎月3回、6大紙（朝日、毎日、読売、サンケイ、東京、日経）の新聞折り込みで配布していますが、お宅には届いていますか。(1A)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. 届いている | 3. わからない |
| 2. 届いていない | 4. 6大紙をとっていない |

(60)

SQ1. [Q30で1と答えた人に] あなたは読んでいますか。(1A)

- | | |
|----------|------------|
| 1. よく読む | 3. あまり読まない |
| 2. ざっと読む | 4. 全く読まない |

(61)

SQ2. [SQ1で1, 2と答えた人に]「新宿区広報」に対して、ご意見・ご要望がありま
したら、何でもおっしゃってください。(FA)

Q31. 現在の新宿区長の名前を知っていますか。〔知っている人に〕区長の名前をおっしゃってください。(1A)

- | | | |
|--------------|--------------|---------|
| 1. 知っている(正答) | 2. 知っている(誤答) | 3. 知らない |
|--------------|--------------|---------|

(62)

Q32. 新宿文化センター（新宿6丁目）は、去年の4月1日に一般オープンしましたが、あなたはこの施設を知っていますか。(1A)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

(63)

Q33. この集会施設には1,800人収容の大ホールを始め、小ホール、集会室、展示室、ロビーなどが設けられ多目的に利用できるよう設計されています。この施設でどんな催し物を希望しますか。次の中から2つ以内で選んでください。〔回答票9提示〕(2A)

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. クラシック音楽会 | 7. 美術・書・郷土資料・産業資料など
の展示会 |
| 2. ポピュラー音楽会 | 8. 各種講座・講習会 |
| 3. 新劇・歌舞伎などの演劇 | 9. その他() |
| 4. 日本舞踊・バレエなどの舞踊 | |
| 5. 浪曲・落語・漫才などの大衆芸能 | |
| 6. 映画会 | |

(64)

(65)

Q34. 現在、あなたが□に対して最も力を入れてほしいと思う事業はなんですか。次の1位、第2位、第3位と順位をつけて3つ以内で選んでください。〔回答票10提示〕(3A)

- | | |
|-----|--|
| 第1位 | |
| 第2位 | |
| 第3位 | |
01. 道路の整備（舗装、ガードレール、街路灯など）
02. 公園、児童遊園の整備・拡充
03. 緑化対策
04. 環境衛生（ゴミ収集、街の清掃など）
05. 学校教育施設の整備（幼稚園、小・中学校施設、校外施設など）
06. 区民のための施設の整備（公会堂、保養所、福祉会館など）
07. 老人福祉
08. 心身障害者（児）福祉
09. 低所得層や母子世帯福祉
10. 青少年の健全育成対策
11. 中小企業対策
12. 消費者保護対策
13. 地震対策
14. 水害対策
15. 公害対策
16. 区民の健康管理
17. 食品衛生
18. 社会教育・社会体育活動の推進
19. 幼児・児童の保育対策
20. 交通安全対策
21. 風紀の取り締まり
22. その他()
23. 特にない

【フェース・シート】 最後に、あなたとご家族のことについてお聞きします………

F1. 性別（これは聞かない） 1. 男 2. 女 ⑦2

F2. 満何歳でしょうか。____歳 1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代以上 ⑦3

F3. あなたのご職業は何でしょうか。〔回答票11提示〕(1A)

- | | | | | |
|------------|--------------|-------|-----------|----|
| 1. 自営業・事業主 | 3. 事務職・技術職 | 5. 主婦 | 7. 無職 | ⑦4 |
| 2. 管理職・自由業 | 4. 労務職・サービス職 | 6. 学生 | 8. その他() | |

F4. ご一緒に住んでいるご家族は、あなたを含めて何人ですか。(1A)

- | | | | |
|-------|-------|---------|----|
| 1. 1人 | 3. 3人 | 5. 5人 | ⑦5 |
| 2. 2人 | 4. 4人 | 6. 6人以上 | |

F5. あなたは、ご一緒に住んでいる家族の中で、次のうちのどれにあたりますか。あなたご自身のこととしてお答えください。〔子供がいる親の場合は、現在一番上の子供の年齢が乳・幼児か、小・中学生かなどで分類する〕〔回答票12提示〕(1A)

- | | | |
|----------------------|-----------------------|----|
| 01. 結婚前の独身者 | 06. 学校教育を終えた独身の子供がいる親 | ⑦6 |
| 02. 子供がいない若夫婦の夫あるいは妻 | 07. 子供が結婚して一緒に住んでいる親 | ⑦7 |
| 03. 結婚し、乳・幼児がいる親 | 08. 子供が独立して2人だけになった親 | |
| 04. 小・中学生がいる親 | 09. 子供が独立して1人だけになった親 | |
| 05. 高校・大学生がいる親 | 10. その他() | |

F6. お宅の住宅の種類は何でしょうか。(1A) 5. 社宅・官舎
1. 一戸建持家 3. 民間木造アパート 6. 寮・間借り・住込み ⑦8
2. 一戸建借家 4. 鉄筋アパート・マンション(公共住宅含む) 7. その他()

F7. お宅には自動車(四輪車)がありますか。(1A) 1. ある 2. ない ⑦9

===== どうもありがとうございました =====

第7回 新宿区政世論調査報告書
昭和54年10月発行

企画・発行 東京都新宿区企画部広報課
東京都新宿区歌舞伎町1-4-1
電話：209-1111（大代）

実施 日本E D P株式会社 調査部
東京都港区芝公園4-2-8
電話：434-8831（代）
